

子育て世代の水産物消費嗜好動向調査

～家庭と学校給食での水産物消費について～

令和5年6月

一般社団法人 大日本水産会

子育て世代の水産物消費嗜好動向調査

～家庭と学校給食での水産物消費について～

令和5年6月

一般社団法人 大日本水産会

はじめに

かつて世界一の魚食国家を誇っていた日本の水産物の年間1人当たりの摂取量は20年前の約40kgをピークに近年では23kg近くにまで減少し、肉類には10年ほど前に逆転されて肉類は30kgを超えて増加中です。また、若い世代ほど水産物の摂取量が少ない実態も顕著で、現在7～19歳代の世代の生鮮魚介類の1人1日当たりの摂取量は42～45gで、60歳以上の世代の75～85gの、5～6割に留まってしまっています。

一方で必須アミノ酸であるヒスチジンや魚油の中に含まれる必須脂肪酸のDHAやEPAなどの魚介類の特徴である栄養素を考えると、水産物をバランスよく、しっかりと食して、特に育ち盛りの子供達はそれらの栄養素の摂取が必須です。

このような状況の前提において、本会が実施する水産物嗜好動向調査は65回目となり、今回は「子育て世代の水産物消費嗜好動向調査 ～家庭と学校給食での水産物消費について～」と題して、次世代を担う子供達に焦点を当てるべく子育て世代の母親とその子に対して、家庭での食事と学校給食における食と魚食に関する実態や意識、嗜好等についてWeb調査を実施し、過去に同様に調査した結果とも可能な範囲で比較しながら、変わらない点、変化してきている点を分析しました。

この調査結果が家庭と学校給食において、魚食の変化を理解し、その将来を考える上で皆様の今後の取り組みのご参考に供するものと意図したものであり、その資料として活用して頂ければ幸いです。

一般社団法人 大日本水産会
魚食普及推進センター

目次

■調査概要

調査概要	8
調査設計	9
分析軸について	10
過去調査との比較	11
対象者属性	12

■調査結果のまとめ

1. 総合分析	16
2. 家庭での食生活全般について	18
3. 学校給食について	23
4. 「さかなの日」について	26
5. 魚食に対する自由意見	26

■調査結果

1-1. 家庭での食生活全般について	28
1-1-1. 食事・料理に関する意識・態度	28
1-1-2. 家族が魚類/肉類を好きか	30
1-1-3. 魚料理を食べたり料理したりする事が嫌いな理由	34
1-1-4. 主惣菜として魚と肉のどちらが多いか	37
1-1-5. 主惣菜として魚が多い理由/主惣菜として肉が多い理由	39
1-1-6. 家庭でよく食べる魚介類の種類	42
1-1-7. 家庭でよく購入する魚介類の加工品	44
1-1-8. イメージに合うのは、魚料理と肉料理のどちらか	47
1-1-9. 家庭で魚料理を食べる回数	50
1-1-10. 家庭でよく食べる好きな魚料理	53
1-1-11. 魚介類を購入する際の優先順位	63
1-1-12. 魚介類を食べる際に感じる事	67
1-2. 「さかなの日」について	70
1-2-1. 「さかなの日」に期待する点	70
1-3. 魚食に対する自由意見	72
1-3-1. 魚食に対する自由意見(ポジティブ)	72
1-3-2. 魚食に対する自由意見(ネガティブ)	73
1-3-3. 魚食に対する自由意見	74
2-1. 母親に対して子供の学校給食について	77
2-1-1. 子供の食事についての意識・実態	77
2-1-2. 食についての親子でのコミュニケーション(給食のメニュー、給食の栄養面、その他)	82
2-1-3. 学校給食についての考え方	83
2-1-4. 学校給食に期待している事	88
2-1-5. 学校給食で使用される魚介類に期待している事	90
2-1-6. 子供が好きな学校給食のメニュー	92
2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について	100
2-2-1. 日常生活の意識・実態	100
2-2-2. 普段の食事の意識・実態	102
2-2-3. 好きな食べ物(ごはん・パン・麺類)	104
2-2-4. 好きな食べ物(魚料理・魚缶詰)	106
2-2-5. 好きな食べ物(魚肉ねり製品・野菜料理)	108
2-2-6. 食べた事がある/好きな魚介類	110
2-2-7. 学校の給食について	118
2-2-8. 給食・家での魚料理について	120
2-2-9. 給食の食べ残しの有無	122
2-2-10. 魚料理の食べ残しの理由	126
2-2-11. コロナ禍での黙食について	127

(参考)「子育て世代の水産物消費嗜好動向調査」アンケート画面【スクリーニング調査】 129

(参考)「子育て世代の水産物消費嗜好動向調査」アンケート画面【本調査】 133

調査概要

【調査背景】

水産物の国内生産量、輸入数量ともに減少傾向を示している中で、国内の水産物消費においてもその減少に歯止めがかからない状況が続く。

全世代で家庭での水産物の摂取量は減少する状況にあるも、若い世代ほど摂取量が少ない実態も顕著である。

現在7～19歳代の世代の生鮮魚介類の1人1日当たりの摂取量は約42～45gで、60歳以上の世代の約75～85gの5～6割にとどまっている。

こうした中で、将来の消費者となる子供達とその子供を持つ子育て世代の母親の家庭と学校給食での水産物消費動向を探り、今後の魚食普及のための加工、販売、購入、調理、食事の方法の改善を模索することは、若い世代に対しての水産物の消費拡大に結びつけられるものと考えられる。

【調査目的】

水産物消費嗜好動向調査において過去に実施した下記の実態調査を比較対象とした。

1989年「第4回—学校給食調査」

2012年「子育て世代の消費動向」

2014年「学校給食における水産物の活用～栄養士とPTAの給食目線～」

今回2023年の実施となり、10～30年後の世代にとって、学校での食育教育、コロナ禍も含めたライフスタイルの変化を受けて、子育て世代の食の意識がどのように変化し、何を求めているのかを調査、比較、分析する。

その結果から、子育て世代の家庭と学校給食における食の選択肢の中に魚食を多く組み込ませることに繋げて、将来の水産物の消費者となる子供達を健全に育むに資する情報とすることを目的とする。

調査設計

対象	末子の学齢が中学生以下の子供を持つ母親 ※過去調査と比較分析ができるように設計(詳細は9頁を参照)			
	割付	都市部	地方部	小計
	未就学児	295	300	595
	小学校低学年	102	100	202
	小学校高学年	102	100	202
	中学校	102	100	202
	小計	601	600	1,201
方法	株式会社クロス・マーケティングモニターにWEBアンケートを実施			
時期	令和5年3月			
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 回答者プロフィール 2. 母親に対して家庭での食生活全般について 3. 母親に対して子供の学校給食について 4. 子供に対して普段の生活や食生活、学校給食について 5. 「おさかなの日」に期待する点 6. 魚に関する要望 			
項目	P126～P154参照			
実施者	株式会社クロス・マーケティング			

分析軸について

学齡×地域別

- ・未就学児(都市部)
- ・未就学児(地方部)
- ・小学校低学年(都市部)
- ・小学校低学年(地方部)
- ・小学校高学年(都市部)
- ・小学校高学年(地方部)
- ・中学校(都市部)
- ・中学校(地方部)

学齡×性別

- ・小学校低学年(男子)
- ・小学校低学年(女子)
- ・小学校高学年(男子)
- ・小学校高学年(女子)
- ・中学校(男子)
- ・中学校(女子)

母親の年代×地域別

- ・30代(都市部)
- ・30代(地方部)
- ・40代(都市部)
- ・40代(地方部)

就業形態×地域別

- ・正規の勤め(都市部)
- ・正規の勤め(地方部)
- ・パート・アルバイト(都市部)
- ・パート・アルバイト(地方部)
- ・専業主婦(無職)(都市部)
- ・専業主婦(無職)(地方部)

過去調査との比較

今回の調査については、比較できる設問において大日本水産会が過去に実施している以下の調査と比較

分析を行っている。(今回の調査設計とは完全には一致していないため、参考比較)

平成元年(1989年)3月実施「水産物を中心とした消費に関する調査
小学校の食生活と給食についての調査」

※小学校6年生への調査であるため、今回調査の「小学校高学年」の結果と比較

平成24年(2012年)3月実施「水産物消費嗜好動向調査 子育て世代の消費動向
～子育て世代の食選択の背景～」

※小中学生の子供を持つ親(母・父)への調査であるため、母親の調査データを再集計し、
今回の「小学生低学年、高学年、中学生・計」の結果と比較

平成26年(2014年)3月実施「水産物消費嗜好動向調査 学校給食における水産物の活用
～栄養士とPTAの給食目線～」

※大都市圏在住者への調査であるため、今回の「都市部」の結果と比較

平成24年(2012年)調査と比較
(報告書内では「2012年」と表記)

割付	都市部	地方部	小計
未就学児	295	300	595
小学校低学年	102	100	202
小学校高学年	102	100	202
中学校	102	100	202
小計	601	600	1,201

平成元年(1989年)
調査と比較
(報告書内では
「1989年」と表記)

平成26年(2014年)調査と比較
(報告書内では「2014年」と表記)

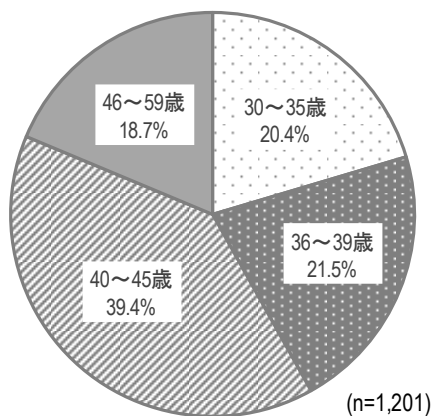
対象者属性

【居住地(都道府県)】

都道府県名	回答者	
	n数	構成比
1 北海道	89	7.4%
2 青森県	5	0.4%
3 岩手県	3	0.2%
4 宮城県	41	3.4%
5 秋田県	3	0.2%
6 山形県	3	0.2%
7 福島県	12	1.0%
8 茨城県	13	1.1%
9 栃木県	10	0.8%
10 群馬県	13	1.1%
11 埼玉県	83	6.9%
12 千葉県	49	4.1%
13 東京都	215	17.9%
14 神奈川県	109	9.1%
15 新潟県	11	0.9%
16 富山県	9	0.7%
17 石川県	7	0.6%
18 福井県	5	0.4%
19 山梨県	5	0.4%
20 長野県	15	1.2%
21 岐阜県	9	0.7%
22 静岡県	27	2.2%
23 愛知県	87	7.2%
24 三重県	14	1.2%
25 滋賀県	6	0.5%
26 京都府	25	2.1%
27 大阪府	90	7.5%
28 兵庫県	51	4.2%
29 奈良県	9	0.7%
30 和歌山県	5	0.4%
31 鳥取県	6	0.5%
32 島根県	1	0.1%
33 岡山県	17	1.4%
34 広島県	41	3.4%
35 山口県	9	0.7%
36 徳島県	5	0.4%
37 香川県	7	0.6%
38 愛媛県	8	0.7%
39 高知県	2	0.2%
40 福岡県	44	3.7%
41 佐賀県	3	0.2%
42 長崎県	10	0.8%
43 熊本県	14	1.2%
44 大分県	7	0.6%
45 宮崎県	1	0.1%
46 鹿児島県	2	0.2%
47 沖縄県	1	0.1%
合計	1,201	99.6%

※四捨五入による誤差あり

【年代】

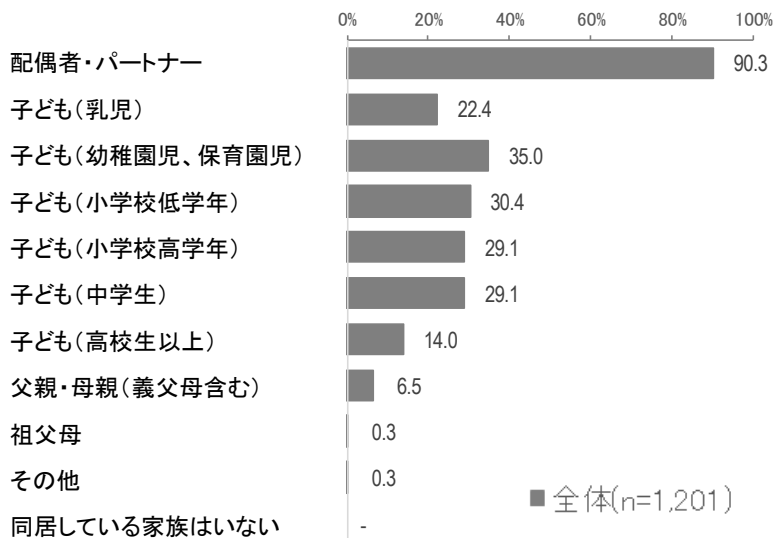


【居住地(市区町村)】

市区町村名	回答者	
	n数	構成比
1 札幌市	67	5.6%
2 仙台市	36	3.0%
3 さいたま市	34	2.8%
4 東京23区	187	15.6%
5 横浜市	62	5.2%
6 川崎市	15	1.2%
7 名古屋市	45	3.7%
8 京都市	20	1.7%
9 大阪市	54	4.5%
10 神戸市	15	1.2%
11 広島市	36	3.0%
12 福岡市	30	2.5%
13 上記以外の市区町村	600	50.0%
合計	1,201	100.0%

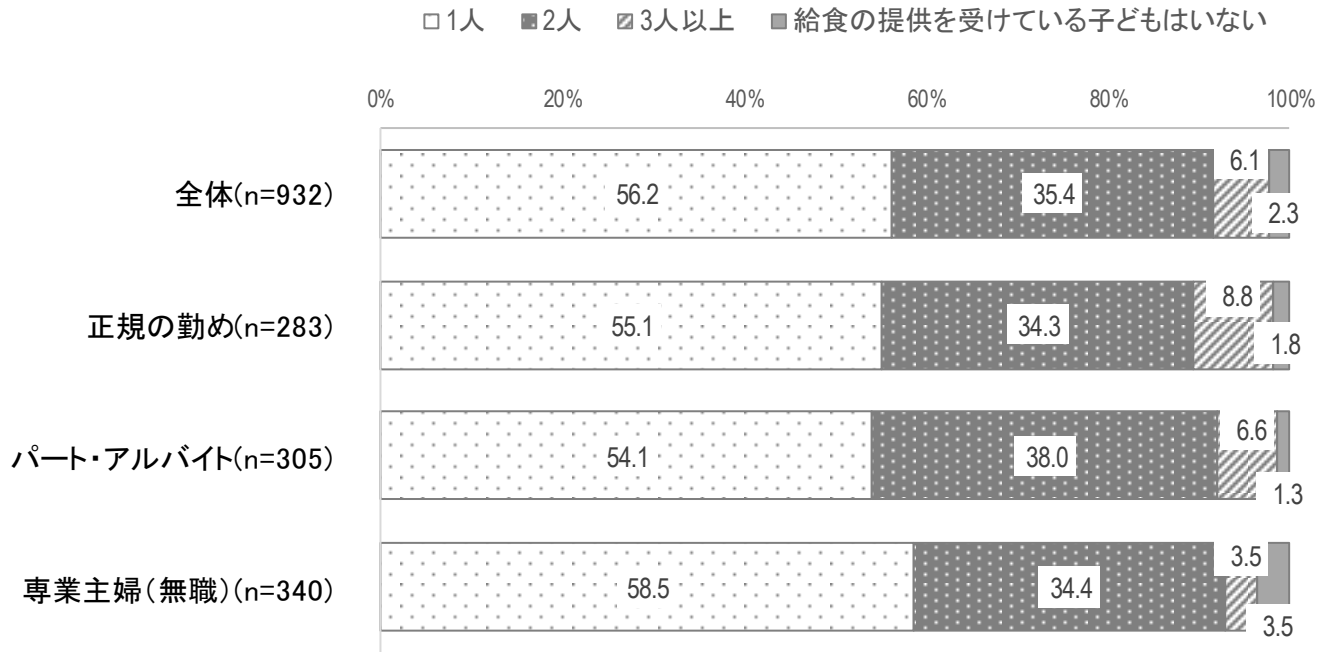
※今回調査では、
1~12の市区町村を「都市部」、それ以外を「地方部」と定義

【同居家族】

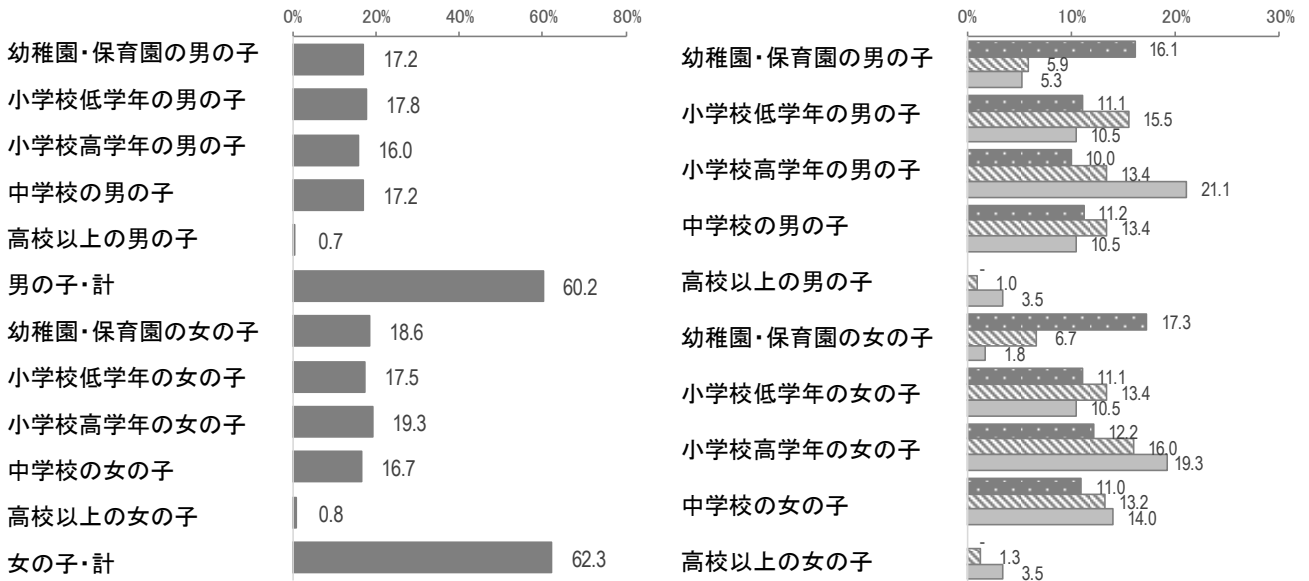


対象者属性

【給食の提供を受けている子供の人数(乳児以外の子供がいる人ベース)】



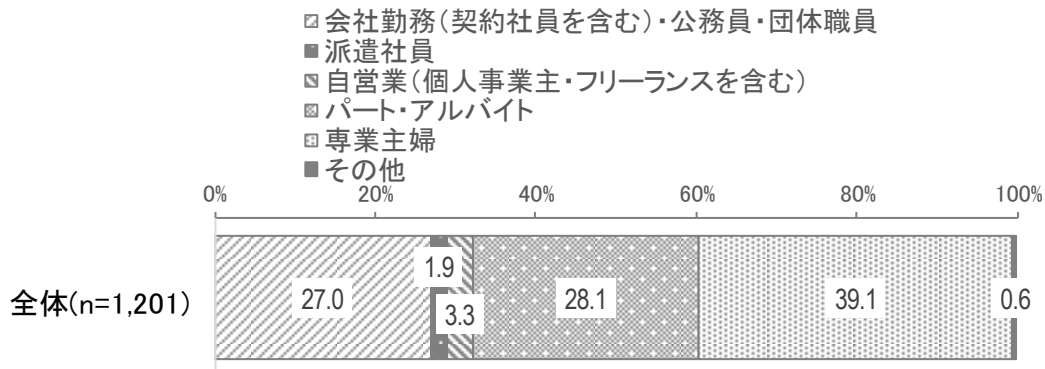
【給食の提供を受けている子供の学齢・性別(給食の提供を受けている子供がいる人ベース)】



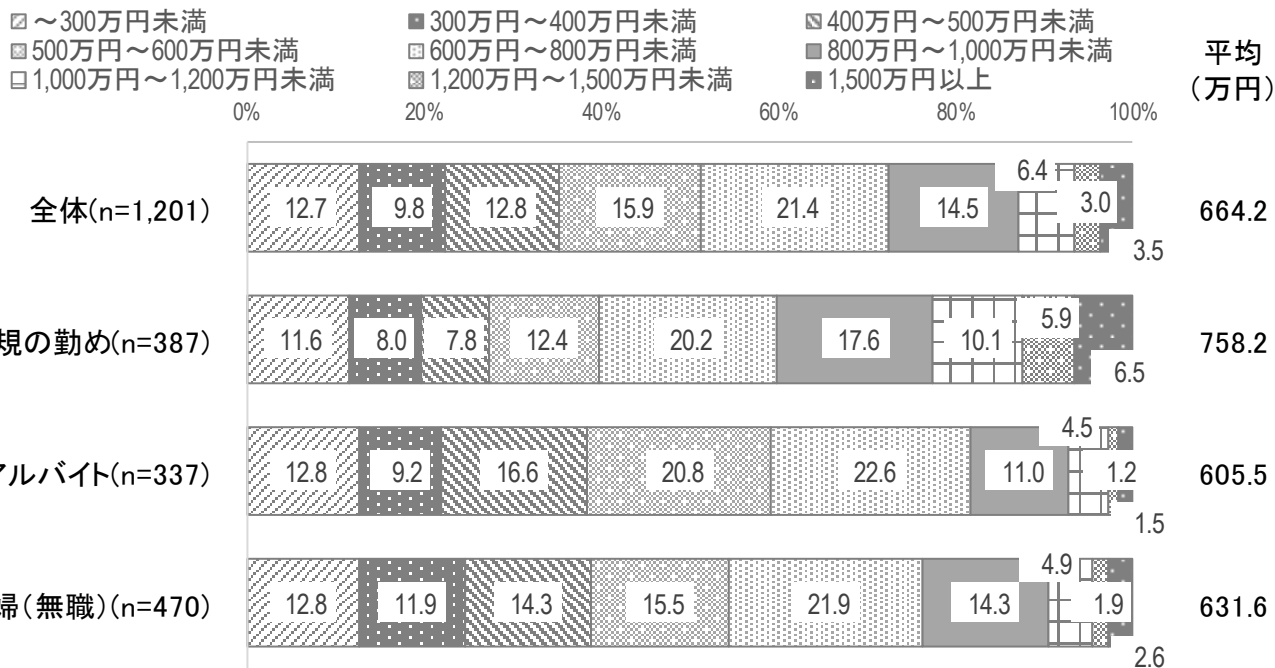
■ 最も年齢の低いお子様(n=911)
 ▨ 二番目に年齢の低いお子様(n=387)
 ■ 三番目に年齢の低いお子様(n=57)

対象者属性

【職業】



【世帯年収】



調査結果のまとめ

1. 総合分析

1-1 総評

- 本調査で見えてきたものは、残念ながら、現状の水産物の消費減少の状況を証するような消費者の魚食を含めた**食全体への意識の低下**であった。10～30年前と比べ、食の多様化、ライフスタイルの変化、賃金の低迷に加えて、肉と比べての調理の手間やコストパフォーマンスの低さ(ボリューム感の少なさ、価格の高さ)などが影響して、水産物の消費は減少してきているが、同時に子育て世代の消費者・親子の魚食への様々な意識や実態も共に低下してきている。
- 魚食に対しては、これまでのファストフィッシュでも目指してきた「**簡便・時短**」、「**手軽・気軽**」「**食べやすさ**」「**価格の安さ**」が変わらずに求められており、この方向への加工や商品開発の努力は継続していかなければならないと考えられた一方で、母親の就業別(正規のフルタイム、パート・アルバイト、専業主婦)の世帯収入や家事へ時間を割ける余裕などの違いが、食や魚食の意識や実態にも影響している面も見られた。小売りの量販店においては鮮魚の品揃えや下処理するサービスや調理方法の紹介などが求められていた。魚も肉も食べる事が嫌いでない割合は9割を超えた。しかしながら料理をする事となると魚は3割、肉は1割が嫌いとは回答している。
- 学校給食は子供達にとって、おいしく、楽しいものとなっているが、特定の魚種の偏りが進んでいる傾向も見て取れた。学校給食の評価指標の一つが食べ残し(の削減)となっていることや、食材としては安全、安定、画一的規格のものに限られる傾向があるためか、以前は魚種や料理が幅広く、満遍なく提供され食べられていたものが、魚種で言えばサーモン、マグロ、ブリに、家庭においても、料理で言えば寿司、刺身、焼き魚、揚げ物に、缶詰で言えば、ツナ缶に、と特定の種類に大きく偏る傾向が顕著に表れている。
- 食育推進の効果もあって、特に小学校低学年においては、食への目的やしつけ・教育は浸透してきているようである。上述した給食の食べ残しの要因としては給食の時間が短いと感じている子供達に多く、特に女の子が多い。
- 母親は学校給食に対して「**家庭で食べる機会が減少している魚料理を学校給食でもっと食べさせてほしい**」と考えており、好き嫌いをなくすよい機会、箸の持ち方や、骨の取り方、食事のマナーなどを学ぶよい機会とも考えている。

今回の調査結果は、過去の調査結果との比較によって近年の「魚離れ」を説明するものとなったが、魚食に求めるものの優先順位の変化や、母親の就業別や子供たちの学齢別のデータなどを詳細に見ていくと、更に様々な推測を見出すことができる大変興味深い調査結果となっており、今後の魚食普及推進に資するものになると期待している。

1. 総合分析

1-2 まとめと課題

家庭での食生活全般についての課題

- 子供の食べたことがある/好きな魚介類は、上位の傾向はこの30年で大きく変動はしていない。しかしながら上位以外の魚介類は、概ね数値が減少しており、特定の魚に嗜好が偏り、全般的には魚料理が好まれなくなっていることが窺える。
また、そもそも魚介類が獲れにくくなってきている事や、価格が高くなっている事が影響している点、調理済みの魚介類食品や調理の簡便化、母親の社会進出により家事時間が減少し、手の込んだ料理をしなくなっている点など、さまざまな事情が影響を与えている可能性が推測される。
特に就業形態別でパート・アルバイトの方は、世帯年収や家事時間に余裕がない点などが影響している事が窺える。
- 魚介類(魚料理)が嫌いな理由として子供と母親に共通していることは、「骨を取るのが面倒」が上位に挙げられている。
母親は、「ゴミ処理や手の臭いなどの料理する際の項目」が嫌いな理由として多く回答されている。魚介類を購入する際の優先順位でも、調理の簡便さが1989年から大きく増加している。
骨に関しては時短、簡便さ、安全安心志向の高まりが、臭いに関しては、魚の臭いや生ゴミ処理が目立ってしまっており、食品全般に鮮度向上していることと加工食品が増えている影響が推測される。
これらのことから、調理が簡便化できる改良や製品の開発、骨を取った加工品の普及や商品改良などを進めることで、魚料理がより家庭に普及するのではないかと推測される。
- 子供の普段の生活は、「虫歯はほとんどない」、「朝はいつも気持ちよく起きられる」など、この30年で良い傾向になっている。
食生活についても、「朝食を含め三食しっかり食べる」、「夕食は家族揃って食べる」、「家族と外へ食べに行く事がよくある」などの回答が1989年より増加していることから、家庭での食生活は豊かになっていることが窺える。

学校給食についての課題

- 学校給食の魚料理を「おいしい」や「もっと食べたい」と思っている回答が上位に挙げられており、学校給食を楽しみに思っている子供が多くなっているが、一方給食の時間が短く感じており、その事が食べ残しにもつながっている事が推測される。
また、給食がおいしく進化していることや、家庭で魚料理を食べる機会が減少している点、母親が手の込んだ魚料理を作らなくなっている点が影響している事が窺える。
骨やにおいが気になっているため、これらを解消できるような商品開発や調理法の改善がより進んでいく事が課題であると推測される。
- 「学校給食のおいしさ」や「メニューの多様さ」など、時代の変化にあわせて、学校給食も発展し、子供にとって楽しみなものとして捉えられている事が窺える。
- 母親は、「家庭で食べる機会が減少している魚料理を学校給食でもっと食べさせてほしい」と考えており、「骨の取り方や食事のマナーを学ぶ良い機会」として考えている。
学校給食に対しても、魚介類が食べやすく、好ましい味に調理されている事が期待されている。

2. 家庭での食生活全般について

子供の意識・実態

【魚介類(魚料理)について】

- 好きな魚介類は、1989年は「いか」(98.2%)「さけ・ます」(同率97.5%)であったが、「さけ・ます」(91.1%)「まぐろ」(90.6%)がトップ2となった。トップであったイカの回答は減少し、同様に1989年では9割以上の子供が食べた事のあると回答した「さんま」「いか」「ししゃも」「たこ」「いわし」「あさり」などは本調査では20~30pt程度減少している。【Q27】
- 小学校高学年において1989年と比較すると、2023年の好きな魚料理は「寿司」(73.3%)「刺身」(58.9%)が上位2つであり、変動はなかった。しかしながら、全ての魚料理で数値が減少している。【Q25】
好きな魚缶詰は「ツナ」(56.9%)は横ばいであったが、その他の缶詰は大幅に数値が減少している。好きな魚肉ねり製品も全ての製品で大きく減少。
- 家庭や学校給食での魚料理については「からだのためによい」と87.0%の子供が思っている一方で、「骨をとるのが面倒」(85.3%)「肉料理の方が好き」(82.5%)と8割以上の子供が感じている。
- 小学校高学年において1989年と比較すると、2023年は「骨をとるのが面倒」(85.6%)「魚のにおいが気になる」(50.0%)が15pt以上増加している。
また、「給食の魚料理はおいしい」は1989年の61.6%から2023年の73.3%に増加している一方で、「家で食べる魚料理はおいしい」は1989年の84.1%から2023年の73.8%に減少している。【Q29】

【普段の(食)生活について】

- 日常生活については、「虫歯はほとんどない」(79.4%)「毎日学校に行くのが楽しい」(74.6%)と7割以上の小中学生が回答している。
小学校高学年において1989年と比較すると、2023年は「虫歯はほとんどない」(76.7%)「朝はいつも気持ちよく起きられる」(56.4%)が10pt以上増加している。いずれの項目においても、学齢が低い方があてはまると回答した子供が概ね多い傾向である。【Q22】
- 普段の食事については、「朝食は毎日必ず食べる」「一日三食しっかり食べている」は9割前後の子供があてはまると回答している。
小学校高学年において1989年と比較すると、2023年は「朝食は毎日必ず食べる」(89.1%)「夕食では、ごはんをたくさん食べる」(79.2%)「夕食は家族がみんなそろって食べる」(66.8%)「家族と外へ食べに行く事がよくある」(52.0%)が10pt以上増加している。【Q23】

2. 家庭での食生活全般について

子供が好きな食べ物
【トップ3一覧】(Q24~26)

	1位	2位	3位
ごはん	カレーライス	ごはん	おにぎり
	74.1%	73.9%	69.1%
パン	ハンバーガー	菓子パン	サンドイッチ
	69.0%	65.7%	55.6%
めん類	ラーメン	うどん	スパゲティ
	77.9%	73.1%	62.7%
魚料理	寿司	刺身	魚のフライ
	73.4%	60.2%	49.2%
魚缶詰	ツナの缶詰	さけの缶詰	さんまの缶詰
	58.7%	17.2%	15.3%
魚肉ねり製品	ちくわ	かまぼこ	カニカマ
	56.9%	45.7%	44.1%
野菜料理	生野菜・野菜サラダ	野菜炒め	野菜の天ぷら
	50.2%	42.2%	39.3%

(n=606)

2. 家庭での食生活全般について

子供が食べたことがある/好きな魚介類【トップ15一覧】(Q27)

	小学校低学年(男子) (n=101)		小学校低学年(女子) (n=101)		小学校高学年(男子) (n=91)		小学校高学年(女子) (n=111)		中学生(男子) (n=102)		中学生(女子) (n=100)	
	食べたことがある	好き	食べたことがある	好き	食べたことがある	好き	食べたことがある	好き	食べたことがある	好き	食べたことがある	好き
1位	さけ・ます 90.1	さけ・ます 74.3	さけ・ます 92.1	さけ・ます 71.3	さけ・ます 94.5	さけ・ます 73.6	まぐろ 89.2	さけ・ます 66.7	まぐろ 92.2	まぐろ 75.5	まぐろ 87.0	まぐろ 69.0
2位	まぐろ 85.1	のり 64.4	まぐろ 88.1	まぐろ 67.3	まぐろ 93.4	まぐろ 72.5	さけ・ます 87.4	のり 64.0	さけ・ます 88.2	さけ・ます 68.6	のり 87.0	さけ・ます 65.0
3位	さば 83.2	まぐろ 58.4	えび 83.2	のり 62.4	えび 85.7	のり 53.8	のり 80.2	まぐろ 63.1	わかめ 82.4	のり 55.9	さけ・ます 85.0	のり 63.0
4位	のり 79.2	えび 43.6	のり 83.2	えび 52.5	さば 83.5	えび 52.7	さば 78.4	わかめ 49.5	さば 81.4	えび 51.0	えび 83.0	えび 46.0
5位	わかめ 77.2	わかめ 42.6	わかめ 80.2	わかめ 49.5	わかめ 83.5	しらす 37.4	わかめ 78.4	えび 45.0	さんま 80.4	かに 40.2	わかめ 83.0	わかめ 43.0
6位	えび 73.3	しらす 38.6	さば 75.2	いか 38.6	さんま 80.2	わかめ 37.4	さんま 73.0	さば 36.0	えび 80.4	いか 37.3	さば 82.0	しらす 41.0
7位	さんま 73.3	さば 37.6	しらす 75.2	しらす 35.6	のり 78.0	かに 36.3	えび 73.0	かに 31.5	のり 80.4	わかめ 36.3	あじ 78.0	たこ 38.0
8位	あじ 69.3	いか 35.6	ぶり(はまち) 74.3	かに 33.7	あじ 76.9	たこ 33.0	あじ 69.4	しらす 30.6	あじ 77.5	たこ 35.3	さんま 78.0	かに 34.0
9位	しらす 68.3	ぶり(はまち) 31.7	あじ 71.3	ぶり(はまち) 29.7	いか 76.9	さば 31.9	ぶり(はまち) 69.4	さんま 28.8	ぶり(はまち) 75.5	あさり 30.4	いか 77.0	あさり 34.0
10位	いか 64.4	たこ 29.7	さんま 66.3	さば 28.7	ぶり(はまち) 73.6	いか 30.8	ししゃも 67.6	ぶり(はまち) 27.0	たこ 75.5	かつお 28.4	かに 74.0	ぶり(はまち) 32.0
11位	ししゃも 63.4	さんま 25.7	いか 66.3	たこ 28.7	かに 73.6	さんま 29.7	かつお 64.0	たい 25.2	いか 74.5	ぶり(はまち) 26.5	たこ 72.0	ししゃも 32.0
12位	かつお 61.4	あじ 25.7	かに 65.3	たい 26.7	たこ 73.6	ぶり(はまち) 28.6	しらす 64.0	ししゃも 21.6	ししゃも 73.5	ししゃも 26.5	ぶり(はまち) 70.0	いか 32.0
13位	ぶり(はまち) 59.4	かに 25.7	ししゃも 64.4	あさり 25.7	ししゃも 72.5	ほたて貝 28.6	かに 59.5	あさり 21.6	かに 73.5	さば 25.5	ししゃも 70.0	さば 31.0
14位	たこ 56.4	あさり 25.7	たら 63.4	さんま 24.8	しらす 71.4	あじ 27.5	いか 57.7	たこ 20.7	しらす 71.6	しらす 23.5	しらす 68.0	ほたて貝 30.0
15位	かに 55.4	ししゃも 23.8	たこ 63.4	あじ 24.8	いわし 70.3	たい 27.5	たい 56.8	ほたて貝 19.8	かつお 70.6	ほたて貝 22.5	あさり 67.0	さんま 26.0
						ししゃも 27.5		かつお 19.8				

※同率の場合は、集計表の並び順にて掲載

2. 家庭での食生活全般について

母親の意識・実態

【魚介類(魚料理)について】

- 家族が「魚類を食べる事が好き」は74.8%、「肉類を食べる事が好き」は86.7%。一方、「魚類を料理する事が好き」は30.2%、「肉類を料理する事が好き」は50.4%。食べる事よりも料理する事の魚類と肉類の差が大きい。【Q2】
- 主惣菜として魚と肉のどちらが多いかについては、「魚派(多い+やや多い)」が12.3%、「肉派(多い+やや多い)」は87.7%で、肉派が圧倒的に多い。就業形態別では、パート・アルバイトの方が肉派が多く92.9%。
小学校高学年において1989年と比較すると、魚派は1989年の34.2%から2023年の10.4%、肉派は1989年の64.5%から2023年の89.6%と、肉派が大きく増加している。【Q4】
- 魚料理を食べたり料理したりする事が嫌いな理由は、【食べる】では「骨を取るのが面倒」(71.1%)が際立って高く、【料理する】では「ゴミ処理が面倒」(62.2%)「手の臭いが消えない」(52.9%)が嫌いな理由の上位。【料理する】で嫌いな理由が多く挙げられている。
小学校高学年において1989年と比較すると、「骨を取るのが面倒」は1989年の36.0%から2023年の67.6%と大きく増加している。一方、「魚のにおいが嫌い」は1989年の66.0%から2023年の36.6%と大きく減少している。【Q3】
- 魚/肉を主惣菜とした食事の方が多い理由については、魚/肉のいずれも「家族・自分が好き」が上位2位に入っている。「健康に良いと思うから」は魚では32.4%で3位であるが、肉では2.9%で最も低い。一方、「手軽にできるから」は肉では48.8%で2位であるが、魚では20.3%で下位になっている。【Q5、6】
- 家庭でよく食べる魚介類は「さけ」(74.3%)「さば」(55.5%)が上位2つであった。
都市部において2012年と比較すると、上記のトップ2以下の魚介類は概ね減少している。中でも「さんま」は2012年の59.7%から2023年は19.3%と1/3以下に減少。【Q7】
- 家庭でよく購入する魚介類の加工品は「練り物」(57.5%)「缶・瓶詰」(44.4%)が上位2つであった。
都市部において2012年と比較すると、「缶・瓶詰」は2012年の35.0%から2023年は47.3%に増加している。一方で、「干物」は2012年の66.9%から2023年は43.4%に減少。【Q8】
- 家庭でよく食べる好きな魚料理は、母親、末子の子供、夫や他の家族のいずれにおいても「刺身」「寿司」「焼き魚」が上位3つであった。比較的、調理が簡単でシンプルな魚料理がよく食べられている。【Q11】
都市部において2012年と比較すると、家庭で好んでよく食べる好きな魚料理の上位3つは変動していないが、比較できる全ての魚料理で数値が減少している。
- 魚介類を購入する際の優先順位は、「価格」(36.3%)「調理の簡便さ」(30.5%)が1位に挙げられた2項目であった。
都市部において2012年と比較すると、「価格」は30%台半ばで変動していないが、「調理の簡便さ」は2012年の20.4%から2023年は28.5%に増加している。一方で、「新鮮さ」は2012年の29.1%から2023年は16.6%に減少。【Q12】

2. 家庭での食生活全般について

母親の意識・実態

【普段の食生活について】

- 食事・料理に関する意識・態度についてあてはまるものは、「外で食べてみておいしかった料理は、自分でも作ってみる事がある」(55.5%)「調理の仕方をいろいろ工夫してみる方である」(43.5%)が上位2つであった。就業形態別では、全ての項目でパート・アルバイトの方の数値が低くなっている。

小学校高学年において1989年と比較すると、全ての項目で大きく減少している。【Q1】

- 子供の食事についての意識・態度について、「自分が忙しいときでも、子供にはきちんと食べさせる」(83.1%)「子供の夕食は、いつも同じ時間に食べさせる」(82.6%)は、あてはまる・計が8割超で上位2つであった。

小学校高学年において1989年と比較すると全ての項目で減少している。【Q16】

3. 学校給食について

子供の意識・実態

- 魚類の好きな学校給食のメニューは「揚げ物」(73.6%)が最も高い。
小中学生において2014年と比較すると、「焼きもの」や「調味焼き」といったその他のメニューは概ね減少傾向にある。【Q21】
- 学校給食について思っている事は、「家では食べられないものを食べられる」(88.6%)「おいしい」(86.3%)が上位2つであった。
小学校高学年において1989年と比較すると、「家では食べられないものを食べられる」「メニューがいろいろあって楽しい」「給食の時間が待ち遠しい」「給食の時間が短くて、ゆっくり食べられない」が20pt以上増加している。【Q28】
- 魚料理について思っている事は、「からだのためによい」(87.0%)「骨をとるのが面倒」(85.3%)が上位2つであった。
小学校高学年において1989年と比較すると、「骨をとるのが面倒」「においが気になる」「給食の魚料理はおいしい」「学校給食で魚料理をもっと食べたい」といった項目が20pt以上増加している。一方で、「家で食べる魚料理はおいしい」は1989年から10.3pt減少している。【Q29】

食べ残しの実態

- 学校給食の食べ残しの多いメニューは「野菜料理」が17.3%で最も多く、「魚料理」が14.7%で2番目に多い。これらのメニューはよそう量を減らしているため残していない子供も多い。【Q30】
- 学齢・性別でみると、概ね男子よりも女子の方が食べ残しが多く、特に中学生女子が突出している。【Q30】
- 魚料理の食べ残しの理由は、「骨があって食べるのが面倒」(37.5%)が最も高く、「魚の味が気になる」(29.5%)「時間内に食べきれない」(26.0%)「においが嫌い」(22.5%)が続く。【Q31】

コロナ禍での黙食の実態

- 学校給食をどのように食べたいかについて、小学生・中学生全体の約半数が「話しながら楽しく食べたい」と思っている。この事は、学齢が低い方がより数値が高くなっている。一方で、「食べる事に集中できる」も小学生・中学生全体の2割強が回答している。【Q32】

3. 学校給食について

母親の意識・実態

- 学校給食についての考えは、8割以上の母親が「教育上とても大切」(87.1%)で、「昼食はその給食に任せておけるから安心だ」(86.3%)と考えている。
小学校高学年において1989年と比較すると、学校給食についての考え方の傾向に大きな変化はないが、「学校給食に使用される食材の使用添加物」についての心配は20pt減少している。【Q18】
- 学校給食に期待している事は「必要な栄養が摂取できる事」が74.9%で最も高い。
小中学生において比較した2014年も最も高い結果であった。【Q19】
- 学校給食で使用される魚介類に期待していることは、「食べやすく調理されていること」(49.0%)「使用する魚介類の種類が多様であること」(47.2%)「肉類と魚介類がバランスよく提供されること」(32.7%)が上位3つであった。
小中学生において2014年と比較して、「肉と魚のバランスより」も、「魚介類が食べやすく調理されている事」や「好ましい味に調理されている事」への期待が高まっている。【Q20】

3. 学校給食について

子供が好きな学校給食のメニュー 【トップ3一覧】(Q21)

- 子供が好きな学校給食のメニューを一覧にすると、以下のようになる。
【貝類】や【軟体類】、【水産練り製品】は1位のメニューであっても20%台と低めである。
また、【魚類】以外のメニューは、「好きなメニューはない」の回答が2割を超えており、あまり好まれていない傾向がみられる。
小中学生において2014年と比較すると、【軟体類】【水産練り製品】の「好きなメニューはない」の回答は2023年は10pt以上増加している。(一覧表の数値は、今回調査全ベースの数値。2014年比較時の数値は異なる)

	1位	2位	3位	
魚類	揚げ物	焼きもの	調味焼き	好きなメニューはない
	73.6%	47.2%	44.7%	6.3%
小魚類	揚げ物	焼きもの	ご飯類	好きなメニューはない
	37.3%	21.0%	14.4%	26.6%
貝類	スープ・汁物	ご飯類	揚げ物	好きなメニューはない
	22.1%	16.8%	16.5%	34.3%
軟体類	揚げ物	炒め物	ご飯類	好きなメニューはない
	24.1%	13.2%	11.9%	38.8%
水産練り製品	煮物	揚げ物	炒め物	好きなメニューはない
	24.6%	24.1%	12.5%	28.4%

(n=606)

4. 「さかなの日」について

「さかなの日」に期待する事

- 「魚のセールやフェアの開催」が58.4%で最も高く、「魚料理の紹介」(36.2%)が続く。魚を購入する際の優先順位で上位の「価格」「調理の簡便さ」や、魚類を料理する事が「嫌い」という回答が3割台半ばであった点などが反映されている結果となっている。【Q14】

		全体	正規の勤め	パート・アルバイト	専業主婦(無職)
1位	魚のセールやフェアの開催	58.4%	51.9%	59.3%	62.8%
2位	魚料理の紹介	36.2%	34.6%	38.6%	36.4%

- 就業形態別では、パート・アルバイトの方は上述の1,2位を除く多くの期待項目で他の就業形態を下回っている。【Q14】

まとめと課題

- パート・アルバイトの方は、「さかなの日」に期待することの数値が他の就業形態よりも低く世帯収入や家事時間に余裕がないなどの影響が出ている事が窺える。

5. 魚食に対する自由意見

魚食に対する自由意見(記述式回答)

- ポジティブな内容は「魚を食べる事は好き」「栄養価が高い」「からだに良い」といった回答が挙げられている。しかしながら、「骨や調理が面倒」「価格が高い」といった懸念点と併せた回答が多い。【Q15】
- ネガティブな内容は「調理法が少ない、わからない」「調理が面倒」「骨を取るのが面倒で食べにくい(食べづらい)」「価格が高い」などの回答が多く挙げられている。【Q15】
- 「スーパーに行くと限られたものしかない」「魚屋さんなら捌いてもらうのも頼みやすいが、スーパーだとそれがしにくい」など、スーパーの魚の品揃えや対応についての要望も挙げられている。【Q15】

まとめと課題

- スーパーでの魚の品揃えの強化や、魚を捌くサービスなどを対応できる店舗の増加など、いろいろな魚料理を気軽に調理でき、食べられるような対応が求められている。「調理の簡便化」や「食べやすく加工する事」、「魚の調理法の普及活動」など、より魚料理を取り入れやすくなるような改良やPR施策が効果的であると推測される。

調査結果

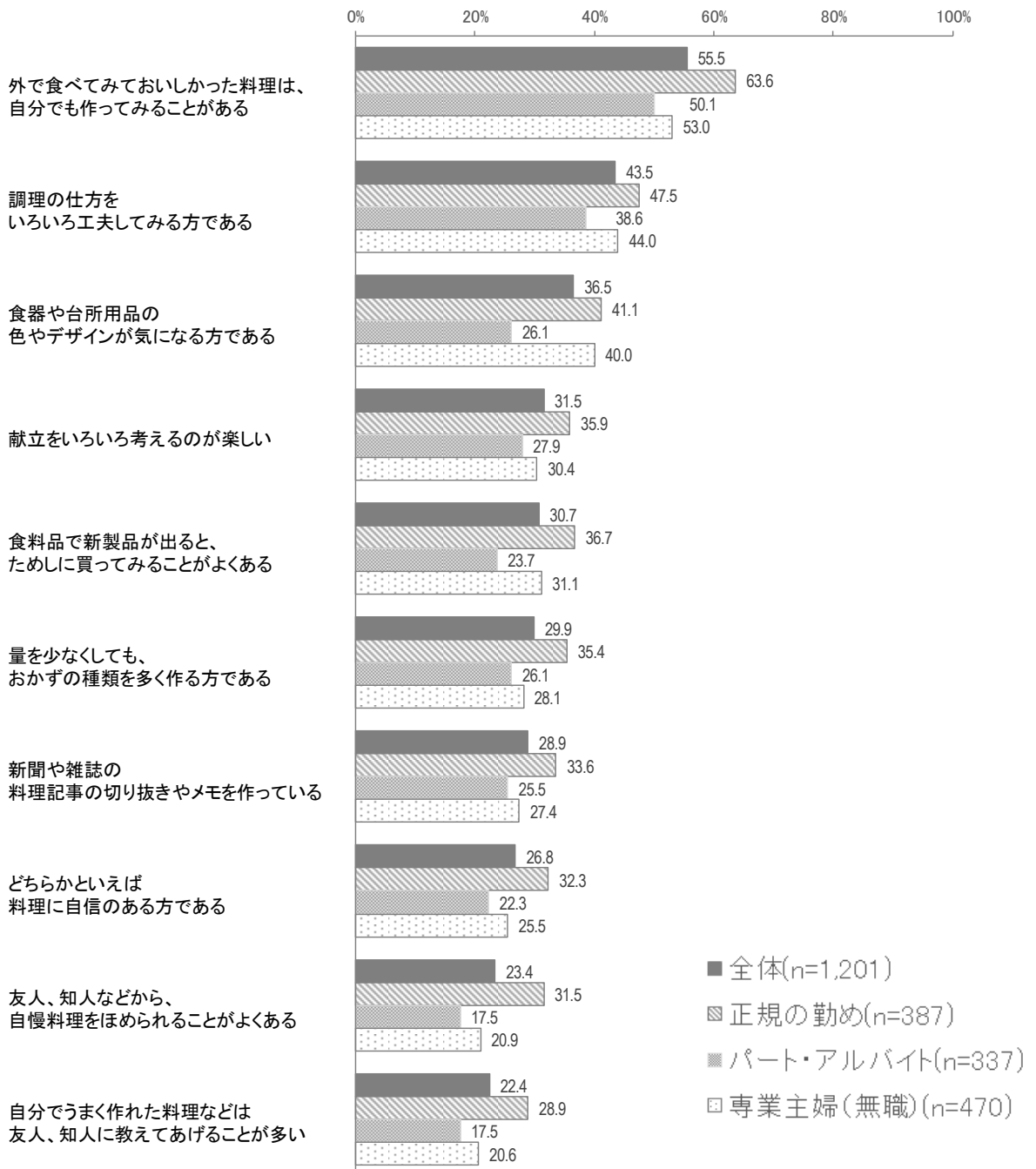
1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-1. 食事・料理に関する意識・態度

- 「外で食べてみておいしかった料理は、自分でも作ってみる事がある」が最も高く、「調理の仕方をいろいろ工夫してみる方である」「食器や台所用品の色やデザインが気になる方である」が続く。
- 就業形態別では、正規の勤めをされている方が多くの項目で他の就業形態と比較して高く、パート・アルバイトの方は低い。

Q1. 食事・料理に関する意識・態度<あてはまるもの>【母親が回答】

【就業形態別】



※全体の値を基準に降順並び替え

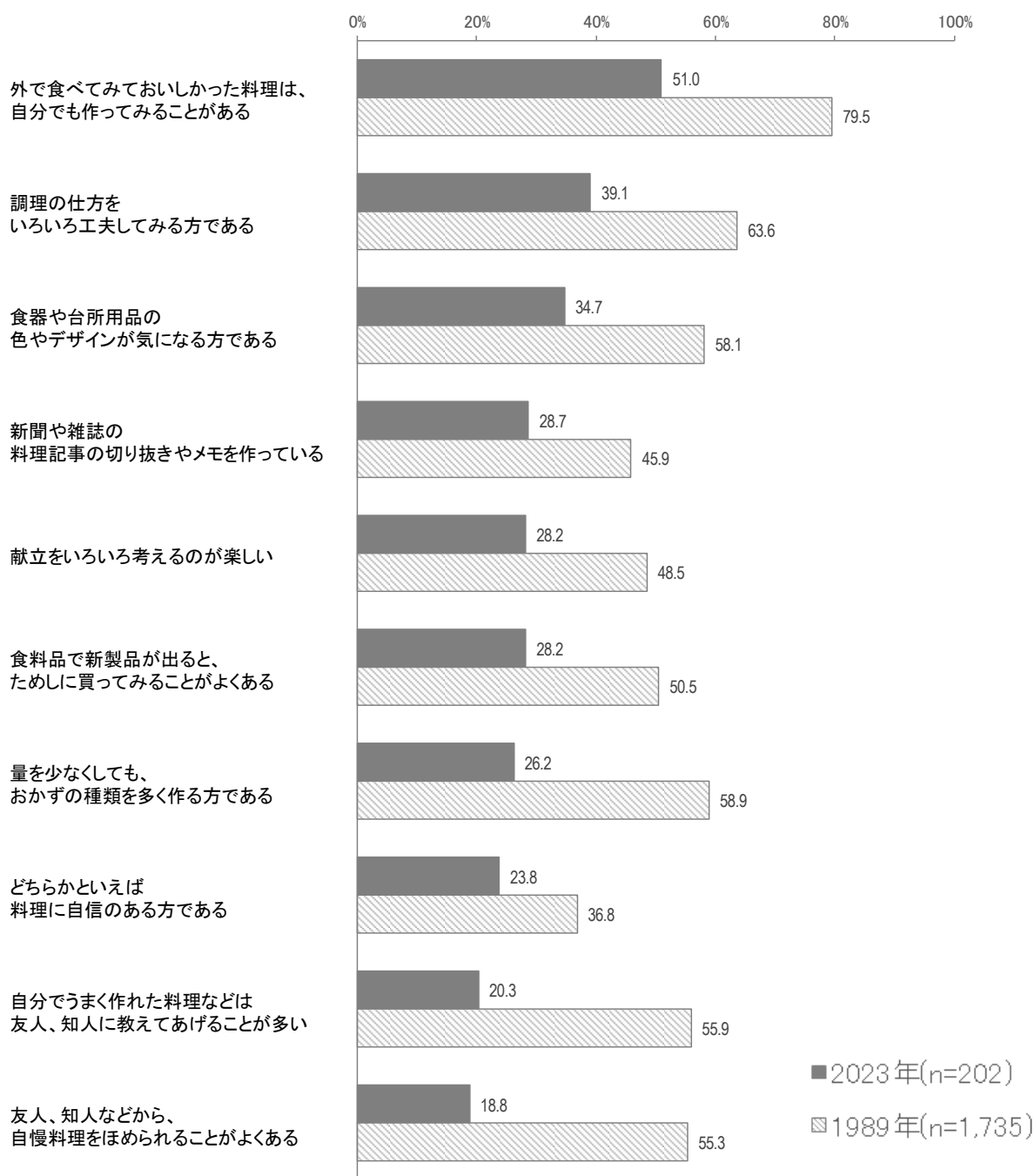
Q1 以下に挙げる各項目について、あなたご自身があてはまると思いますか。/「あてはまると思う」スコア(各SA)

1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-1. 食事・料理に関する意識・態度(※2023年:小学校高学年ベースにて比較)

- 全ての項目において、1989年を大きく下回る。その中でも、「量を少なくしても、おかずの種類を多く作る方である」「自分でうまく作れた料理などは友人、知人に教えてあげる事が多い」「友人、知人などから、自慢料理をほめられる事がよくある」は1989年は上位であったが、2023年は大きく減少し、下位になっている。
- 食事や料理に関する意識・態度は、いずれも大きく低下しており、料理に関して挑戦したり、友人や知人との関りが少なくなっている事が読み取れる。

Q1. 食事・料理に関する意識・態度<あてはまるもの>【母親が回答】



※2023年の値を基準に降順並び替え

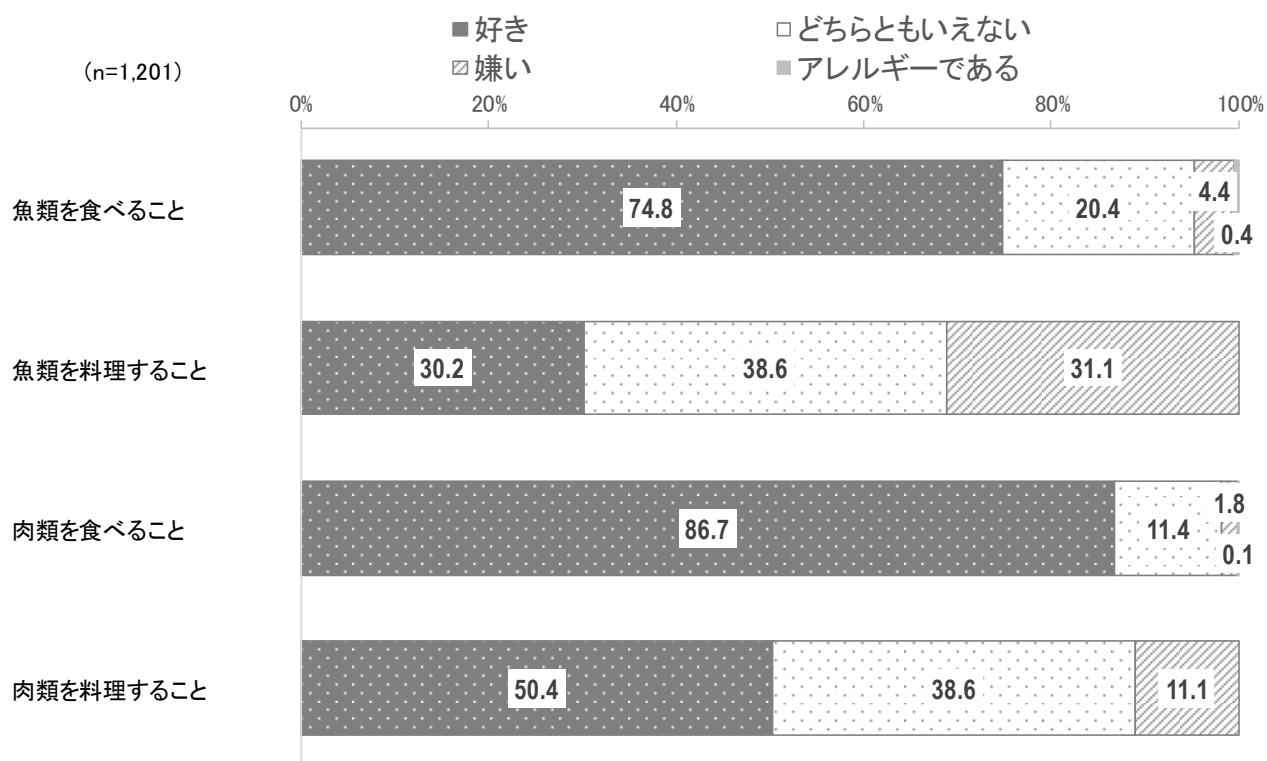
Q1 以下に挙げる各項目について、あなたご自身があてはまると思いますか。/「あてはまると思う」スコア(各SA)
【小学校高学年ベース】

1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-2. 家族が魚類/肉類を好きか

- 魚類を食べる事が「好き」と回答したのは74.8%。一方で料理をする事が「好き」と回答したのは30.2%。肉類と比較して、食べる事、料理する事共に低い。
- 肉類を食べる事が「好き」と回答したのは86.7%、料理をする事が「好き」と回答したのは50.4%。
- 魚も肉も食べる事が嫌いでない割合は9割を超えた。しかしながら料理となると魚は3割、肉は1割が嫌いと回答。

Q2. 家族が魚類/肉類を好きか【母親が回答】



Q2 あなたのご家庭は、「魚類」や「肉類」を食べたり料理したりする事が好きですか。以下の選択肢の中から最もあてはまるものをお選びください。(各SA)

1-1. 家庭での食生活全般について

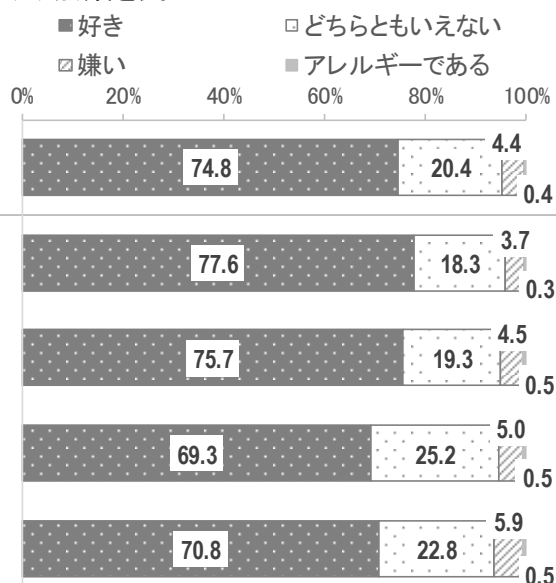
1-1-2. 家族が魚類/肉類を好きか

- 魚類を食べる事が「好き」の回答について、未就学児・小学校低学年は他学齢より高い。
- 肉類を食べる事が「好き」の回答について、小学校低学年は他学齢を上回る。
- 魚類、肉類いずれも料理する事が「好き」の回答について、中学生は他学齢を下回る。

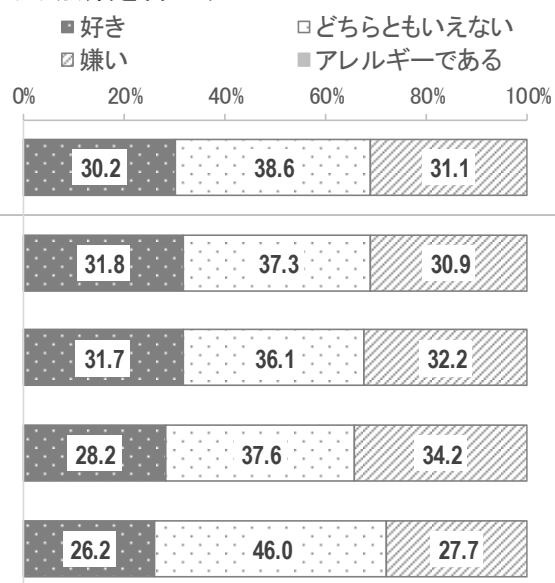
Q2. 家族が魚類/肉類を好きか【母親が回答】

【学齢別】

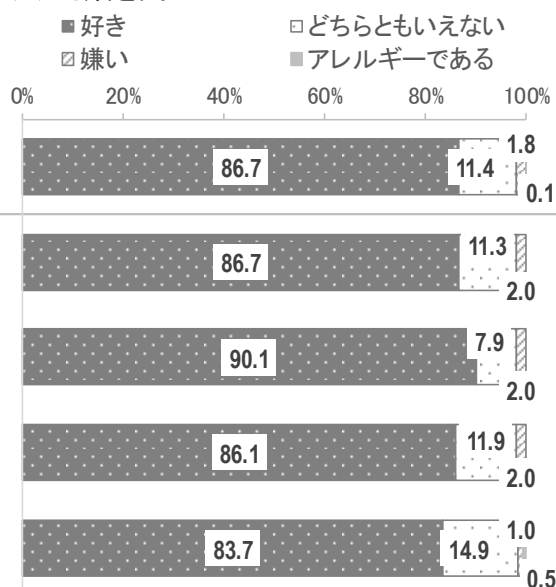
(1) 魚類を食べること



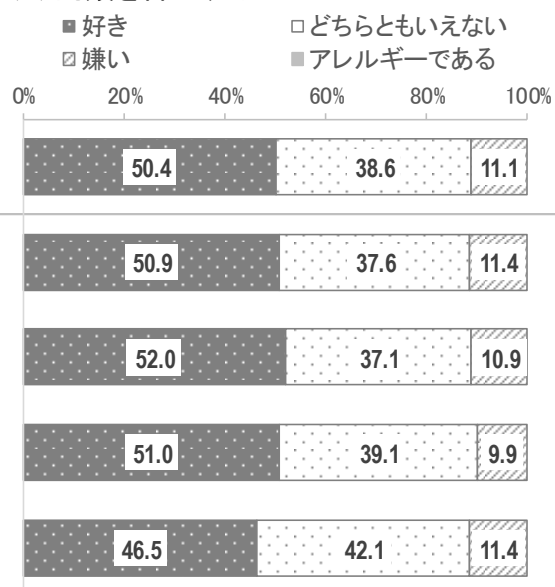
(2) 魚類を料理すること



(3) 肉類を食べること



(4) 肉類を料理すること



Q2 あなたのご家庭は、「魚類」や「肉類」を食べたり料理したりする事が好きですか。以下の選択肢の中から最もあてはまるものをお選びください。(各SA)

1-1. 家庭での食生活全般について

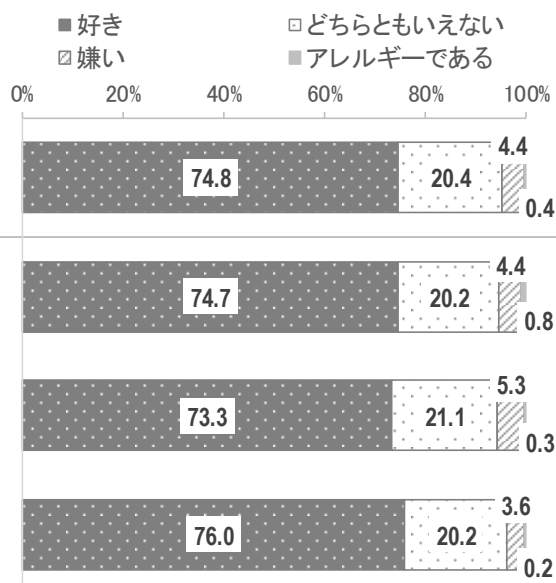
1-1-2. 家族が魚類/肉類を好きか

- 魚類を食べる事が「好き」の回答について、いずれの就業形態においても大きな差はみられない。
- 肉類を食べる事が「好き」の回答について、専業主婦の方が他の就業形態と比較して高い。
- パート・アルバイトの方は、魚や肉に関わらず「料理する事」が好きではない傾向が見られる。

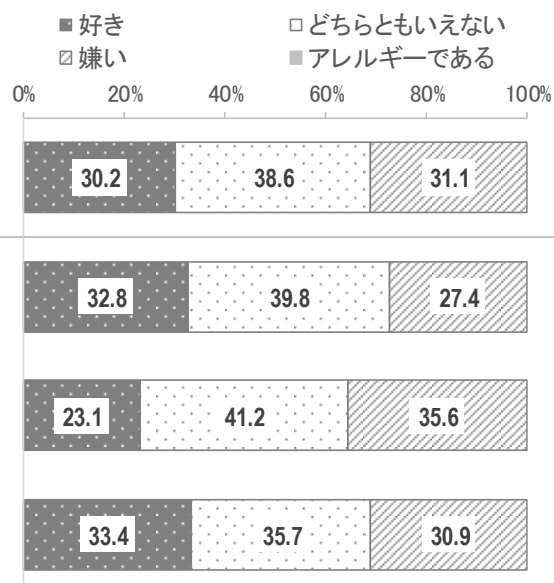
Q2. 家族が魚類/肉類を好きか【母親が回答】

【就業形態別】

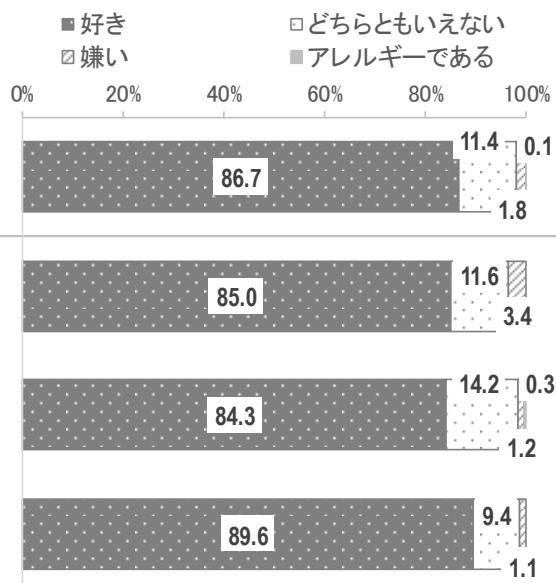
(1) 魚類を食べること



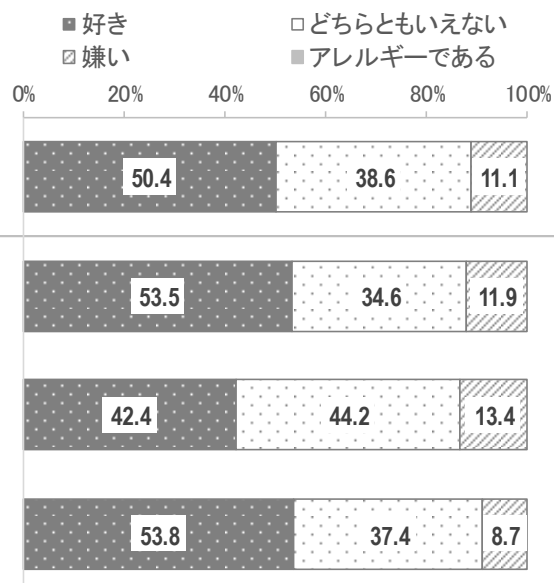
(2) 魚類を料理すること



(3) 肉類を食べること



(4) 肉類を料理すること



Q2 あなたのご家庭は、「魚類」や「肉類」を食べたり料理したりする事が好きですか。以下の選択肢の中から最もあてはまるものをお選びください。(各SA)

1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-2. 家族が魚類/肉類を好きか(※2023年:都市部ベースにて比較)

- 魚類を食べる事について、「好き」と回答したのは、75.2%。2012年と同程度。
- 肉類を食べる事について、「好き」と回答したのは、86.5%。2012年と比較して6.9pt低下。
- 魚より肉派の方が多い事が窺える。

Q2. 家族が魚類/肉類を好きか【母親が回答】

(1)魚類を食べること

■好き □どちらともいえない ▨嫌い ■アレルギーである



(2)肉類を食べること

■好き □どちらともいえない ▨嫌い ■アレルギーである



Q2 あなたのご家庭は、「魚類」や「肉類」を食べたり料理したりする事が好きですか。以下の選択肢の中から最もあてはまるものをお選びください。(各SA)【都市部ベース】

※2012年プレ問1「ご家族の方は魚介類は好きですか。」の回答「好きなほう」を2023年「好き」として比較。

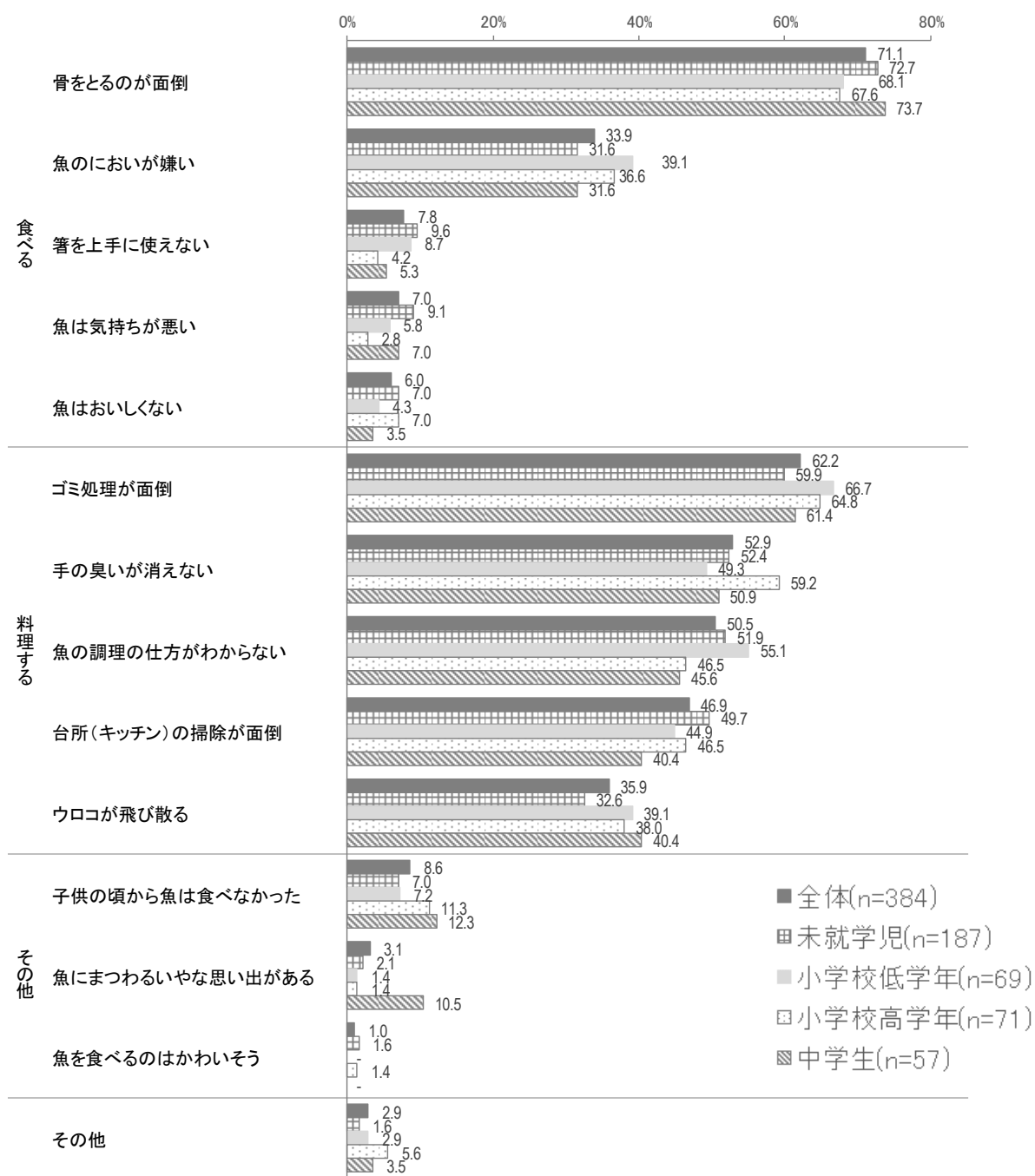
1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-3. 魚料理を食べたり料理したりする事が嫌いな理由（学齢別）

- 【食べる】【料理する】共に手間がかかる骨取り、ゴミ処理等が嫌いな理由の上位であり、【料理する】事で具体的に半数程度が嫌いな理由として多く回答された。
- 学齢別では、「魚のにおいが嫌い」は小学校低学年、「手の臭い」は小学校高学年、「魚にまつわるいやな思い出がある」は中学生でそれぞれ高い。

Q3. 魚料理を食べたり料理したりする事が嫌いな理由【母親が回答】

【学齢別】



※カテゴリーごとに全体の値を基準に降順並び替え

Q3 あなたのご家庭が「魚類」を食べたり料理したりする事が嫌いな理由は何ですか。以下の選択肢の中からあてはまるものを全てお選びください。(MA)【魚類を食べたり料理したりする事が嫌いな人ベース】

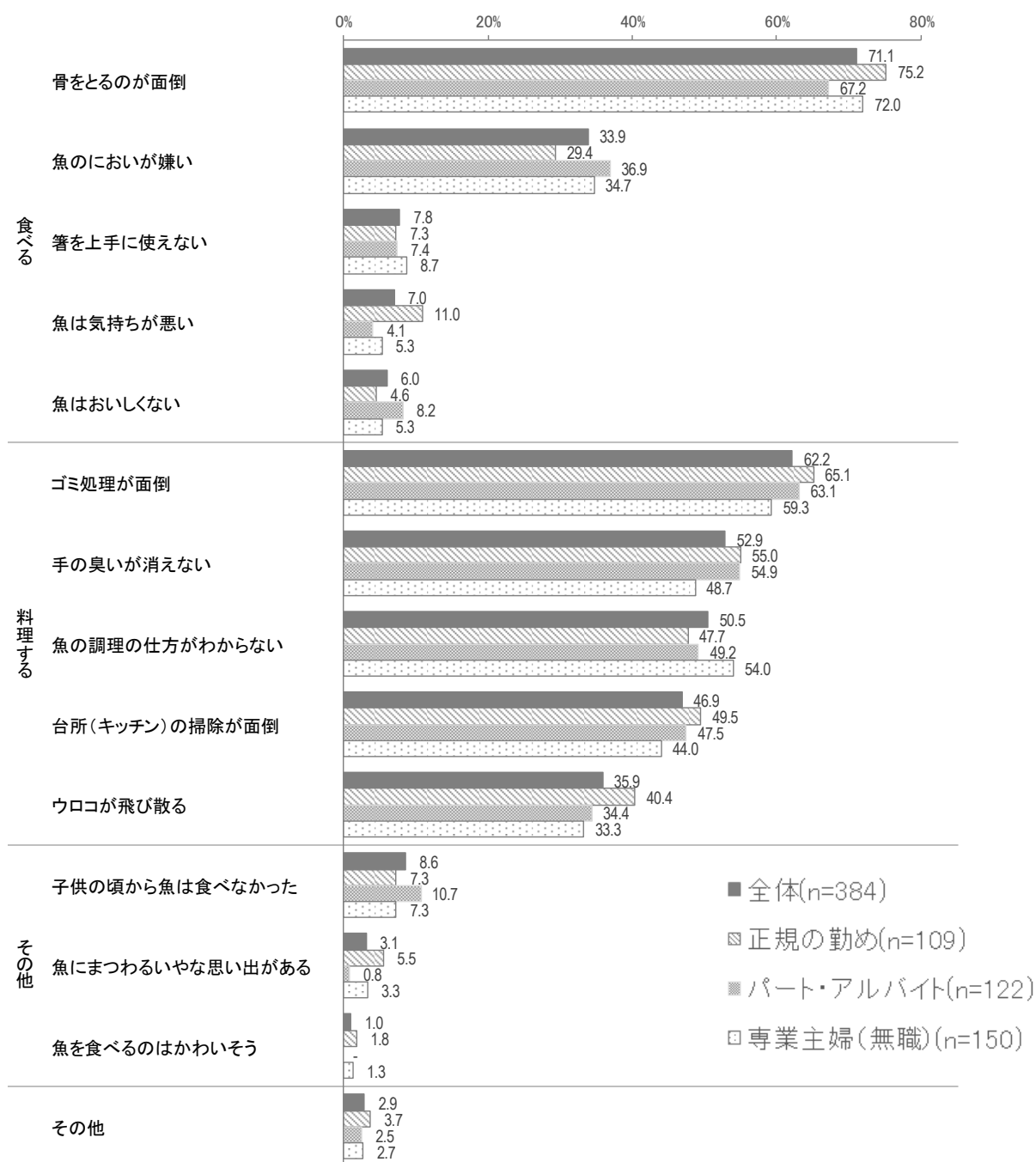
1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-3. 魚料理を食べたり料理したりする事が嫌いな理由（就業形態別）

- 【料理する】では、正規の勤めの方が「ゴミ処理」「手の臭い」「台所の掃除」「ウロコが飛び散る」が他の就業形態を上回っている。
- 全体としては大差がないが、就業形態によって、手間、におい、調理の仕方などで数ポイントの差が見られた。フルタイム等の時間の差が手間のかからない簡便さを求める傾向が見られた結果と考えられた。

Q3. 魚料理を食べたり料理したりする事が嫌いな理由【母親が回答】

【就業形態別】



※カテゴリーごとに全体の値を基準に降順並び替え

Q3 あなたのご家庭が「魚類」を食べたり料理したりする事が嫌いな理由は何ですか。以下の選択肢の中からあてはまるものを全てお選びください。(MA)【魚類を食べたり料理したりする事が嫌いな人ベース】

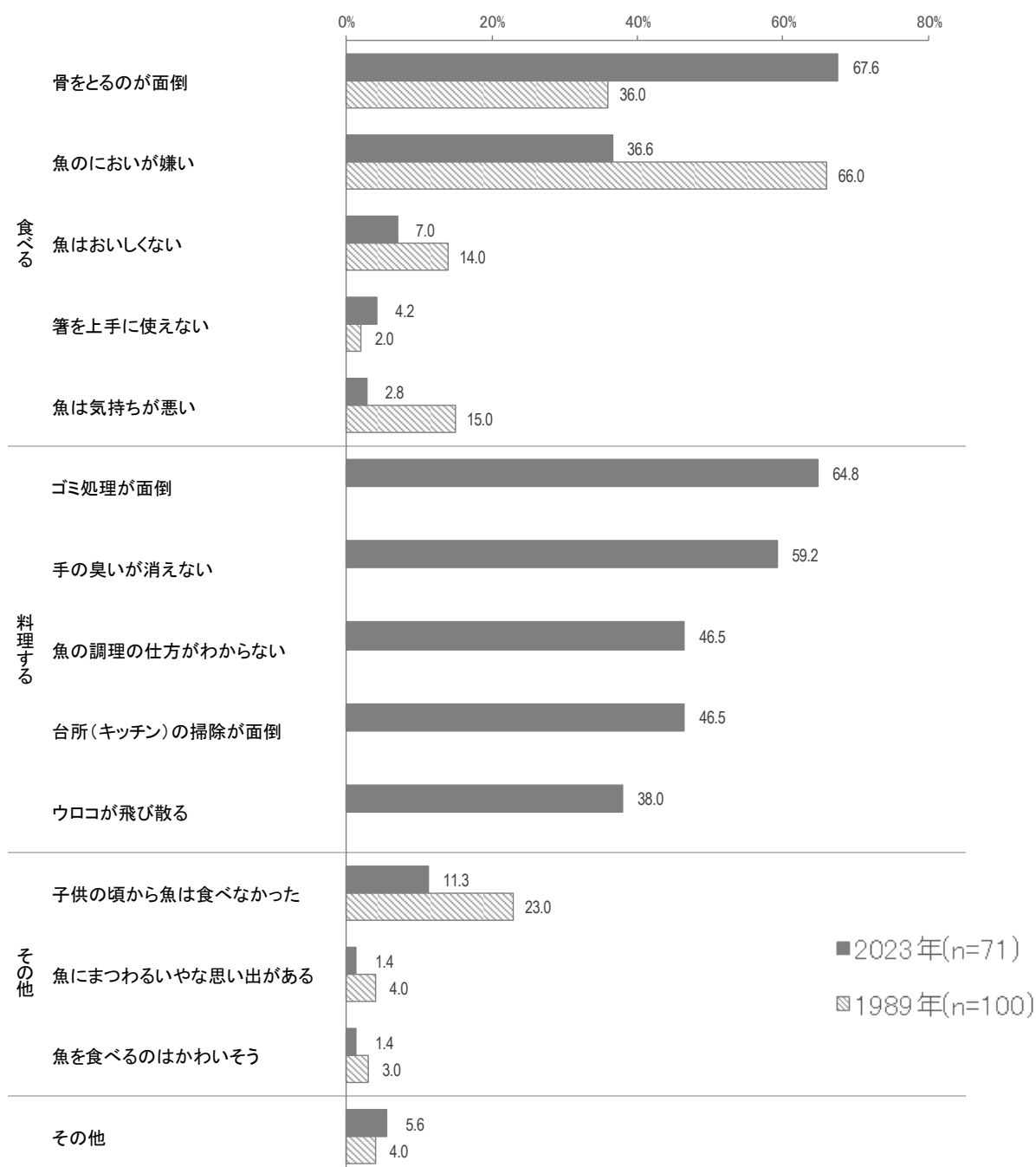
1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-3. 魚料理を食べたり料理したりする事が嫌いな理由

(※2023年：小学校高学年ベースにて比較)

- 「骨をとるのが面倒」は1989年の36.0%から2023年の67.6%と大きく増加している。
- 一方、「魚のにおいが嫌い」「魚は気持ちが悪い」「子供の頃から魚は食べなかった」は、いずれも2023年は大きく低下している。
- 魚のにおいが嫌い、魚が気持ち悪い、魚は美味しくないは、1989年に比べて2023年は、半分以上大きく改善が見られた。鮮度改善のほか、消費者が好まれる販売形態へ変化してきたことが主な原因と推測される(丸魚から切り身や生魚から冷凍品等)

Q3. 魚料理を食べたり料理したりする事が嫌いな理由【母親が回答】



※カテゴリーごとに2023年の値を基準に降順並び替え/「料理する」の各項目は1989年非聴取

Q3 あなたのご家庭が「魚類」を食べたり料理したりする事が嫌いな理由は何ですか。以下の選択肢の中からあてはまるものを全てお選びください。(MA)【小学校高学年/魚類を食べたり料理したりする事が嫌いな人ベース】

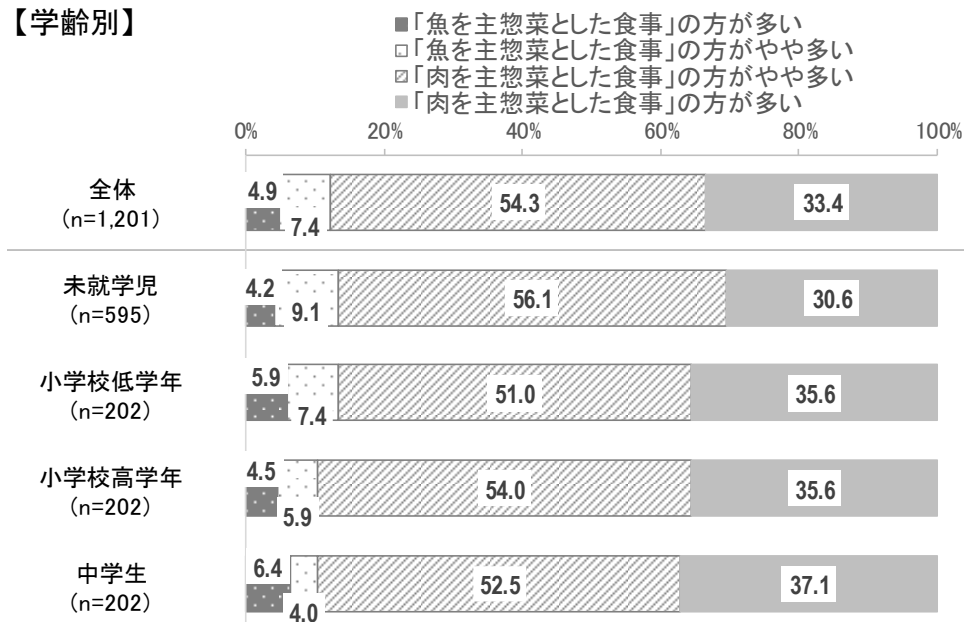
1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-4. 主惣菜として魚と肉のどちらが多いか

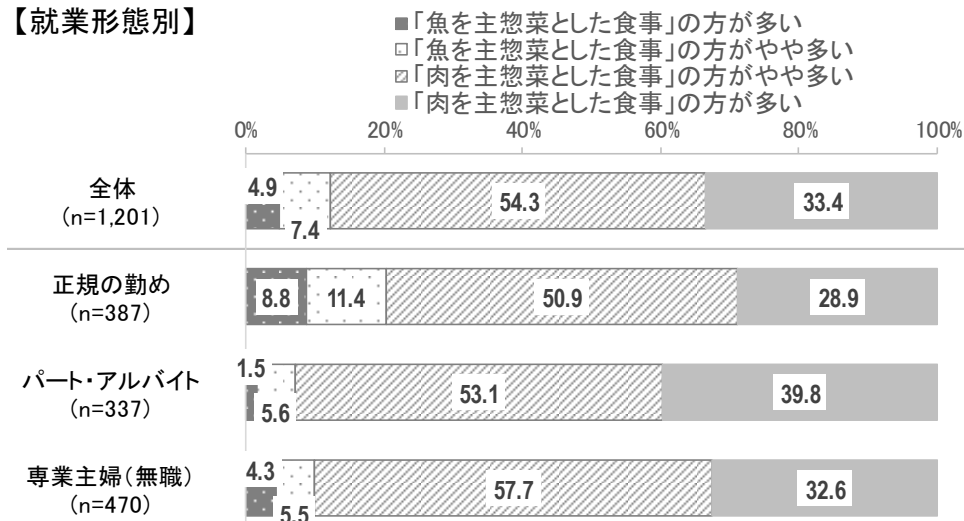
- 「魚を主惣菜として多く食べている人」の回答は12.3%、「肉を主惣菜として多く食べている人」が87.7%と肉派が際立って多い。
- 学齢別では、大きな差はみられない。
- 就業形態別では、「魚を主惣菜として多く・やや多く食べている人」の回答は、正規の勤めの方が他の就業形態より2倍以上多い。平均給与の差等が関係していると考えられた。

Q4. 主惣菜として魚と肉のどちらが多いか【母親が回答】

【学齢別】



【就業形態別】



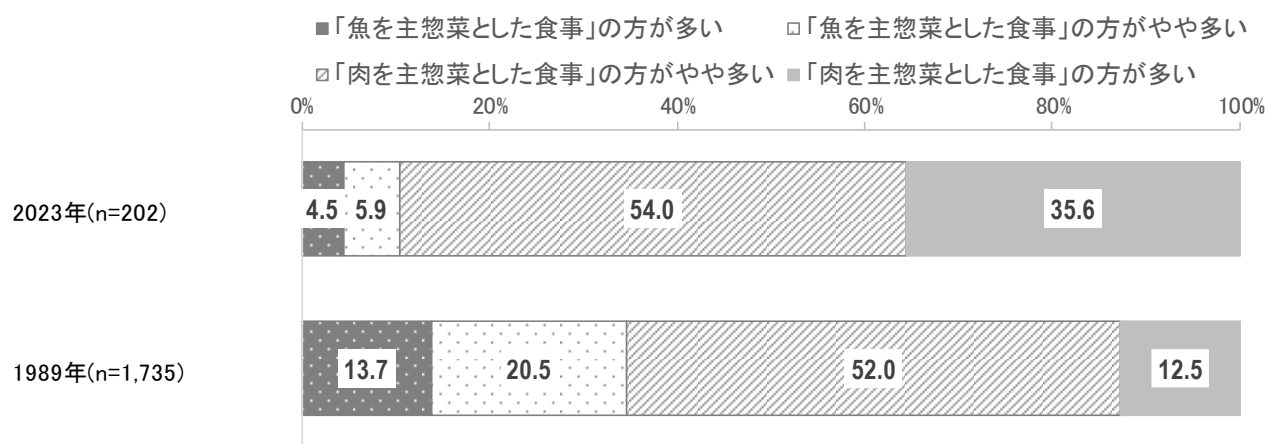
Q4 あなたのご家庭のふだんの夕食について伺います。「魚を主惣菜とした食事」と「肉を主惣菜とした食事」を比べるとどちらが多いですか。以下の選択肢の中から最もあてはまるものをお選びください。(SA)

1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-4. 主惣菜として魚と肉のどちらが多いか(※2023年:小学校高学年ベースにて比較)

- 「魚を主惣菜として多く食べている人」の割合は1989年の34.2%から2023年の10.4%に1/3以下に大きく減っている。その分、肉を主惣菜として多く食べている人の割合が増えている。

Q4. 主惣菜として魚と肉のどちらが多いか【母親が回答】



※1989年は「無回答」サンプルあり

Q4 あなたのご家庭のふだんの夕食について伺います。「魚を主惣菜とした食事」と「肉を主惣菜とした食事」を比べるとどちらが多いですか。以下の選択肢の中から最もあてはまるものをお選びください。(SA)【小学校高学年ベース】

1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-5. 主惣菜として魚が多い理由/主惣菜として肉が多い理由

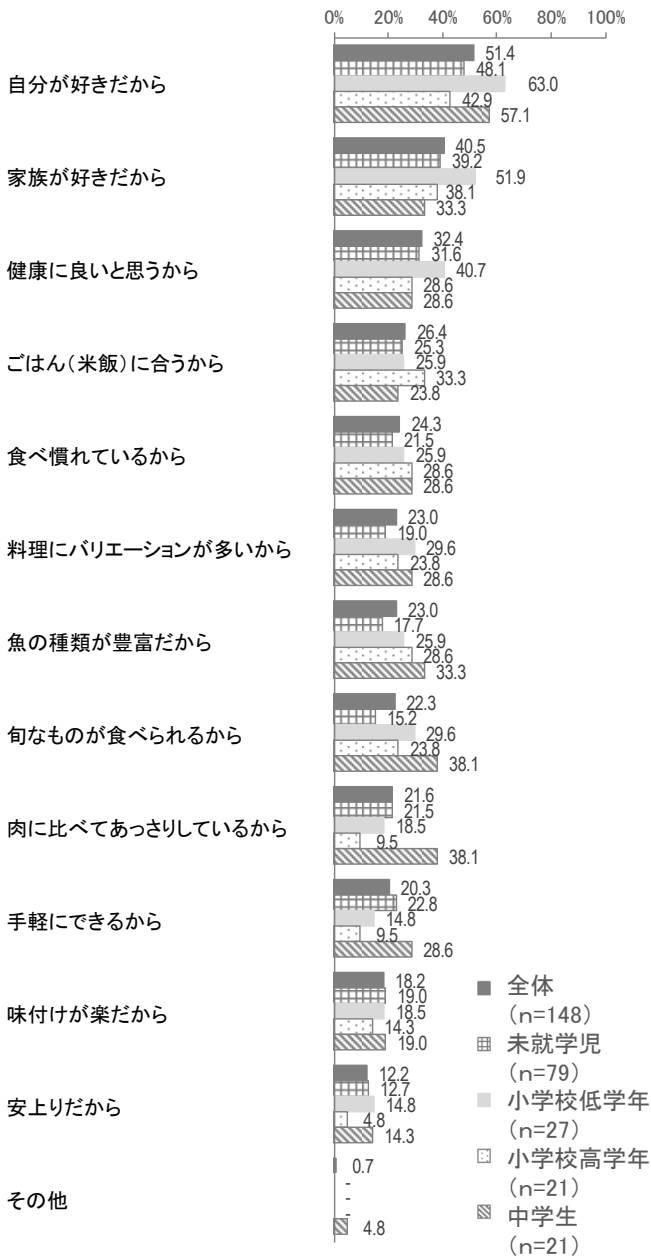
- 魚を主惣菜とした食事が多い理由は、「自分が好きだから」が最も高く、「家族が好きだから」と続く。
- 肉を主惣菜とした食事が多い理由は、「家族が好きだから」「手軽にできるから」が上位に挙がる。
- 魚では「健康に良い」「ごはんに合う」が肉より高く、肉では、「手軽」「料理のバリエーションが多い」は魚より多い。

Q5. 主惣菜として魚が多い理由【母親が回答】

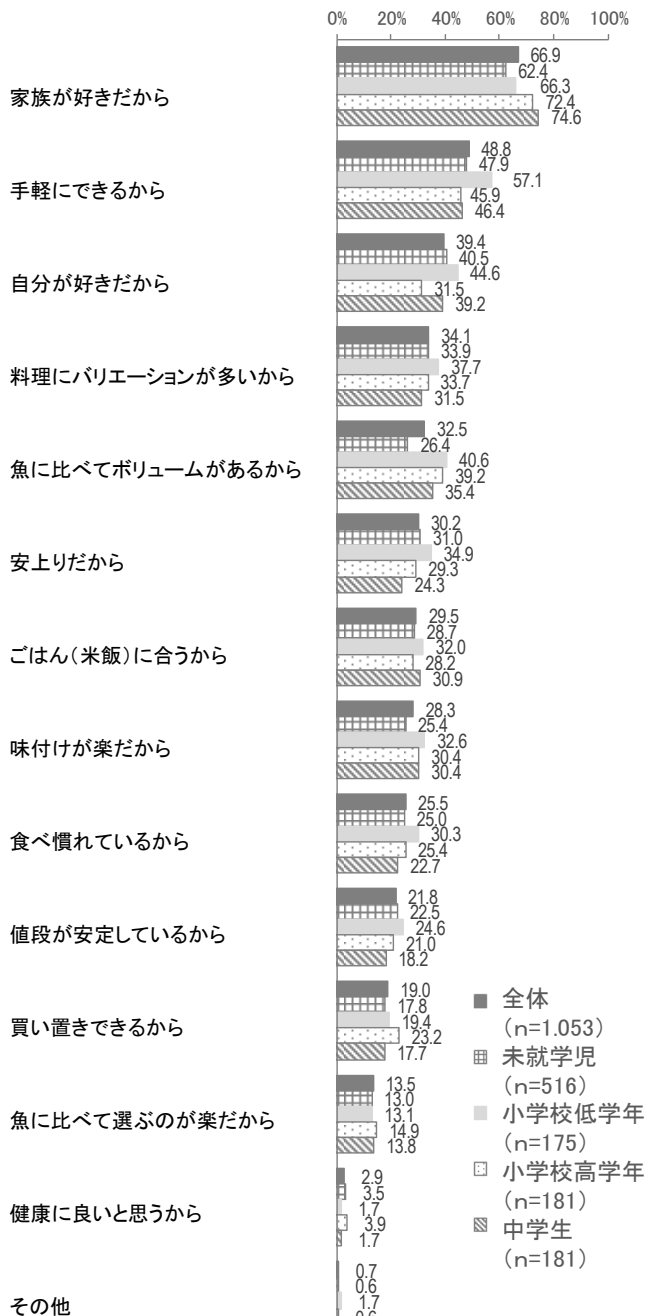
Q6. 主惣菜として肉が多い理由【母親が回答】

【学齢別】

「魚を主惣菜とした食事」の方が多い理由



「肉を主惣菜とした食事」の方が多い理由



※全体の値を基準に降順並び替え/30s未満は参考値

※全体の値を基準に降順並び替え

Q5 「魚を主惣菜とした食事」の方が多い理由は何ですか。以下の選択肢の中からあてはまるものを全てお選びください。(MA) 【魚を主惣菜とした食事の方が多く人ベース】

Q6 「肉を主惣菜とした食事」の方が多い理由は何ですか。以下の選択肢の中からあてはまるものを全てお選びください。(MA) 【肉を主惣菜とした食事の方が多く人ベース】

1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-5. 主惣菜として魚が多い理由/主惣菜として肉が多い理由

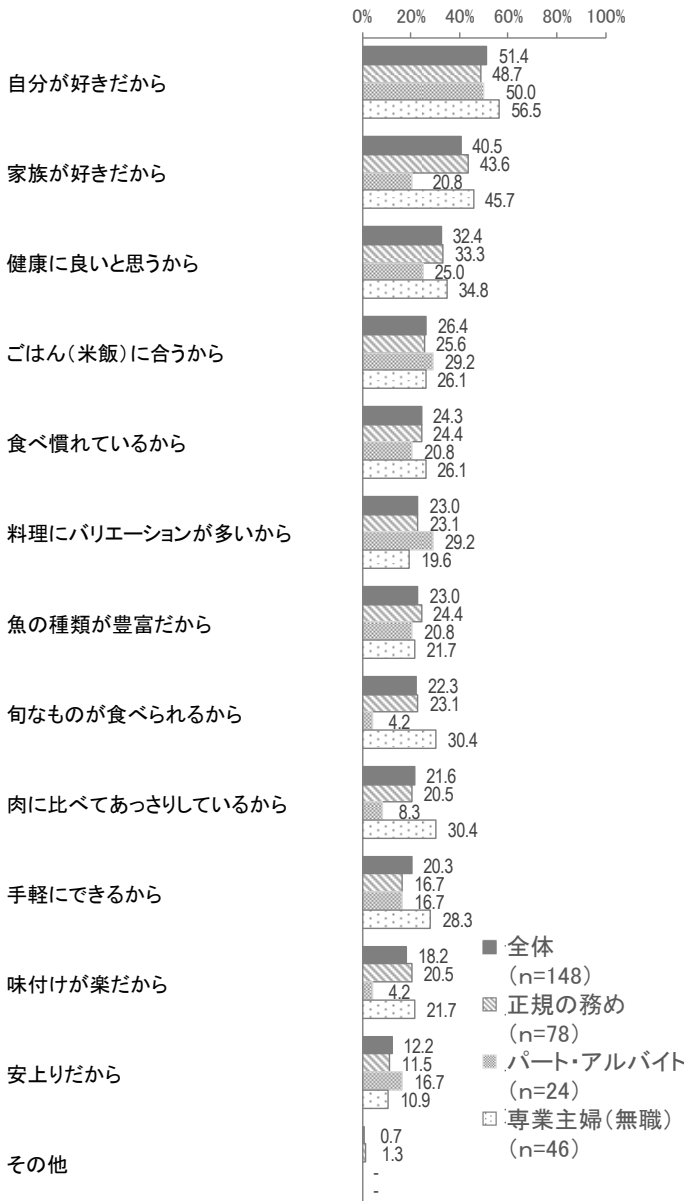
- 魚を主惣菜とした食事が多い理由について、就業形態別では、「自分が好きだから」「家族が好きだから」「旬なものが食べられるから」「肉に比べてあっさりしているから」「手軽にできるから」などで専業主婦の方が若干高い傾向が見られるも、パート・アルバイトがいくつかの理由で特異的に低くなっている。
- 肉を主惣菜とした食事が多い理由について、就業形態別でみると、魚ほど大差はないが、「手軽にできるから」は正規の勤めの方で、「料理にバリエーションが多いから」などは専業主婦の方で他の就業形態を上回る。

Q5. 主惣菜として魚が多い理由【母親が回答】

Q6. 主惣菜として肉が多い理由【母親が回答】

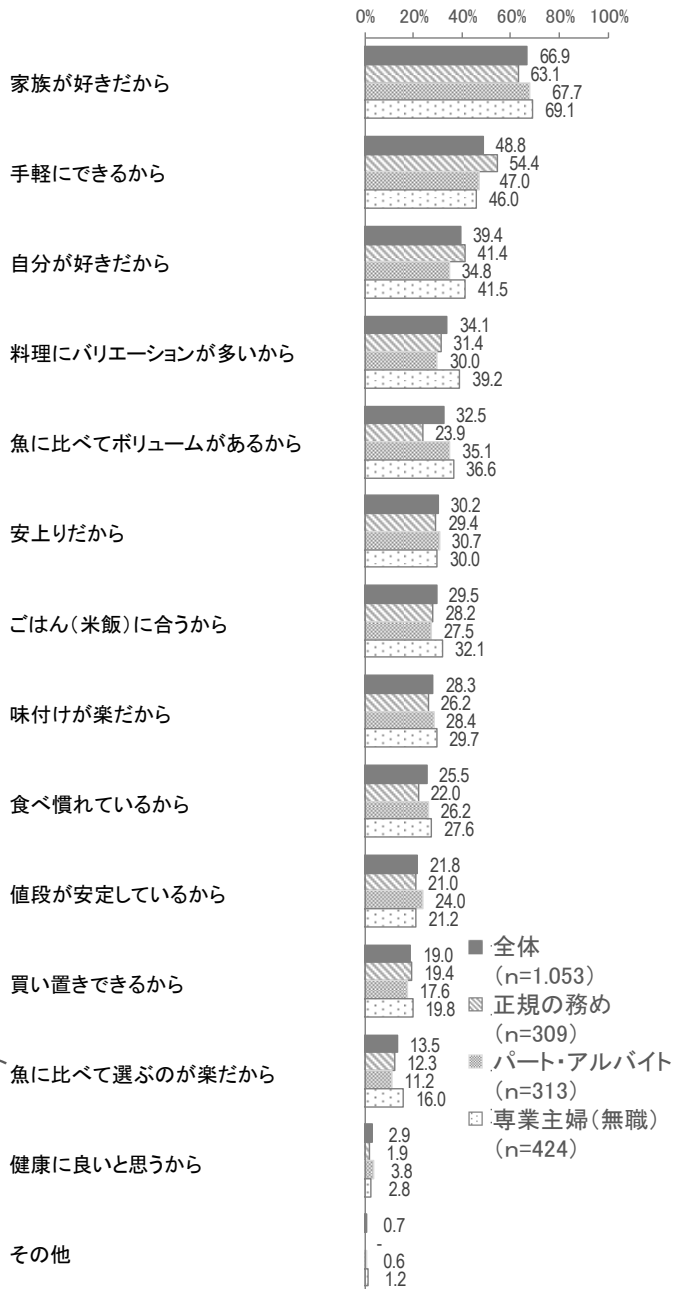
【就業形態別】

「魚を主惣菜とした食事」の方が多い理由



※全体の値を基準に降順並び替え/30s未満は参考値

「肉を主惣菜とした食事」の方が多い理由



※全体の値を基準に降順並び替え

Q5 「魚を主惣菜とした食事」の方が多い理由は何ですか。以下の選択肢の中からあてはまるものを全てお選びください。(MA)

【魚を主惣菜とした食事の方が多い方ベース】

Q6 「肉を主惣菜とした食事」の方が多い理由は何ですか。以下の選択肢の中からあてはまるものを全てお選びください。(MA)

【肉を主惣菜とした食事の方が多い方ベース】

1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-5. 主惣菜として魚が多い理由/主惣菜として肉が多い理由

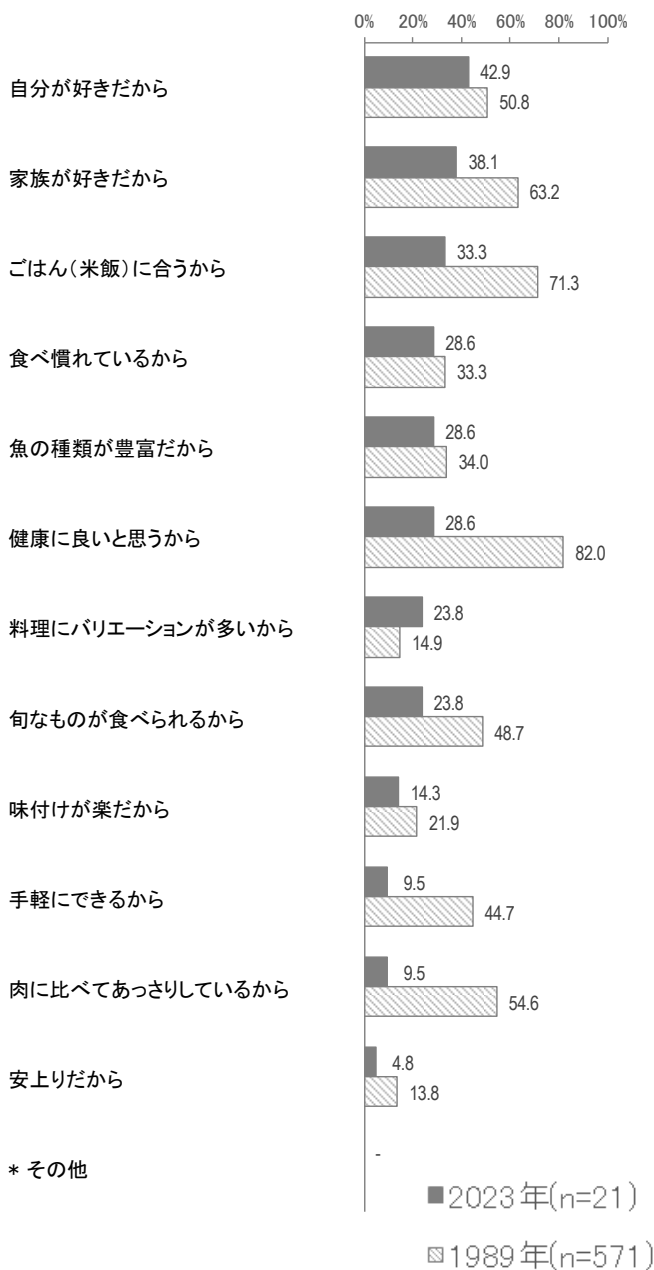
(※2023年:小学校高学年ベースにて比較)

- 肉と比較して、魚は1989年よりも全体的に意識が低くなっている傾向がみられた。特に「健康に良いと思うから」は、34年間で82.0%から28.6%へ大きく減少した。
- 「健康に良いと思うから」「ごはんに合うから」「手軽にできるから」「肉に比べてあっさりしているから」は1989年より大きく低下している。
- 2023年の肉を主惣菜とした食事が多い理由は、「家族が好きだから」が最も高く、「手軽にできるから」が続く。

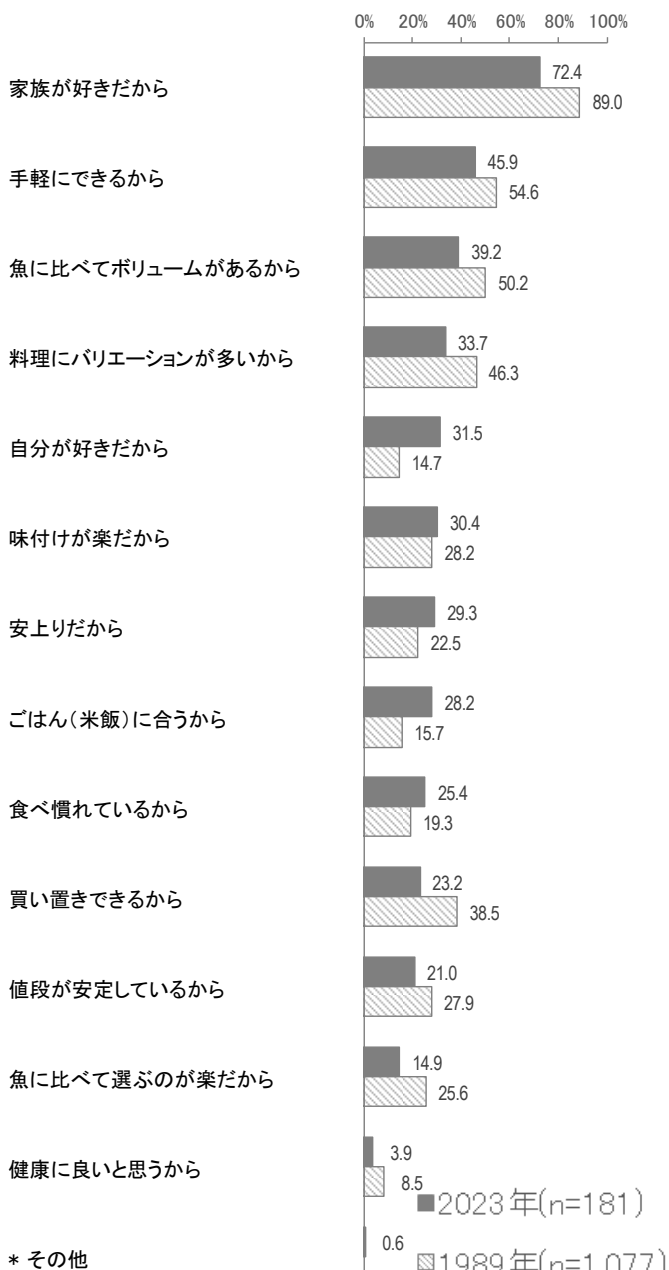
Q5. 主惣菜として魚が多い理由【母親が回答】

Q6. 主惣菜として肉が多い理由【母親が回答】

「魚を主惣菜とした食事」の方が多い理由



「肉を主惣菜とした食事」の方が多い理由



※2023年の値を基準に降順並び替え/「*」は1989年非聴取/30s未満は参考値

※2023年の値を基準に降順並び替え/「*」は1989年非聴取

Q5 「魚を主惣菜とした食事」の方が多い理由は何ですか。以下の選択肢の中からあてはまるものを全てお選びください。(MA)【小学校高学年/魚を主惣菜とした食事の方が多い人ベース】

Q6 「肉を主惣菜とした食事」の方が多い理由は何ですか。以下の選択肢の中からあてはまるものを全てお選びください。(MA)【小学校高学年/肉を主惣菜とした食事の方が多い人ベース】

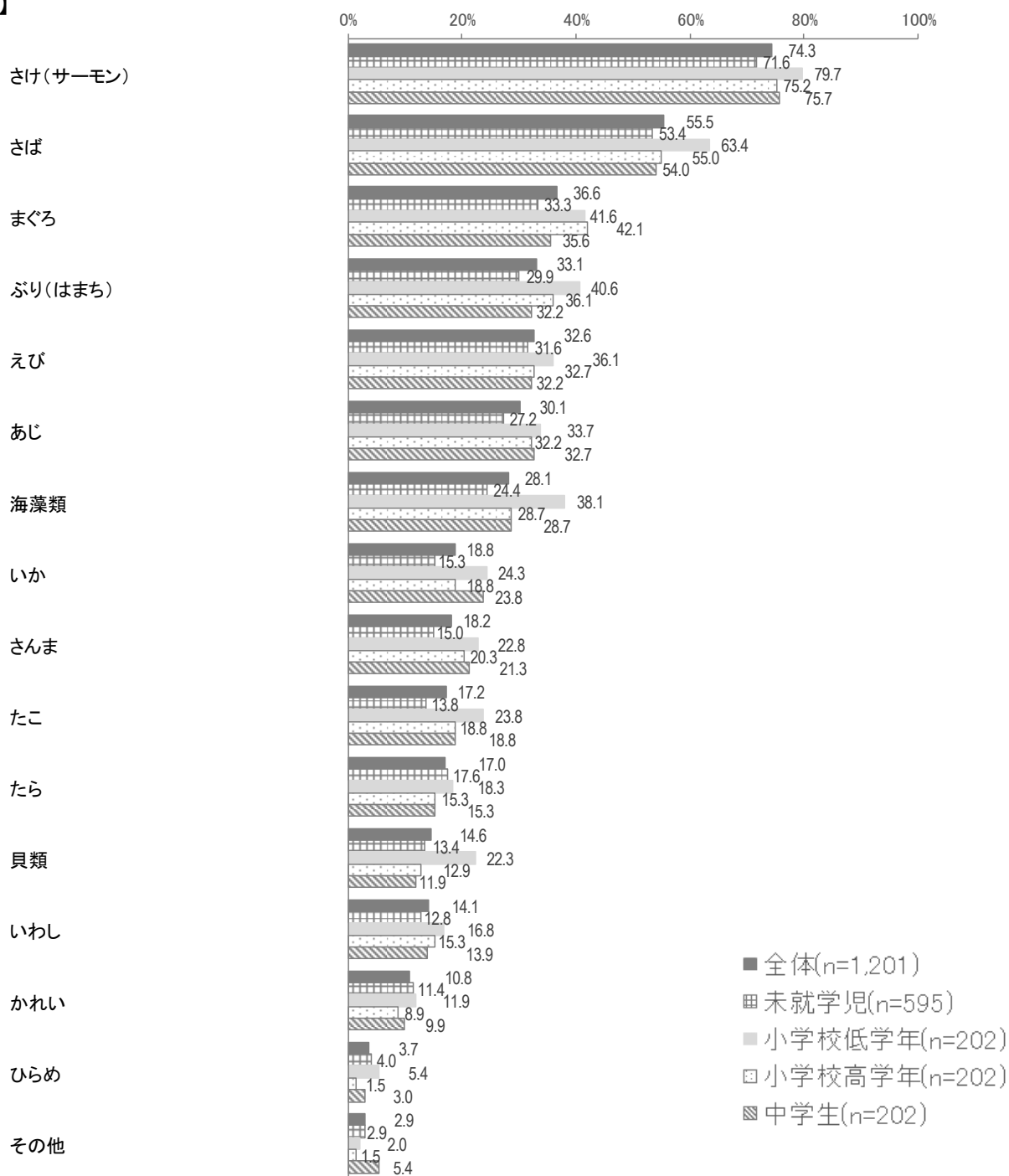
1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-6. 家庭でよく食べる魚介類の種類

- 「さけ(サーモン)」が74.3%で最も高く、「さば」が55.5%と続く。
- 上記に加え、「ぶり」「海藻類」「いか」「たこ」「貝類」などで小学校低学年が、「まぐろ」は小学校高学年でそれぞれ他学齢を上回る。ほとんどの品目において、小学校低学年がよく食べる割合が高かった。

Q7. 家庭でよく食べる魚介類の種類【母親が回答】

【学齢別】



※全体の値を基準に降順並び替え

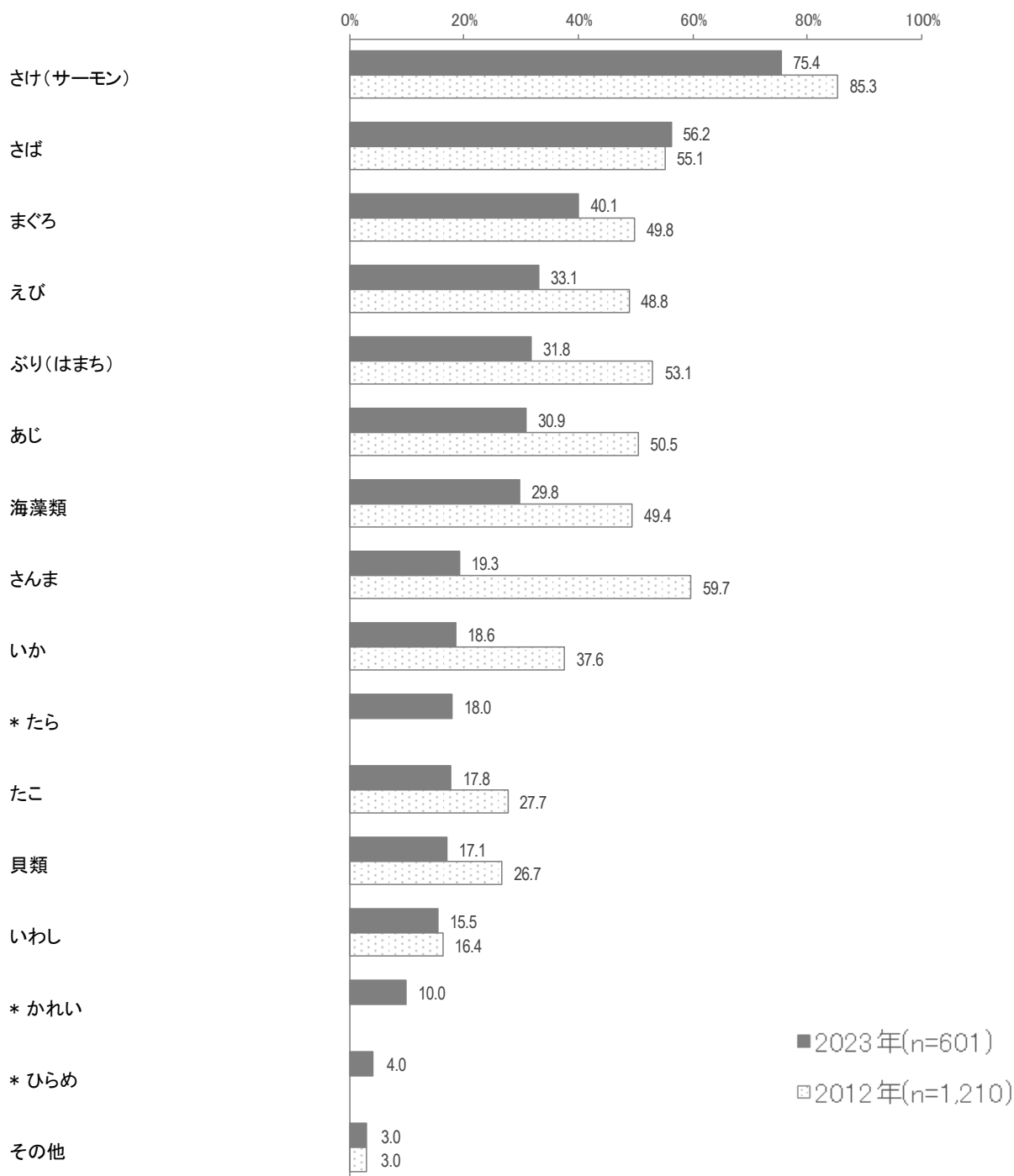
Q7 あなたのご家庭でよく食べる魚介類の種類をお答えください。以下の選択肢の中からあてはまるものを全てお選びください。(MA)

1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-6. 家庭でよく食べる魚介類の種類(※2023年:都市部ベースにて比較)

- ほとんどの項目において、2012年より低下しており、中でも「さんま」は59.7%から19.3%へ大きく低下。
- 2023年は「さけ」が最も高く、「さば」「まぐろ」と続く。
- 10年前は上位8品目を約半数がよく食べていたが、現在は上位2品目のみを半数が食べている。よく食べる魚種が減少している事がわかる。

Q7. 家庭でよく食べる魚介類の種類【母親が回答】



※2023年の値を基準に降順並び替え/「*」は2012年非聴取

Q7 あなたのご家庭でよく食べる魚介類の種類をお答えください。以下の選択肢の中からあてはまるものを全てお選びください。(MA)【都市部ベース】

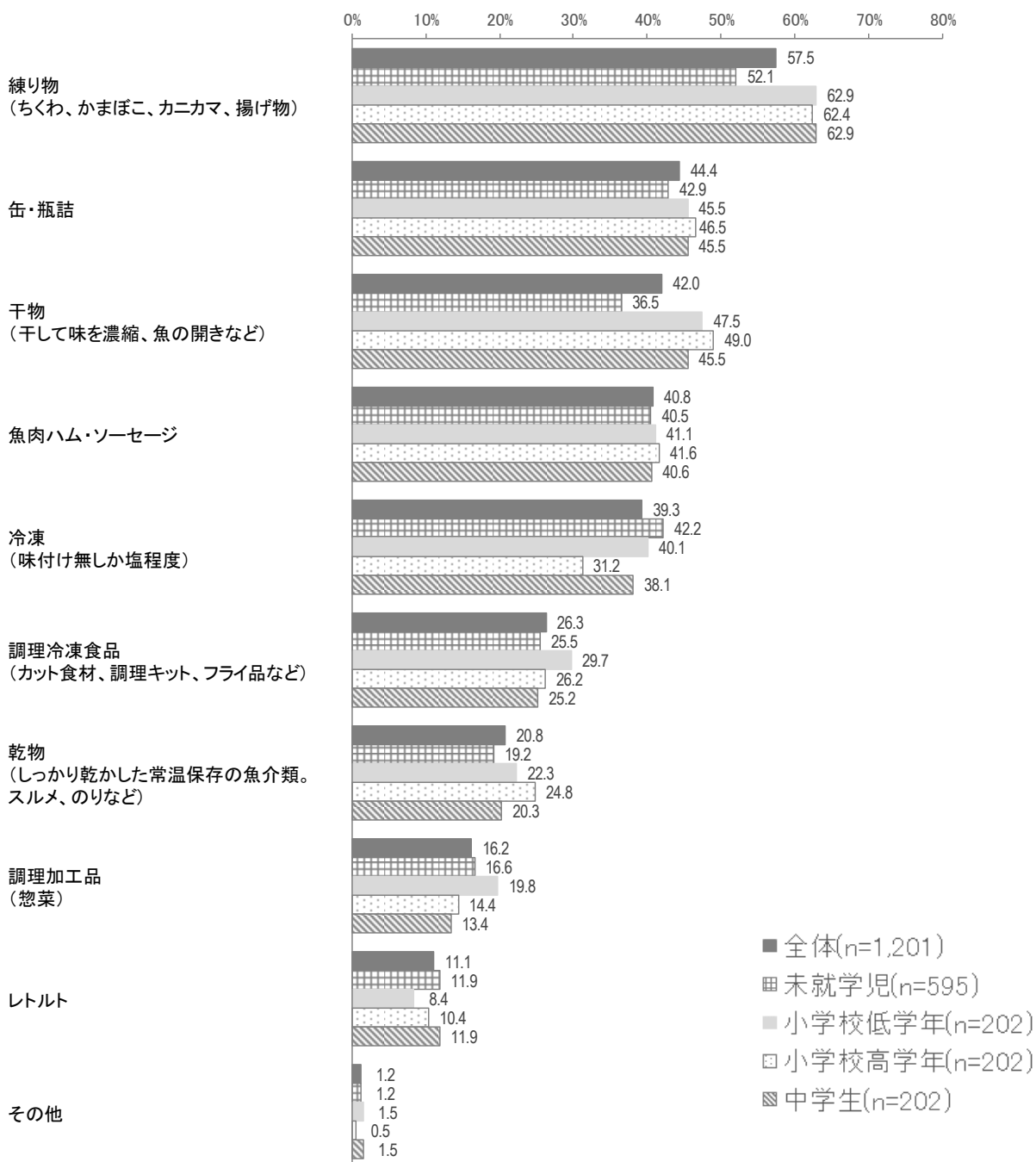
1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-7 家庭でよく購入する魚介類の加工品

- 家庭でよく購入する魚介類の加工品は、「練り物」が最も高く、「缶・瓶詰」「干物」「魚肉ハム・ソーセージ」と続く。
- 「練り物」「干物」で未就学児が、「冷凍」で小学校高学年が他学齢を下回る。

Q8. 家庭でよく購入する魚介類の加工品【母親が回答】

【学齢別】



※全体の値を基準に降順並び替え

Q8 あなたのご家庭でよく購入する魚介類の加工品の形態をお答えください。以下の選択肢の中からあてはまるものを全てお選びください。(MA)

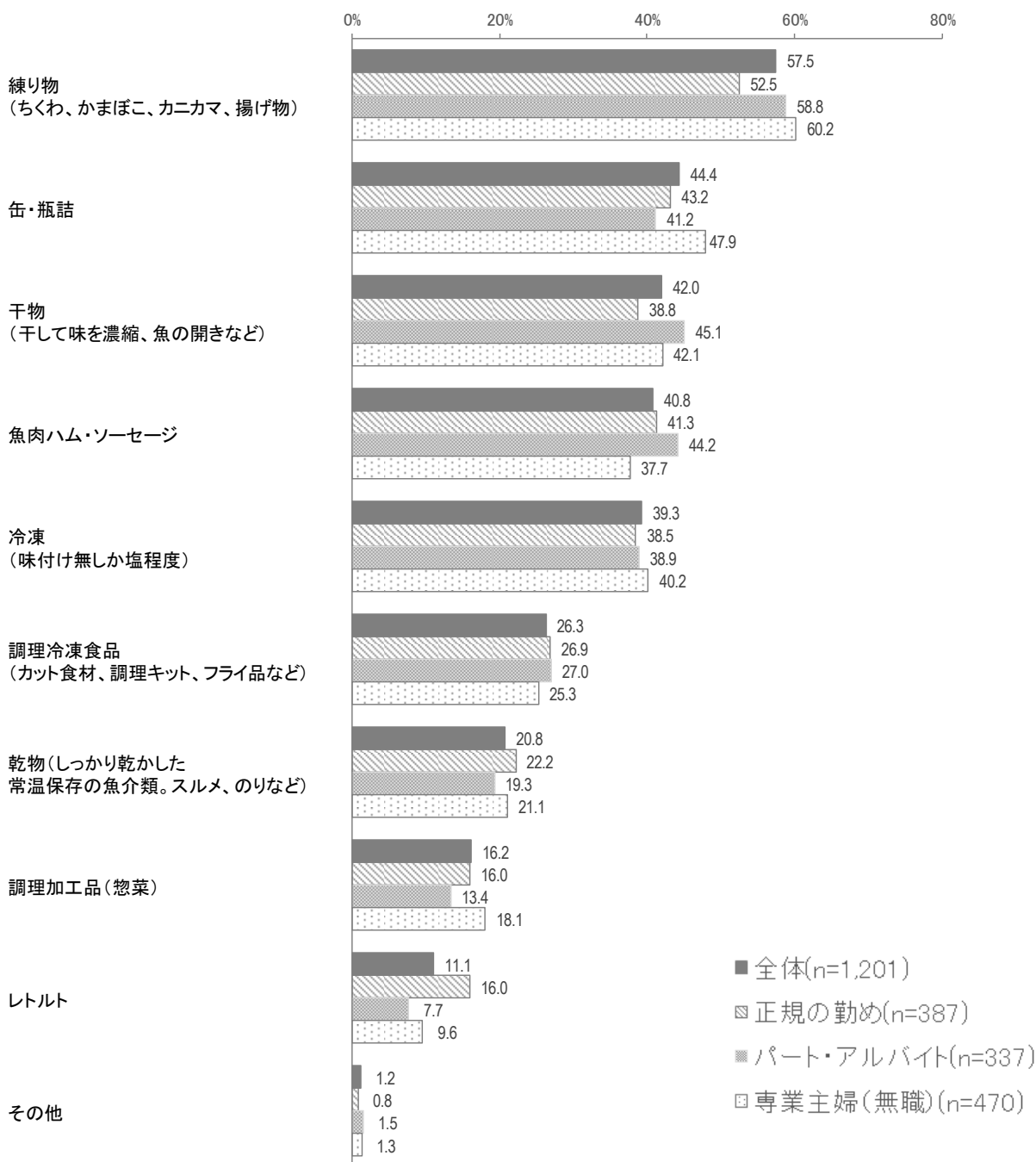
1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-7 家庭でよく購入する魚介類の加工品

- 家庭でよく購入する魚介類の加工品は、「練り物」が最も高く、「缶・瓶詰」「干物」「魚肉ハム・ソーセージ」と続く。
- 「練り物」で正規の勤めの方が大きく下回っている。

Q8. 家庭でよく購入する魚介類の加工品【母親が回答】

【就業形態別】



※全体の値を基準に降順並び替え

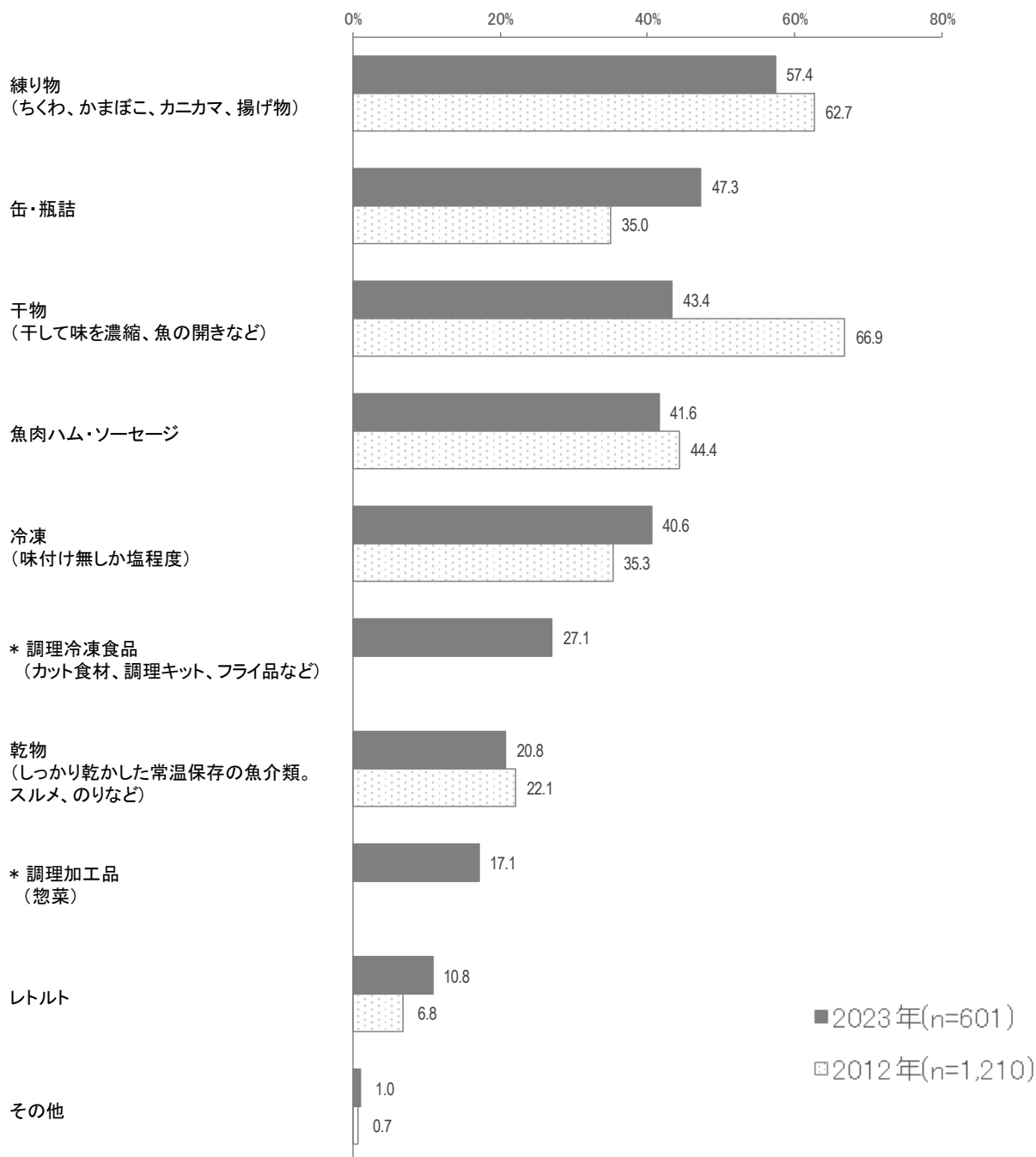
Q8 あなたのご家庭でよく購入する魚介類の加工品の形態をお答えください。以下の選択肢の中からあてはまるものを全てお選びください。(MA)

1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-7 家庭でよく購入する魚介類の加工品(※2023年:都市部ベースにて比較)

- 手間のかからない缶・瓶詰、冷凍品は増加したが、2012年に最も多かった干物は66.9%から43.4%へと大きく下回った。一方で、2023年は「練り物」が最も高く、「缶・瓶詰」「干物」「魚肉ハム・ソーセージ」と続く。
- 2012年と比較して「缶・瓶詰」は大きく上回り、「干物」は大きく下回る。

Q8. 家庭でよく購入する魚介類の加工品【母親が回答】



※2023年の値を基準に降順並び替え／「*」は2012年非聴取

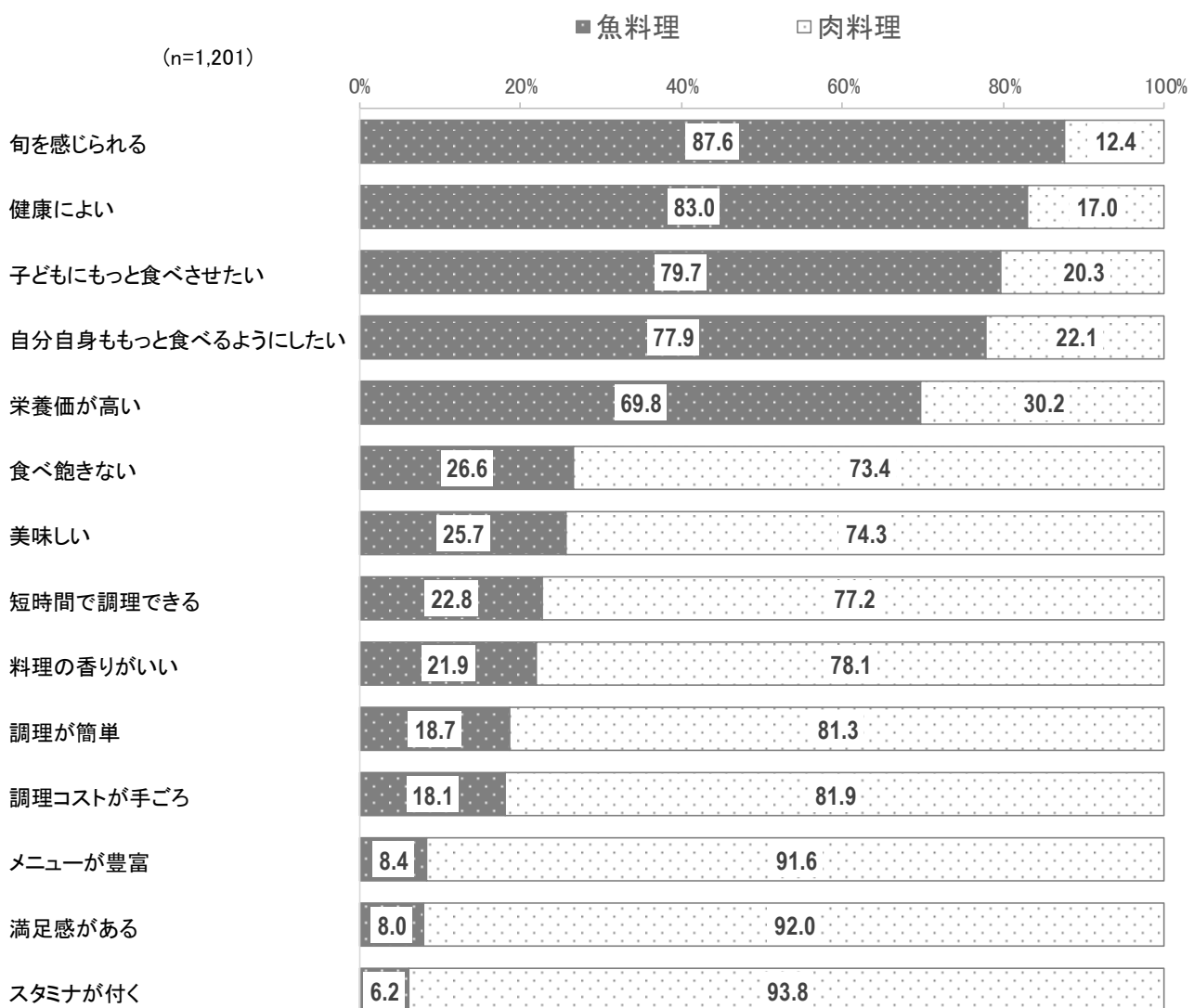
Q8 あなたのご家庭でよく購入する魚介類の加工品の形態をお答えください。以下の選択肢の中からあてはまるものを全てお選びください。(MA)【都市部ベース】

1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-8. イメージに合うのは、魚料理と肉料理のどちらか

- 魚料理のイメージとして、「匂を感じられる」「健康によい」「子供にもっと食べさせたい」「自分自身ももっと食べるようにしたい」「栄養価が高い」が挙がる。
- 肉料理のイメージについて、「メニューが豊富」「満足感がある」「スタミナが付く」はいずれも90%を超える。
- 調理に関するイメージは全て「肉料理」の方が高い。

Q9. イメージに合うのは、魚料理と肉料理のどちらか【母親が回答】



Q9 あなたは、以下の項目をイメージした際、「魚料理」と「肉料理」のうち、どちらに当てはまると思いますか。(各SA)

1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-8. イメージに合うのは、魚料理と肉料理のどちらか

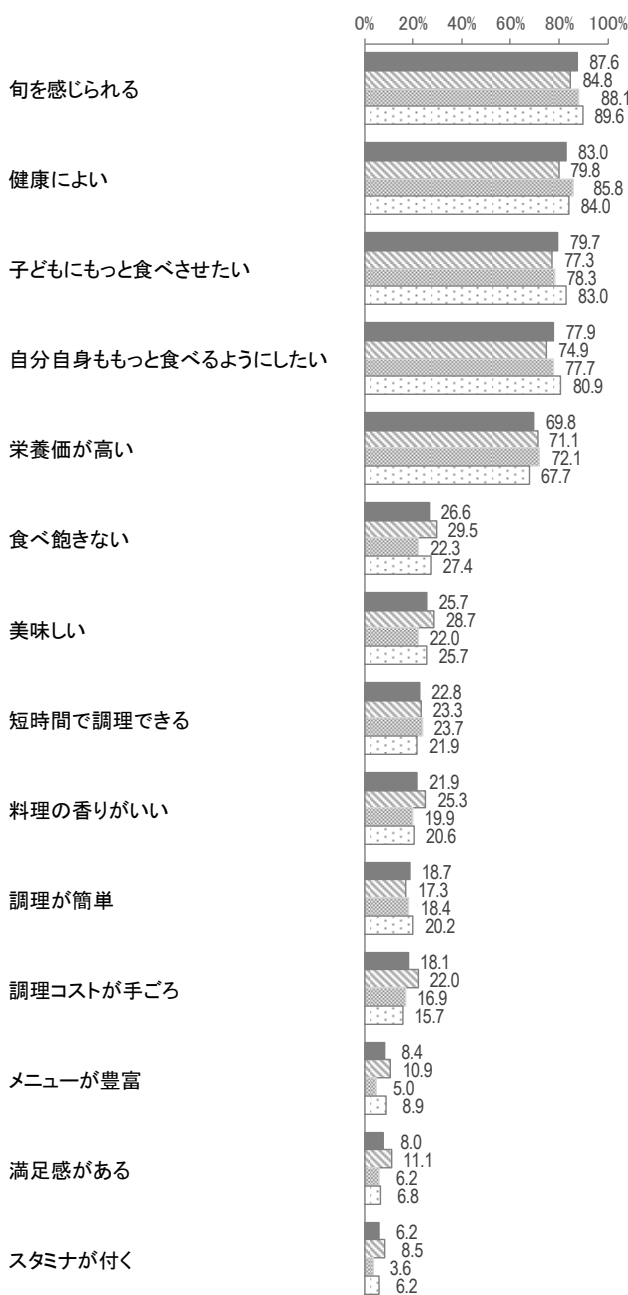
- 「健康によい・食べさせたい」等の願望は魚料理のイメージだが、調理や食べる現実的なイメージでは肉料理が当てはまる傾向がみられた。
- 正規の務めの方は魚料理に対しておいしさ、香り、調理コスト、メニューの豊富さ、満足感のイメージがの高さが他形態を上回った。

Q9. イメージに合うのは、魚料理と肉料理のどちらか【母親が回答】

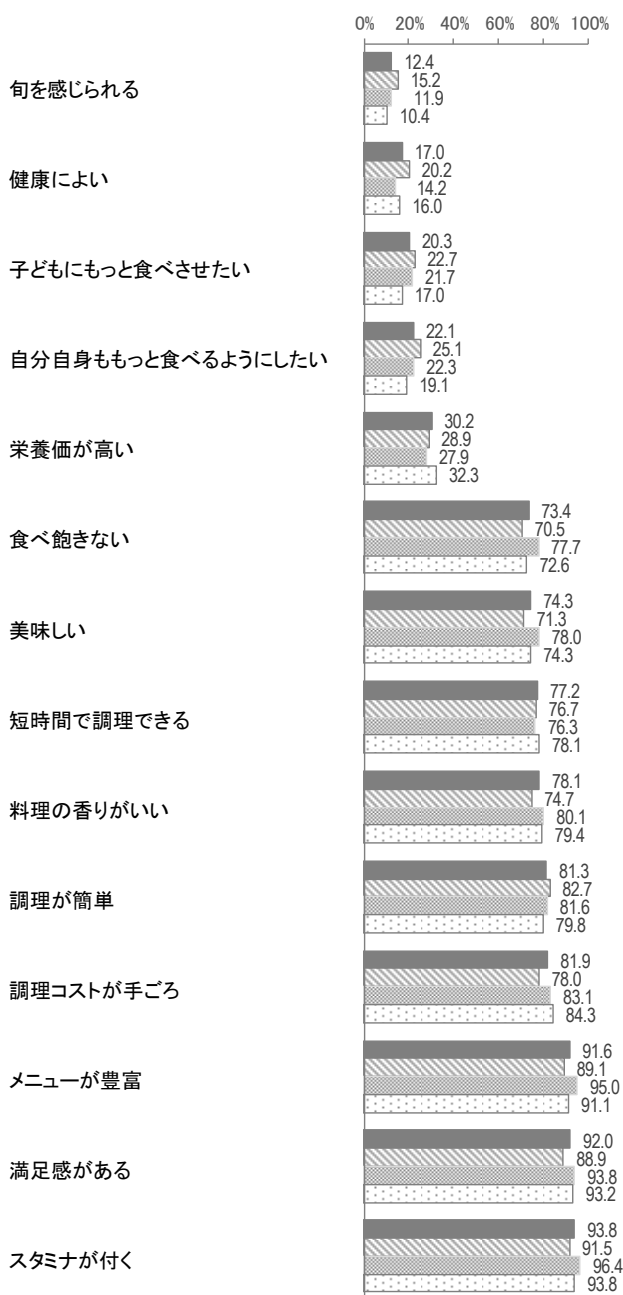
- 全体(n=1,201)
- ▨ 正規の勤め(n=387)
- パート・アルバイト(n=337)
- 専業主婦(無職)(n=470)

【就業形態別】

「魚料理」に当てはまるイメージ



「肉料理」に当てはまるイメージ



※全体の値を基準に降順並び替え

※「魚料理」全体の値を基準に降順並び替え

Q9 あなたは、以下の項目をイメージした際、「魚料理」と「肉料理」のうち、どちらに当てはまると思いますか。
/「魚料理・肉料理」スコア(各SA)

1-1. 家庭での食生活全般について

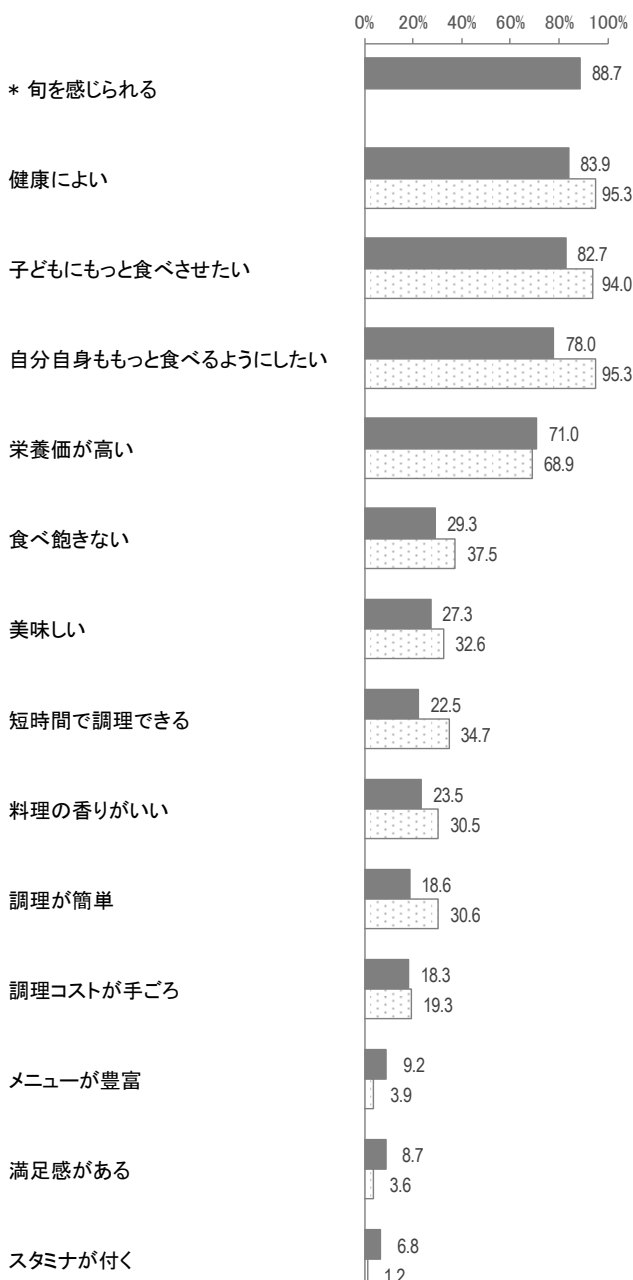
1-1-8. イメージに合うのは、魚料理と肉料理のどちらか(※2023年:都市部ベースにて比較)

- 2023年の魚料理に当てはまるイメージは、「旬を感じられる」が最も高く、「健康によい」「子供にもっと食べさせたい」と続く。ほとんどの項目において2012年を下回っている。
- 2023年の肉料理に当てはまるイメージは、「スタミナが付く」が最も高く、「満足感がある」「メニューが豊富」と続く。多くの項目において2012年を上回っている。10年間でポジティブな印象のほとんどが肉のイメージとして強まっている。

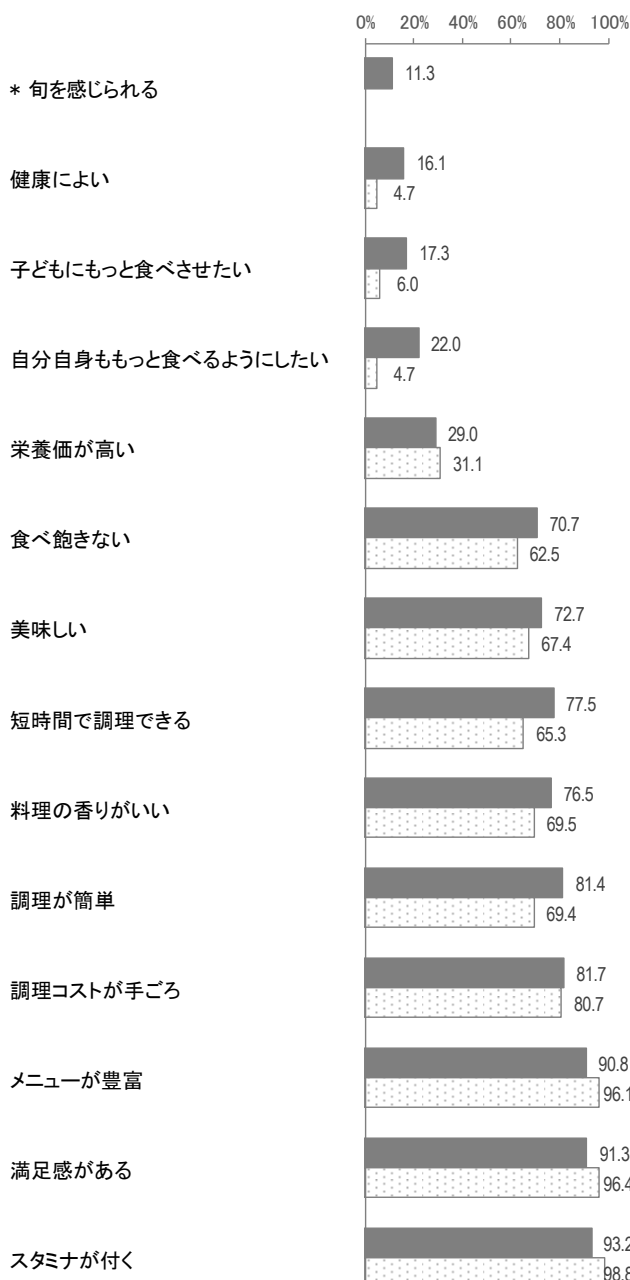
Q9. イメージに合うのは、魚料理と肉料理のどちらか【母親が回答】

■ 2023年(n=601)
□ 2012年(n=1,210)

「魚料理」に当てはまるイメージ



「肉料理」に当てはまるイメージ



※前ページ「魚料理」全体の値を基準に降順並び替え/「*」は2012年非聴取

※前ページ「魚料理」全体の値を基準に降順並び替え/「*」は2012年非聴取

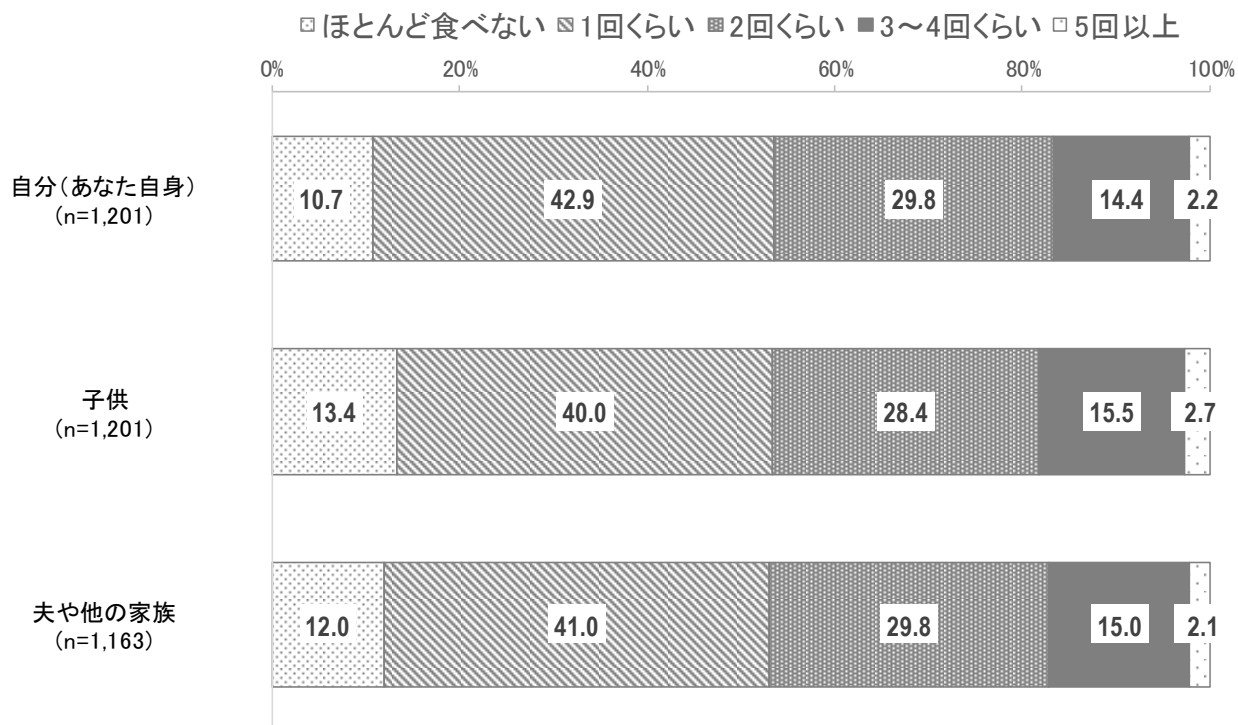
Q9 あなたは、以下の項目をイメージした際、「魚料理」と「肉料理」のうち、どちらに当てはまると感じますか。
/「魚料理・肉料理」スコア(各SA)【都市部ベース】

1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-9. 家庭で魚料理を食べる回数

- 家庭で魚料理を食べる回数は、いずれも(週に)「1回くらい」が40%台、「2回くらい」も合わせると70%前後となる。
- 「ほとんど食べない」を除いた1週間で魚料理を食べる割合は、自分が89.3%、子供は86.6%、夫や他の家族は88.0%。

Q10. 家庭で魚料理を食べる回数<家族別>【母親が回答】



Q10 あなたのご家庭で「魚料理」を食べる回数は、週に何回くらいですか。家族別にお答えください。(各SA)
【Q10_3は夫や他の家族がいる方ベース】

1-1. 家庭での食生活全般について

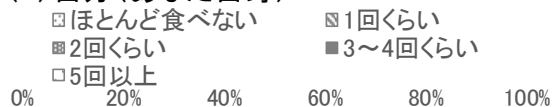
1-1-9. 家庭で魚料理を食べる回数

● 学年が上がるほど魚を食べる回数が減る傾向があった。

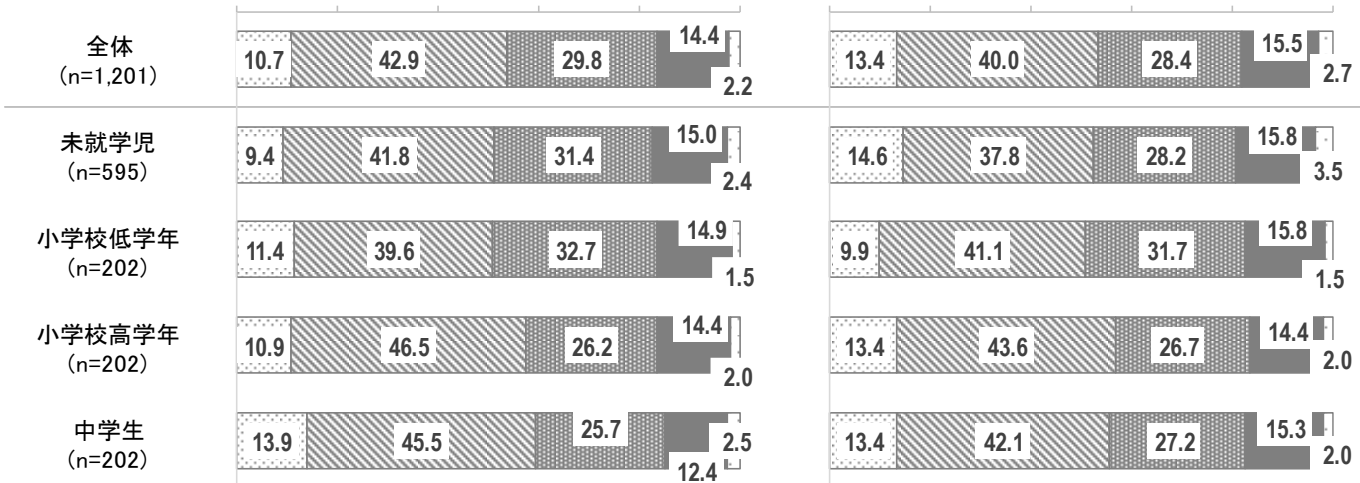
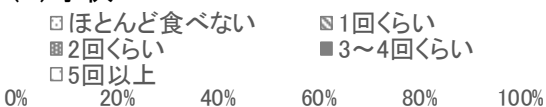
Q10. 家庭で魚料理を食べる回数<家族別>【母親が回答】

【学齢別】

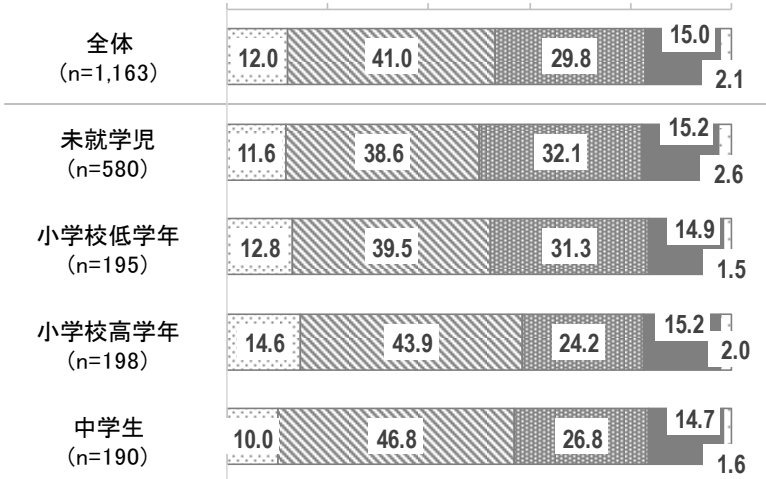
(1) 自分(あなた自身)



(2) 子供



(3) 夫や他の家族



Q10 あなたの家庭で「魚料理」を食べる回数は、週に何回くらいですか。家族別にお答えください。(各SA)
 【Q10_3は夫や他の家族がいる方ベース】

1-1. 家庭での食生活全般について

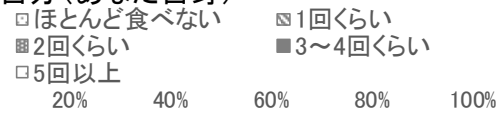
1-1-9. 家庭で魚料理を食べる回数

- どの家族でもほとんど食べないは、正規の務め>パートアルバイト>専業主婦の順番になっている。
- (週に)「1回くらい」と回答した割合は、パート・アルバイトの方が他の就業形態と比較して高い。

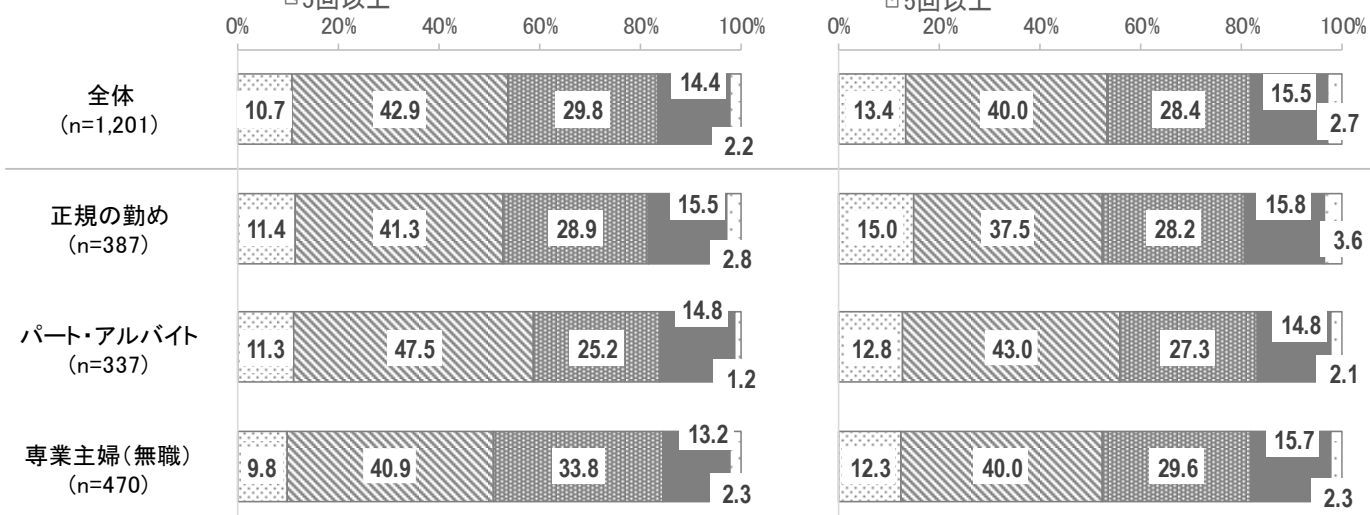
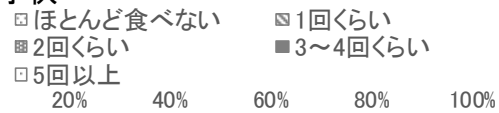
Q10. 家庭で魚料理を食べる回数<家族別>【母親が回答】

【就業形態別】

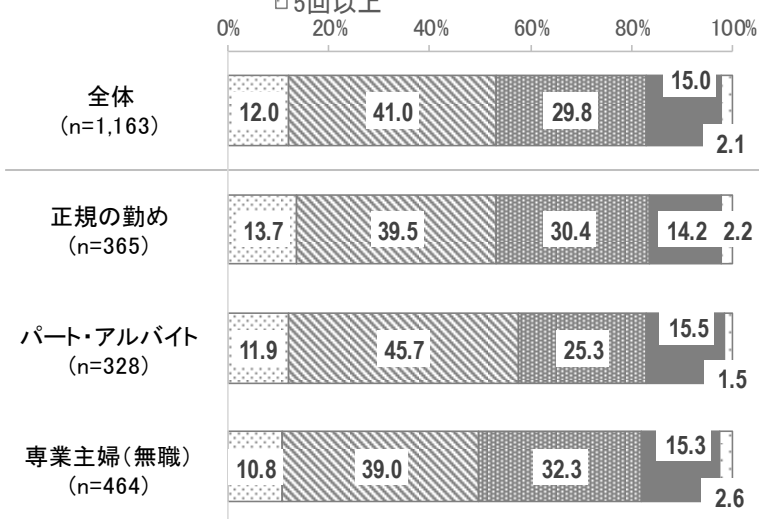
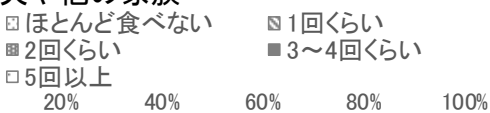
(1) 自分(あなた自身)



(2) 子供



(3) 夫や他の家族



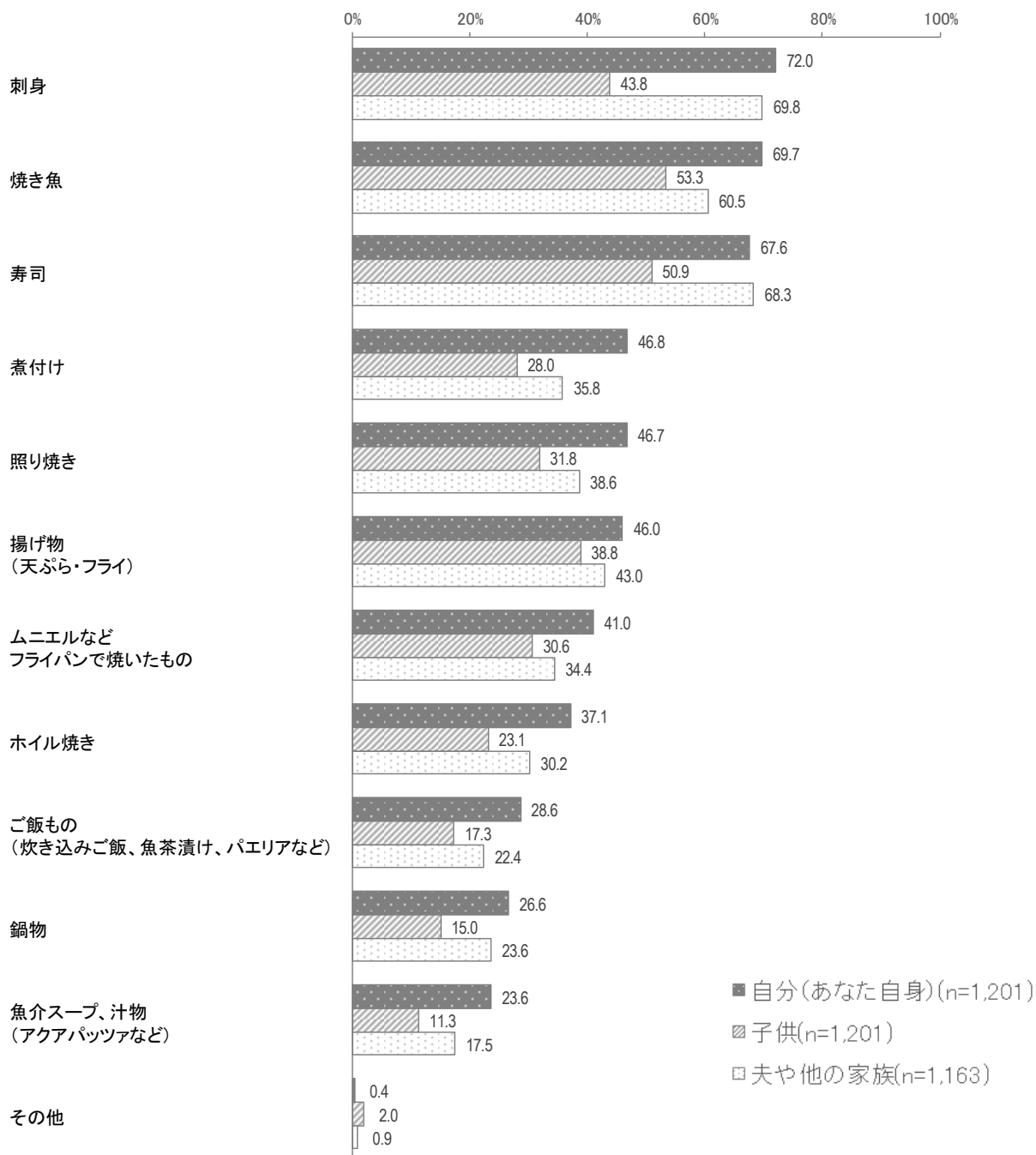
Q10 あなたの家庭で「魚料理」を食べる回数は、週に何回くらいですか。家族別にお答えください。(各SA)
 【Q10_3は夫や他の家族がいる方ベース】

1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-10. 家庭でよく食べる好きな魚料理

- 自分、子供、夫や他の家族で「刺身」「寿司」「焼き魚」が上位に挙がる。比較的、調理が簡単でシンプルな魚料理がよく食べられている傾向がみられる。
- 多くの料理で、自分→夫や他の家族→子供の順に数値が高い。家庭においては子供ではなく、自分や夫や他の家族の好みで魚料理の種類が選ばれている。

Q11. 家庭でよく食べる好きな魚料理【母親が回答】



※自分(あなた自身)の値を基準に降順並び替え
※全体はn数の多い未就学児の比率に引っ張られている

Q11 あなたのご家庭で食べる好きな「魚料理」を、家族別にお答えください。(各MA)
【Q11_3は夫や他の家族がいる方ベース】

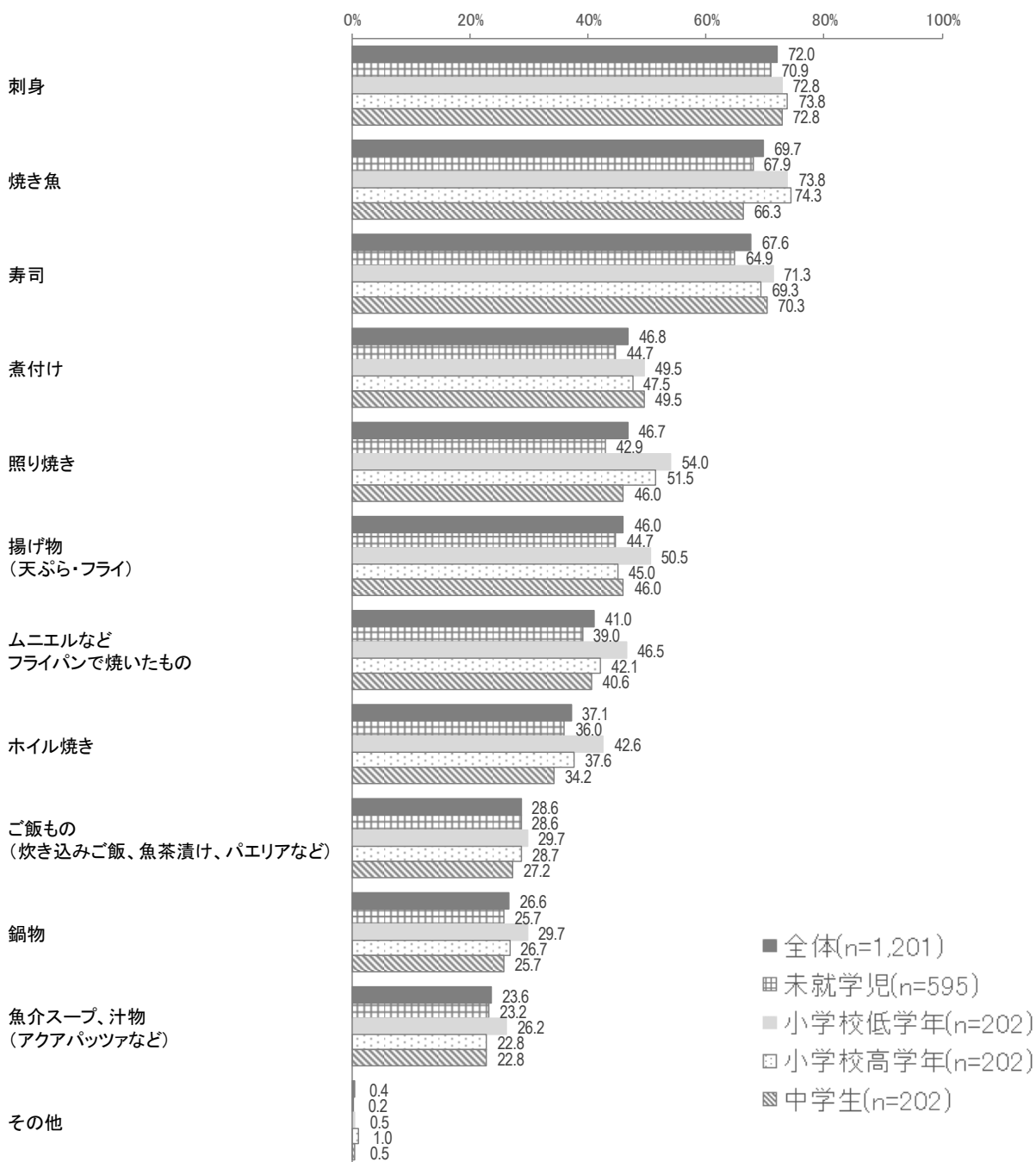
1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-10. 家庭でよく食べる好きな魚料理

- 「刺身」が72.0%で最も高く、「焼き魚」「寿司」と続く。
- 「照り焼き」「ムニエルなどフライパンで焼いたもの」「ホイル焼き」は、小学校低学年で他学齢を上回る。

Q11. 家庭でよく食べる好きな魚料理<自分>【母親が回答】

【学齢別】



※全体の値を基準に降順並び替え

※全体はn数の多い未就学児の比率に引っ張られている

Q11_1 あなたのご家庭で食べる好きな「魚料理」を、家族別にお答えください。/自分(あなた自身)(MA)

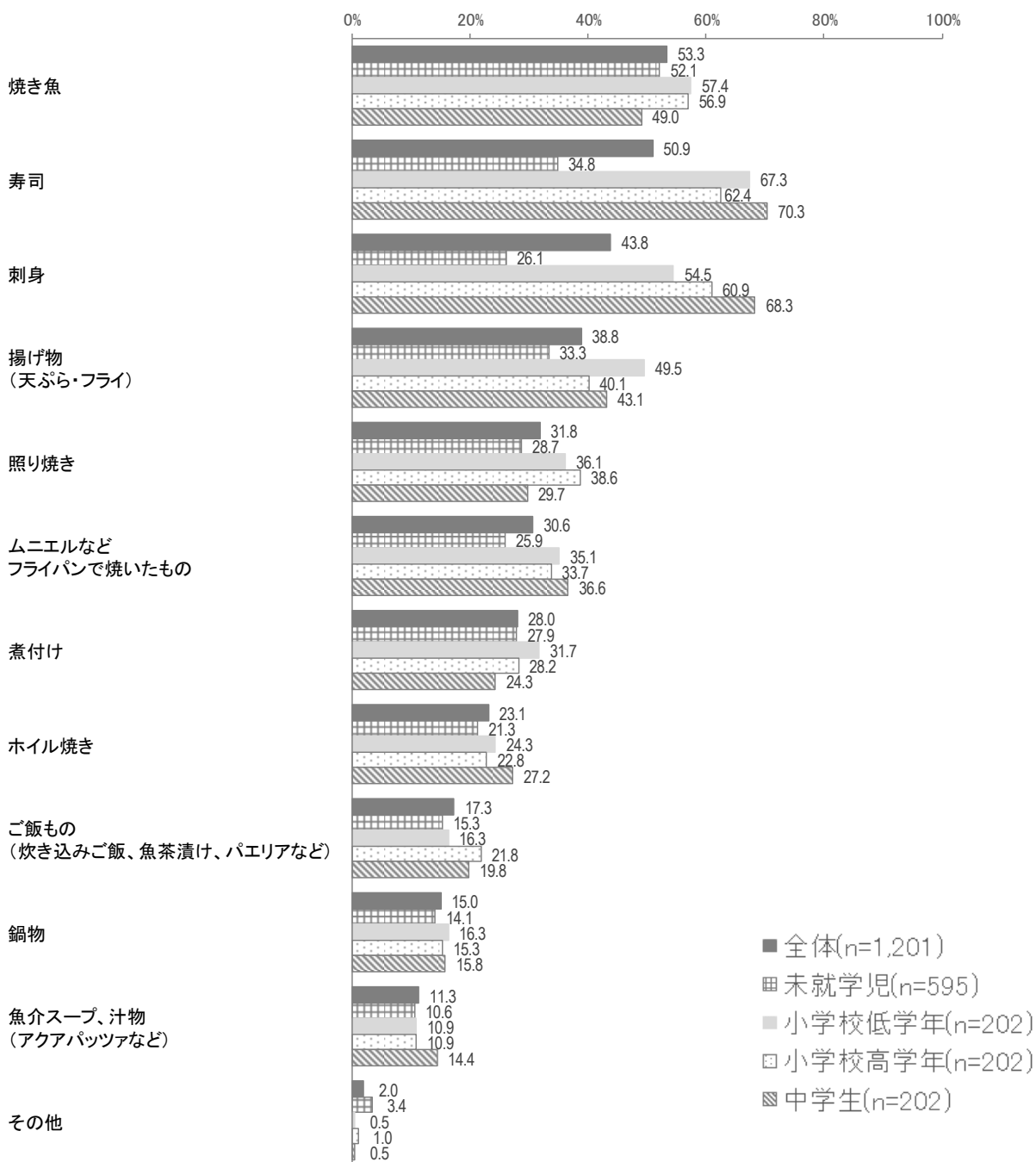
1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-10. 家庭でよく食べる好きな魚料理

- 全体で「焼き魚」が53.3%で最も高く、「寿司」「刺身」と続く。但し、これはn数の多い未就学児の比率に引っ張られており、その未就学児を影響を半減させれば、寿司が焼き魚を上回る。
- 「刺身」は学齢が上がるにつれて高くなる。「寿司」は小学校低学年以上、「揚げ物」は小学校低学年、「照り焼き」は小学校高学年、「ムニエルなどフライパンで焼いたもの」は中学生でそれぞれ他学齢を上回る。

Q11. 家庭でよく食べる好きな魚料理<子供>【母親が回答】

【学齢別】



※全体の値を基準に降順並び替え

※全体はn数の多い未就学児の比率に引っ張られている

Q11.2 あなたのご家庭で食べる好きな「魚料理」を、家族別にお答えください。/子供(MA)

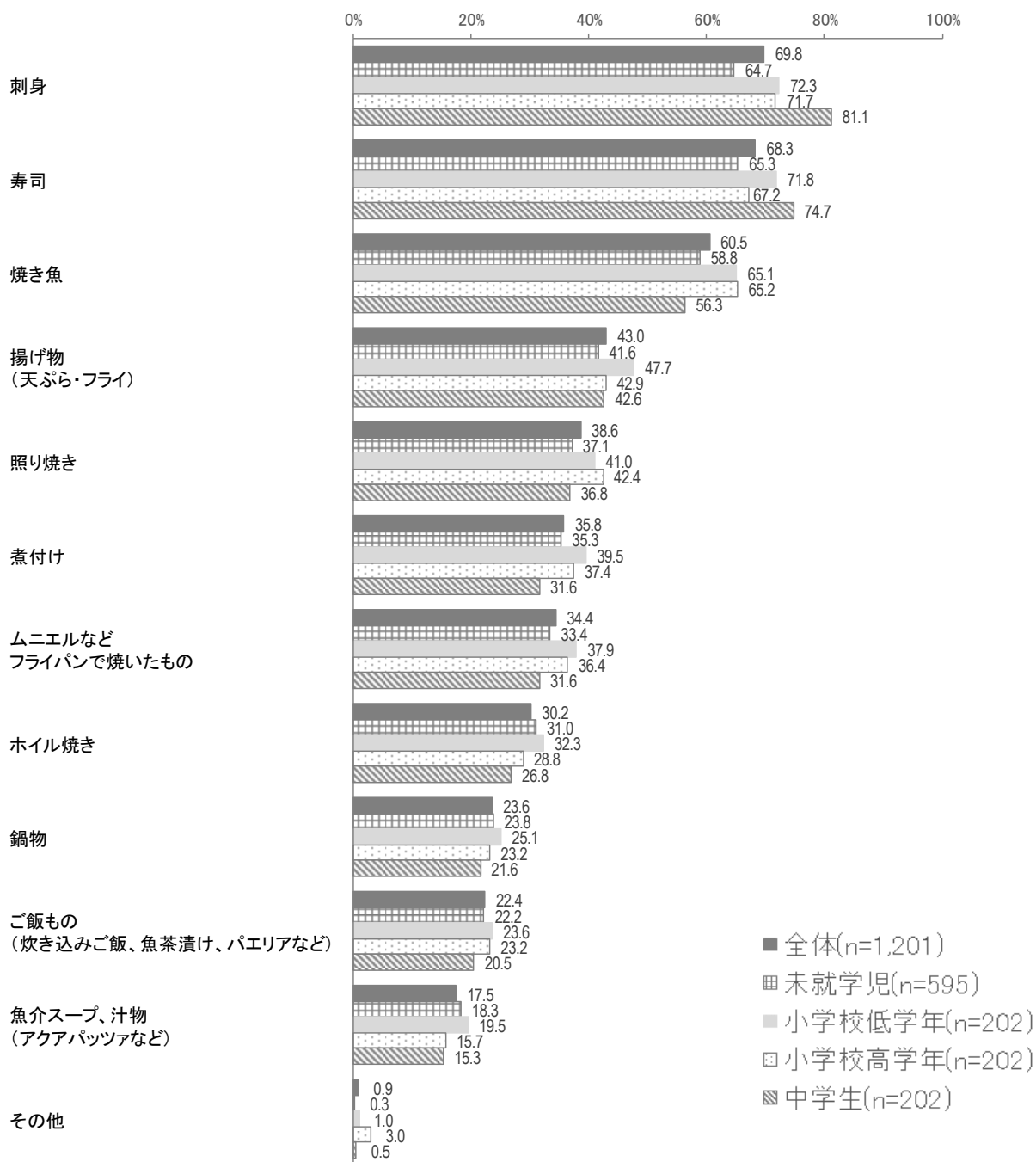
1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-10. 家庭でよく食べる好きな魚料理

- 「刺身」が69.8%で最も高く、「寿司」「焼き魚」と続く。
- 「刺身」「寿司」で中学生が他の学齢を上回る。

Q11. 家庭でよく食べる好きな魚料理<夫や他の家族>【母親が回答】

【学齢別】



※全体の値を基準に降順並び替え

※全体はn数の多い未就学児の比率に引っ張られている

Q11.3 あなたのご家庭で食べる好きな「魚料理」を、家族別にお答えください。/夫や他の家族(MA)
【夫や他の家族がいる方ベース】

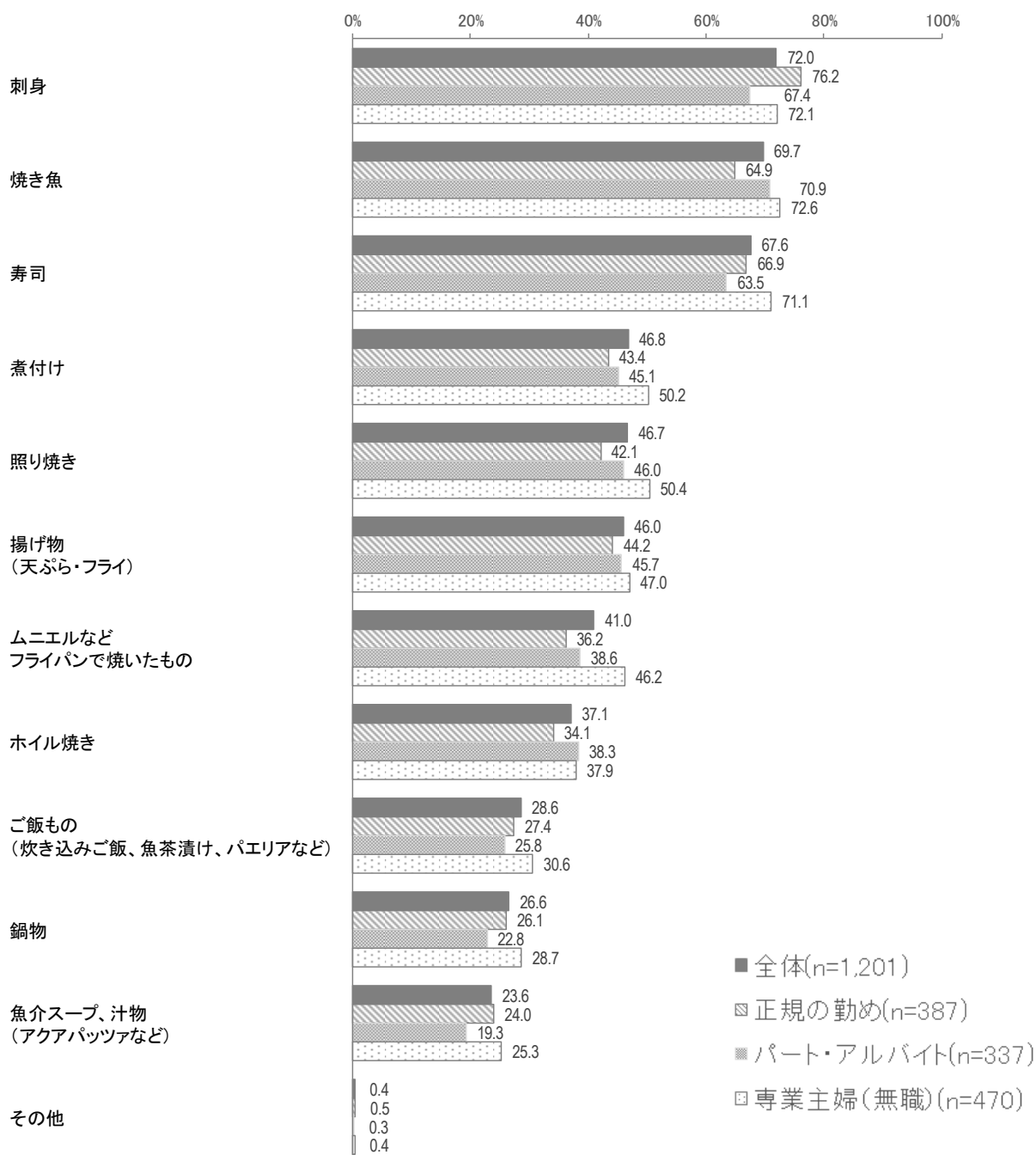
1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-10. 家庭でよく食べる好きな魚料理

- 調理に手間がかかる煮付け、照り焼き、揚げ物、ムニエルなどは専業主婦がよく食べる料理としている傾向があった。刺身、寿司は全体として人気だったが、パート、アルバイトの割合は5ポイント程度低かった。焼き魚は割合は高いものの正規の割合が他の就業形態よりも8ポイント程度低かった。

Q11. 家庭でよく食べる好きな魚料理<自分>【母親が回答】

【就業形態別】



※全体の値を基準に降順並び替え

Q11_1 あなたのご家庭で食べる好きな「魚料理」を、家族別にお答えください。/自分(あなた自身)(MA)

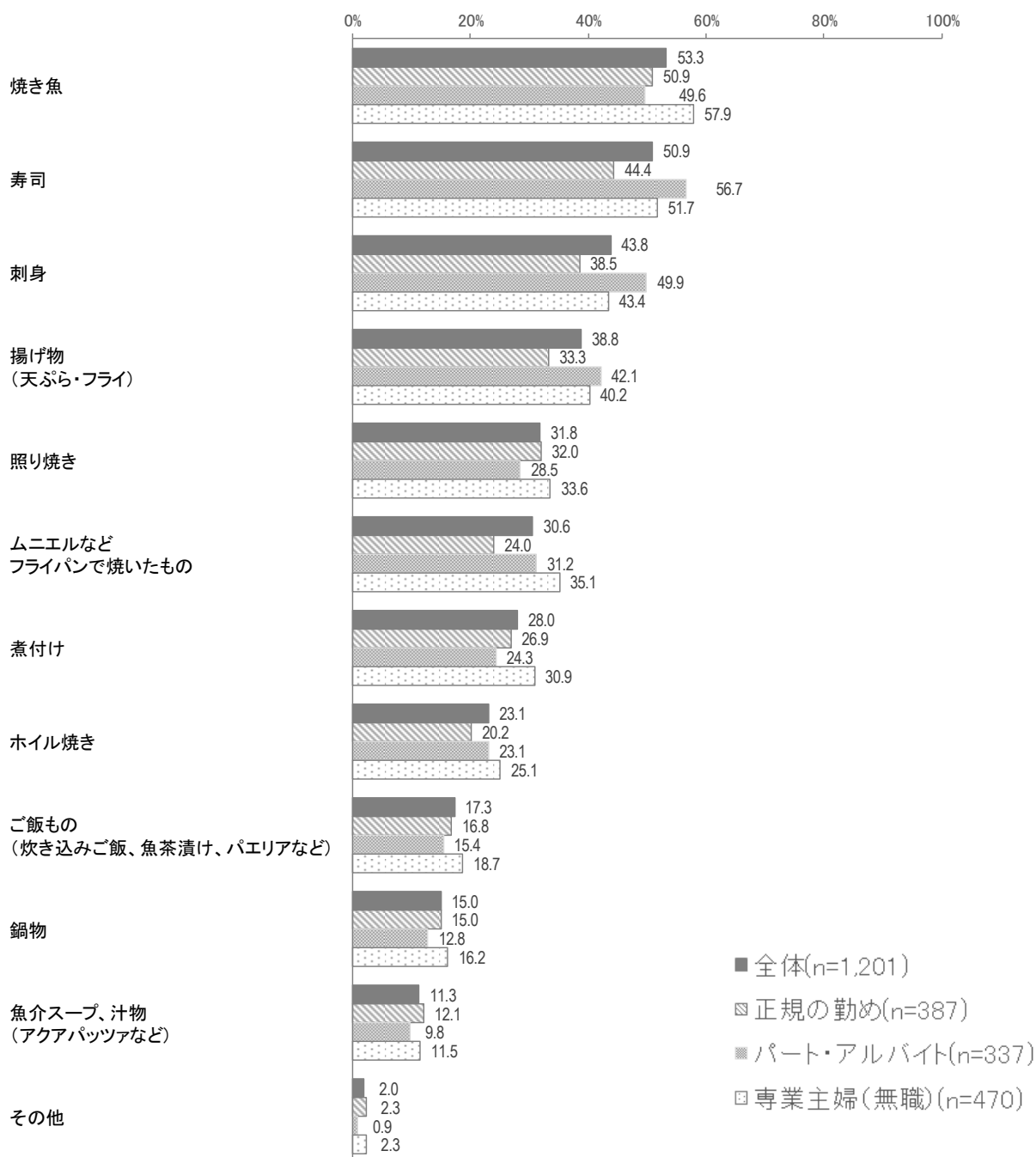
1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-10. 家庭でよく食べる好きな魚料理

- いずれの就業形態においても、「焼き魚」「寿司」「刺身」が上位に挙がる。
- 「焼き魚」は専業主婦の方が、「寿司」「刺身」はパート・アルバイトの方がそれぞれ他就業形態と比較して高い。

Q11. 家庭でよく食べる好きな魚料理<子供>【母親が回答】

【就業形態別】



※全体の値を基準に降順並び替え

Q11.2 あなたのご家庭で食べる好きな「魚料理」を、家族別にお答えください。/子供(MA)

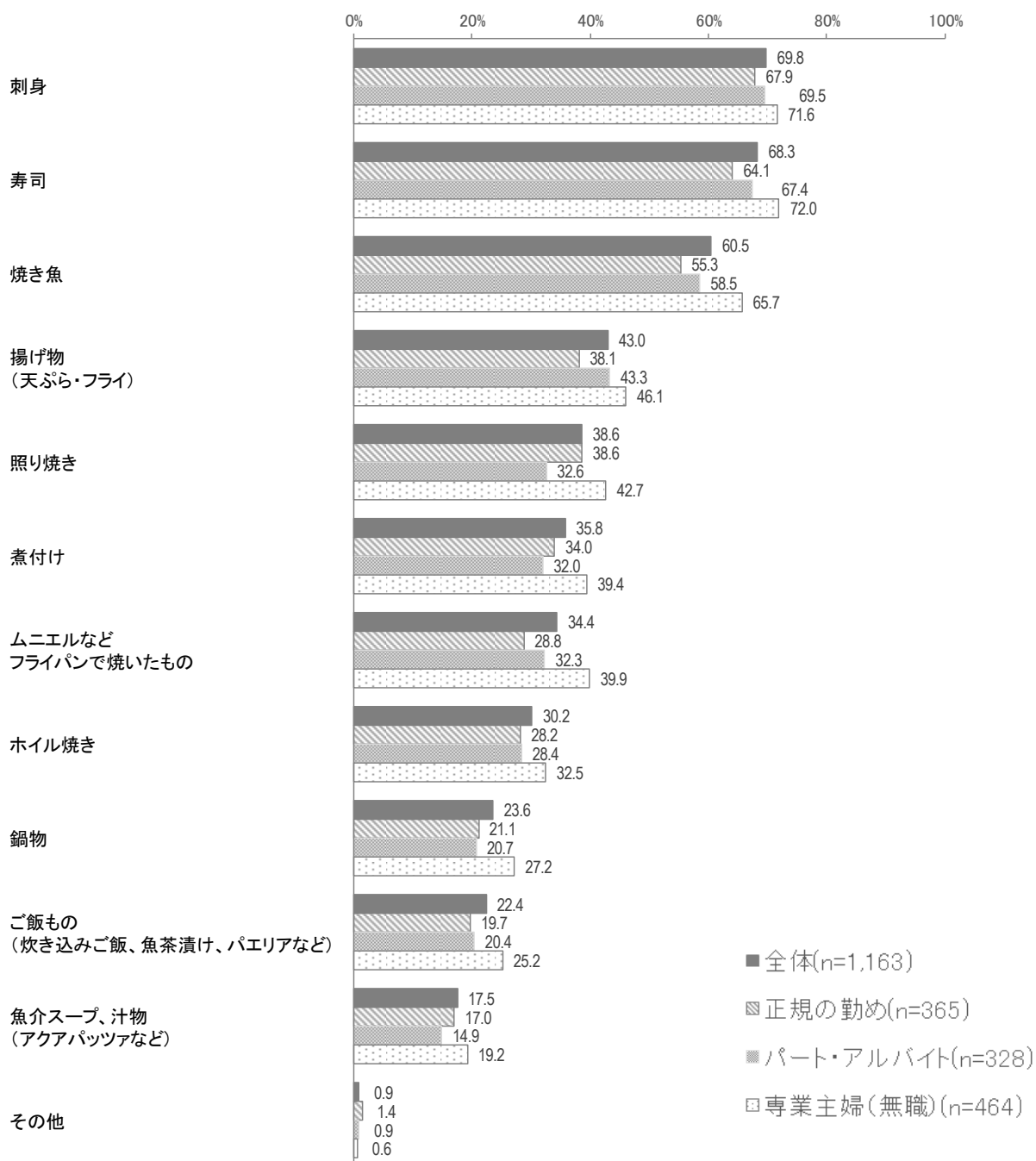
1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-10. 家庭でよく食べる好きな魚料理

- いずれの就業形態においても、「刺身」「寿司」「焼き魚」が上位に挙がる。
- 全ての魚料理において、専業主婦の方が他の就業形態より高い。

Q11. 家庭でよく食べる好きな魚料理<夫や他の家族>【母親が回答】

【就業形態別】



※全体の値を基準に降順並び替え

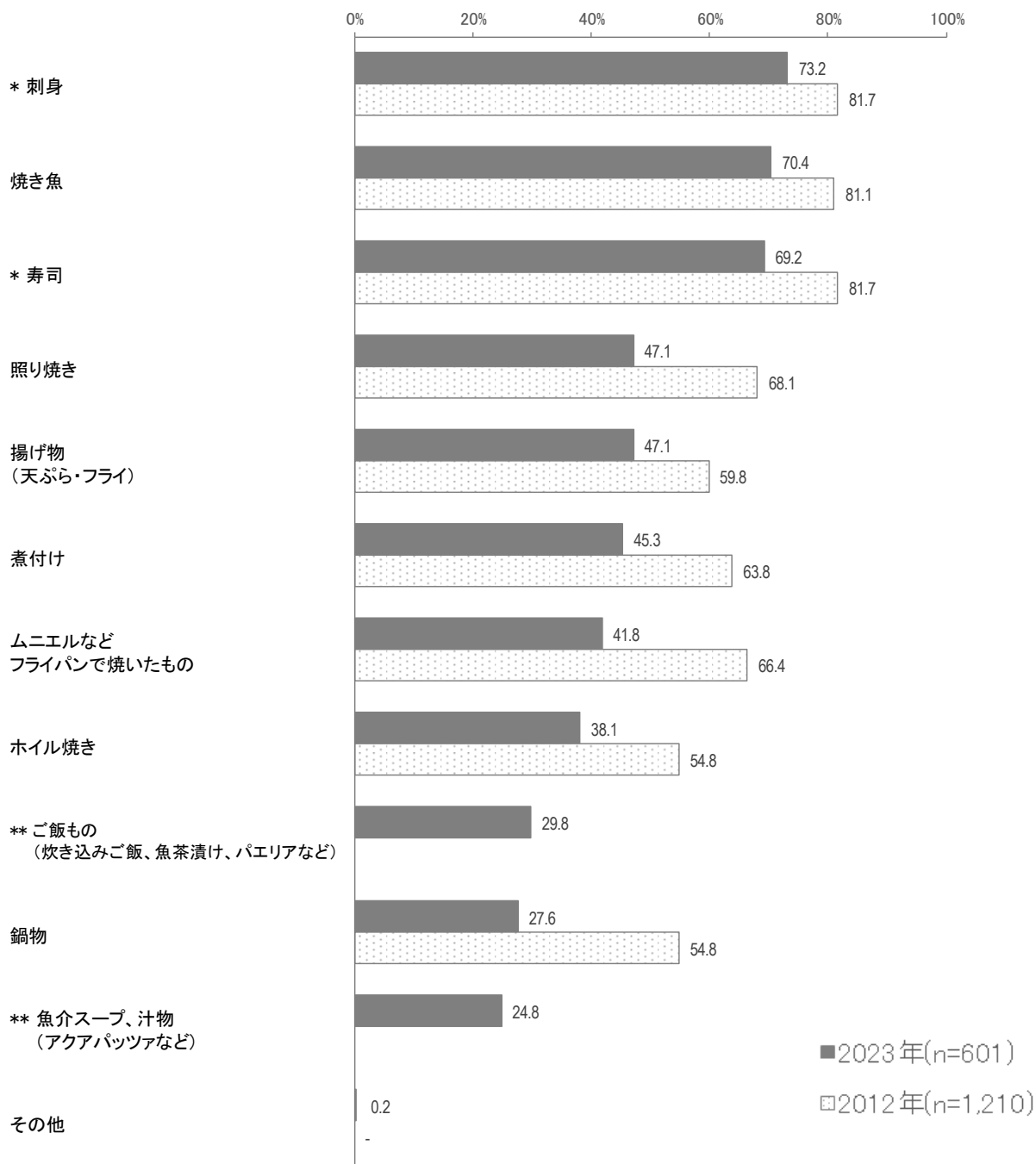
Q11.3 あなたのご家庭で食べる好きな「魚料理」を、家族別にお答えください。/夫や他の家族(MA)
【夫や他の家族がいる方ベース】

1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-10. 家庭でよく食べる好きな魚料理(※2023年:都市部ベースにて比較)

- 全ての魚料理で2012年を下回っており、魚料理への嗜好全体が低減している事が窺える。
- 2023年は「刺身」が最も高く、「焼き魚」「寿司」と続く。

Q11. 家庭でよく食べる好きな魚料理<自分>【母親が回答】



※2023年の値を基準に降順並び替え/「*」は2012年「刺身・寿司」で聴取/「**」は2012年非聴取

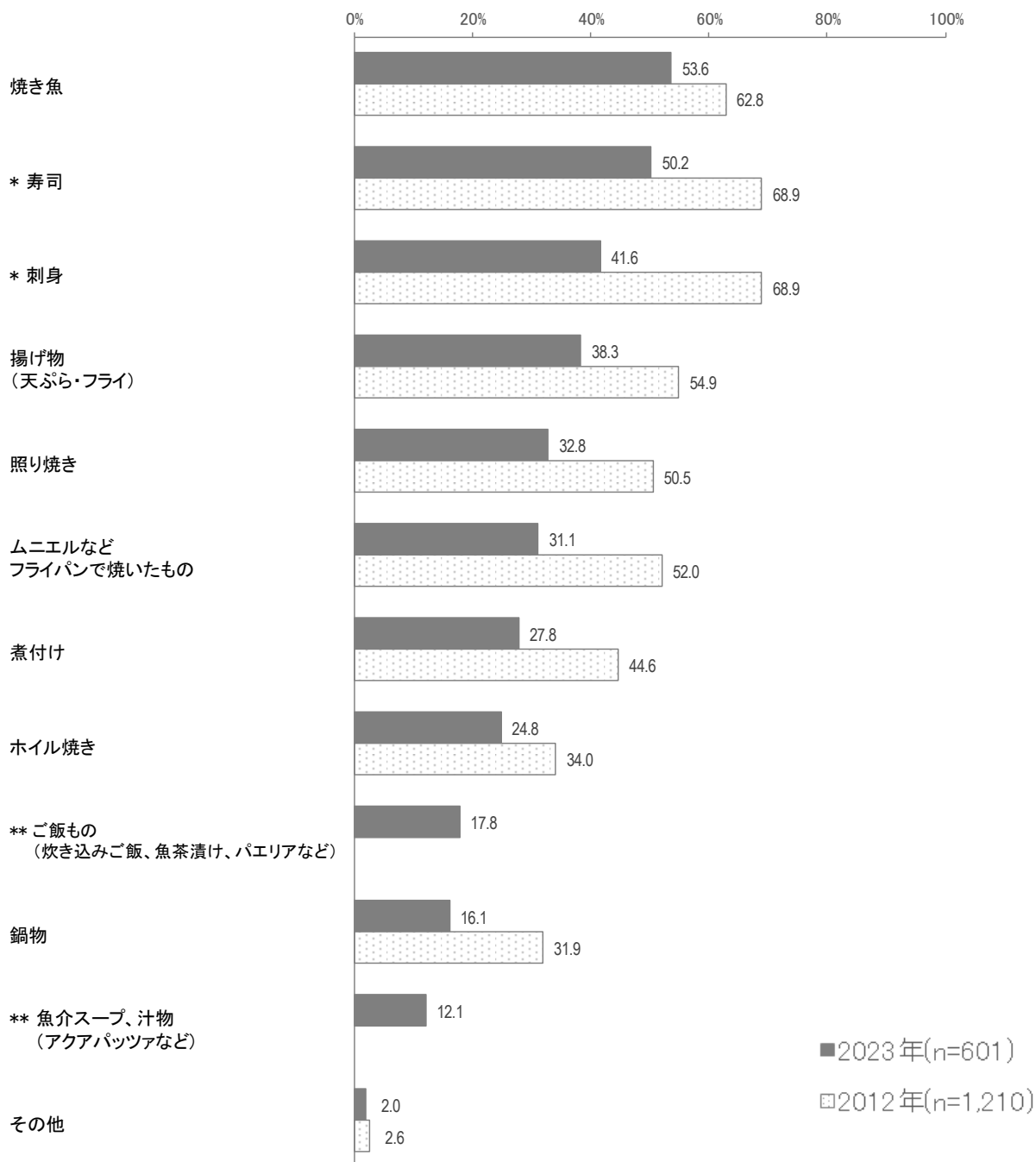
1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-10. 家庭でよく食べる好きな魚料理(※2023年:都市部ベースにて比較)

※2012年「子供」と2023年「子供」を比較

- 全ての料理で2012年を下回っており、魚料理への嗜好全体が低減している事が窺える。
- 2023年は「焼き魚」が最も高く、「寿司」「刺身」と続く。

Q11. 家庭でよく食べる好きな魚料理<子供>【母親が回答】



※2023年の値を基準に降順並び替え/「*」は2012年「刺身・寿司」で聴取/「**」は2012年非聴取

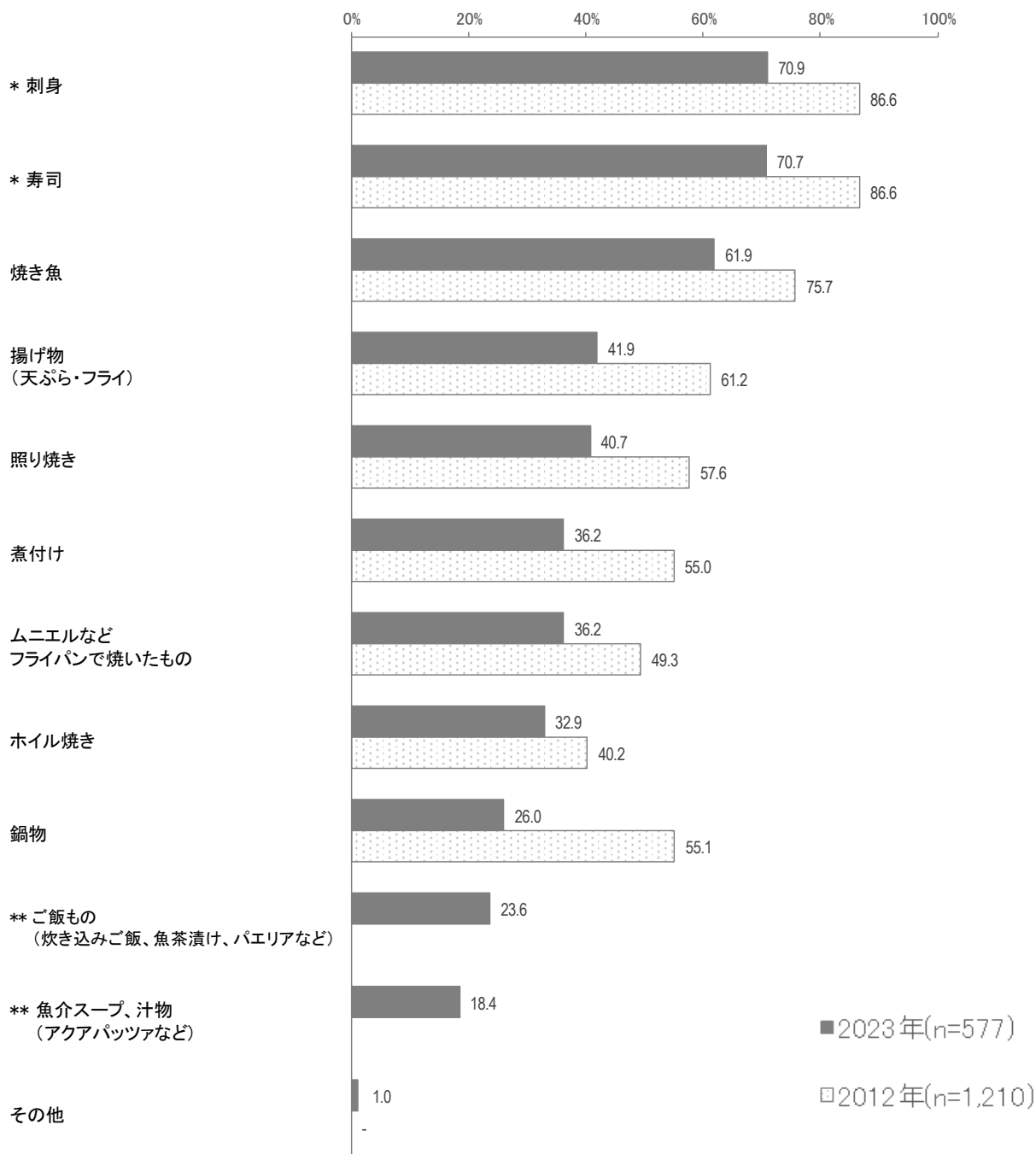
Q11.2 あなたのご家庭で食べる好きな「魚料理」を、家族別にお答えください。/子供(MA)【都市部ベース】

1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-10. 家庭でよく食べる好きな魚料理(※2023年:都市部ベースにて比較)

- 全ての料理で2012年を下回っており、魚料理への嗜好全体が低減している事が窺える。
- 2023年は「刺身」が最も高く、「寿司」「焼き魚」と続く。

Q11. 家庭でよく食べる好きな魚料理<夫や他の家族>【母親が回答】



※2023年の値を基準に降順並び替え／「*」は2012年「刺身・寿司」で聴取／「**」は2012年非聴取

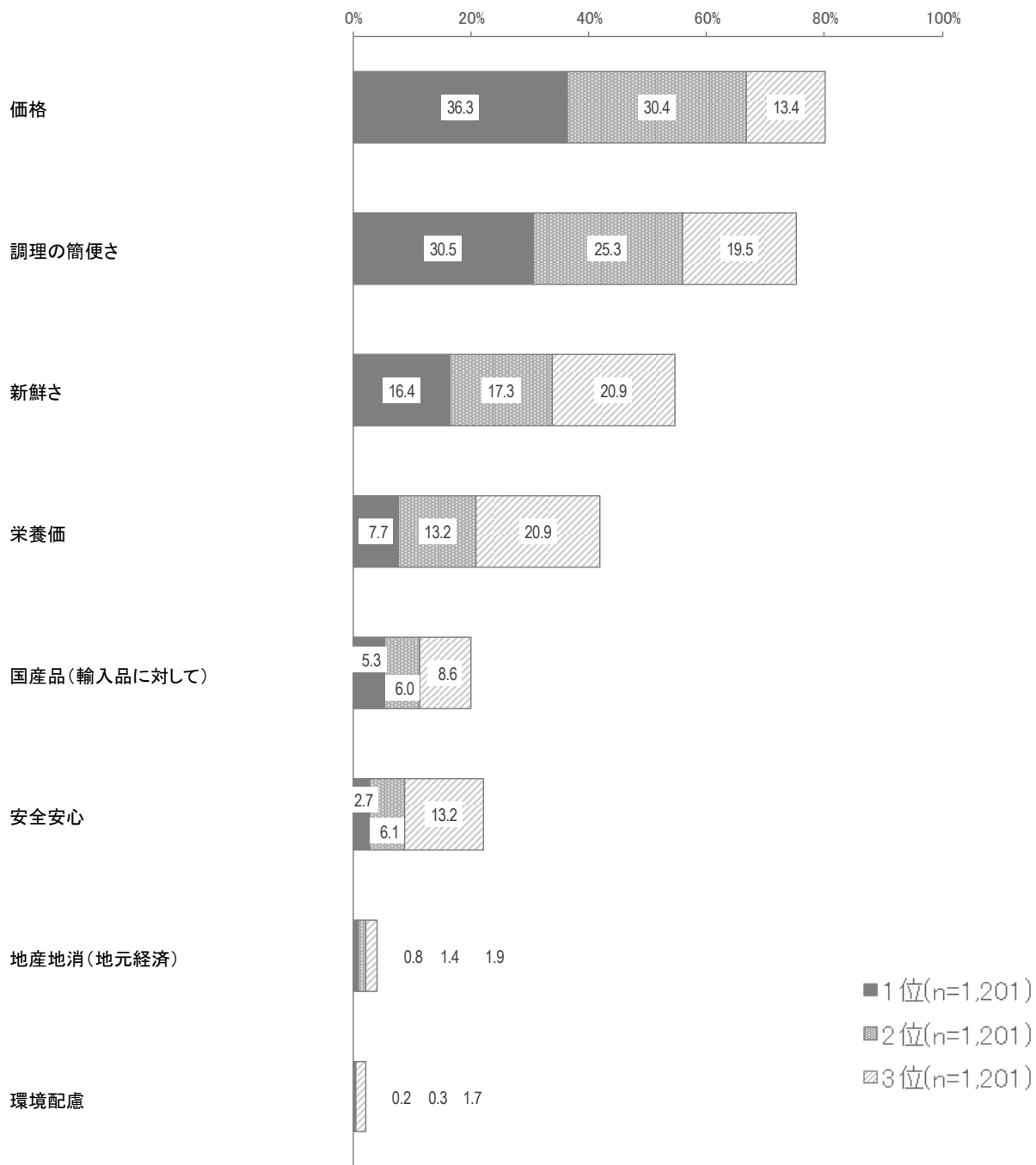
Q11.3 あなたのご家庭で食べる好きな「魚料理」を、家族別にお答えください。/夫や他の家族(MA)
【都市部で夫や他の家族がいる方ベース】

1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-11. 魚介類を購入する際の優先順位

- 1~3位の回答を足し合わせてみると、「価格」が最も高く、「調理の簡便さ」「新鮮さ」と続く。「価格」「調理の簡便さ」の1位の数値が際立って高く、重要視されている事が窺える。

Q12. 魚介類を購入する際の優先順位【母親が回答】



※「1位」の値を基準に降順並び替え

Q12 あなたのご家庭で食べる魚介類を購入する際の優先順位をお答えください。以下の選択肢の中から上位3位まで、最もあてはまるものをお選びください。(各SA)

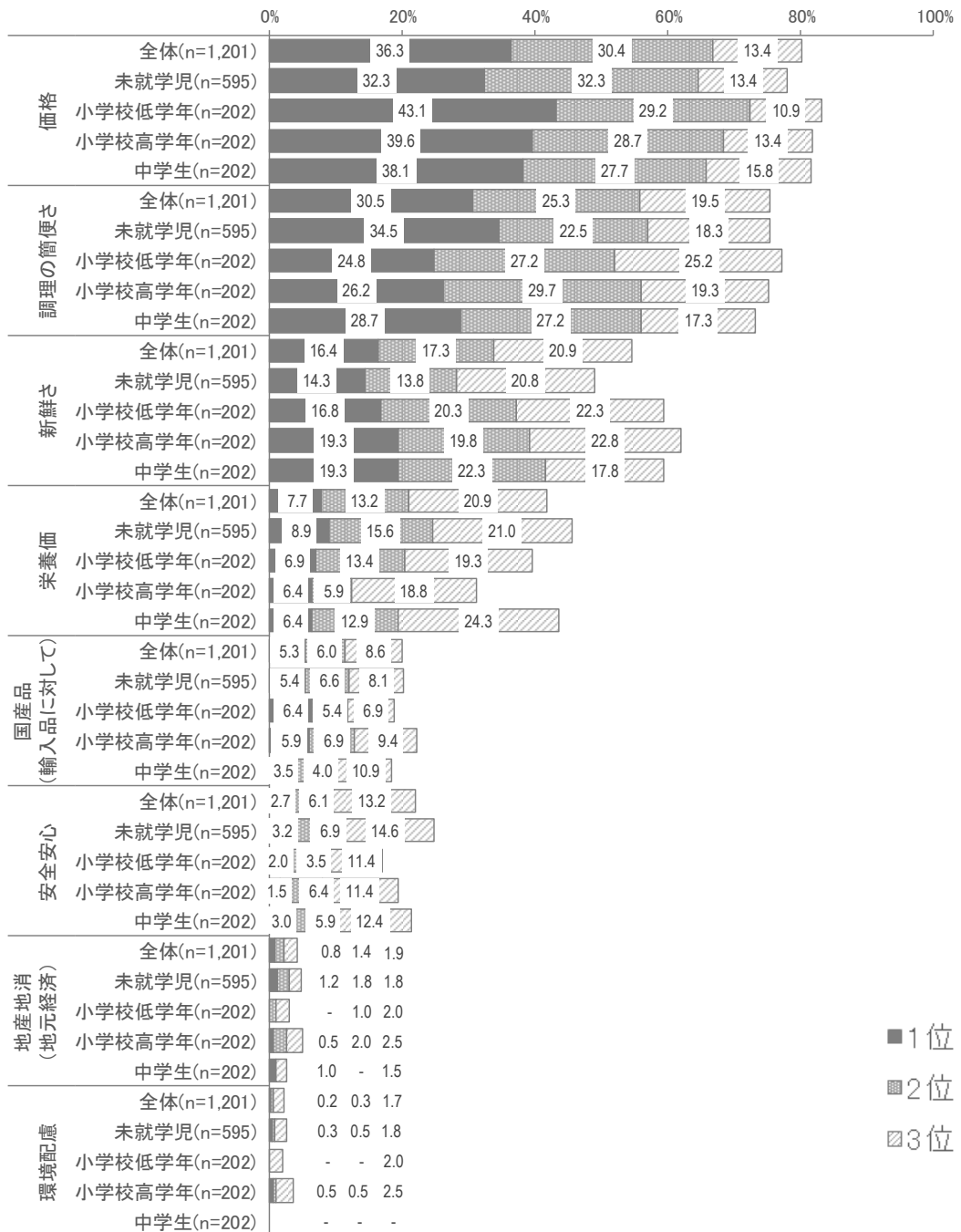
1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-11. 魚介類を購入する際の優先順位

- 1~3位の回答を足し合わせて学齢別でみると、「新鮮さ」は未就学児、「栄養価」は小学校高学年でそれぞれ他学齢を下回る。

Q12. 魚介類を購入する際の優先順位【母親が回答】

【学齢別】



Q12 あなたのご家庭で食べる魚介類を購入する際の優先順位をお答えください。以下の選択肢の中から上位3位まで、最もあてはまるものをお選びください。(各SA)

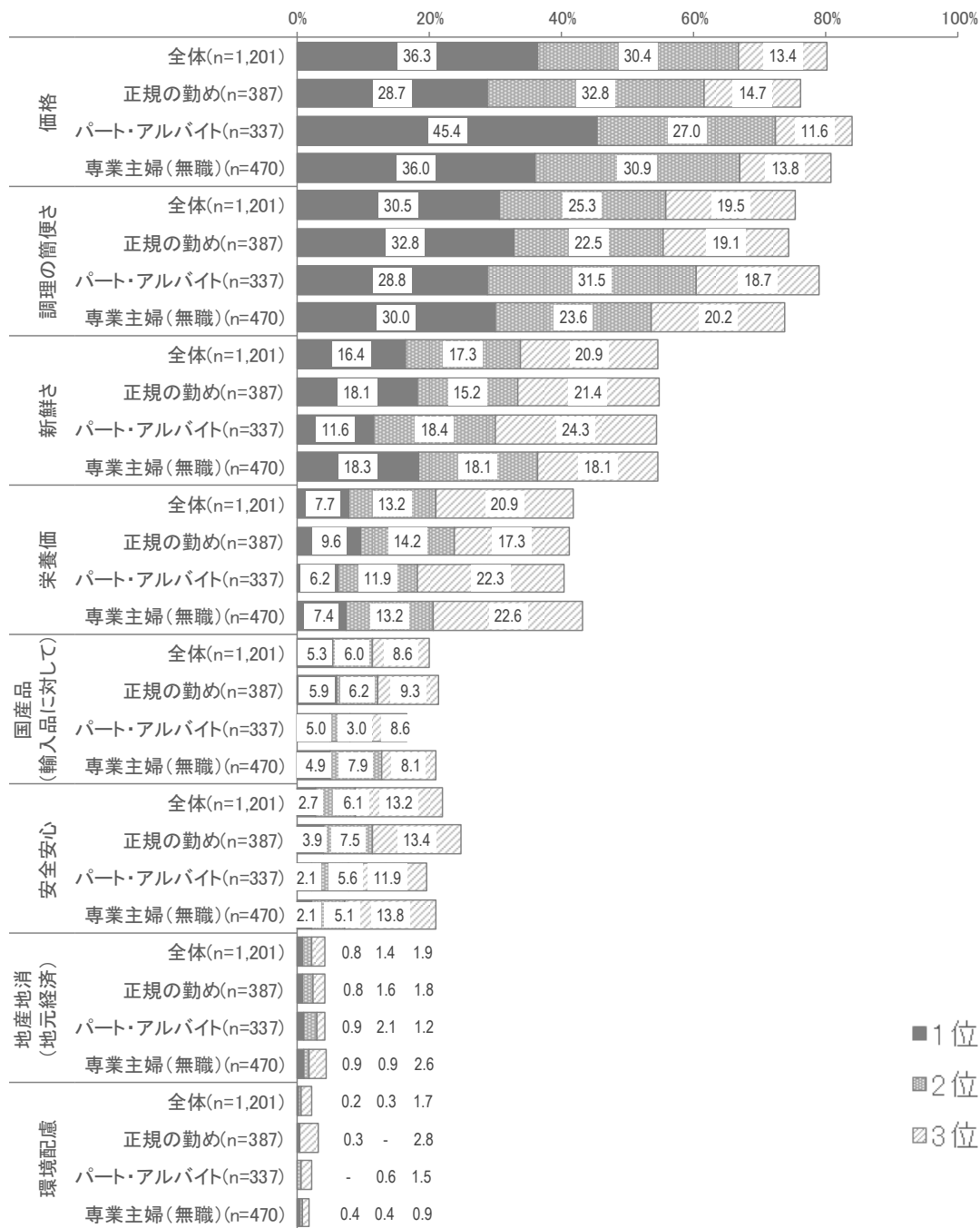
1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-11. 魚介類を購入する際の優先順位

● 1～3位の回答を足し合わせて就業形態別でみると、「価格」「調理の簡便さ」はパート・アルバイトの方で他就業形態を上回っており、1位の割合が高い。

Q12. 魚介類を購入する際の優先順位【母親が回答】

【就業形態別】



※全体「1位」の値を基準に降順並び替え

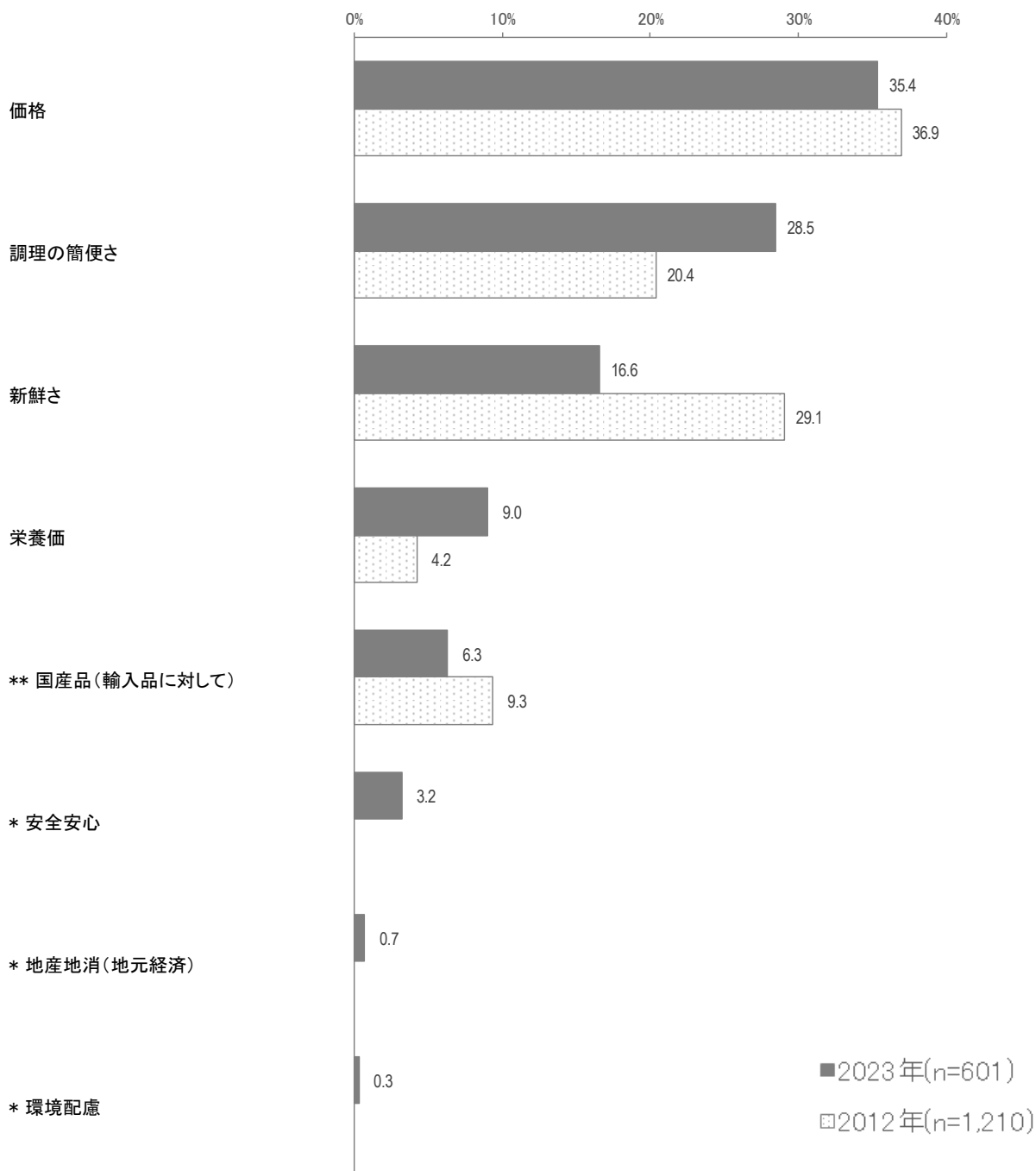
Q12 あなたのご家庭で食べる魚介類を購入する際の優先順位をお答えください。以下の選択肢の中から上位3位まで、最もあてはまるものをお選びください。(各SA)

1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-11. 魚介類を購入する際の優先順位(※2023年:都市部ベースにて比較)

- 2023年は「価格」が最も高く、「調理の簡便さ」が続く。
- 2012年と比較して、「新鮮さ」は大きく減少している一方、「調理の簡便さ」は、大幅に上がっている。

Q12. 魚介類を購入する際の優先順位<1位>【母親が回答】



※2023年の値を基準に降順並び替え / 「*」は2012年非聴取 / 「**」は2012年は「国産品などの品質」

Q12.1 あなたのご家庭で食べる魚介類を購入する際の優先順位をお答えください。以下の選択肢の中から上位3位まで、最もあてはまるものをお選びください。/1位(SA)【都市部ベース】

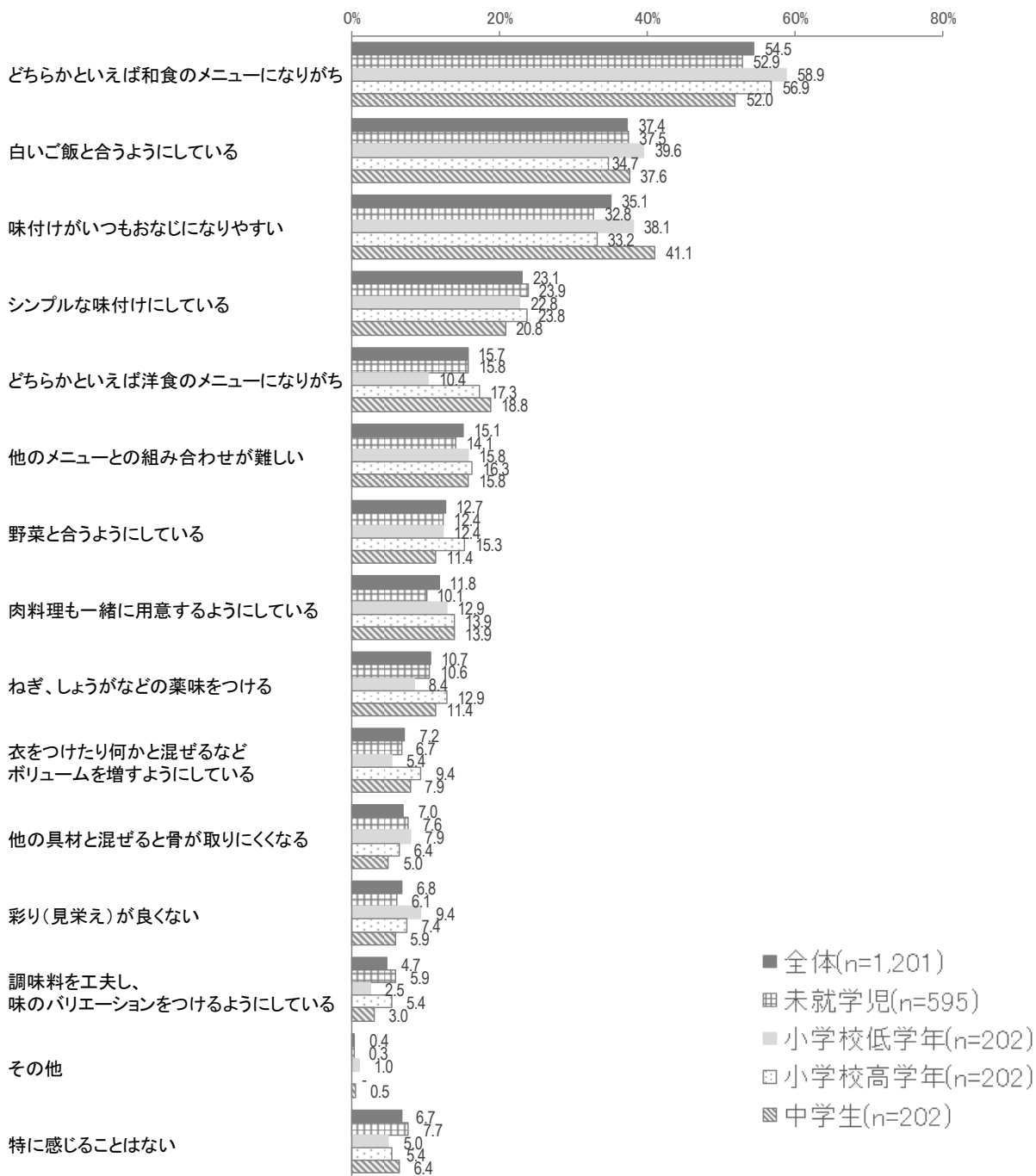
1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-12. 魚介類を食べる際に感じる事

- 「どちらかといえば和食のメニューになりがち」が54.5%で最も高く、「白いご飯と合うようにしている」「味付けがいつもおなじになりやすい」と続く。メニューや味付けについて感じる事が高くなっている傾向がみられる。
- 学齢別でみると、「味付けがいつもおなじになりやすい」は、中学生が他の学齢より高い。

Q13. 魚介類を食べる際に感じる事【母親が回答】

【学齢別】



※全体の値を基準に降順並び替え

Q13 あなたのご家庭で魚介類を食べる際に感じる事をお答えください。以下の選択肢の中からあてはまるものを全てお選びください。(MA)

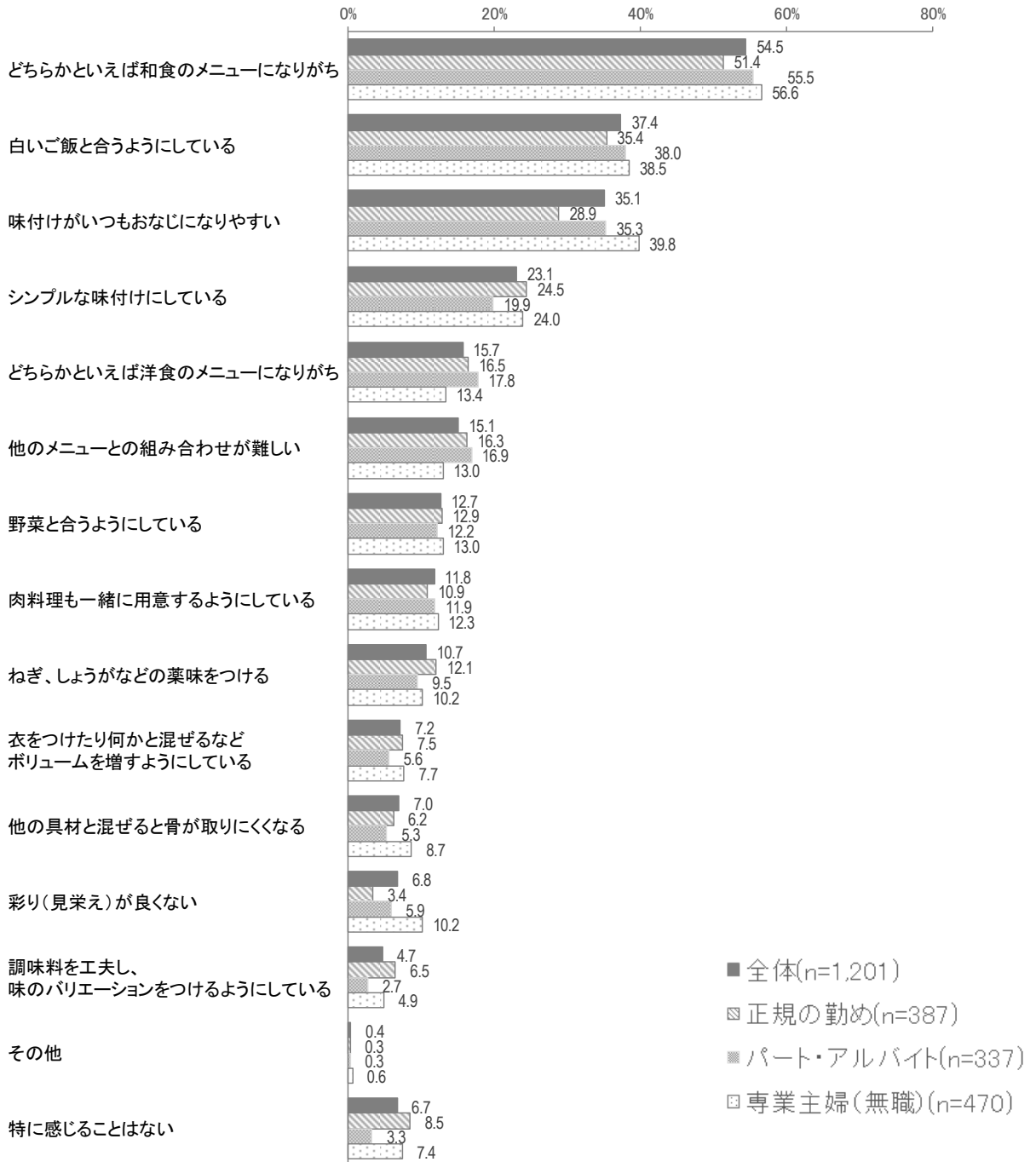
1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-12. 魚介類を食べる際に感じる事

- いずれの就業形態においても、「どちらかといえば和食のメニューになりがち」「白いご飯と合うようにしている」「味付けがいつもおなじになりやすい」が上位に挙がる。
- 「味付けがいつもおなじになりやすい」は、正規の勤めの方が他の就業形態を下回る。

Q13. 魚介類を食べる際に感じる事【母親が回答】

【就業形態別】



※全体の値を基準に降順並び替え

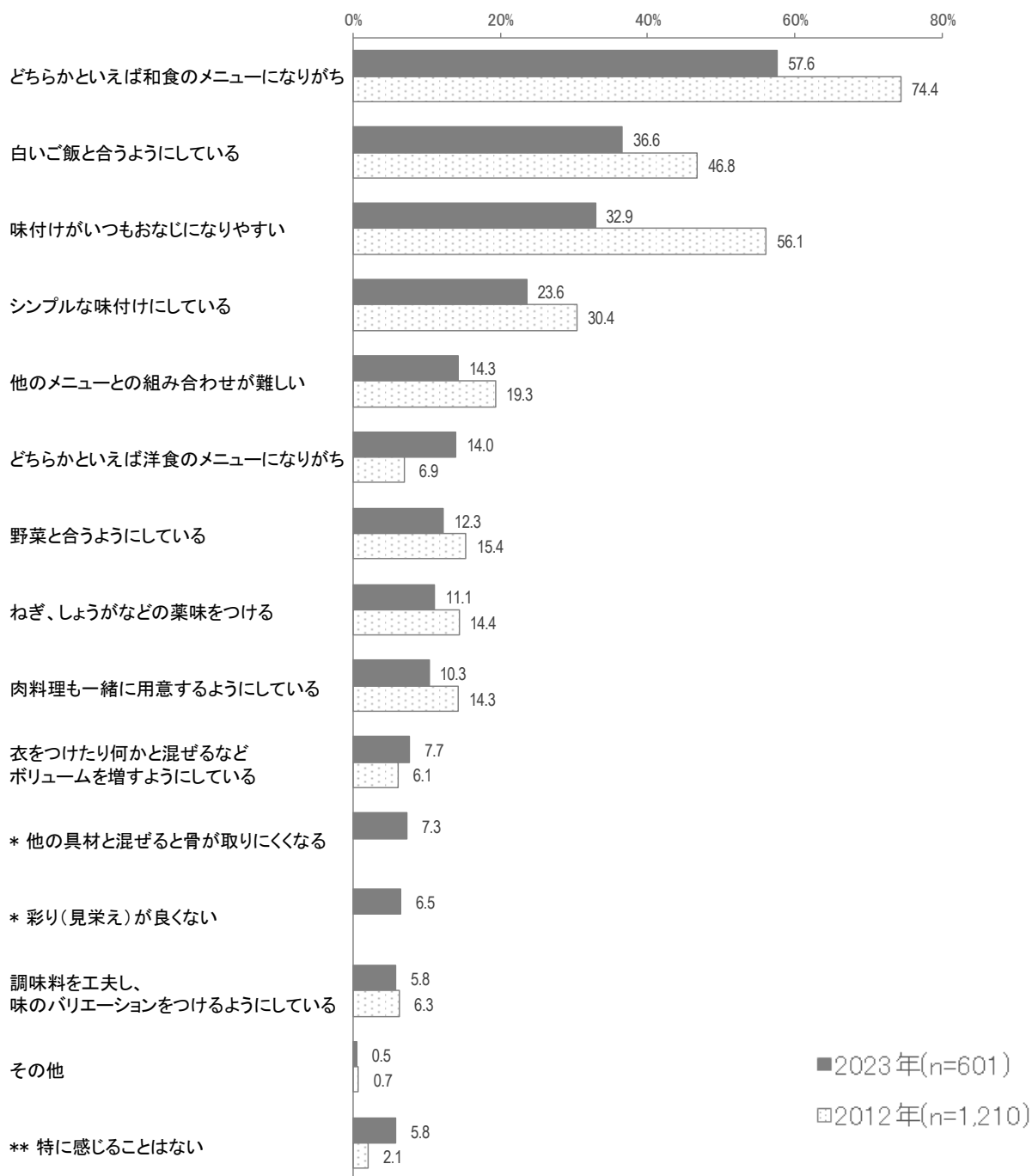
Q13 あなたのご家庭で魚介類を食べる際に感じる事をお答えください。以下の選択肢の中からあてはまるものを全てお選びください。(MA)

1-1. 家庭での食生活全般について

1-1-12. 魚介類を食べる際に感じる事(※2023年:都市部ベースにて比較)

- 2023年で上位の「どちらかといえば和食のメニューになりがち」「白いご飯と合うようにしている」「味付けがいつもおなじになりやすい」は、2012年を下回る。一方で「どちらかといえば和食のメニューになりがち」は大きく上回っており、和食から洋食化が進んでいる事が窺える。

Q13. 魚介類を食べる際に感じる事【母親が回答】



※2023年の値を基準に降順並び替え／「*」は2012年非聴取 / 「**」は2012年「あまり意識しない」で比較

Q13 あなたのご家庭で魚介類を食べる際に感じる事をお答えください。以下の選択肢の中からあてはまるものを全てお選びください。(MA)【都市部ベース】

1-2. 「さかなの日」について

1-2-1. 「さかなの日」に期待する点

- 「スーパーなどでの魚のセールやフェアの開催」が58.4%で突出。安さを求めている事が窺える。
- 学齢別では、中学生で、他の学齢と比較して「スーパーなどでの魚のセールやフェアの開催」が高く、子供の魚食食育コンテンツ情報の充実「体験型イベント」が低い。食育情報、体験型イベントは低年齢層の母が期待する割合が高く、年齢が高くなるにつれて期待は低くなる。

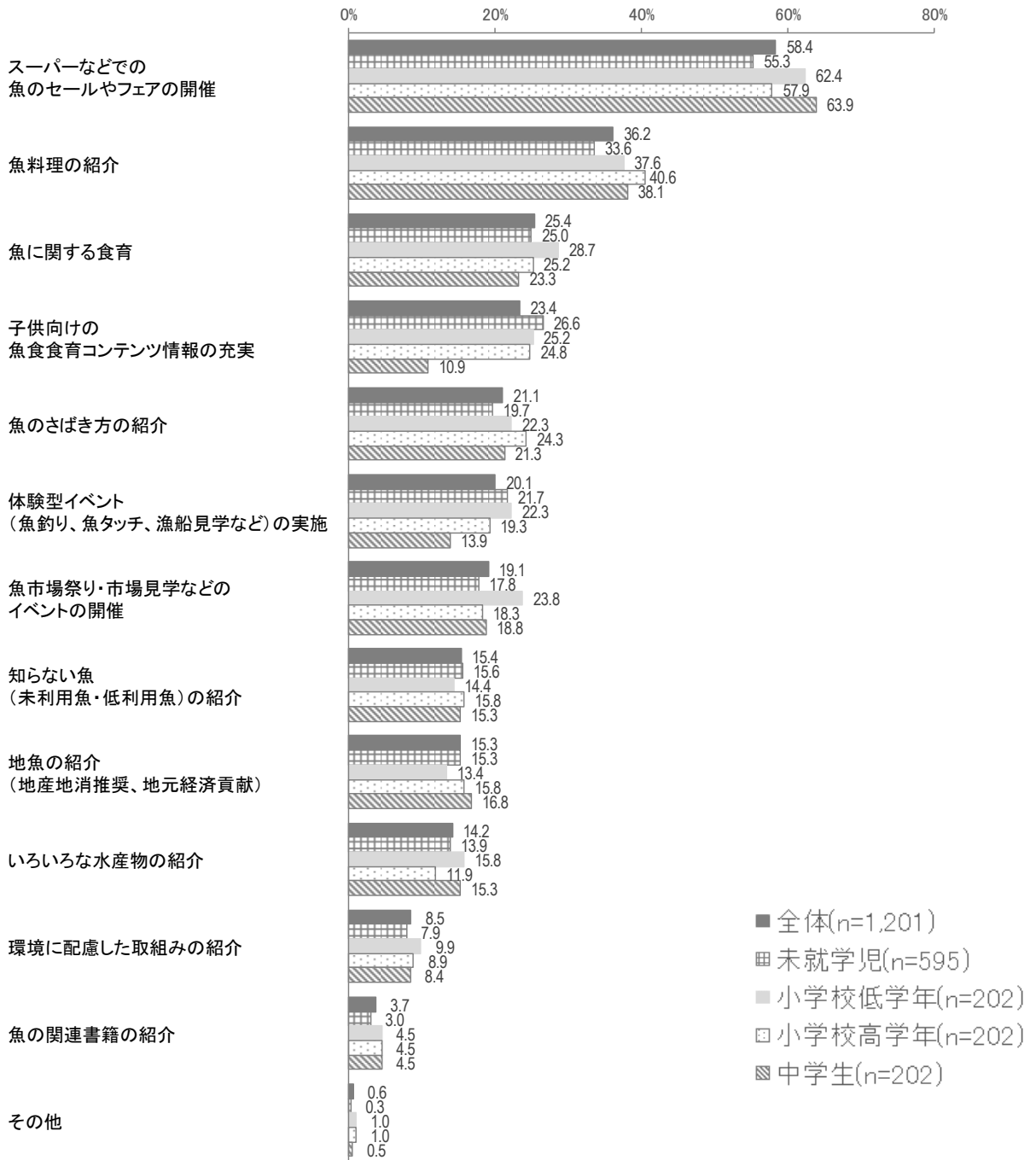
Q14. 「さかなの日」に期待する点
【母親が回答】

【学齢別】

アンケートでの「さかなの日」提示文・ロゴ画像

下記の説明文をよくお読みになってから次へお進みください

令和4年(2022年)11月に水産庁によって「さかなの日」が制定されました。我が国の水産物の消費量が長期的に減少傾向にある中、水産物の消費拡大に向けた官民の取組を推進するため、「さかな×サステナ」をコンセプトに、毎月3～7日を「さかなの日」としました。特に11月3～7日は「いいさかなの日」として、水産物の消費拡大に向けた活動の強化運営と位置付けられています。



※全体の値を基準に降順並び替え

Q14 「さかなの日」として、関連団体や企業などがいろいろな取組みを実施しようとしています。「さかなの日」の取組みとして、あなたが期待する取組みを全てお選びください。(MA)

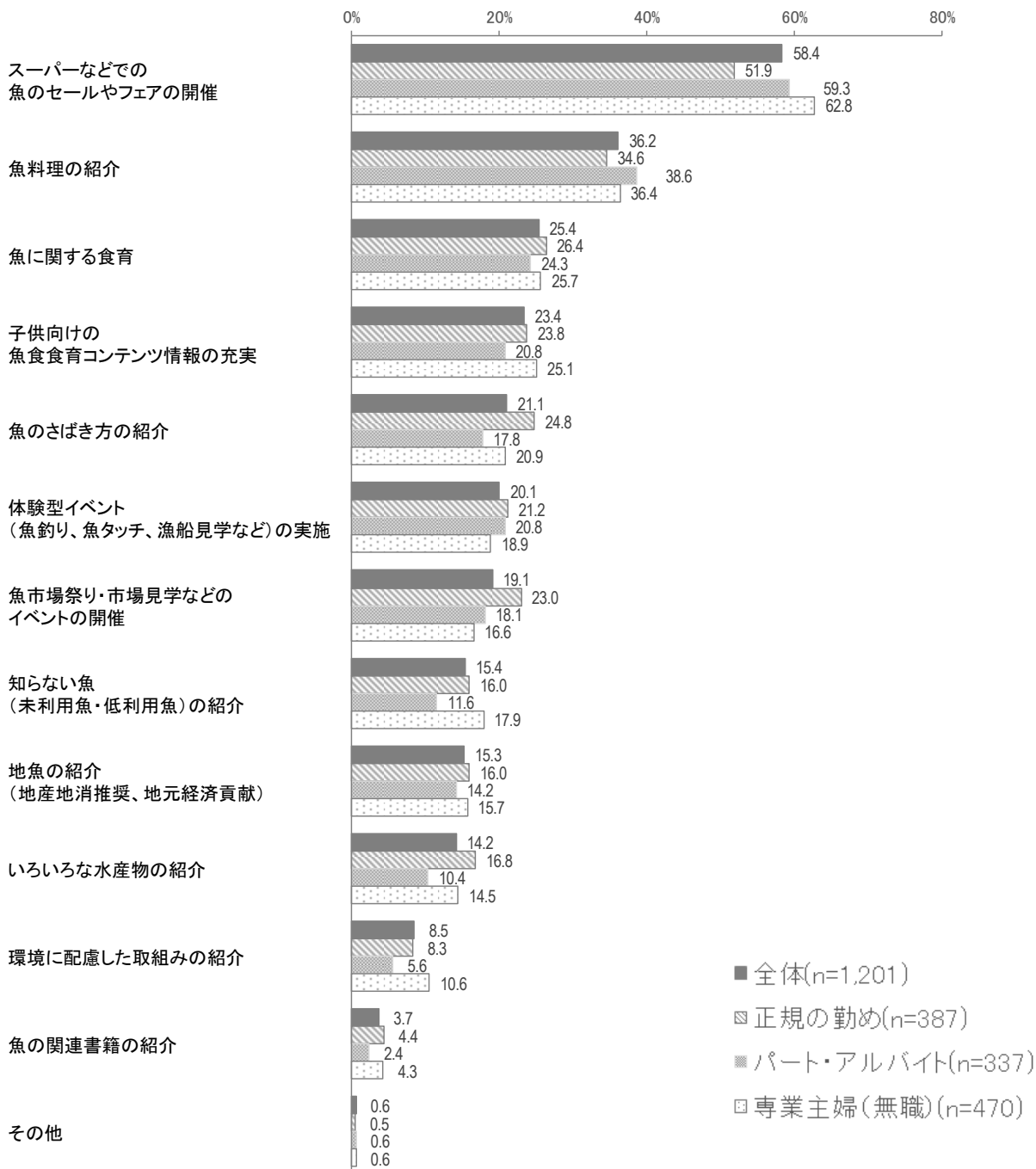
1-2. 「さかなの日」について

1-2-1. 「さかなの日」に期待する点

- いずれの就業形態でも、「スーパーなどでの魚のセールやフェアの開催」「魚料理の紹介」が上位に挙がる。
- 多くの期待項目において、パート・アルバイトが他の就業形態を下回る。特にイベント系を除いた情報についての期待項目において、パート・アルバイトが他の就業形態を下回る。(除く魚料理の紹介)

Q14. 「さかなの日」に期待する点【母親が回答】

【就業形態別】



※全体の値を基準に降順並び替え

Q14 「さかなの日」として、関連団体や企業などがいろいろな取組みを実施しようとしています。「さかなの日」の取組みとして、あなたが期待する取組みを全てお選びください。(MA)

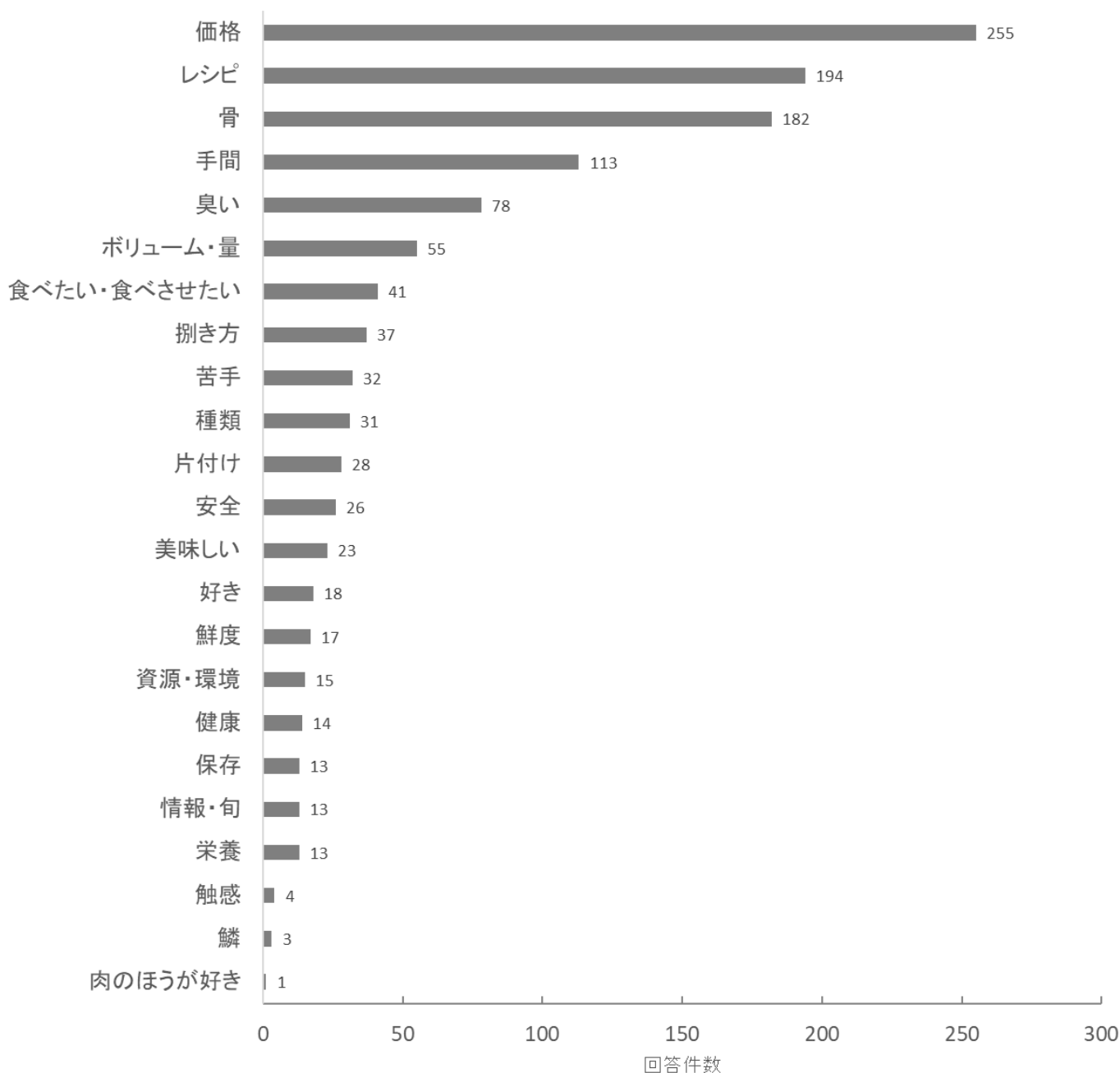
1-3. 魚食に対する自由意見

1-3-3. 魚食に対する自由意見

- 価格及び量と併せてのコストパフォーマンスに対する消極的な意見が最も多く、その後レシピやレパートリーに関する意見、骨や手間・臭い等の調理に関する意見等の消極的な意見が続く。水産物に対する一般的な消極的意見が強く現れ出ている。
- 水産資源や資源管理に対する意見も寄せられ、環境問題への関心も一定数ある事が窺える。
- 健康については、FAの記述を確認すると、栄養価に高い評価が寄せられたものの、その他にはカルシウム（骨）の効能に留まり、魚特有のDHAやEPA、魚肉タンパクといった近年魚食でアピールしている栄養素の記載がなく一般には浸透していない事が窺える。
- 安全では、アニサキスや水銀、放射性物質等を不安視する意見が多い他、原産国を注視する意見も見られた。

Q15. 魚食に対する自由意見【母親が回答】

※記述式回答のため、内容によって複数カウント



Q15 あなたが、魚に関して思っている事や、感じている事、改善してほしい事、ご要望など、お考えになっている事を自由にお書きください。(FA)

1-3. 魚食に対する自由意見

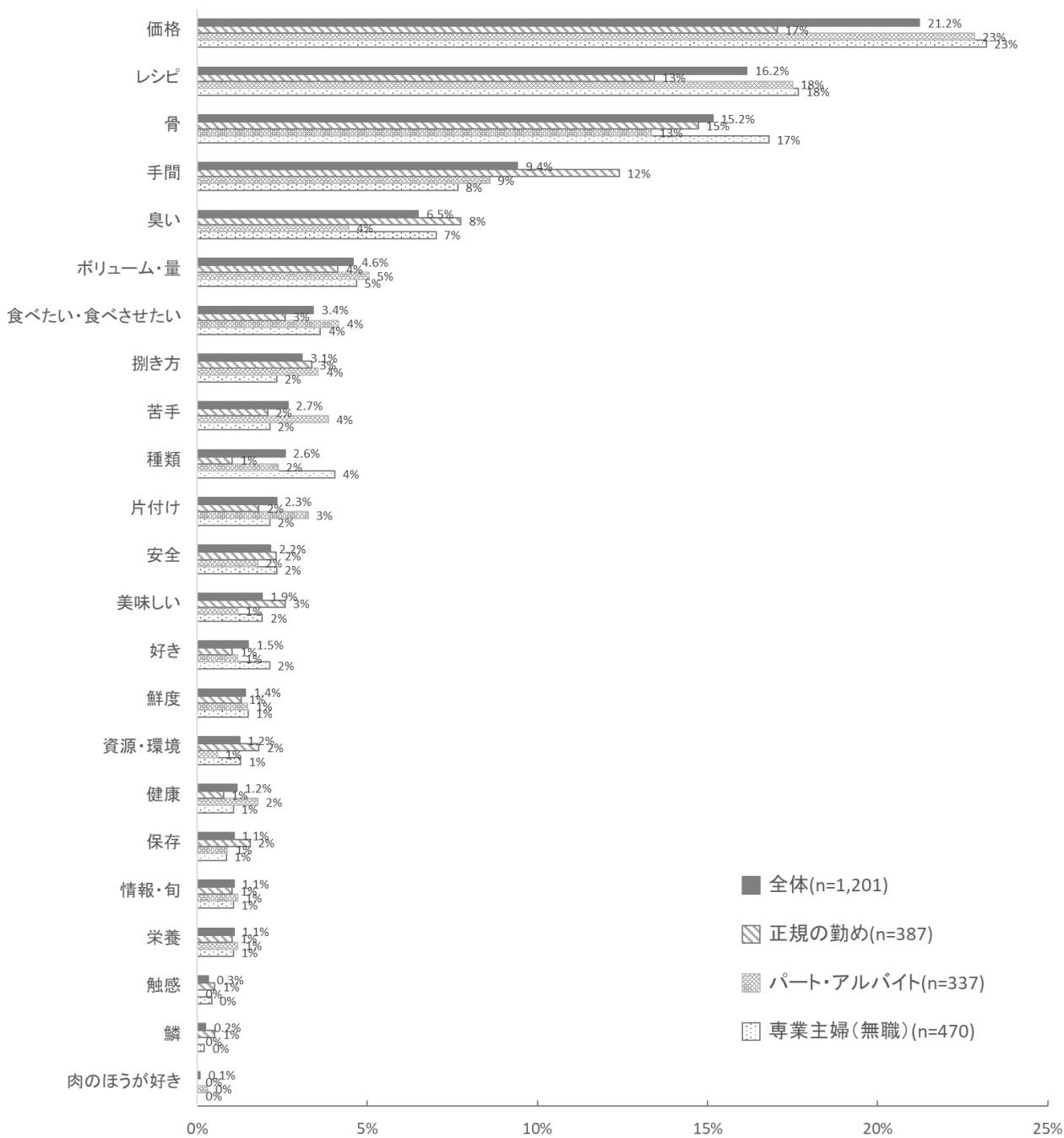
1-3-3. 魚食に対する自由意見

- 専業主婦及びパート・アルバイトの方において、価格が23%、レシピ(レパートリー)が18%と、両者に対する意識が顕著であった。(調理頻度と関係があると考えられる。)
- 正規の勤めの方では調理時の手間を厭う意見が12%と顕著に見られた(全体では約9%)。
(調理に充てられる時間との関係(時短や簡略化)にも要因があると考えられる。)
- 価格に対しては、正規の勤めの方における意識が17%と他の就業形態よりも著しく低く表れている。
(世帯収入との関係が窺える)

Q15. 魚食に対する自由意見【母親が回答】

※記述式回答のため、内容によって複数カウント

【就業形態別】



※全体の値を基準に並び替え

Q15 あなたが、魚に関して思っている事や、感じている事、改善してほしい事、ご要望など、お考えになっている事を自由にお書きください。(FA)

1-3. 魚食に対する自由意見

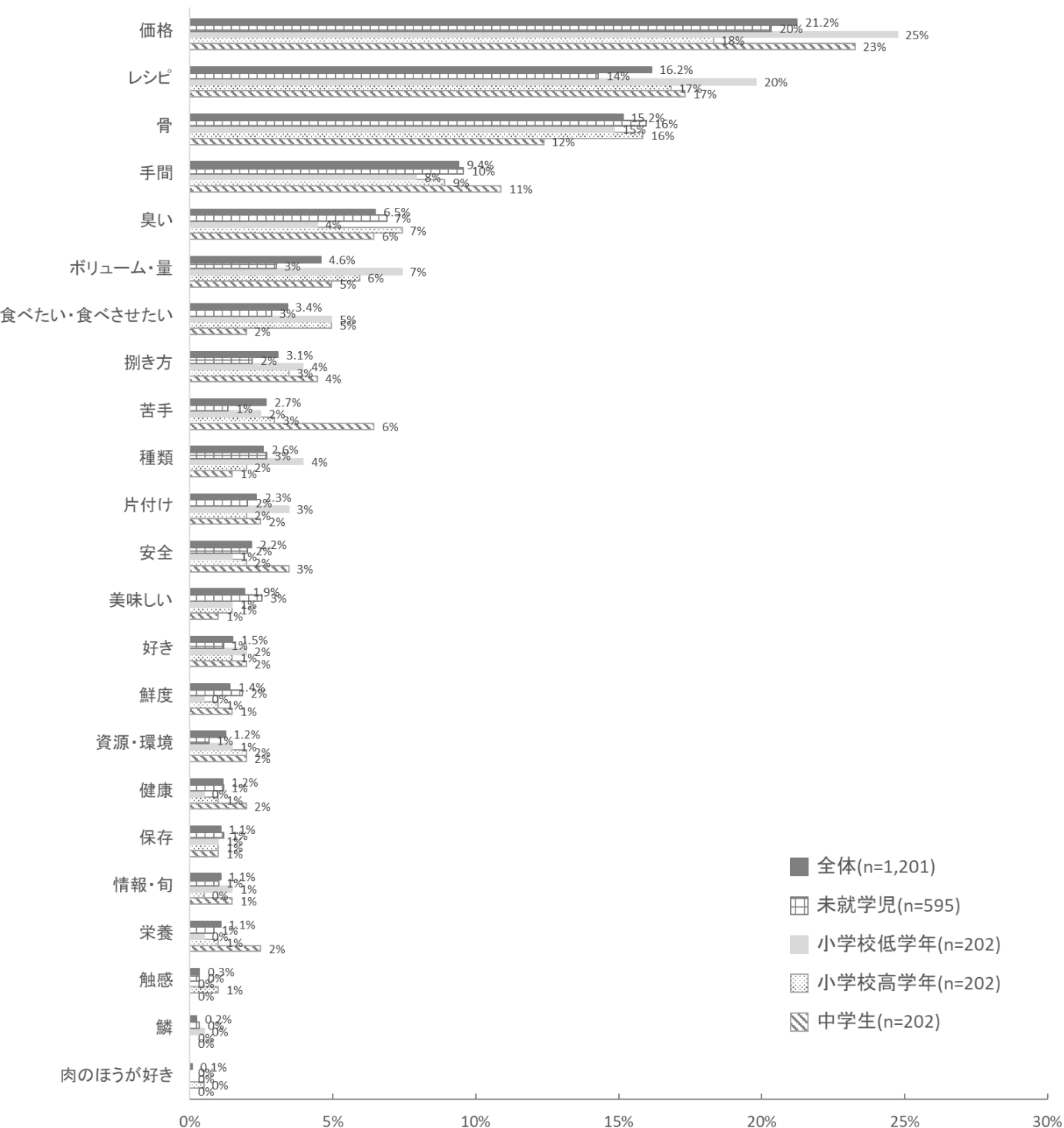
1-3-3. 魚食に対する自由意見

- 未就学児のみ、価格20%、骨16%、レシピ14%と、上位三種の順位が全体・他3区分に対して特異的であった。（幼児が食べるものとして、骨による怪我や食べにくさに対する意識が高いためだと考えられる。）
- 中学生において苦手な項目が特異的に高く、好き嫌いによる苦手意識が強くなる事が窺える。

Q15. 魚食に対する自由意見【母親が回答】

※記述式回答のため、内容によって複数カウント

【学齢別】



※全体の値を基準に並び替え

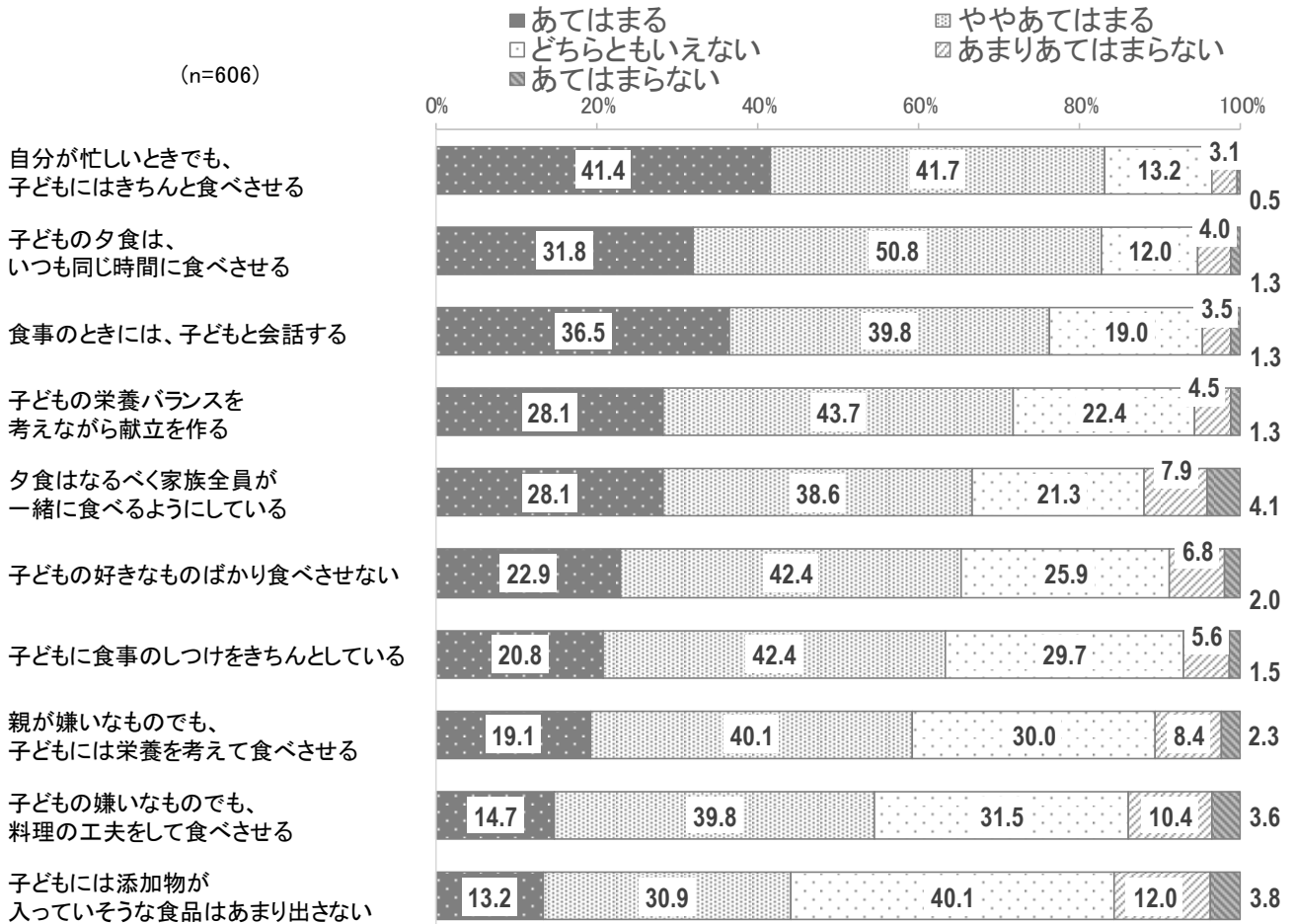
Q15 あなたが、魚に関して思っている事や、感じている事、改善してほしい事、ご要望など、お考えになっている事を自由に書きください。(FA)

2-1. 母親に対して子供の学校給食について

2-1-1. 子供の食事についての意識・実態

- 子供の食事についての意識・実態であてはまる・計は、「自分が忙しいときでも、子供にはきちんと食べさせる」「子供の夕食は、いつも同じ時間に食べさせる」が8割超え。
- 一方で、「子供には添加物が入っていそうな食品はあまり出さない」は44.1%。

Q16. 子供の食事についての意識・実態【母親が回答】



※「あてはまる・計」の値を基準に降順並び替え

Q16 あなたは、お子様の食事についてどのようにされていますか。以下の選択肢の中からそれぞれ最もあてはまるものをお選びください。(各SA)【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-1. 母親に対して子供の学校給食について

2-1-1. 子供の食事についての意識・実態

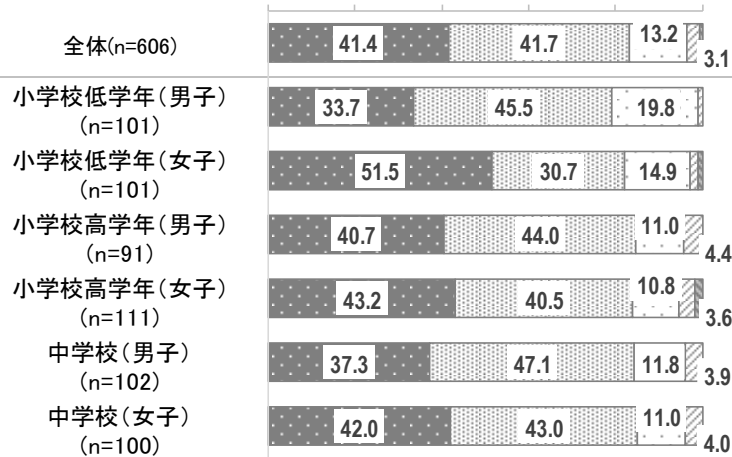
- あてはまる・計では、「自分が忙しいときでも、子供にはきちんと食べさせる」は全ての学齢×性別において、80%前後と高い。
- あてはまる・計では、「子供の夕食は、いつも同じ時間に食べさせる」は小学校低学年(男子)で、「子供の栄養バランスを考えながら献立を作る」は、小学校高学年(男子)でそれぞれ他学齢×性別を上回る。

Q16. 子供の食事についての意識・実態【母親が回答】

【学齢×性別】

(1) 自分が忙しいときでも、 子どもにはきちんと食べさせる

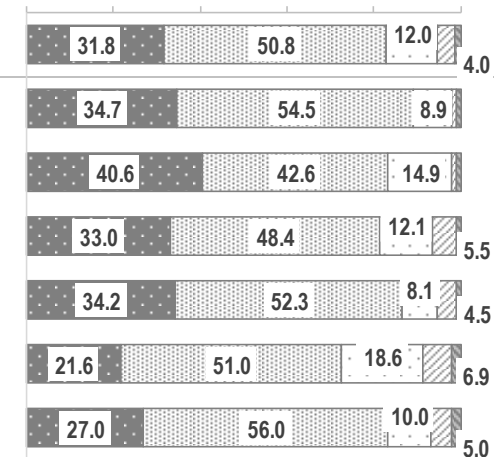
- あてはまる
- どちらともいえない
- あてはまらない
- ▣ ややあてはまる
- ▣ あまりあてはまらない



※3%未満はグラフ内ラベル非表示

(2) 子どもの夕食は、 いつも同じ時間に食べさせる

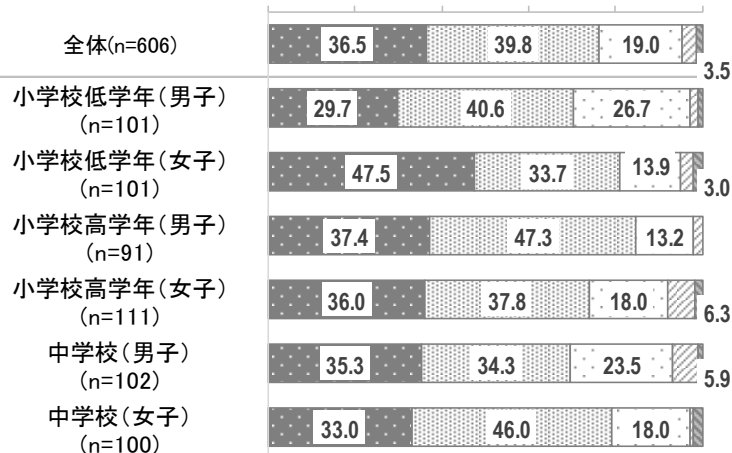
- あてはまる
- どちらともいえない
- あてはまらない
- ▣ ややあてはまる
- ▣ あまりあてはまらない



※3%未満はグラフ内ラベル非表示

(3) 食事のときには、 子どもと会話する

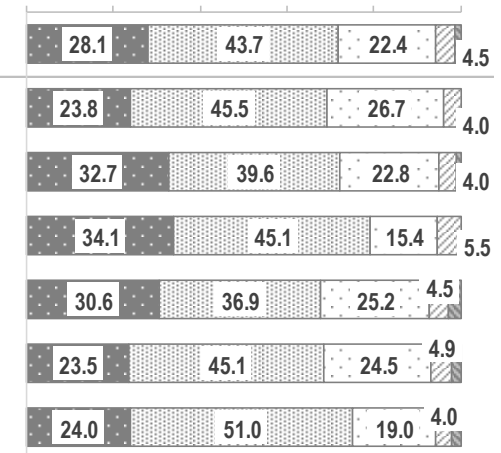
- あてはまる
- どちらともいえない
- あてはまらない
- ▣ ややあてはまる
- ▣ あまりあてはまらない



※3%未満はグラフ内ラベル非表示

(4) 子どもの栄養バランスを 考えながら献立を作る

- あてはまる
- どちらともいえない
- あてはまらない
- ▣ ややあてはまる
- ▣ あまりあてはまらない



※3%未満はグラフ内ラベル非表示

Q16 あなたは、お子様の食事についてどのようにされていますか。以下の選択肢の中からそれぞれ最もあてはまるものをお選びください。(各SA)【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-1. 母親に対して子供の学校給食について

2-1-1. 子供の食事についての意識・実態

- あてはまる・計では、「夕食はなるべく家族全員が一緒に食べるようにしている」は小学校低学年(女子)で、「子供の好きなものばかり食べさせない」は小学校高学年(男子)で、「親が嫌いなものでも、子供には栄養を考えて食べさせる」は小学校高学年(男子)でそれぞれ他学齢×性別を上回る。

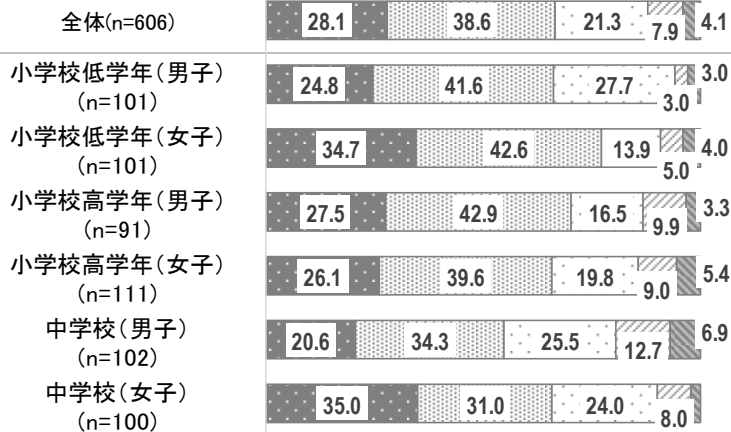
Q16. 子供の食事についての意識・実態【母親が回答】

【学齢×性別】

(5) 夕食はなるべく家族全員が一緒に食べるようにしている

- あてはまる
- どちらともいえない
- あてはまらない
- ▣ ややあてはまる
- ▣ あまりあてはまらない

0% 20% 40% 60% 80% 100%

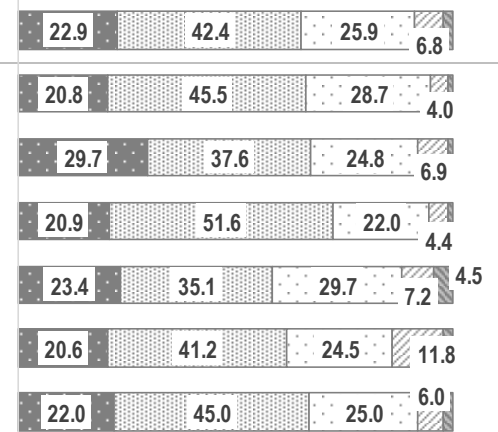


※3%未満はグラフ内ラベル非表示

(6) 子どもの好きなものばかり食べさせない

- あてはまる
- どちらともいえない
- あてはまらない
- ▣ ややあてはまる
- ▣ あまりあてはまらない

0% 20% 40% 60% 80% 100%

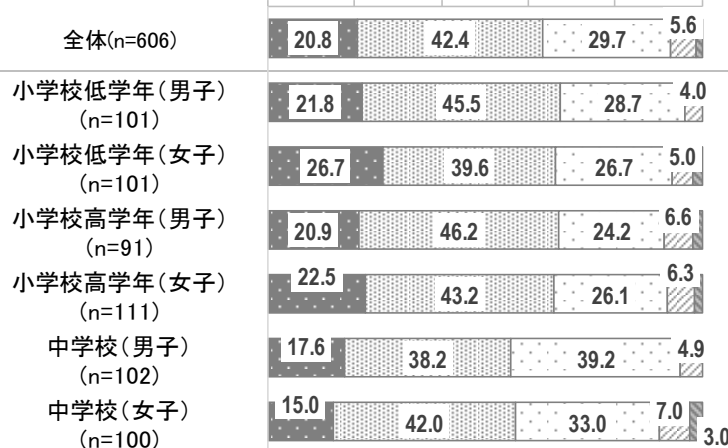


※3%未満はグラフ内ラベル非表示

(7) 子どもに食事のしつけをきちんとしている

- あてはまる
- どちらともいえない
- あてはまらない
- ▣ ややあてはまる
- ▣ あまりあてはまらない

0% 20% 40% 60% 80% 100%

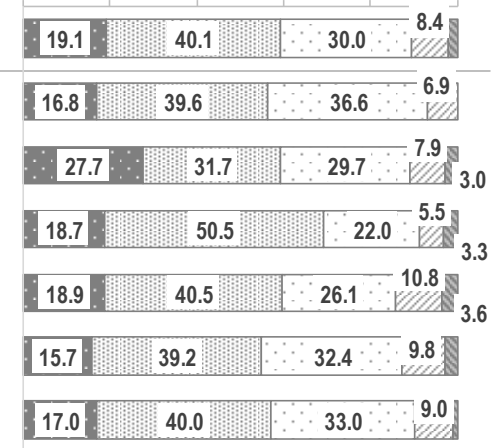


※3%未満はグラフ内ラベル非表示

(8) 親が嫌いなものでも、子どもには栄養を考えて食べさせる

- あてはまる
- どちらともいえない
- あてはまらない
- ▣ ややあてはまる
- ▣ あまりあてはまらない

0% 20% 40% 60% 80% 100%



※3%未満はグラフ内ラベル非表示

Q16 あなたは、お子様の食事についてどのようにされていますか。以下の選択肢の中からそれぞれ最もあてはまるものをお選びください。(各SA)【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-1. 母親に対して子供の学校給食について

2-1-1. 子供の食事についての意識・実態

- あてはまる・計では、「子供の嫌いなものでも、料理の工夫をして食べさせる」は小学校高学年(男子)で他学齢×性別を上回る。

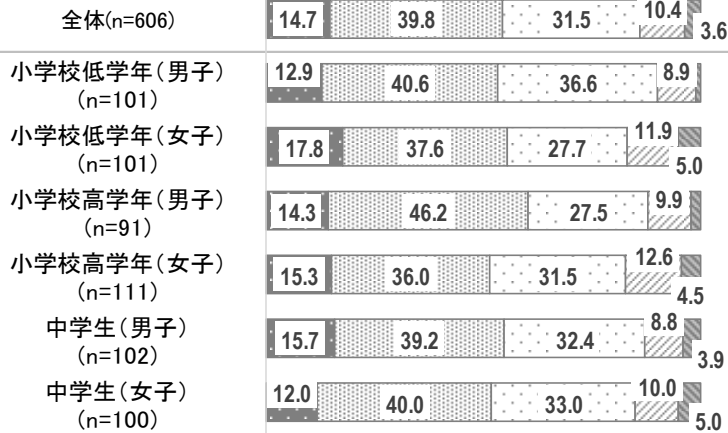
Q16. 子供の食事についての意識・実態【母親が回答】

【学齢×性別】

(9) 子どもの嫌いなものでも、料理の工夫をして食べさせる

- あてはまる
- どちらともいえない
- あてはまらない
- ▣ ややあてはまる
- ▣ あまりあてはまらない

0% 20% 40% 60% 80% 100%

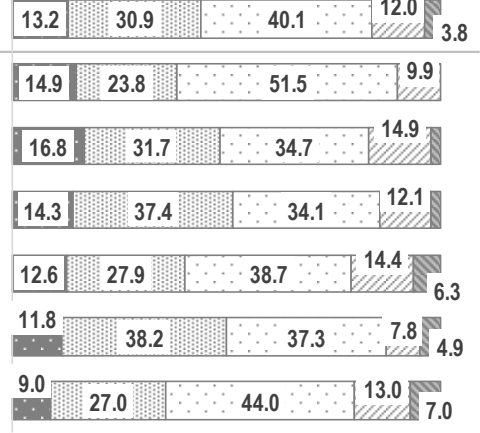


※3%未満はグラフ内ラベル非表示

(10) 子どもには添加物が入っていないような食品はあまり出さない

- あてはまる
- どちらともいえない
- あてはまらない
- ▣ ややあてはまる
- ▣ あまりあてはまらない

0% 20% 40% 60% 80% 100%



※3%未満はグラフ内ラベル非表示

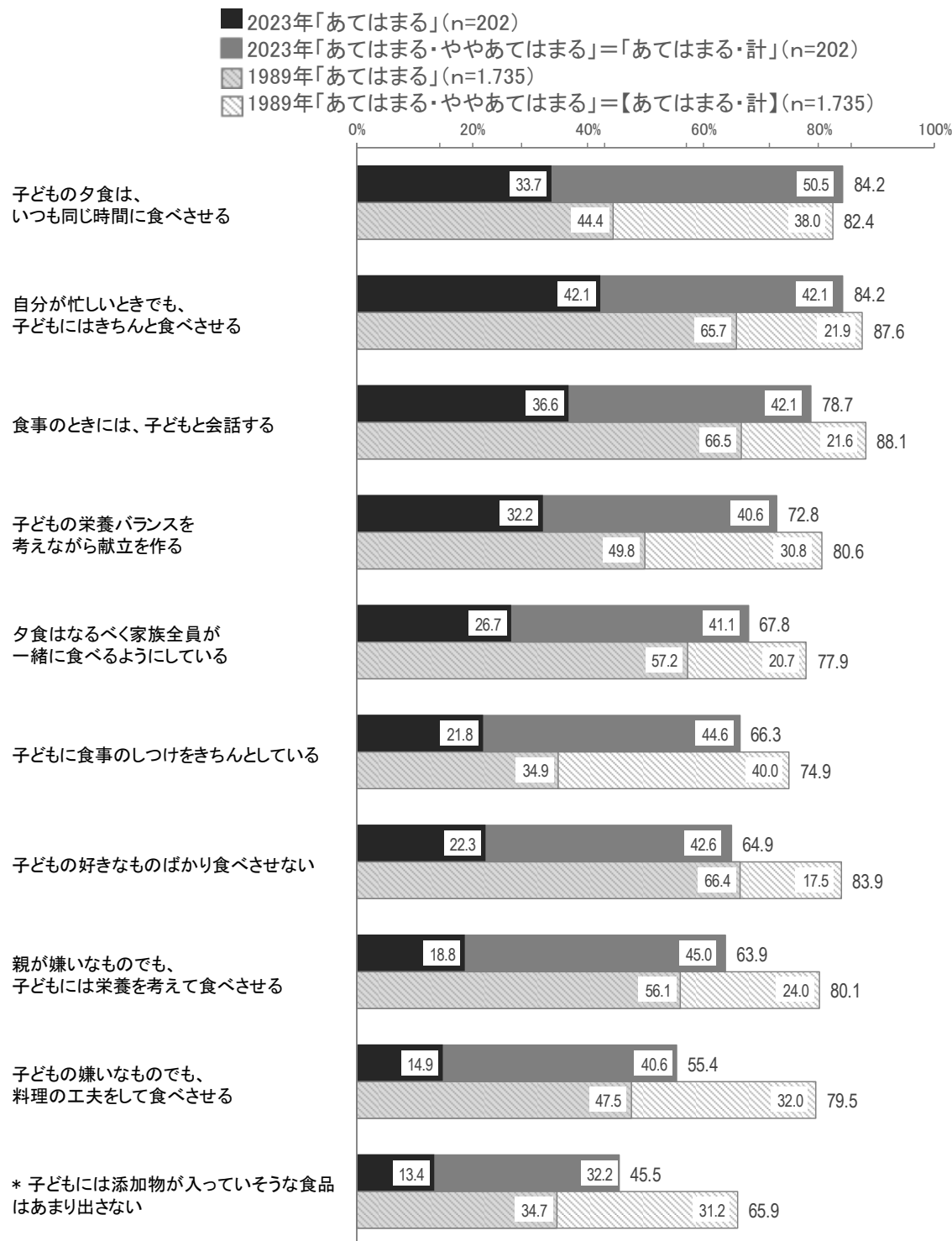
Q16 あなたは、お子様の食事についてどのようにされていますか。以下の選択肢の中からそれぞれ最もあてはまるものをお選びください。(各SA)【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-1. 母親に対して子供の学校給食について

2-1-1. 子供の食事についての意識・実態(※2023年:小学校高学年ベースにて比較)

- あてはまるでは、全ての項目で1989年と比較して大きく低下。中でも、「食事のときには、子供と会話する」「夕食はなるべく家族全員が一緒に食べるようにしている」「子供の好きなものばかり食べさせない」「子供の嫌いなものでも、料理の工夫をして食べさせる」など1989年を大幅に下回っている。

Q16. 子供の食事についての意識・実態<あてはまる/ややあてはまる>【母親が回答】



※2023年「あてはまる・計」の値を基準に降順並び替え／*は1989年「子どもには添加物の入った食品はあまり出さない」と比較

Q16 あなたは、お子様の食事についてどのようにされていますか。以下の選択肢の中からそれぞれ最もあてはまるものをお選びください。/「あてはまる」『あてはまる・計』スコア(各SA)【小学校高学年ベース】

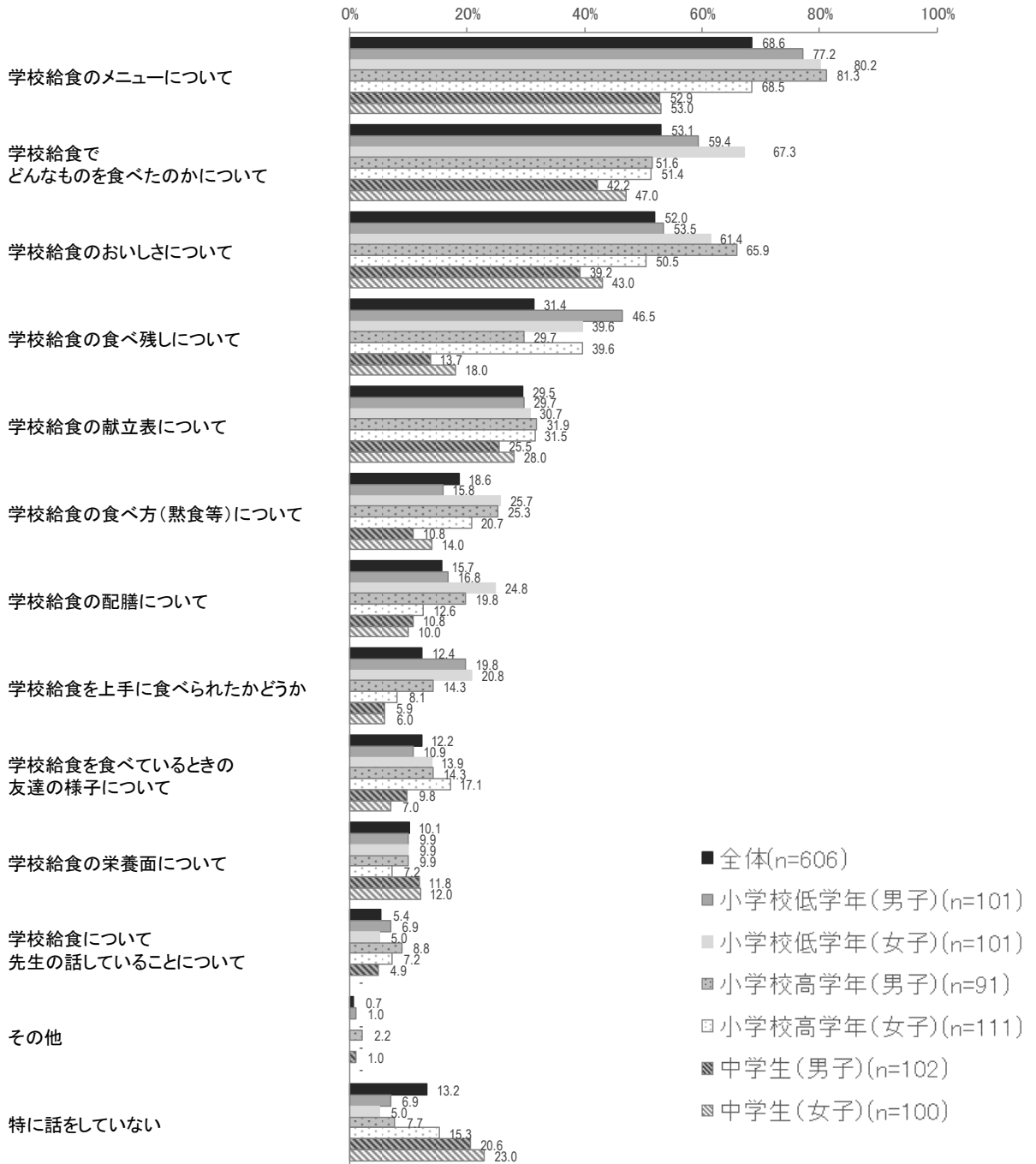
2-1. 母親に対して子供の学校給食について

2-1-2. 食についての親子でのコミュニケーション(給食のメニュー、給食の栄養面、その他)

- 全体では、「学校給食のメニューについて」が68.6%で最も高く、「学校給食でどんなものを食べたのかについて」が続く。
- 「特に話をしていない」は13.2%であり、年齢が高くなるほど数値も高い。

Q17. 学校給食についての親子でのコミュニケーション【母親が回答】

【学齢×性別】



※全体の値を基準に降順並び替え

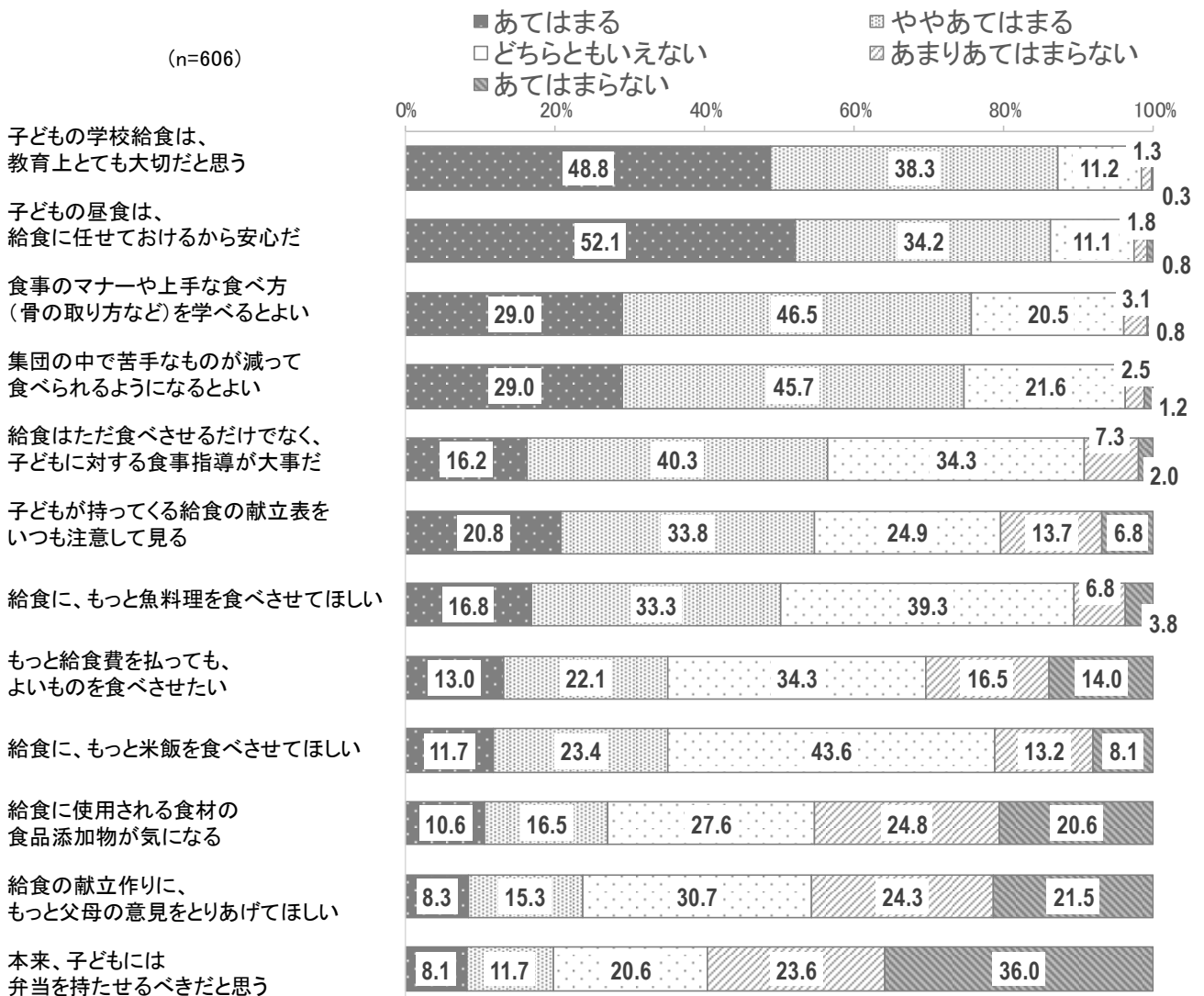
Q17 あなたのご家庭では、お子様と学校給食について話をしていますか。以下の選択肢の中から話をしている内容を全てお選びください。(MA)【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-1. 母親に対して子供の学校給食について

2-1-3. 学校給食についての考え方

- 学校給食について、8割以上の母親が、給食が「教育上とても大切で、昼食はその給食に任せておけるから安心」だと考えている。「食事のマナーや上手な食べ方(骨のとり方など)を学べると良い」と考えている他、集団の中で苦手なものが食べられるようになる事を期待している割合が約75%である。
- 給食の献立に注意している母親は半分程度で、本来、弁当を持たせるべきと考えている母親は2割程度に留まる。

Q18. 学校給食についての考え方【母親が回答】



※「あてはまる・計」の値を基準に降順並び替え

Q18 あなたは学校給食についてどのようにお考えですか。以下の選択肢の中からそれぞれ最もあてはまるものをお選びください。(各SA)【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-1. 母親に対して子供の学校給食について

2-1-3. 学校給食についての考え方

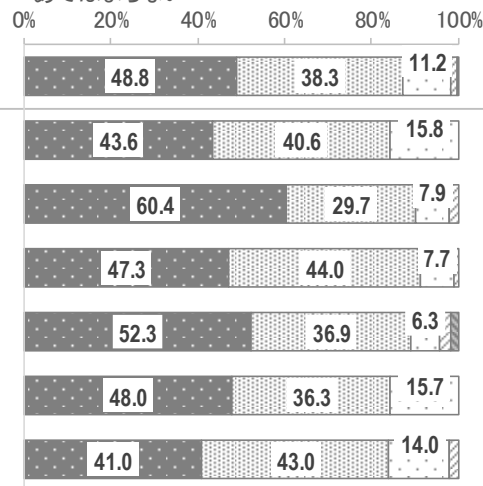
- 学校給食について、8割以上の母親が、「給食が教育上とても大切」、「昼食はその給食に任せておけるから安心だ」「食事のマナーや上手な食べ方(骨の取り方など)を学べるとよい」「集団の中で苦手なものが減って食べられるようになる」とよい」を期待している。

Q18. 学校給食についての考え方【母親が回答】

【学齢×性別】

(1) 子どもの学校給食は、 教育上とても大切だと思う

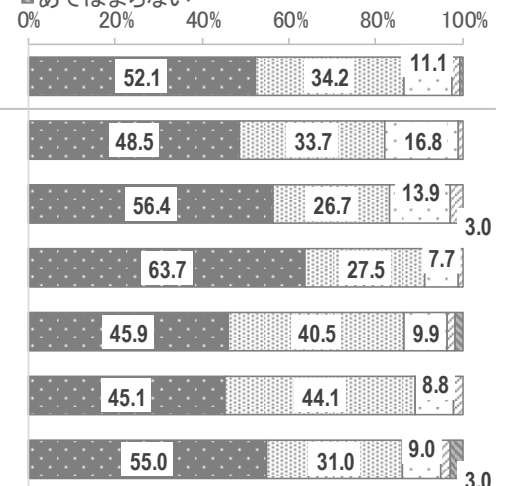
- あてはまる □どちらともいえない ■あてはまらない
- ▣ややあてはまる ▣あまりあてはまらない



※3%未満はグラフ内ラベル非表示

(2) 子どもの昼食は、 給食に任せておけるから安心だ

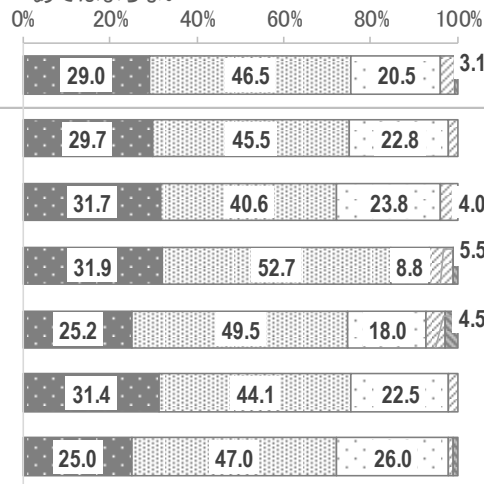
- あてはまる □どちらともいえない ■あてはまらない
- ▣ややあてはまる ▣あまりあてはまらない



※3%未満はグラフ内ラベル非表示

(3) 食事のマナーや上手な食べ方 (骨の取り方など)を学べるとよい

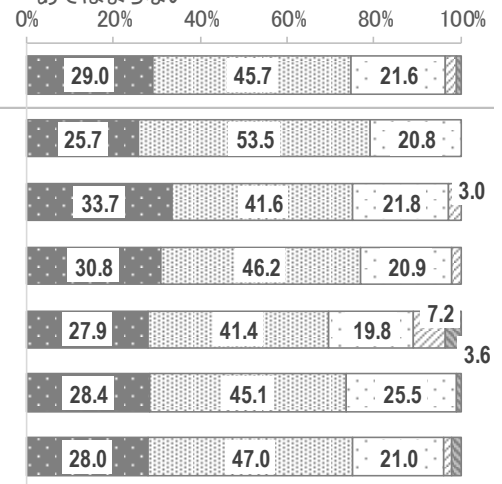
- あてはまる □どちらともいえない ■あてはまらない
- ▣ややあてはまる ▣あまりあてはまらない



※3%未満はグラフ内ラベル非表示

(4) 集団の中で苦手なものが減って 食べられるようになるとうい

- あてはまる □どちらともいえない ■あてはまらない
- ▣ややあてはまる ▣あまりあてはまらない



※3%未満はグラフ内ラベル非表示

Q18 あなたは学校給食についてどのようにお考えですか。以下の選択肢の中からそれぞれ最もあてはまるものをお選びください。(各SA)【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-1. 母親に対して子供の学校給食について

2-1-3. 学校給食についての考え方

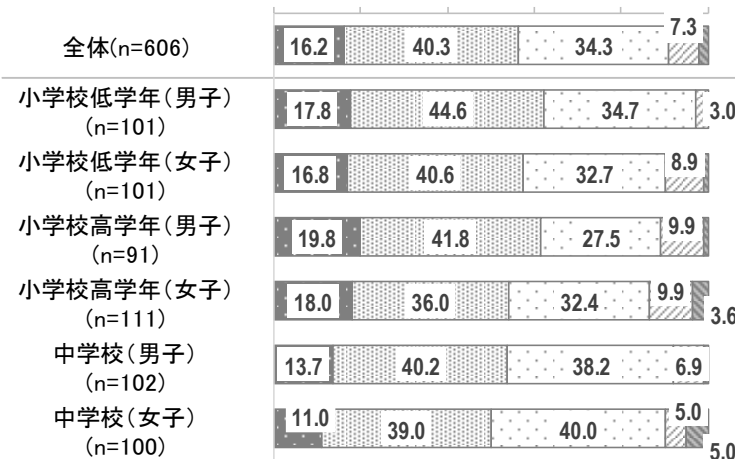
- 学校給食について、「給食はただ食べさせるだけでなく、子供に対する食事指導が大事だ」「子供が持ってくる給食の献立表をいつも注意して見る」「給食にもっと魚料理を食べさせてほしい」と考えている母親は半数程度。

Q18. 学校給食についての考え方【母親が回答】

【学齢×性別】

(5) 給食はただ食べさせるだけでなく、 子どもに対する食事指導が大事だ

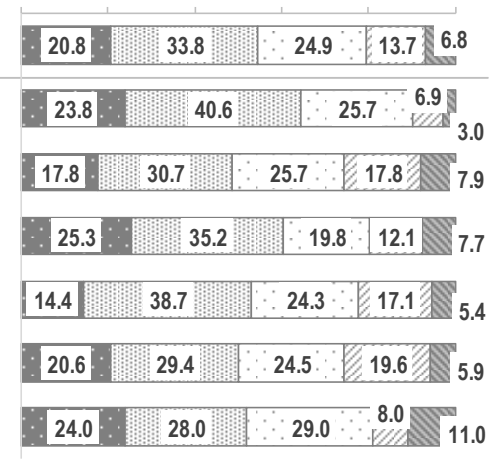
- あてはまる □どちらともいえない
- あてはまらない □ややあてはまる □あまりあてはまらない



※3%未満はグラフ内ラベル非表示

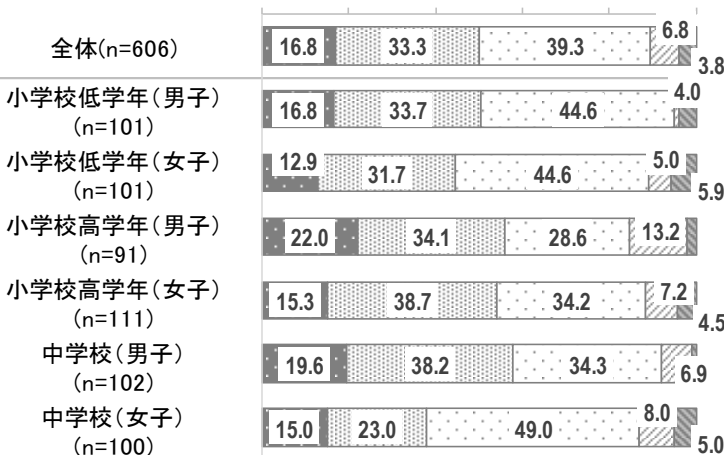
(6) 子どもが持ってくる給食の 献立表をいつも注意して見る

- あてはまる □どちらともいえない
- あてはまらない □ややあてはまる □あまりあてはまらない



(7) 給食に、もっと魚料理を 食べさせてほしい

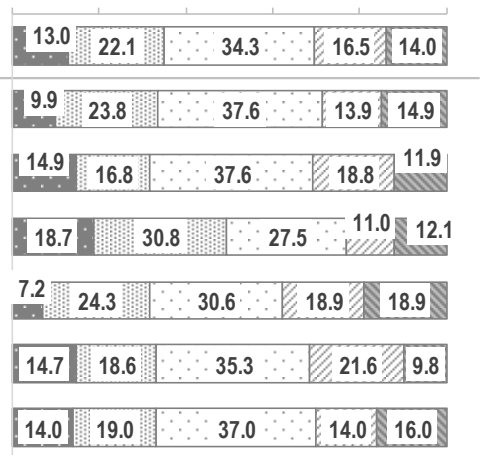
- あてはまる □どちらともいえない
- あてはまらない □ややあてはまる □あまりあてはまらない



※3%未満はグラフ内ラベル非表示

(8) もっと給食費を払っても、 よいものを食べさせたい

- あてはまる □どちらともいえない
- あてはまらない □ややあてはまる □あまりあてはまらない



Q18 あなたは学校給食についてどのようにお考えですか。以下の選択肢の中からそれぞれ最もあてはまるものをお選びください。(各SA)【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-1. 母親に対して子供の学校給食について

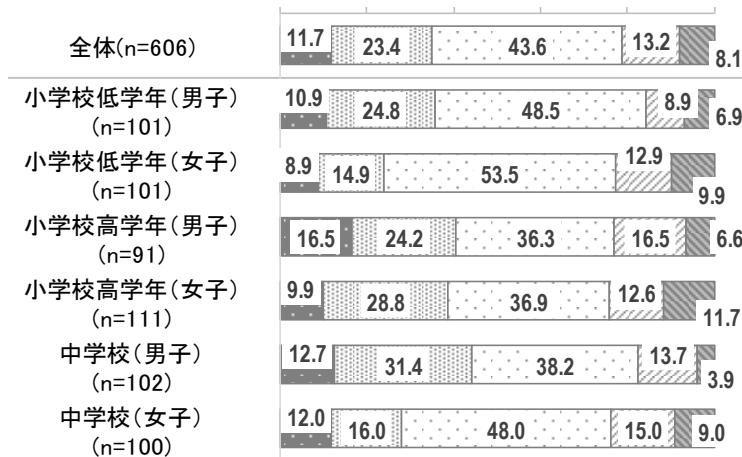
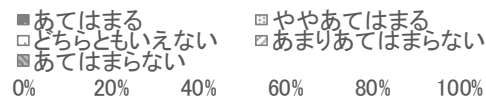
2-1-3. 学校給食についての考え方

- 学校給食について、「本来、弁当を持たせるべき」と考えている母親は2割程度に留まる。

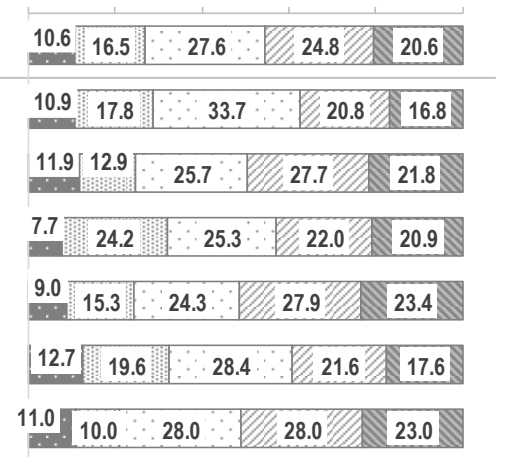
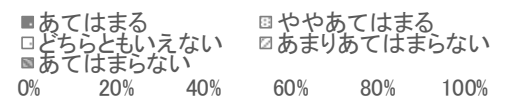
Q18. 学校給食についての考え方【母親が回答】

【学齢×性別】

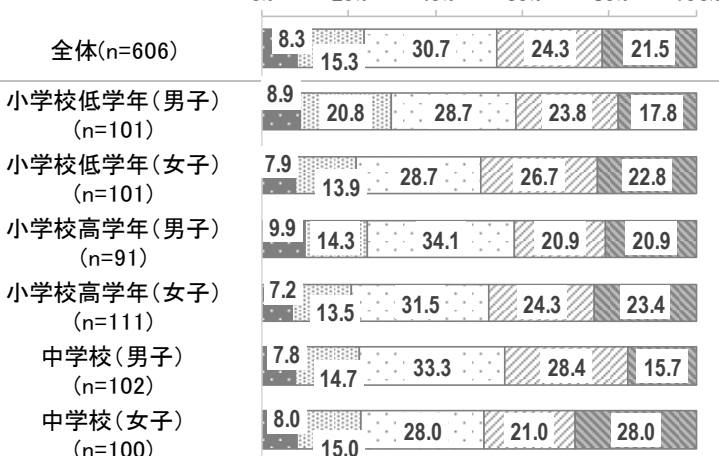
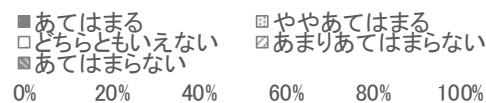
(9) 給食に、もっと米飯を 食べさせてほしい



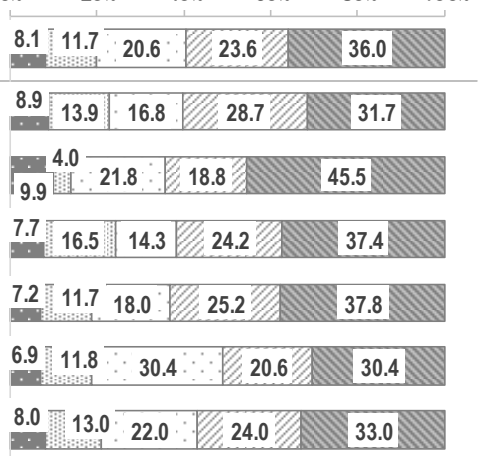
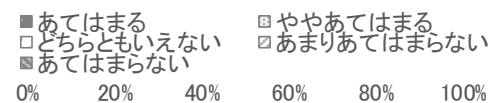
(10) 給食に使用される食材の 食品添加物が気になる



(11) 給食の献立作りに、もっと 父母の意見をとりあげてほしい



(12) 本来、子どもには 弁当を持たせるべきだと思う



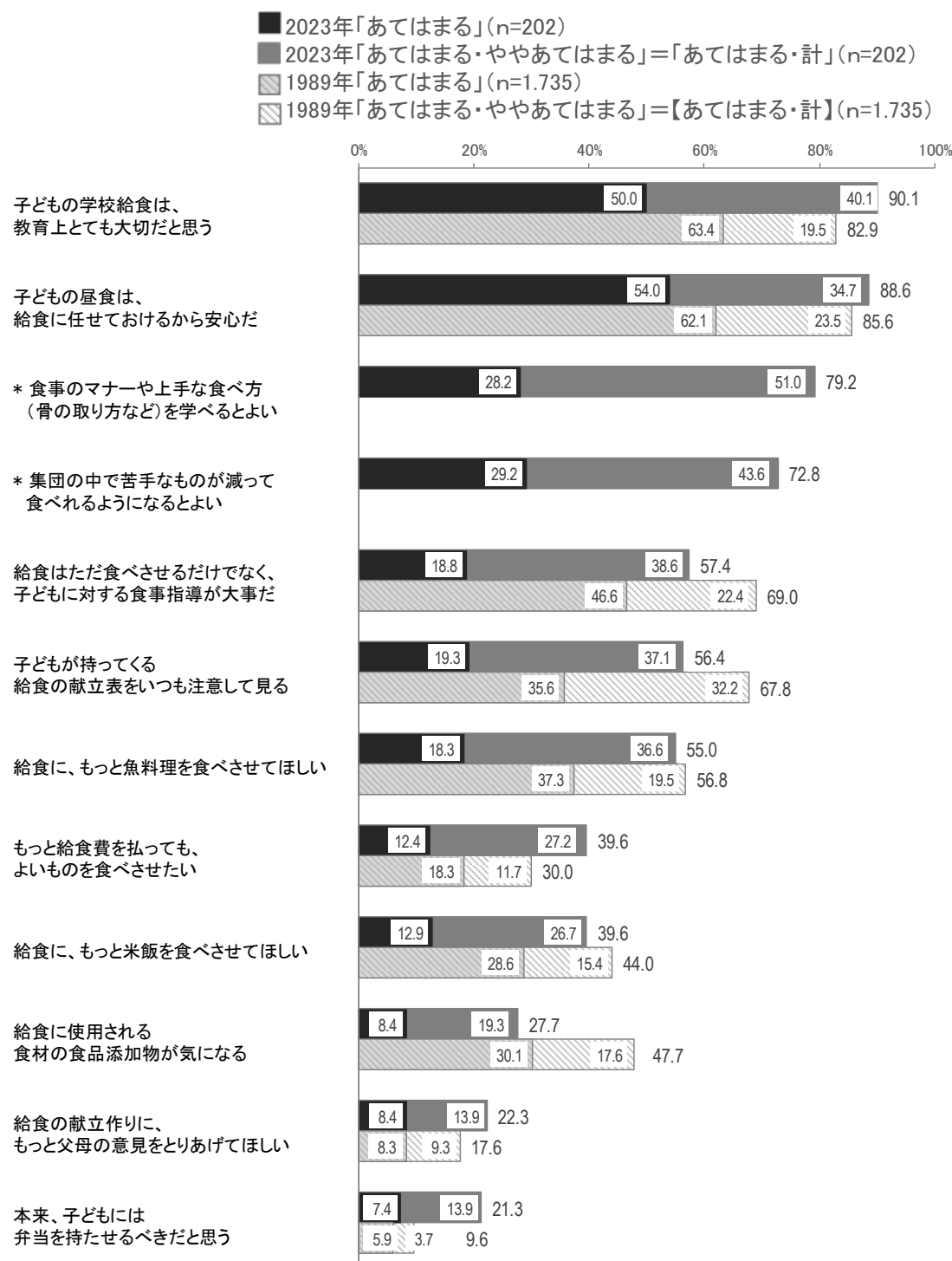
Q18 あなたは学校給食についてどのようにお考えですか。以下の選択肢の中からそれぞれ最もあてはまるものをお選びください。
 (各SA)【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-1. 母親に対して子供の学校給食について

2-1-3. 学校給食についての考え方(※2023年:小学校高学年ベースにて比較)

- あてはまるでは、2023年と1989年の回答を比較すると、「給食は食べさせるだけでなく、食事指導が大事」「もっと魚料理を食べさせてほしい」「もっと米飯を食べさせてほしい」「献立表をいつも注意して見る」「食品添加物が気になる」が大きく下回っている。指導や献立等への意識が低下している一方で、給食費を払ってもよいものを食べさせたい割合は10ポイント増加した。食べ方や、魚・米食に対する考え、食品添加物を気にする意識が低下している事が窺える。

Q18. 学校給食についての考え方であてはまるもの<あてはまる/ややあてはまる>【母親が回答】



※2023年「あてはまる・計」の値を基準に降順並び替え／*は1989年非聴取

Q18 あなたは学校給食についてどのようにお考えですか。以下の選択肢の中からそれぞれ最もあてはまるものをお選びください。/「あてはまる」「あてはまる・計」スコア(各SA)【小学校高学年ベース】

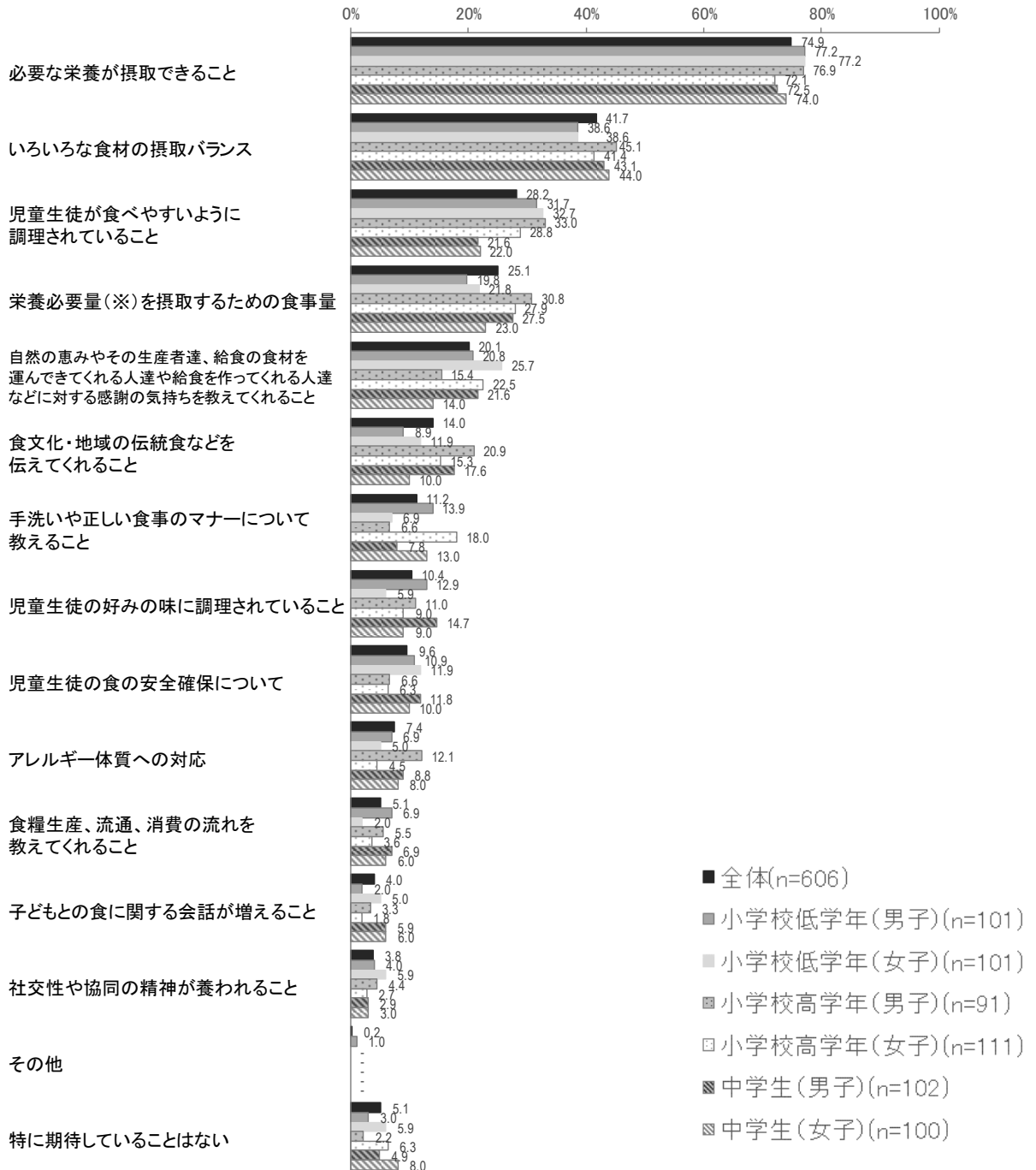
2-1. 母親に対して子供の学校給食について

2-1-4. 学校給食に期待している事

- 全体では「必要な栄養が摂取できる事」が74.9%で最も高く、「いろいろな食材の摂取バランス」「児童生徒が食べやすいように調理されている事」「栄養必要量を摂取するための食事量」が続く。
栄養やバランス、食べやすさに対する期待が高い傾向が窺える。

Q19. 学校給食に期待している事【母親が回答】

【学齢×性別】



※全体の値を基準に降順並び替え

(※)栄養必要量は、国民が健康を維持し、十分な生活活動を営むために摂取することが望ましい量

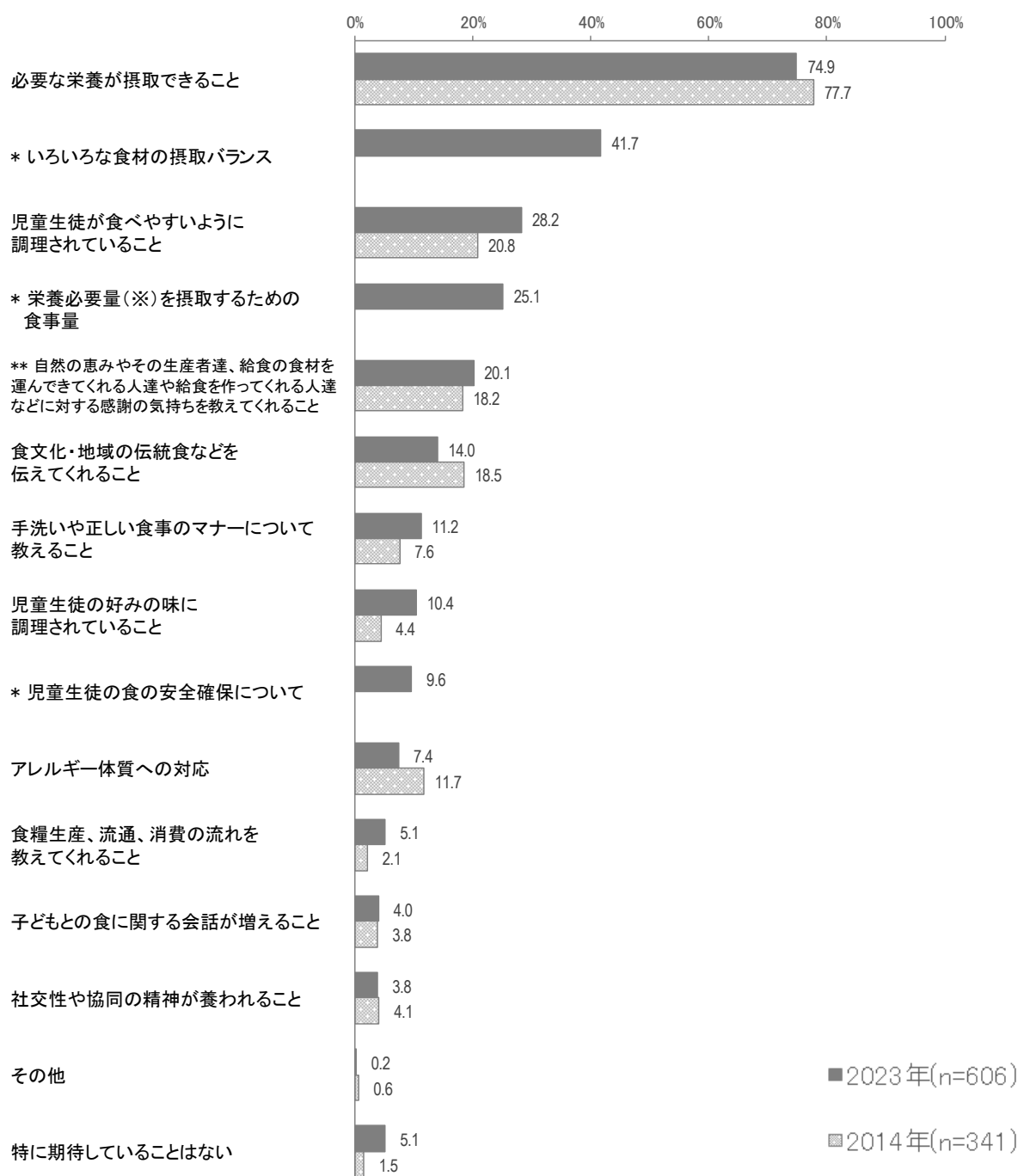
Q19 学校給食法には、以下の項目について定められております。以下の選択肢の中から、あなたが学校給食に期待する事を3つまでお選びください。(MA)【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-1. 母親に対して子供の学校給食について

2-1-4. 学校給食に期待している事(※2023年:小学校低学年、高学年、中学生ベースにて比較)

- 「児童生徒が食べやすいように調理されている事」「児童生徒の好みの味に調理されている事」は2014年を5pt以上上回っている。一方で、「児童生徒の食の安全確保について」は大きく下回る。

Q19. 学校給食に期待している事【母親が回答】



※2023年の値を基準に降順並び替え／「*」は2014年非聴取
 「**」は2014年「自然の恵みや生産者等へ感謝の気持ちについて教えてくれること」と比較
 (※)栄養必要量は、国民が健康を維持し、十分な生活活動を営むために摂取することが望ましい量

Q19 学校給食法には、以下の項目について定められております。以下の選択肢の中から、あなたが学校給食に期待する事を3つまでお選びください。(MA)【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

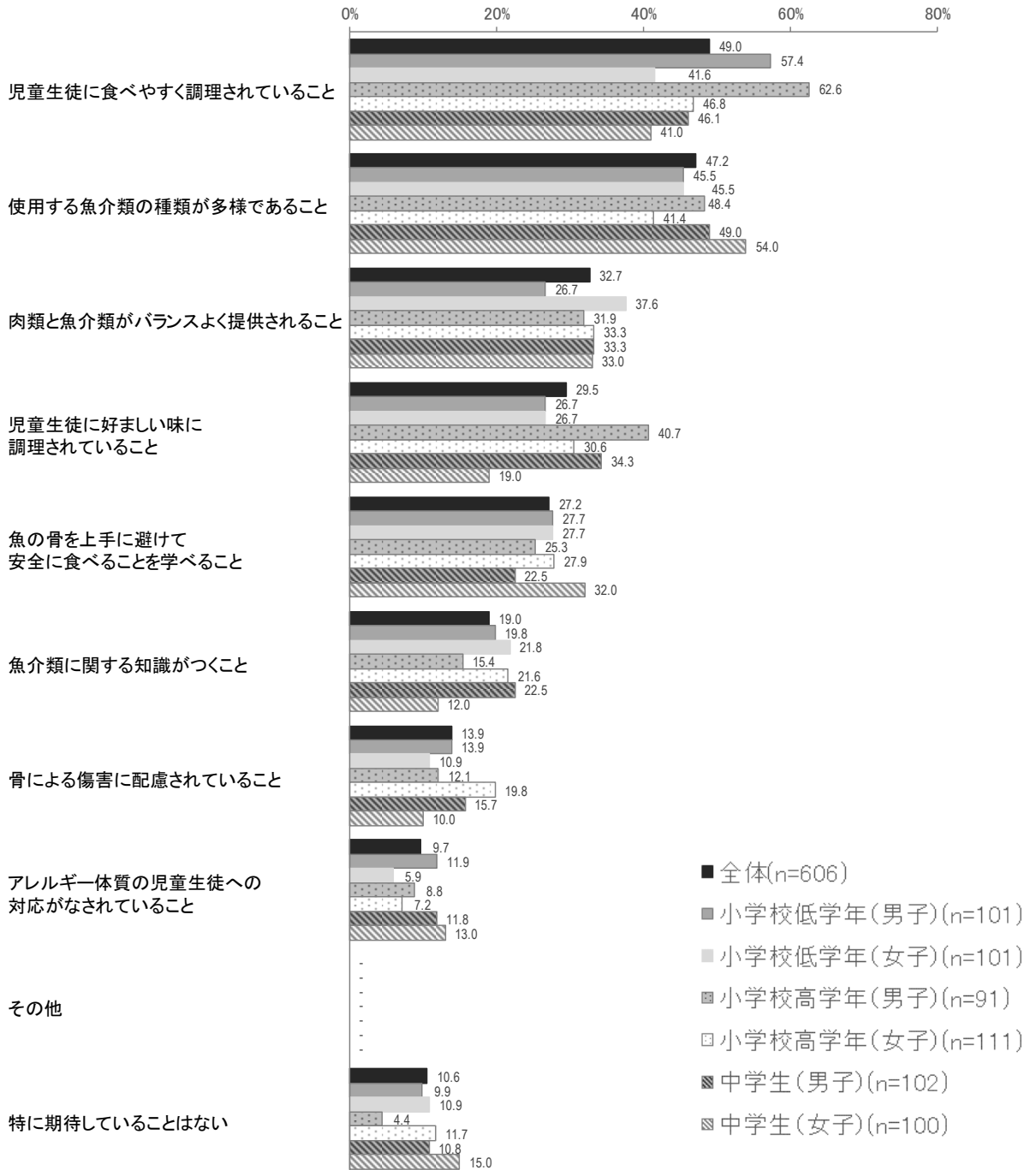
2-1. 母親に対して子供の学校給食について

2-1-5. 学校給食で使用される魚介類に期待している事

- 全体では「児童生徒に食べやすく調理されている事」が49.0%で最も高く、「使用する魚介類の種類が多様である事」が続く。
- 「児童生徒に食べやすく調理されている事」「児童生徒に好ましい味に調理されている事」は、小学校高学年(男子)が他学齢×性別を上回る。

Q20. 学校給食で使用される魚介類に期待している事【母親が回答】

【学齢×性別】



※全体の値を基準に降順並び替え

Q20 学校給食に使用される「魚介類」について、あなたはどのような事を期待していますか。以下の選択肢中から、3つまでお選びください。(MA)【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

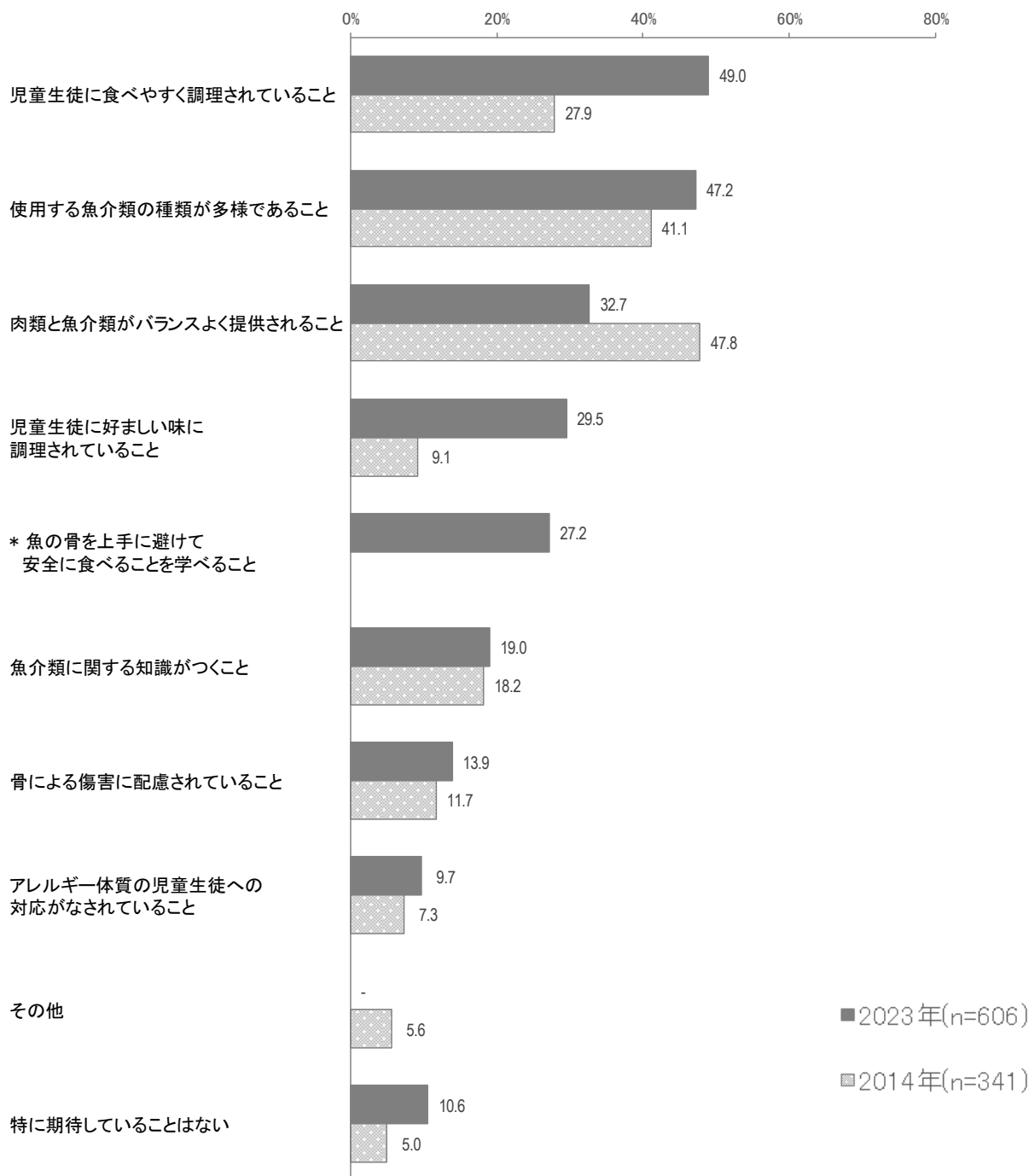
2-1. 母親に対して子供の学校給食について

2-1-5. 学校給食で使用される魚介類に期待している事

(※2023年：小学校低学年、高学年、中学生ベースにて比較)

- 2014年と比較して、「児童生徒に食べやすく調理されている事」「児童生徒に好ましい味に調理されている事」は大きく上回り、「肉類と魚介類がバランスよく提供される事」は大きく下回っている。食べやすさや味などの調理面に関しての期待度が高まっている事が窺える。

Q20. 学校給食で使用される魚介類に期待している事【母親が回答】



※2023年の値を基準に降順並び替え／「*」は2014年非聴取

Q20 学校給食に使用される「魚介類」について、あなたはどのような事を期待していますか。以下の選択肢中から、3つまでお選びください。(MA)【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-1. 母親に対して子供の学校給食について

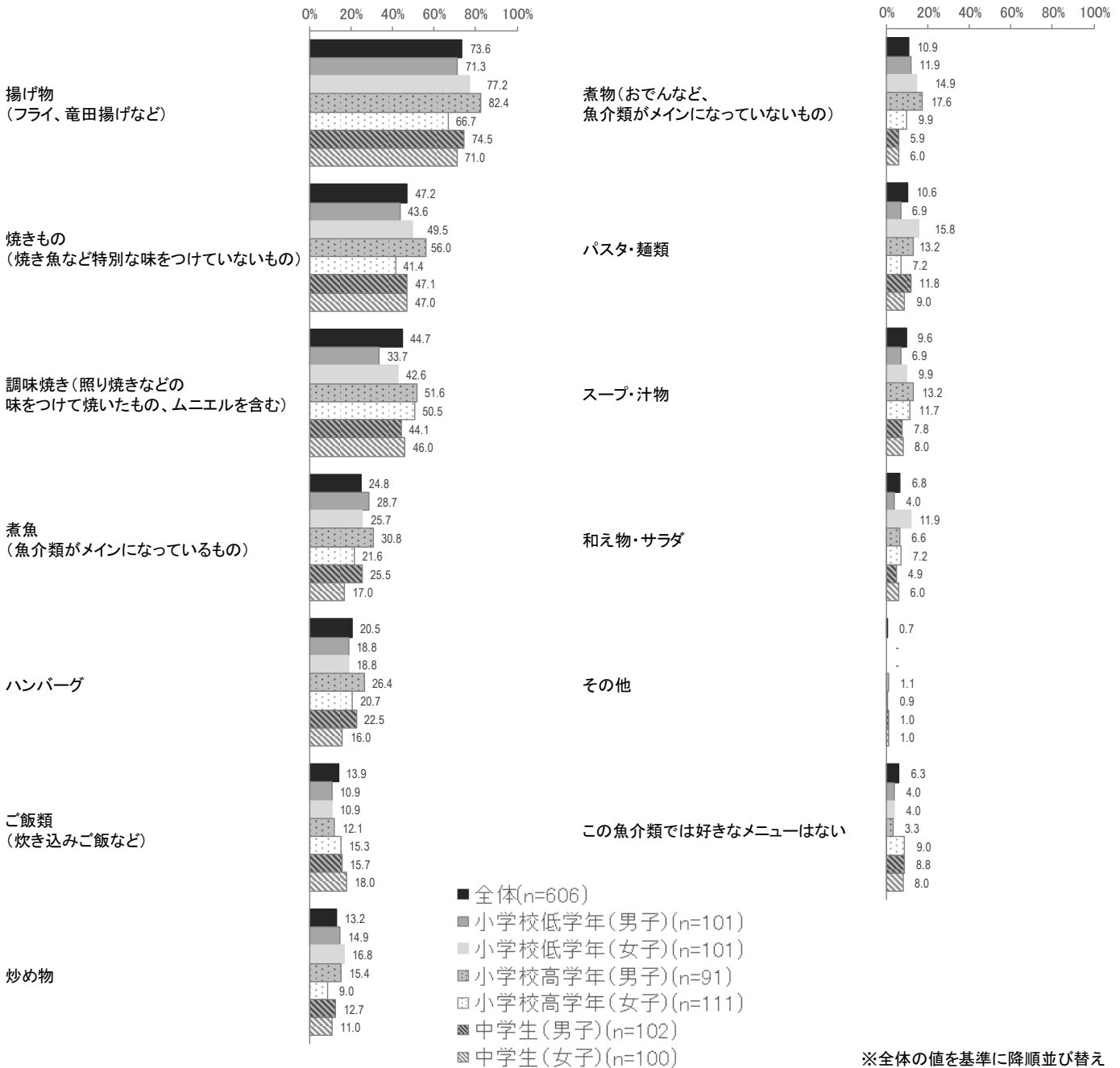
2-1-6. 子供が好きな学校給食のメニュー

- 魚類で好きなメニューは、「揚げ物」が73.6%で最も高く、「焼きもの」「調味焼き」と続く。上位に挙がるメニューは、小学校高学年(男子)が他学齢×性別を上回る。

Q21. 子供が好きな学校給食のメニュー<魚類>【母親が回答】

【学齢×性別】

魚類



※全体の値を基準に降順並び替え

Q21_1 学校給食に使用される「魚介類」のメニューで、あなたのお子様が好きなものを全てお選びください。/魚類(MA)
【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-1. 母親に対して子供の学校給食について

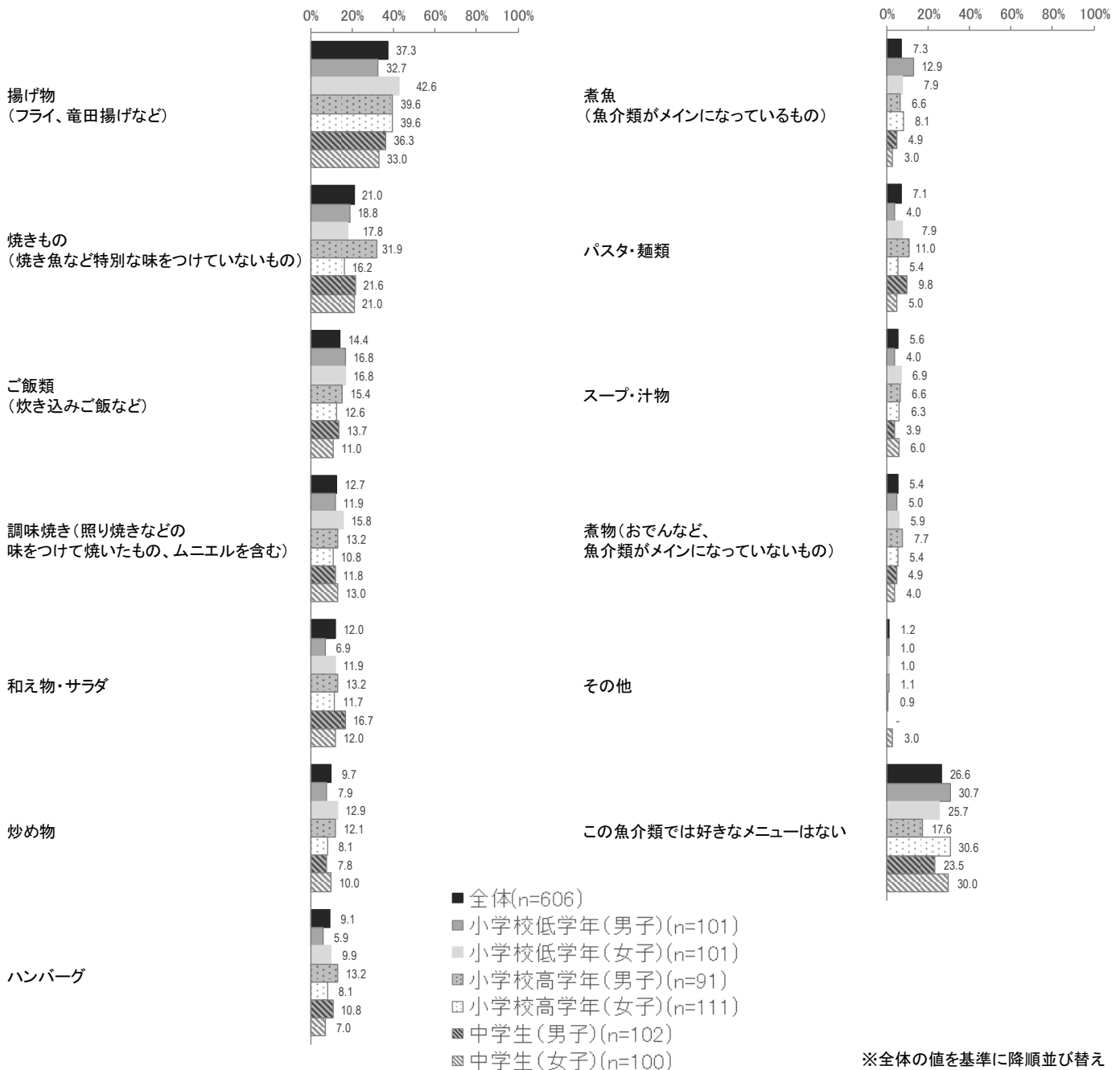
2-1-6. 子供が好きな学校給食のメニュー

- 小魚類で好きなメニューは、「揚げ物」が37.3%で最も高く、「焼きもの」「ご飯類」と続く。「好きなメニューはない」が26.6%。
- 「揚げ物」は小学校低学年・高学年(女子)、小学校高学年(男子)で、「焼きもの」は小学校高学年(男子)でそれぞれ他学齢×性別より高い。

Q21. 子供が好きな学校給食のメニュー<小魚類>【母親が回答】

【学齢×性別】

小魚類



※全体の値を基準に降順並び替え

Q21.2 学校給食に使用される「魚介類」のメニューで、あなたのお子様が好きなものを全てお選びください。/小魚類(MA)
【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-1. 母親に対して子供の学校給食について

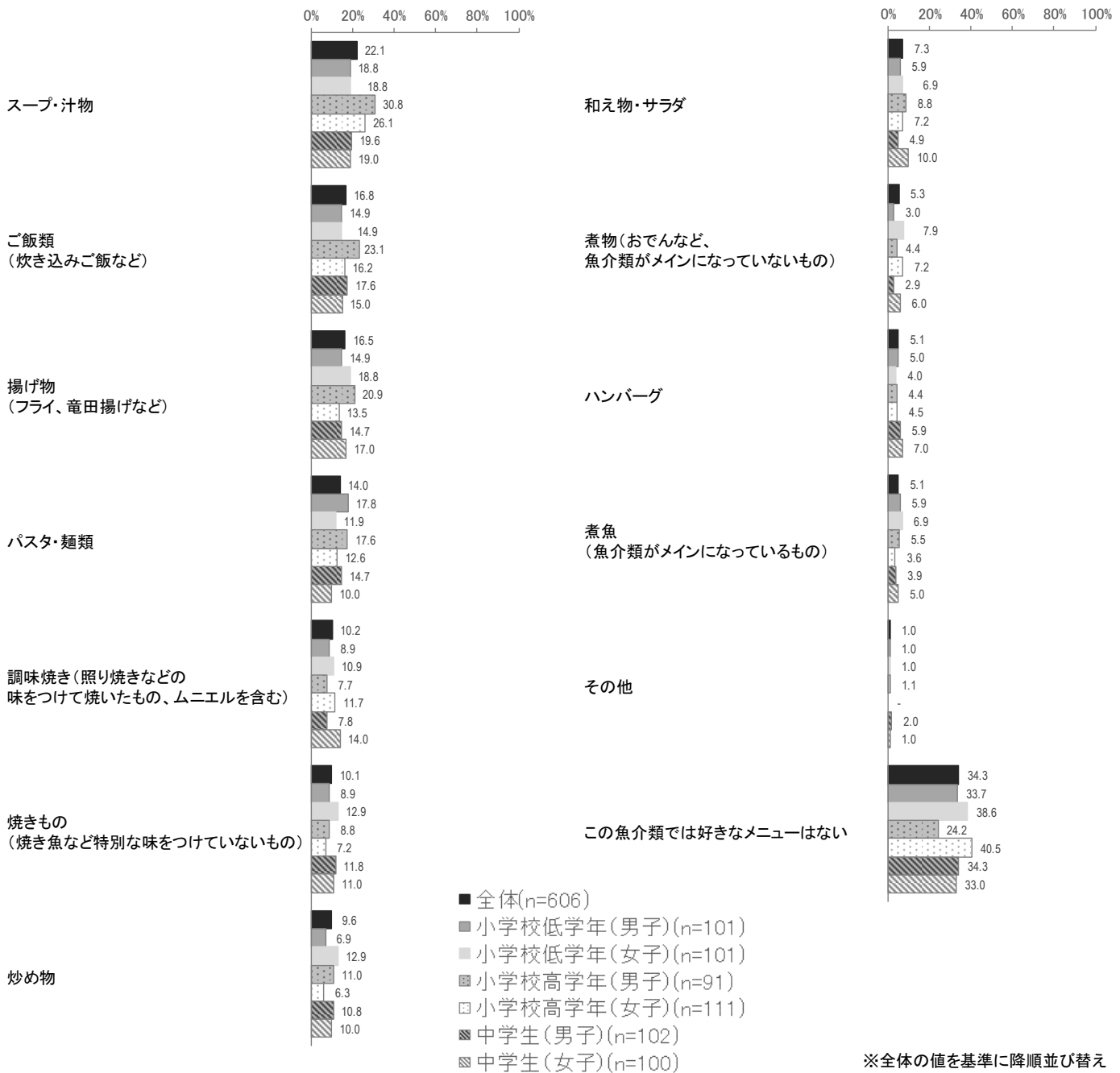
2-1-6. 子供が好きな学校給食のメニュー

- 貝類で好きなメニューは、「スープ・汁物」が22.1%で最も高く、「ご飯類」「揚げ物」と続く。「好きなメニューはない」が34.3%。
- 「スープ・汁物」「ご飯類」は、小学校高学年(男子)が他学齢×性別を上回る。

Q21. 子供が好きな学校給食のメニュー<貝類>【母親が回答】

【学齢×性別】

貝類



※全体の値を基準に降順並び替え

Q21.3 学校給食に使用される「魚介類」のメニューで、あなたのお子様が好きなのを全てお選びください。/貝類(MA)
【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-1. 母親に対して子供の学校給食について

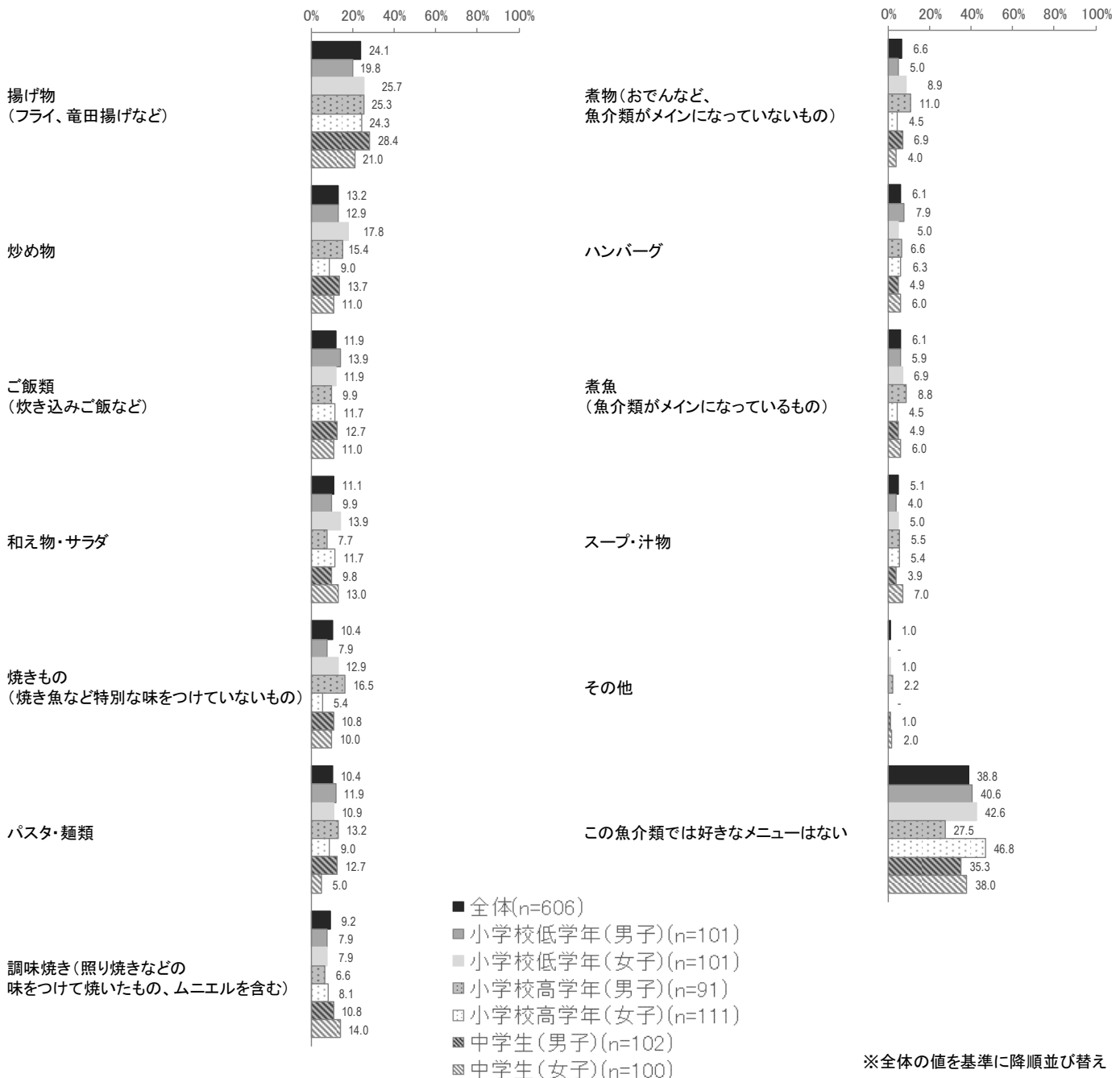
2-1-6. 子供が好きな学校給食のメニュー

- 軟体類で好きなメニューは、「揚げ物」が24.1%で最も高く、「炒め物」「ご飯類」と続く。「好きなメニューはない」が38.8%。
- 「焼きもの」は小学校高学年(男子)が他学齢×性別を上回る。

Q21. 子供が好きな学校給食のメニュー<軟体類>【母親が回答】

【学齢×性別】

軟体類



※全体の値を基準に降順並び替え

Q21.4 学校給食に使用される「魚介類」のメニューで、あなたのお子様が好きなものを全てお選びください。/軟体類(MA)
【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-1. 母親に対して子供の学校給食について

2-1-6. 子供が好きな学校給食のメニュー

- 水産練り製品で好きなメニューは、「煮物」が24.6%で最も高く、「揚げ物」が続く。「好きなメニューはない」が28.4%。
- 「ハンバーグ」は、小学校低学年(男子)で他の学齢×性別を上回る。

Q21. 子供が好きな学校給食のメニュー<水産練り製品>【母親が回答】

【学齢×性別】

水産練り製品



※全体の値を基準に降順並び替え

Q21.5 学校給食に使用される「魚介類」のメニューで、あなたのお子様が好きなものを全てお選びください。/水産練り製品(MA)
【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

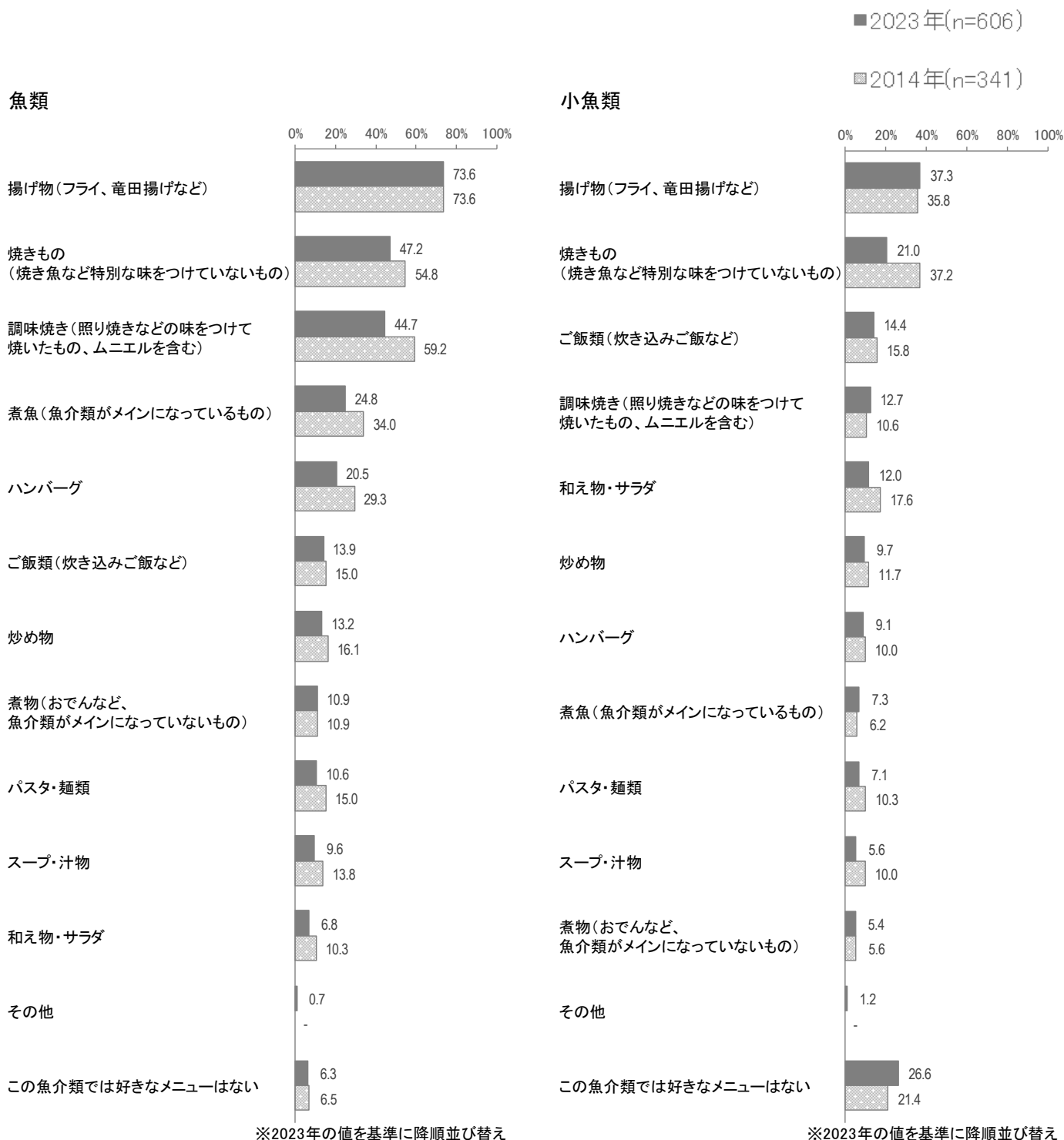
2-1. 母親に対して子供の学校給食について

2-1-6. 子供が好きな学校給食のメニュー

(※2023年：小学校低学年、高学年、中学生ベースにて比較)

- 魚類で好きなメニューは、2014年と比較して「調味焼き」「ハンバーグ」は大きく低下している。
- 小魚類で好きなメニューは、2014年と比較して「焼きもの」が大きく低下し、「好きなメニューはない」が上回っている。2014年と比較して好きと答えた割合がほとんどの品目で低下した。

Q21. 子供が好きな学校給食のメニュー＜魚類/小魚類＞【母親が回答】



Q21.1 学校給食に使用される「魚介類」のメニューで、あなたのお子様が好きなのを全てお選びください。/魚類(MA)
【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

Q21.2 学校給食に使用される「魚介類」のメニューで、あなたのお子様が好きなのを全てお選びください。/小魚類(MA)
【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-1. 母親に対して子供の学校給食について

2-1-6. 子供が好きな学校給食のメニュー

(※2023年：小学校低学年、高学年、中学生ベースにて比較)

- 貝類で好きなメニューは、2014年と比較すると「スープ・汁物」が大きく低下している。
- 軟体類で好きなメニューは、2014年と比較すると「揚げ物」が2014年と比較して大きく低下している。それに伴い「好きなメニューはない」が上回っている。
- 2014年と比較して好きと答えた割合がほとんどの品目で低下した。魚類小魚で減少していなかった揚げ物が軟体類では低下した。

Q21. 子供が好きな学校給食のメニュー＜貝類/軟体類＞【母親が回答】

■2023年(n=606)

■2014年(n=341)



Q21.3 学校給食に使用される「魚介類」のメニューで、あなたのお子様が好きなのを全てお選びください。/貝類(MA)
【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

Q21.4 学校給食に使用される「魚介類」のメニューで、あなたのお子様が好きなのを全てお選びください。/軟体類(MA)
【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-1. 母親に対して子供の学校給食について

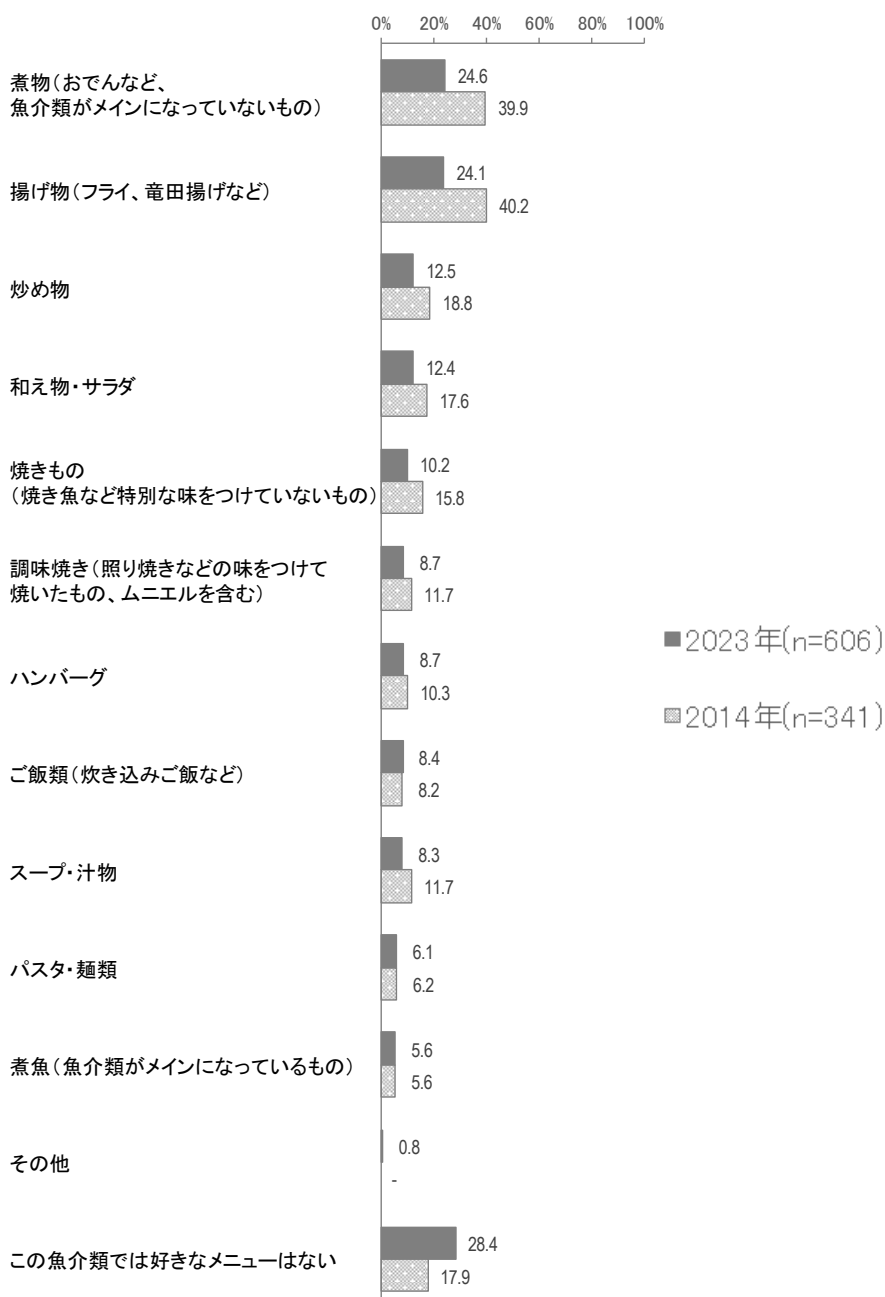
2-1-6. 子供が好きな学校給食のメニュー

(※2023年：小学校低学年、高学年、中学生ベースにて比較)

- 水産練り製品で好きなメニューは、「煮物」「揚げ物」が2014年と比較して大きく低下している。それに伴い「好きなメニューはない」が上回っている。
- 2014年と比較して好きと答えた割合がほとんどの品目で低下した。

Q21. 子供が好きな学校給食のメニュー<水産練り製品>【母親が回答】

水産練り製品



※2023年の値を基準に降順並び替え

Q21.5 学校給食に使用される「魚介類」のメニューで、あなたのお子様が好きなものを全てお選びください。/水産練り製品(MA)
【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

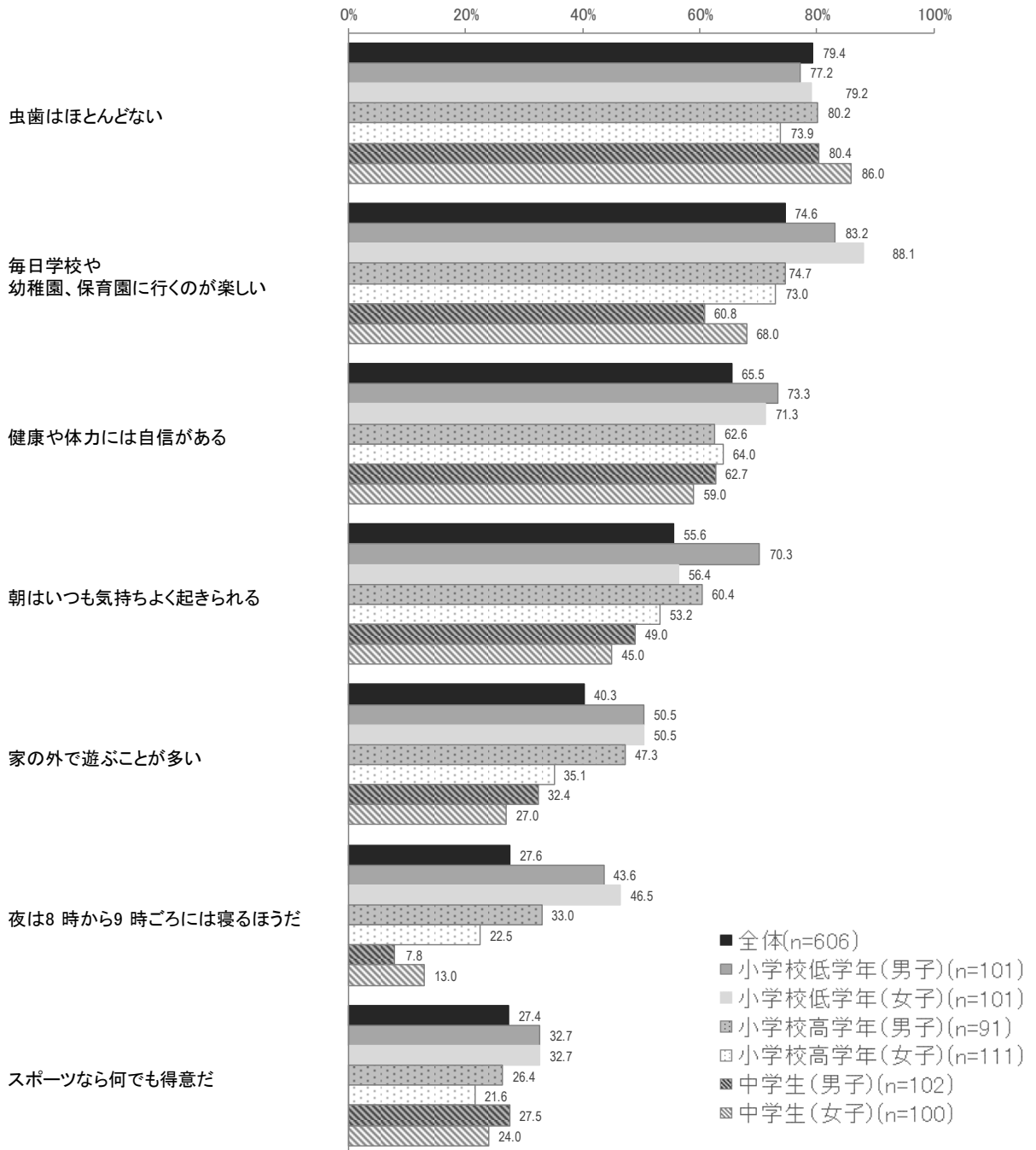
2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-1. 日常生活の意識・実態

- 全体では「虫歯はほとんどない」が79.4%で最も高く、「毎日学校に行くのが楽しい」「健康や体力には自信がある」と続く。
- 学齢×性別では、「毎日学校に行くのが楽しい」は小学校低学年(女子)、「朝はいつも気持ちよく起きられる」は小学校低学年(男子)、「夜は8時から9時ごろには寝るほうだ」は小学校低学年(男子・女子)が高い。

Q22. 日常生活の意識・実態<あてはまるもの>【子供が回答】

【学齢×性別】



※全体の値を基準に降順並び替え

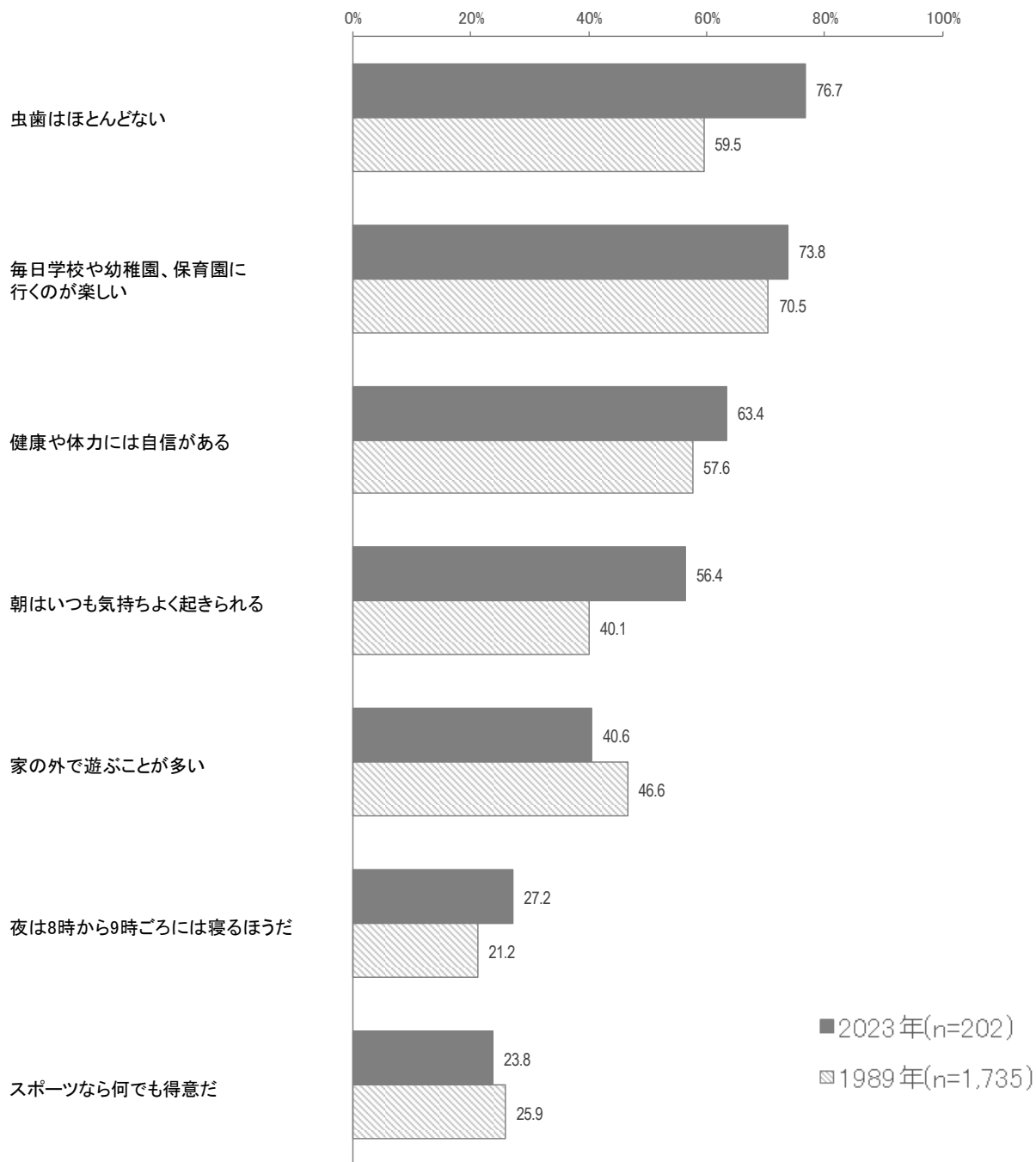
Q22 あなたのお子様の日常生活についてお知らせください。それぞれあてはまるものをお選びください。
/「あてはまる」スコア(MA)【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-1. 日常生活の意識・実態(※2023年:小学校高学年ベースにて比較)

- 1989年と比較して「虫歯はほとんどない」「朝はいつも気持ちよく起きられる」は上回り、「家の外で遊ぶ事が多い」は下回っている。

Q22. 日常生活の意識・実態<あてはまるもの>【子供が回答】



※2023年の値を基準に降順並び替え

Q22 あなたのお子様の日常生活についてお知らせください。それぞれあてはまるものをお選びください。
/「あてはまる」スコア(各SA)【小学校高学年ベース】

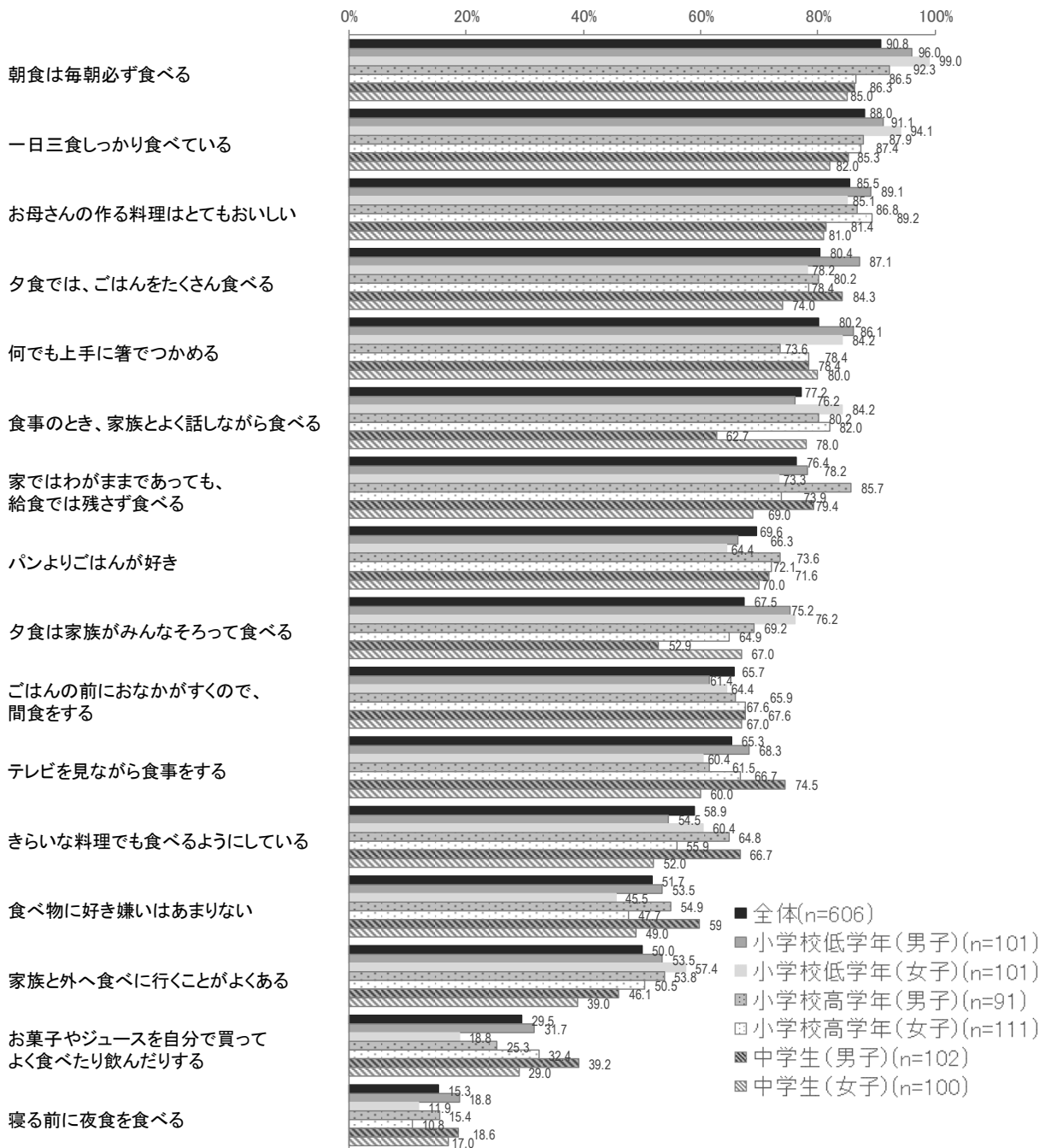
2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-2. 普段の食事の意識・実態

- 「朝食は毎朝必ず食べる」「一日三食しっかり食べている」は9割前後の子供が当てはまると回答。
- 「何でも上手に箸でつかめる」は小学校低学年(男子・女子)、「テレビを見ながら食事をする」「お菓子やジュースを自分で買ってよく食べたり飲んだりする」は中学生(男子)でそれぞれ他学齢×性別を上回る。
- 低学年はマナーや生活習慣を大事にしている傾向がみられたが、高学年になると徐々に低下していく。中学男子はテレビを見ながら食事する、家族と外へ行かない、お菓子やジュースを自分で買って飲むなど単独行動が目立つ傾向がみられた。

Q23. 普段の食事の意識・実態<あてはまるもの>【子供が回答】

【学齢×性別】



※全体の値を基準に降順並び替え

Q23 あなたのお子様はふだんどのような食事をしていますか。それぞれあてはまるものをお選びください。

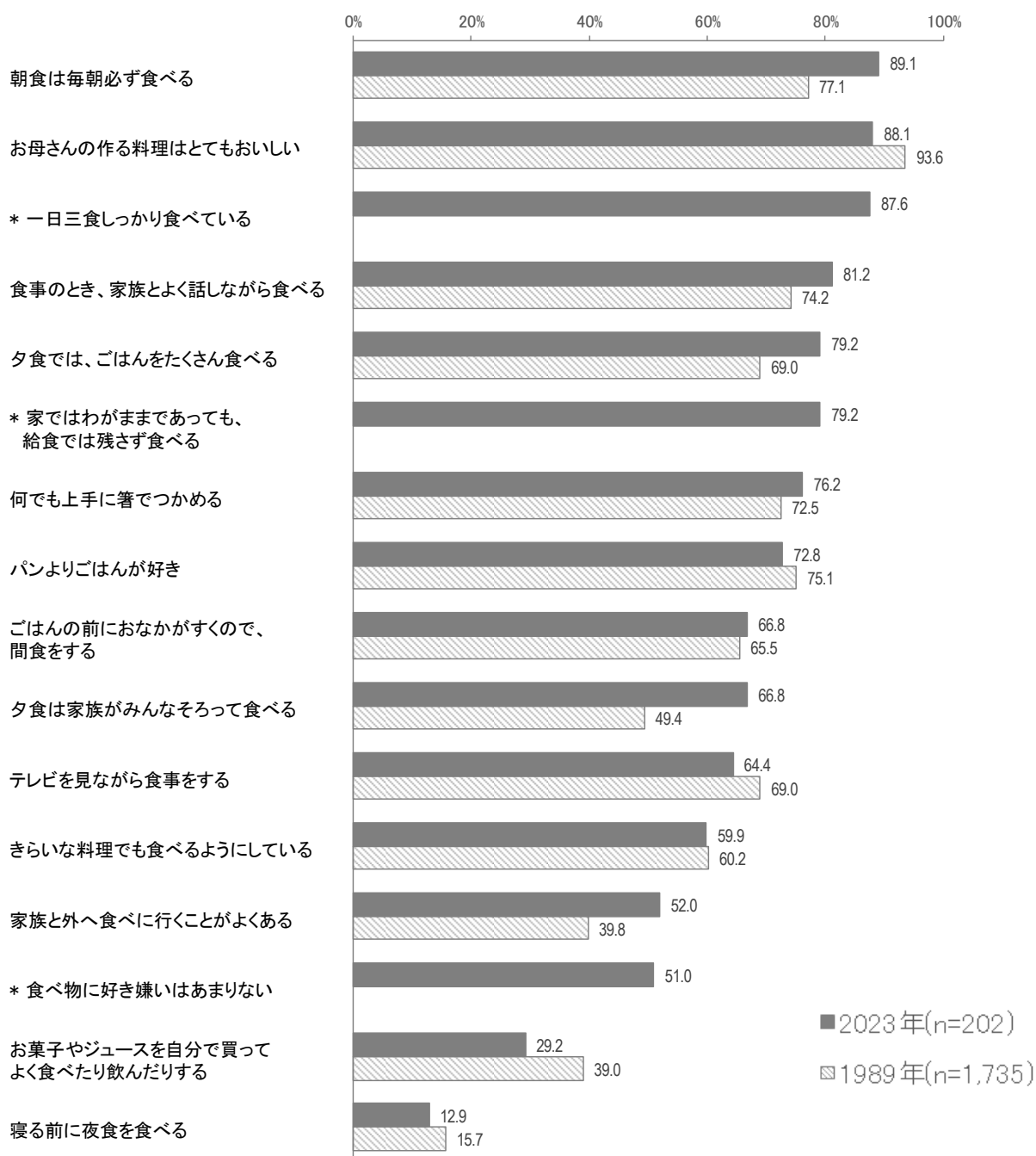
/「あてはまる」スコア(各SA)【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-2. 普段の食事の意識・実態(※2023年:小学校高学年ベースにて比較)

- 1989年と比較して、「夕食は家族がみんなそろって食べる」「朝食は毎朝必ず食べる」は大きく上回っており、「お菓子やジュースを自分で買ってよく食べたり飲んだりする」は大きく下回っている。1989年と比べて普段の食事でしつけ、教育を受けている様子が見られた。

Q23. 普段の食事の意識・実態<あてはまるもの>【子供が回答】



※2023年の値を基準に降順並び替え/「*」は1989年非聴取

Q23 あなたのお子様はふだんどのような食事をしていますか。それぞれあてはまるものをお選びください。
/「あてはまる」スコア(各SA)【小学校高学年ベース】

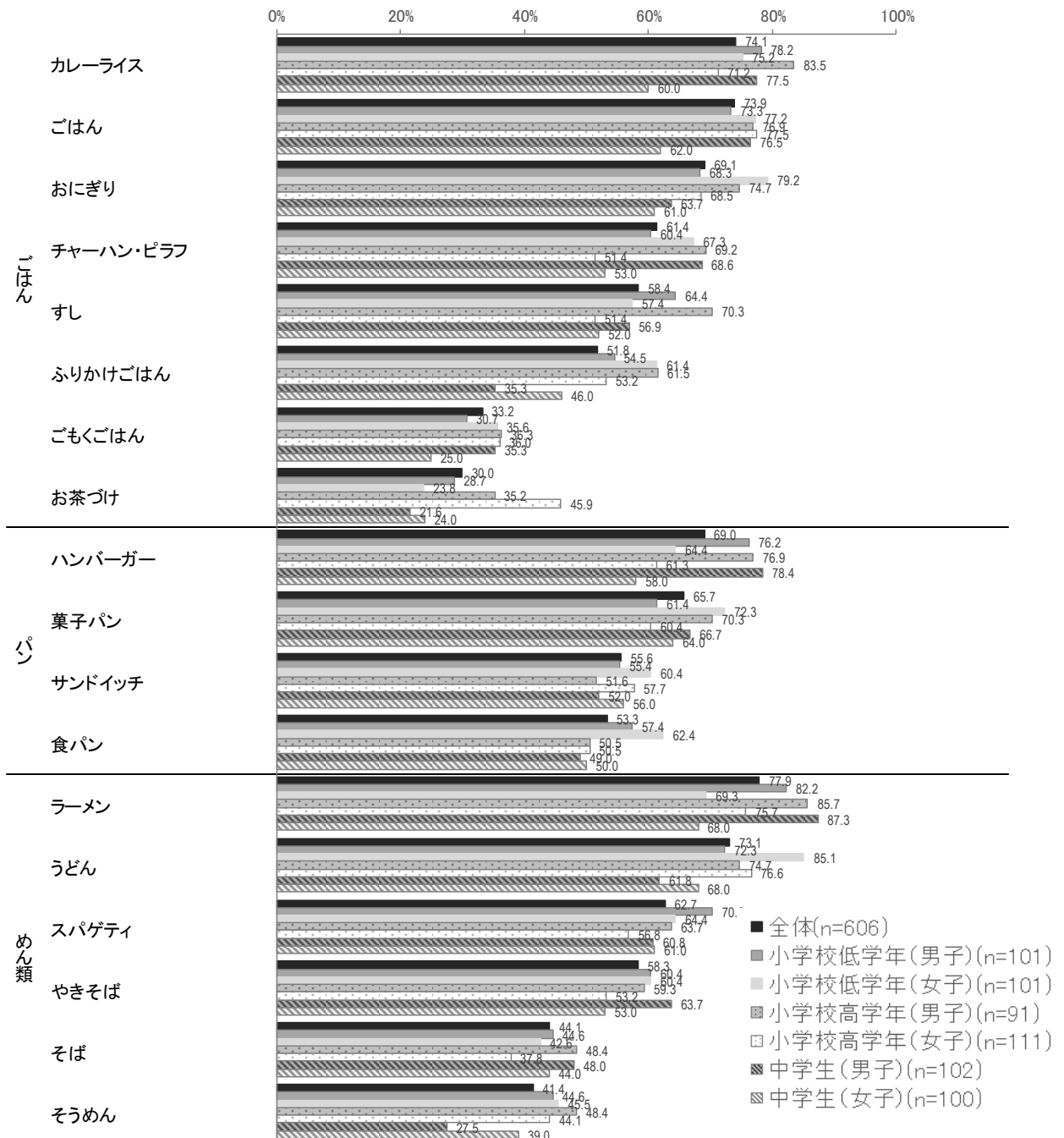
2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-3. 好きな食べ物(ごはん・パン・麺類)

- ごはんで好きな食べ物は、「カレーライス」が74.1%で最も高く、「ごはん」「おにぎり」と続く。
- パンで好きな食べ物は、「ハンバーガー」が69.0%で最も高く、「菓子パン」「サンドイッチ」と続く。
- 麺類で好きな食べ物は、「ラーメン」が77.9%で最も高く、「うどん」「スパゲティ」と続く。

Q24. 好きな食べ物(ごはん・パン・麺類)【子供が回答】

【学齢×性別】



※カテゴリごとに全体の値を基準に降順並び替え

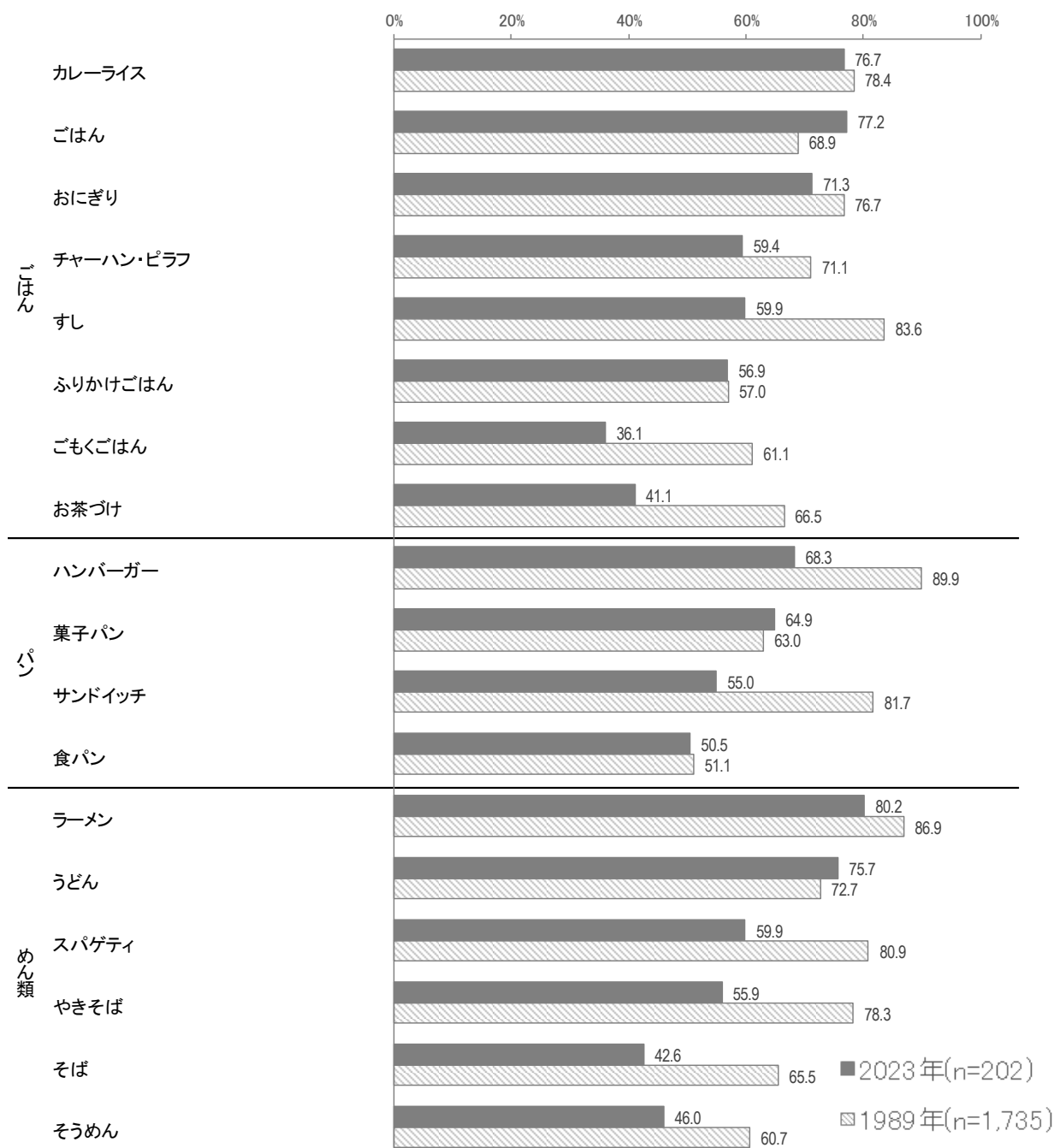
Q24 あなたのお子様の好きな食べ物は何ですか。以下の選択肢の中から、あてはまる選択肢を全てお選びください。(MA) 【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-3. 好きな食べ物(ごはん・パン・麺類) (※2023年:小学校高学年ベースにて比較)

- ごはんでは、「すし」「チャーハン・ピラフ」「お茶づけ」「ごもくごはん」で1989年と比較して大きく下回っている。
- パンは、「ハンバーガー」「サンドイッチ」で1989年と比較して大きく下回っている。
- 麺類では、「うどん」以外の全てで1989年と比較して大きく下回っている。
- 魚に限らず、全体を通して、1989年よりも好きな食べ物が低下した。

Q24. 好きな食べ物(ごはん・パン・麺類)【子供が回答】



※カテゴリごとに2023年の値を基準に降順並び替え

Q24 あなたのお子様の好きな食べ物は何ですか。以下の選択肢の中から、あてはまる選択肢を全てお選びください。(MA)【小学校高学年ベース】

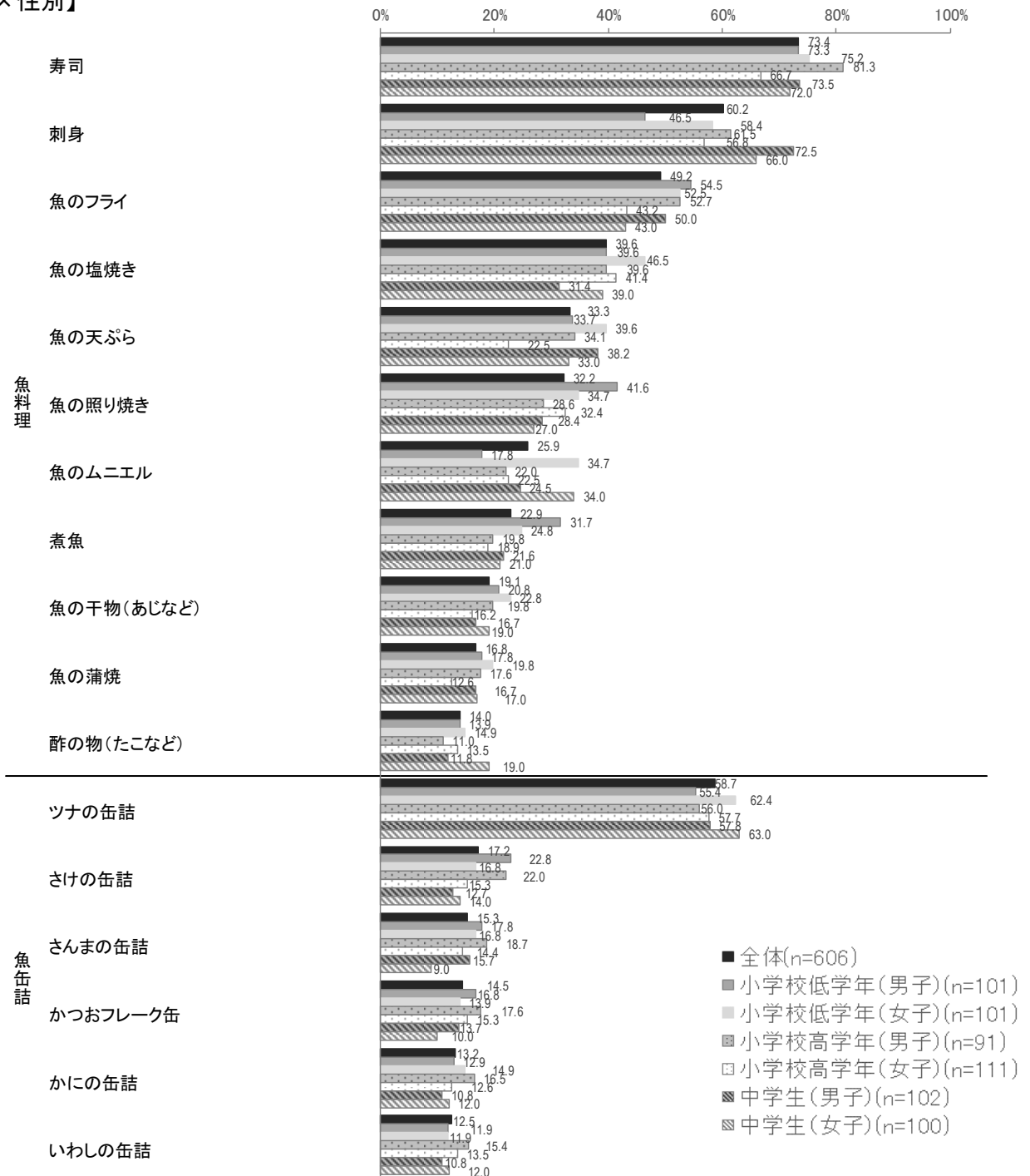
2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-4. 好きな食べ物(魚料理・魚缶詰)

- 魚料理で好きな食べ物は、「寿司」が73.4%で最も高く、「刺身」「魚のフライ」と続く。
- 魚缶詰で好きな食べ物は、「ツナの缶詰」が58.7%で最も高く、「さけの缶詰」「さんまの缶詰」と続く。

Q25. 好きな食べ物(魚料理・魚缶詰)【子供が回答】

【学齢×性別】



※カテゴリごとに全体の値を基準に降順並び替え

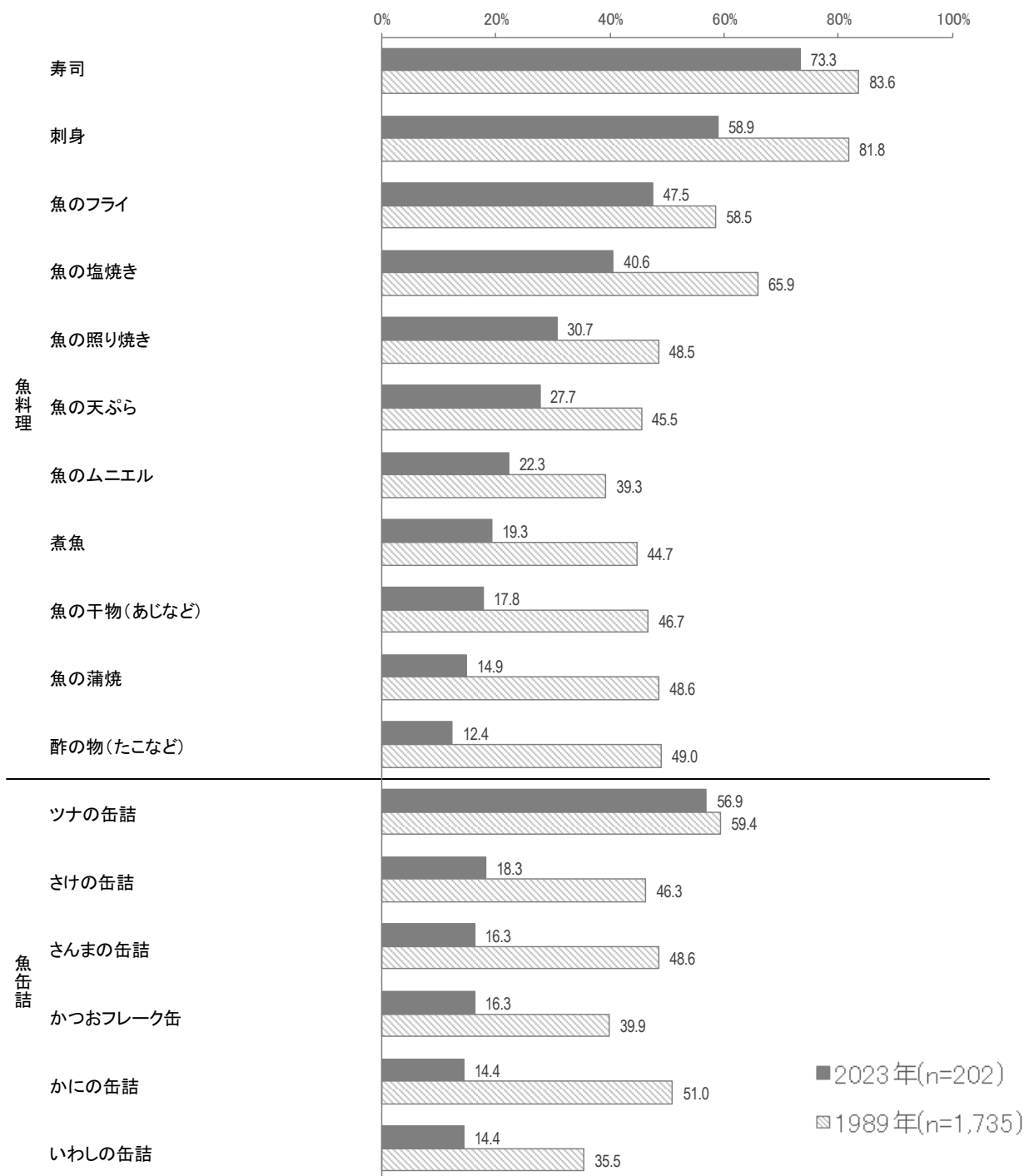
Q25 あなたのお子様の好きな食べ物は何か。以下の選択肢の中から、あてはまる選択肢を全てお選びください。(MA)【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-4. 好きな食べ物(魚料理・魚缶詰) (※2023年:小学校高学年ベースにて比較)

- 魚料理では、全てにおいて1989年と比較して大きく(1割~7.5割)下回っている。
- 魚缶詰では、「ツナの缶詰」以外の全てで1989年と比較して大きく(2割~3.5割)下回っている。
- 1989年ではほぼ全ての項目に4割以上の子供が好きであると答えていたが、2023年は寿司刺身フライなどに集中している様子傾向がみられた。

Q25. 好きな食べ物(魚料理・魚缶詰)【子供が回答】



※カテゴリごとに2023年の値を基準に降順並び替え

Q25 あなたのお子様の好きな食べ物は何か。以下の選択肢の中から、あてはまる選択肢を全てお選びください。(MA)【小学校高学年ベース】

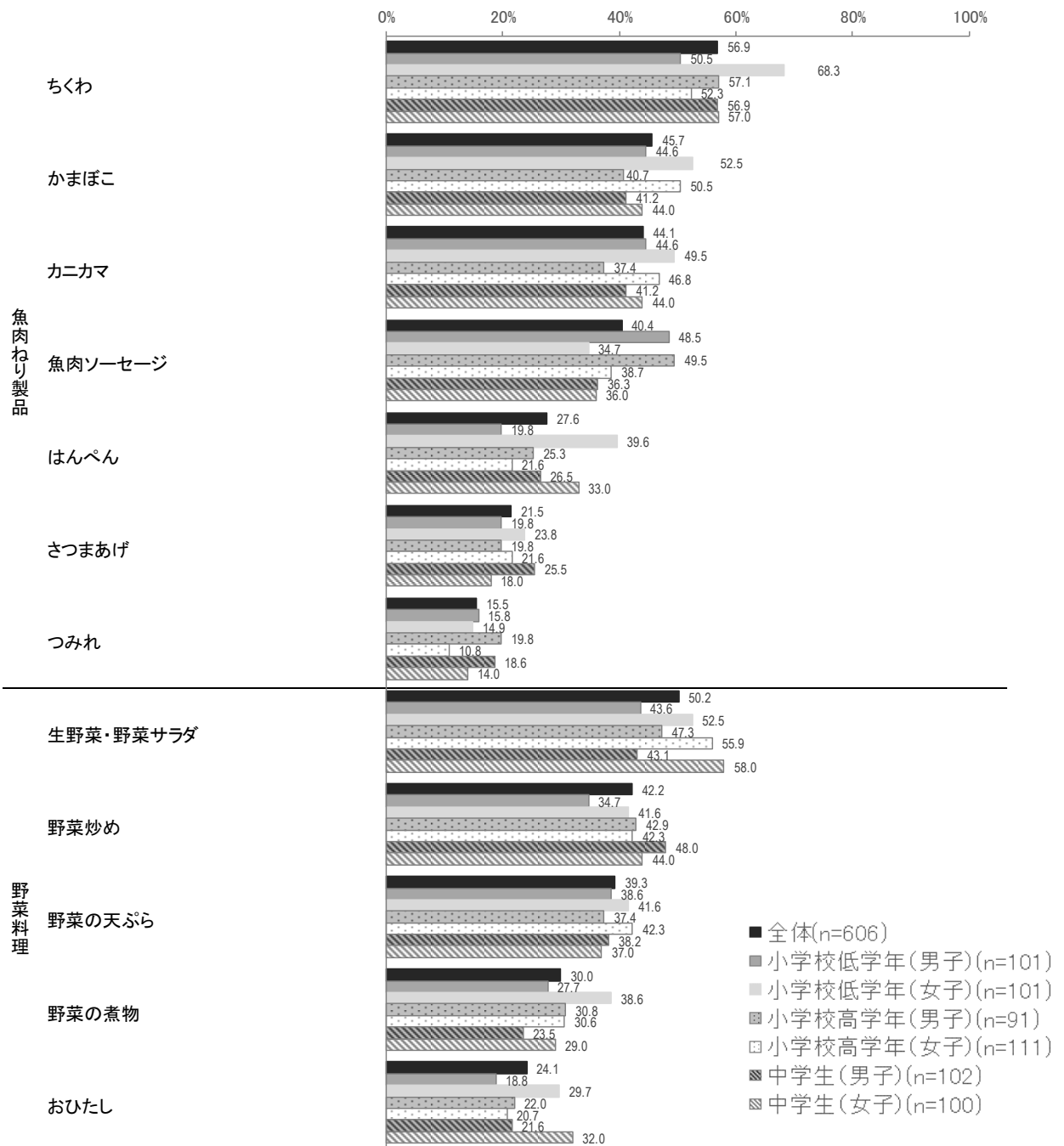
2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-5. 好きな食べ物(魚肉ねり製品・野菜料理)

- 魚肉ねり製品で好きな食べ物は、「ちくわ」が56.9%で最も高く、「かまぼこ」「カニカマ」と続く。
- 野菜料理で好きな食べ物は、「生野菜・野菜サラダ」が50.2%で最も高く、「野菜炒め」「野菜の天ぷら」が続く。
生野菜で男女差が顕著にみられた。

Q26. 好きな食べ物(魚肉ねり製品・野菜料理)【子供が回答】

【学齢×性別】



※カテゴリごとに全体の値を基準に降順並び替え

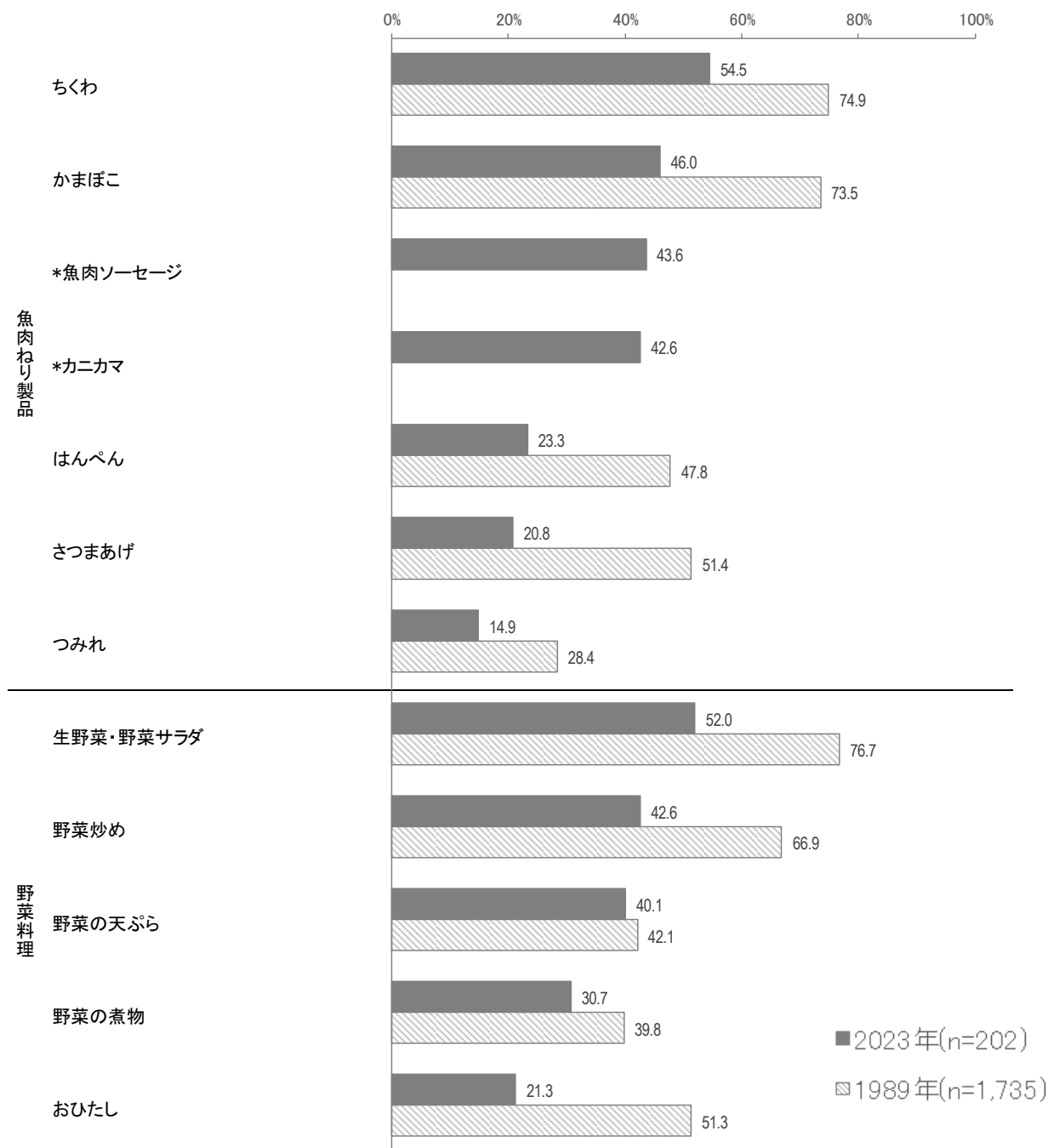
Q26 あなたのお子様の好きな食べ物は何か。以下の選択肢の中から、あてはまる選択肢を全てお選びください。(MA)【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-5. 好きな食べ物(魚肉ねり製品・野菜料理) (※2023年:小学校高学年ベースにて比較)

- 魚肉ねり製品では、1989年非聴取の項目を除く全てにおいて1989年と比較して大きく下回っている。
- 野菜料理では、「野菜の天ぷら」以外の全てで1989年と比較して大きく下回っている。

Q26. 好きな食べ物(魚肉ねり製品・野菜料理)【子供が回答】



※カテゴリごとに2023年の値を基準に降順並び替え/「*」は1989年非聴取

Q26 あなたのお子様の好きな食べ物は何ですか。以下の選択肢の中から、あてはまる選択肢を全てお選びください。(MA)【小学校高学年ベース】

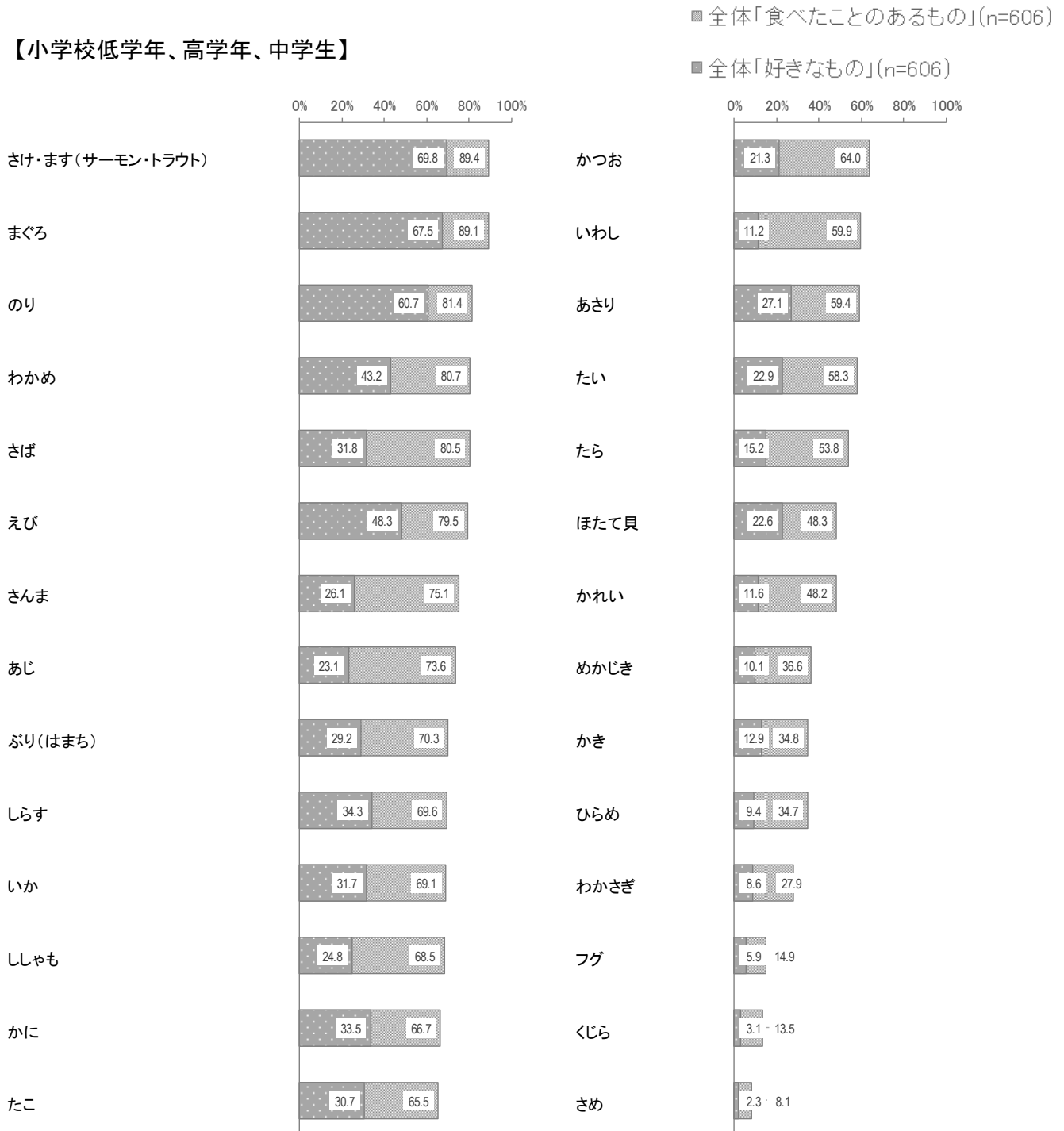
2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-6. 食べた事がある/好きな魚介類

- 小中学校全体では、食べた事がある魚介類は、「さけ・ます」が89.4%で最も高く、「まぐろ」と続く。
- 上位項目のうち「さけ・ます」「まぐろ」「のり」は食べた事があると好きの差が小さい。

Q27. 食べた事がある/好きな魚介類【子供が回答】

【小学校低学年、高学年、中学生】



※「食べたことのあるもの」の値を基準に降順並び替え

Q27_1 次に挙げるそれぞれの魚や貝などについて、あなたのお子様食べた事のあるものと好きなものをお選びください。
/食べた事のあるもの(MA)【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

Q27_2 次に挙げるそれぞれの魚や貝などについて、あなたのお子様食べた事のあるものと好きなものをお選びください。
/好きなもの(MA)【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-6. 食べた事がある/好きな魚介類

- 小学校低学年男子では、食べた事がある魚介類は、「さけ・ます」が90.1%で最も高く、「まぐろ」と続く。
- 上位項目のうち「さけ・ます」「のり」は食べた事があると好きの差が小さい。

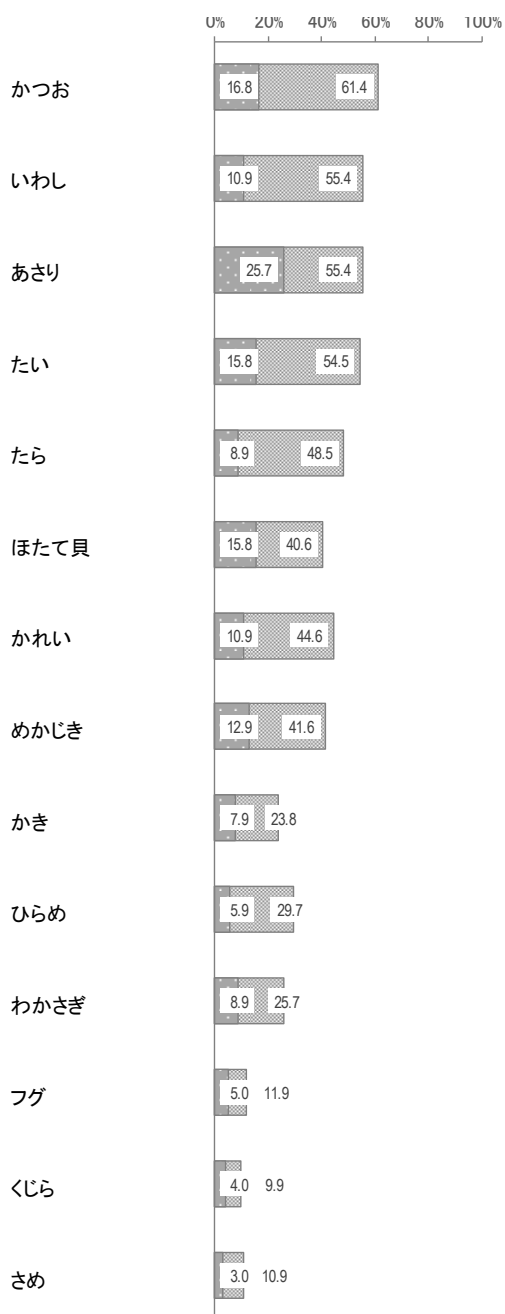
Q27. 食べた事がある/好きな魚介類【子供が回答】

【小学校低学年(男子)】



■ 小学校低学年(男子)「食べたことのあるもの」(n=101)

■ 小学校低学年(男子)「好きなもの」(n=101)



※「食べたことのあるもの」の値を基準に降順並び替え

Q27.1 次に挙げるそれぞれの魚や貝などについて、あなたのお子様が生きた事のあるものと好きなものをお選びください。

/食べた事のあるもの(MA)【小学校低学年(男子)ベース】

Q27.2 次に挙げるそれぞれの魚や貝などについて、あなたのお子様が生きた事のあるものと好きなものをお選びください。

/好きなもの(MA)【小学校低学年(男子)ベース】

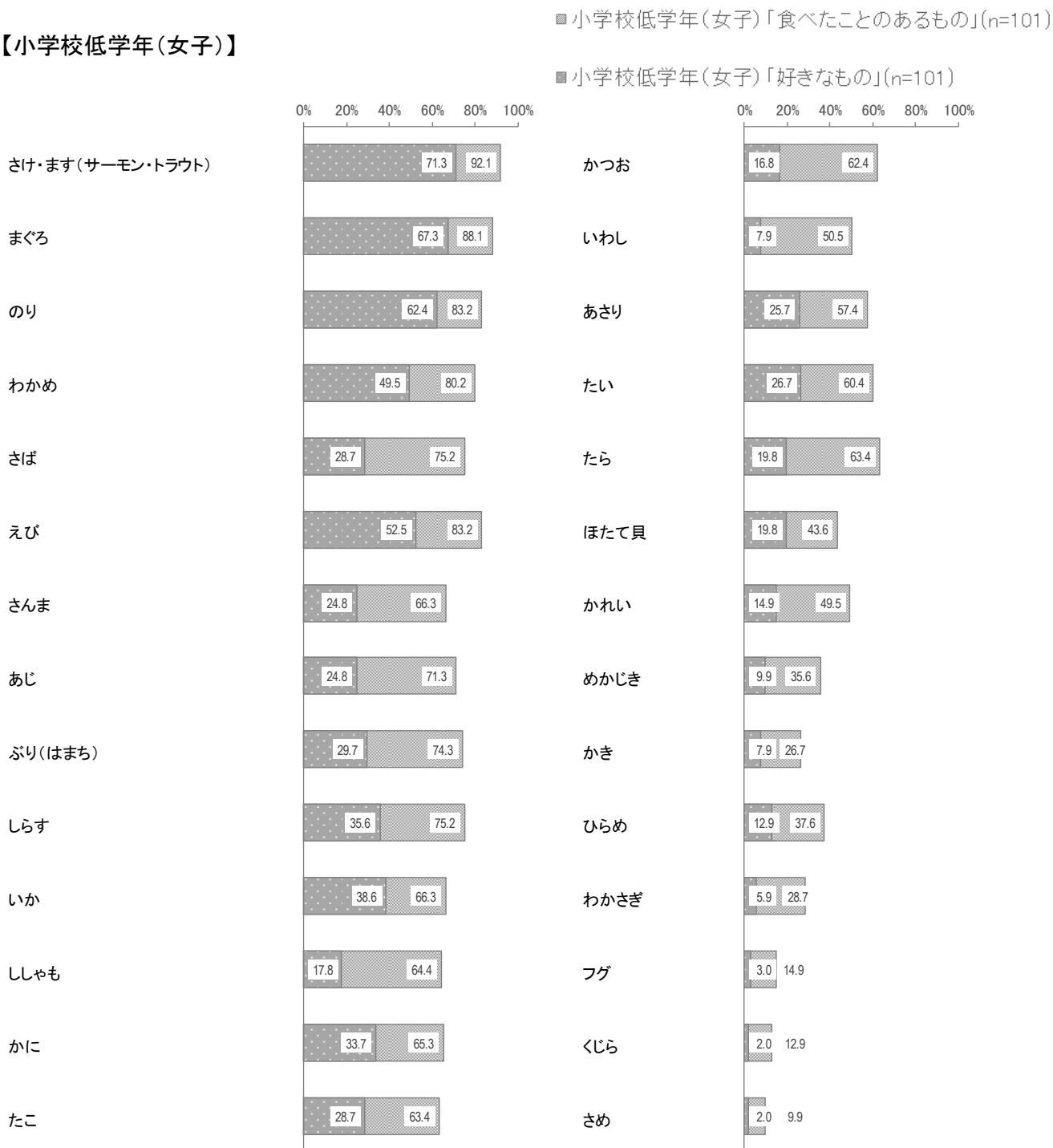
2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-6. 食べた事がある/好きな魚介類

- 小学校低学年女子では、食べた事がある魚介類は、「さけ・ます」が92.1%で最も高く、「まぐろ」と続く。
- 上位項目のうち「さけ・ます」「まぐろ」は食べた事があると好きの差が小さい。

Q27. 食べた事がある/好きな魚介類【子供が回答】

【小学校低学年(女子)】



※「食べたことのあるもの」の値を基準に降順並び替え

Q27.1 次に挙げるそれぞれの魚や貝などについて、あなたのお子様が生きた事のあるものと好きなものをお選びください。

/食べた事のあるもの(MA)【小学校低学年(女子)ベース】

Q27.2 次に挙げるそれぞれの魚や貝などについて、あなたのお子様が生きた事のあるものと好きなものをお選びください。

/好きなもの(MA)【小学校低学年(女子)ベース】

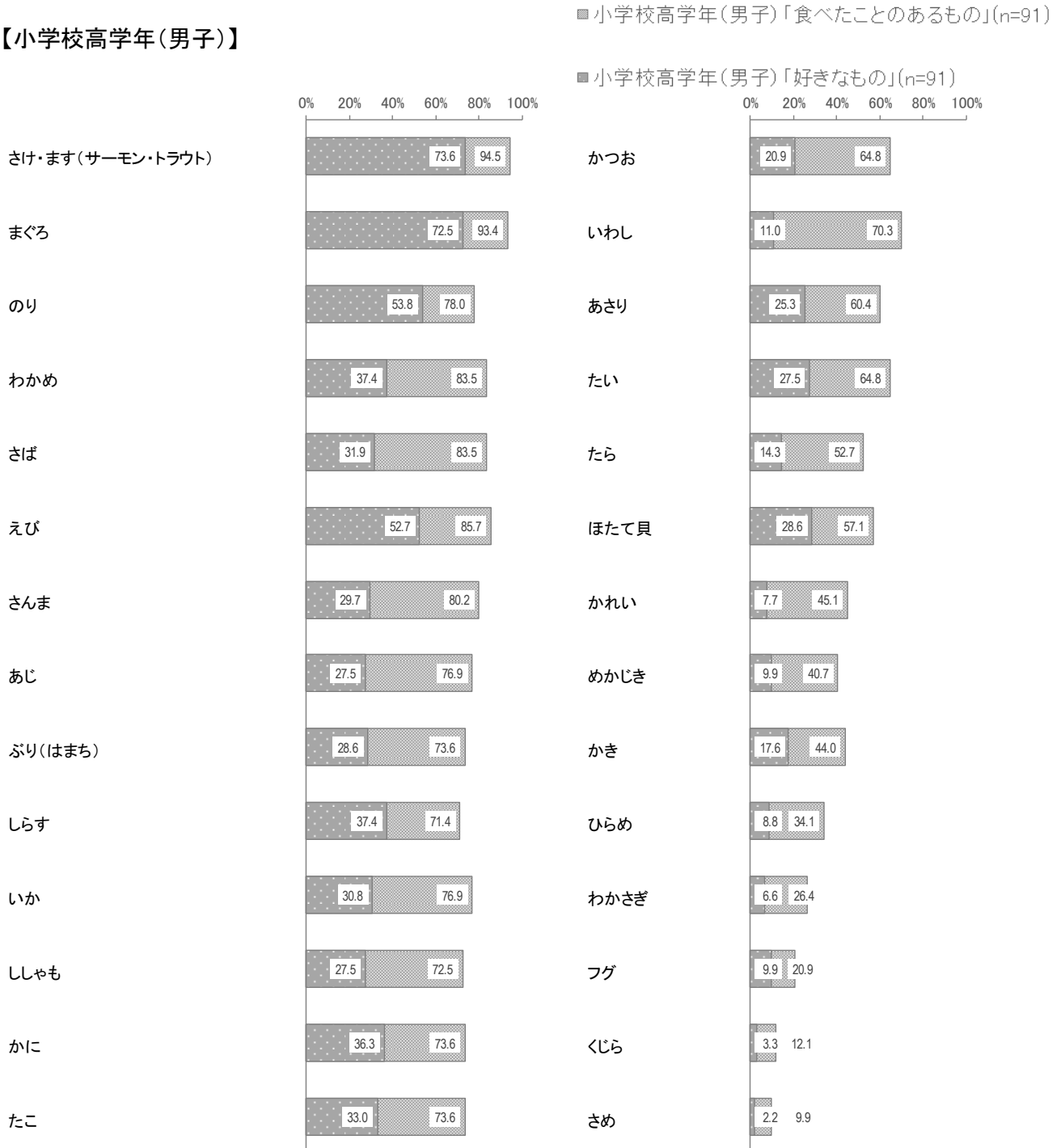
2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-6. 食べた事がある/好きな魚介類

- 小学校高学年男子では、食べた事がある魚介類は、「さけ・ます」が94.5%で最も高く、「まぐろ」と続く。
- 上位項目のうち「さけ・ます」「まぐろ」は食べた事があると好きの差が小さい。

Q27. 食べた事がある/好きな魚介類【子供が回答】

【小学校高学年(男子)】



※「食べたことのあるもの」の値を基準に降順並び替え

Q27.1 次に挙げるそれぞれの魚や貝などについて、あなたのお子様が生きた事のあるものと好きなものをお選びください。

/食べた事のあるもの(MA)【小学校高学年(男子)ベース】

Q27.2 次に挙げるそれぞれの魚や貝などについて、あなたのお子様が生きた事のあるものと好きなものをお選びください。

/好きなもの(MA)【小学校高学年(男子)ベース】

2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-6. 食べた事がある/好きな魚介類

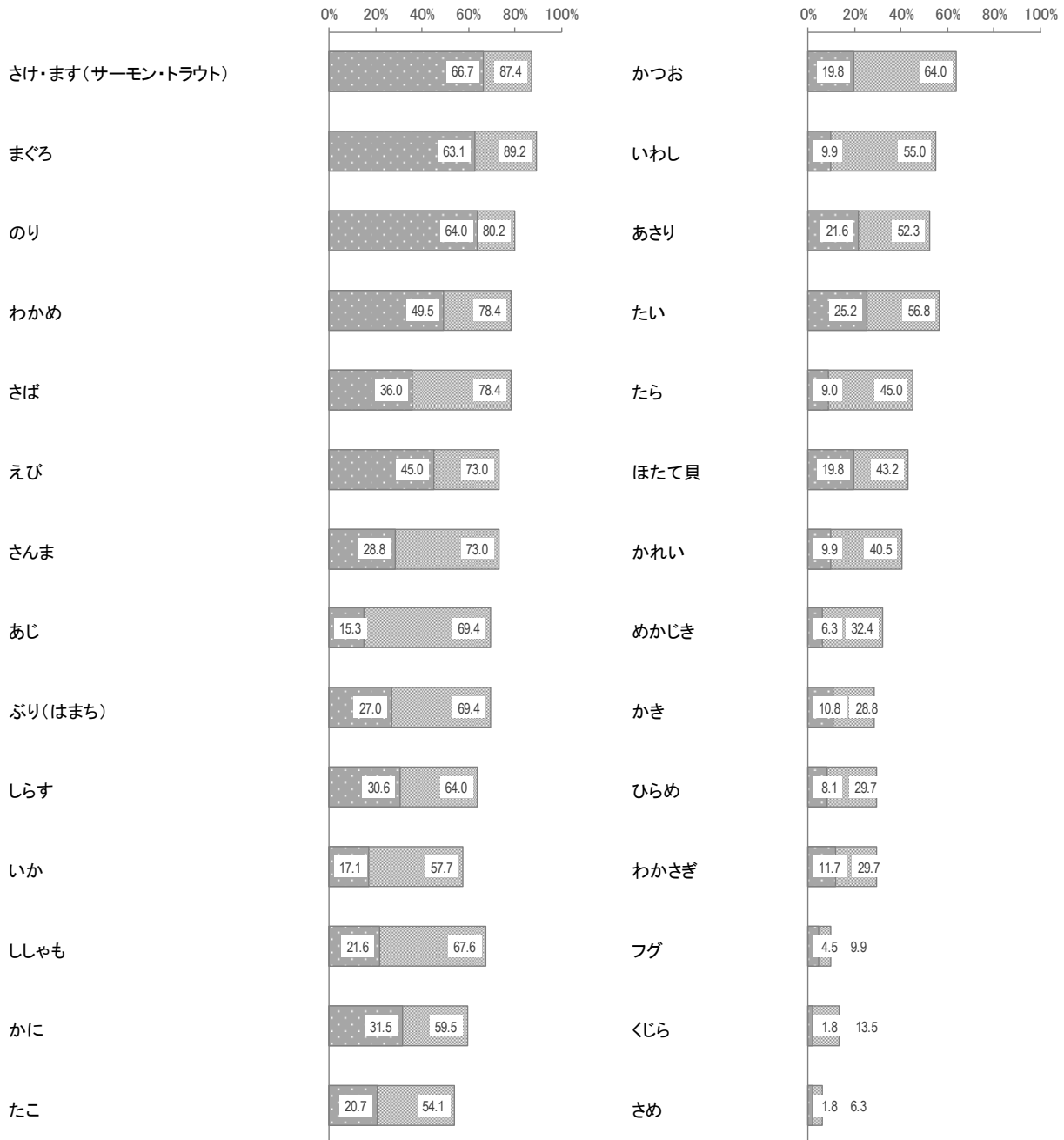
- 小学校高学年女子では、食べた事がある魚介類は、「まぐろ」が89.2%で最も高く、「さけ・ます」と続く。
- 上位項目のうち「のり」は食べた事があると好きの差が小さい。

Q27. 食べた事がある/好きな魚介類【子供が回答】

【小学校高学年(女子)】

■ 小学校高学年(女子)「食べたことのあるもの」(n=111)

■ 小学校高学年(女子)「好きなもの」(n=111)



※「食べたことのあるもの」の値を基準に降順並び替え

Q27.1 次に挙げるそれぞれの魚や貝などについて、あなたのお子様が食べた事のあるものと好きなものをお選びください。
/食べた事のあるもの(MA)【小学校高学年(女子)ベース】

Q27.2 次に挙げるそれぞれの魚や貝などについて、あなたのお子様が食べた事のあるものと好きなものをお選びください。
/好きなもの(MA)【小学校高学年(女子)ベース】

2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-6. 食べた事がある/好きな魚介類

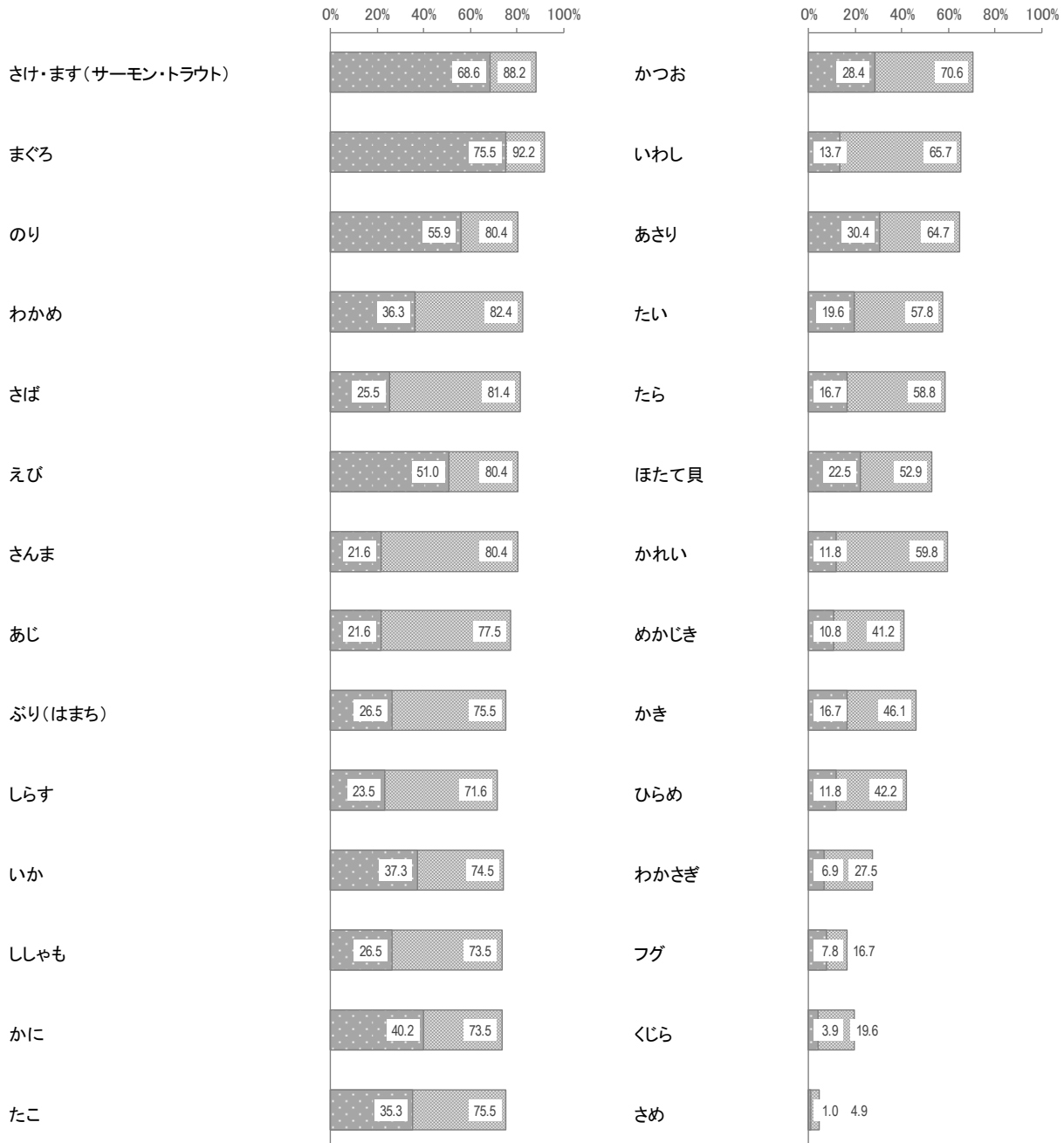
- 中学生男子では、食べた事がある魚介類は、「まぐろ」が92.2%で最も高く、「さけ・ます」と続く。
- 上位項目のうち「さけ・ます」「まぐろ」は食べた事があると好きの差が小さい。

Q27. 食べた事がある/好きな魚介類【子供が回答】

■ 中学生(男子)「食べたことのあるもの」(n=102)

【中学生(男子)】

■ 中学生(男子)「好きなもの」(n=102)



※「食べたことのあるもの」の値を基準に降順並び替え

Q27.1 次に挙げるそれぞれの魚や貝などについて、あなたのお子様が食べた事のあるものと好きなものをお選びください。

/食べた事のあるもの(MA)【中学生(男子)ベース】

Q27.2 次に挙げるそれぞれの魚や貝などについて、あなたのお子様が食べた事のあるものと好きなものをお選びください。

/好きなもの(MA)【中学生(男子)ベース】

2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-6. 食べた事がある/好きな魚介類

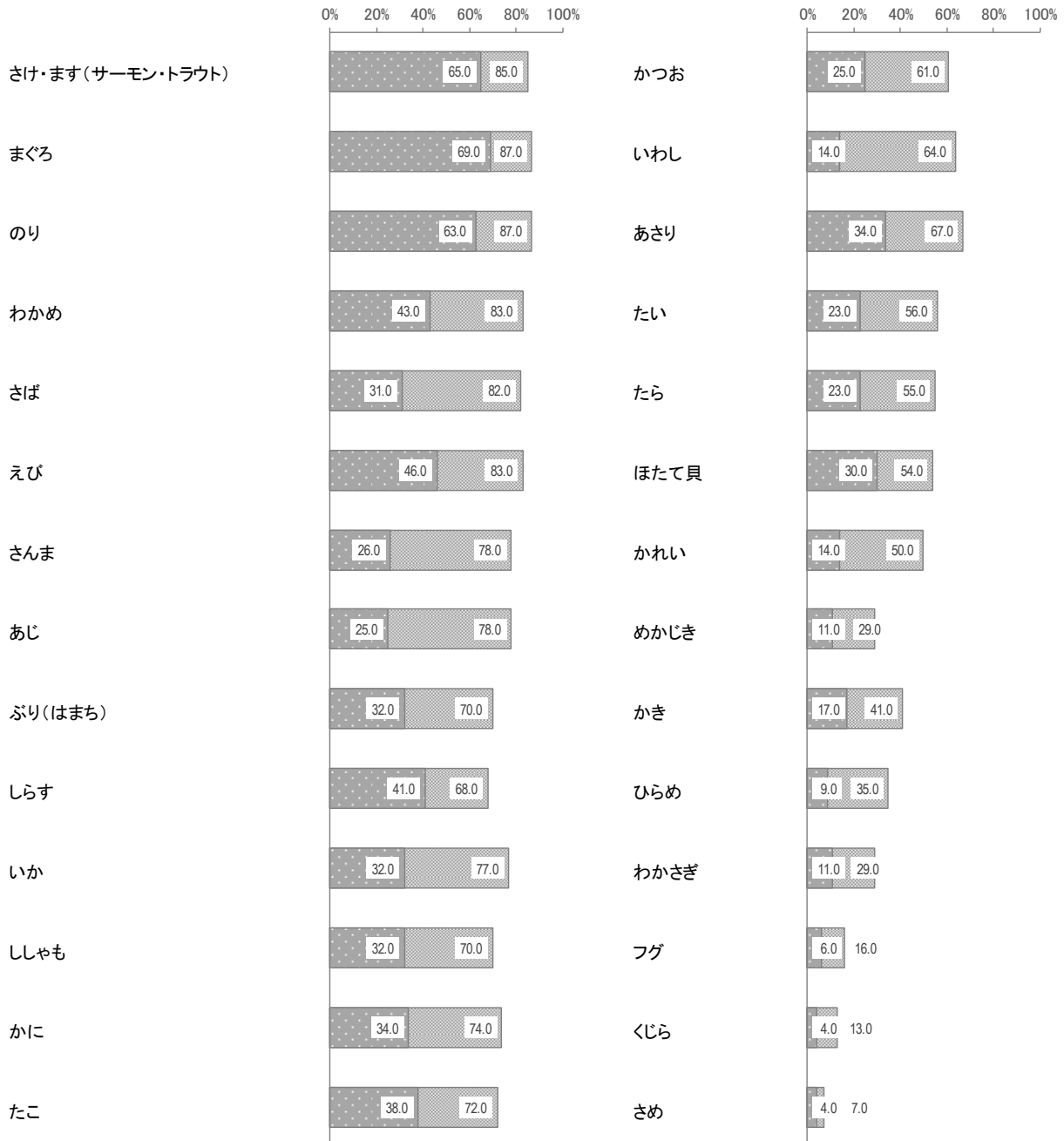
- 中学生女子では、食べた事がある魚介類は、「まぐろ」「のり」が87.0%で最も高く、「さけ・ます」と続く。
- 上位項目のうち「さけ・ます」「まぐろ」は食べた事があると好きの差が小さい。

Q27. 食べた事がある/好きな魚介類【子供が回答】

■ 中学生(女子)「食べたことのあるもの」(n=100)

【中学生(女子)】

■ 中学生(女子)「好きなもの」(n=100)



※「食べたことのあるもの」の値を基準に降順並び替え

Q27.1 次に挙げるそれぞれの魚や貝などについて、あなたのお子様が生きた事のあるものと好きなものをお選びください。
/食べた事のあるもの(MA)【中学生(女子)ベース】

Q27.2 次に挙げるそれぞれの魚や貝などについて、あなたのお子様が生きた事のあるものと好きなものをお選びください。
/好きなもの(MA)【中学生(女子)ベース】

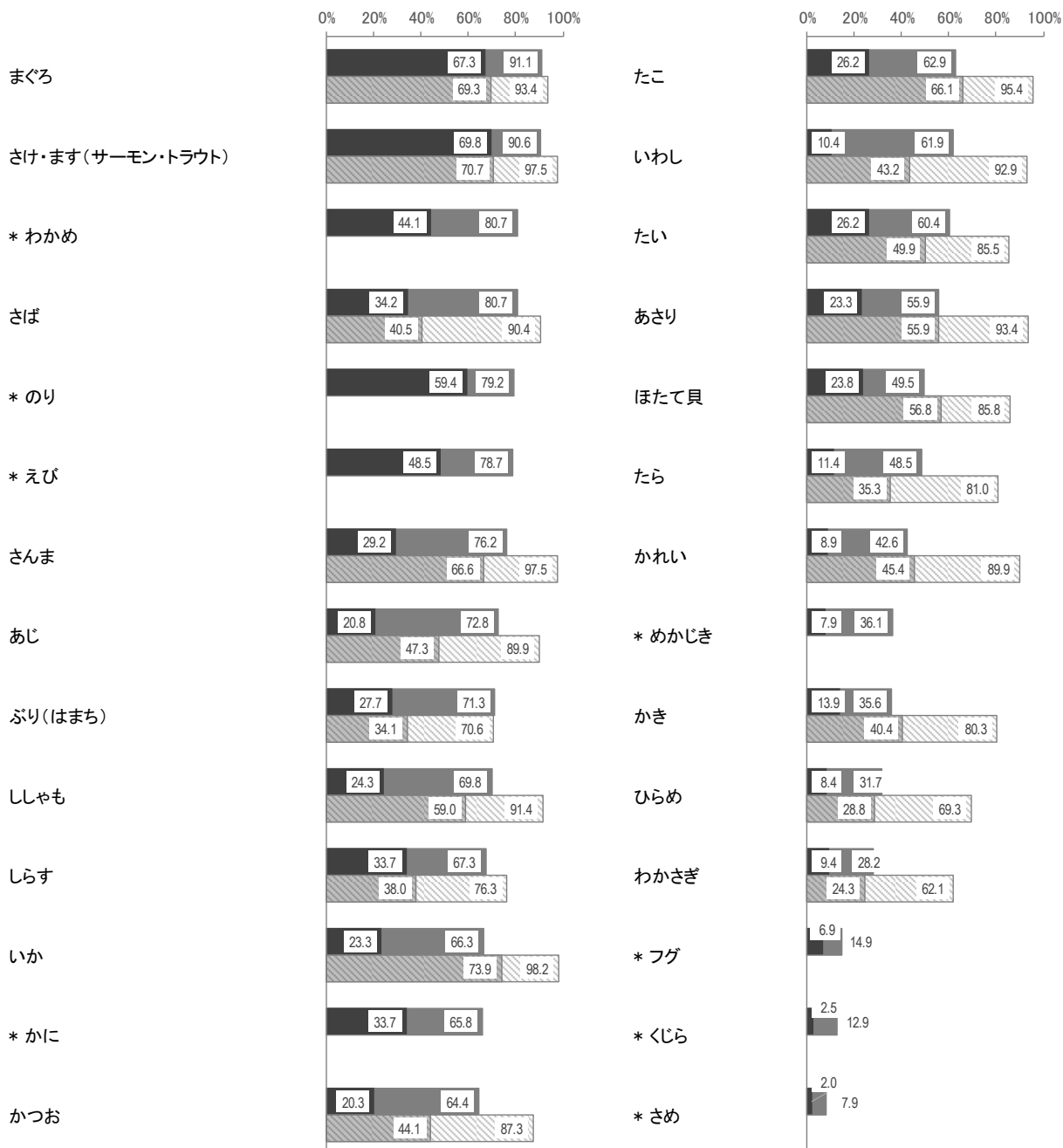
2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-6. 食べた事がある/好きな魚介類(※2023年:小学校高学年ベースにて比較)

- 食べた事がある魚介類は、多くの魚介類で1989年と比較して下回っている。
- 好きな魚介類は、「さんま」「あじ」「ししゃも」「いか」「たこ」「いわし」「かれい」など多くの魚介類で1989年と比較して大きく下回っている。

Q27. 食べた事がある/好きな魚介類【子供が回答】

- 2023年食べたことがあるもの(n=202)
- 2023年好きなもの(n=202)
- ▨ 1989年食べたことがあるもの(n=1,735)
- ▨ 1989年好きなもの(n=1,735)



※2023年の「食べたことがあるもの」の値を基準に降順並び替え/「*」は1989年非聴取

Q27.1 次に挙げるそれぞれの魚や貝などについて、あなたのお子様食べた事のあるものと好きなものをお選びください。

/食べた事のあるもの(MA)【小学校高学年ベース】

Q27.2 次に挙げるそれぞれの魚や貝などについて、あなたのお子様食べた事のあるものと好きなものをお選びください。

/好きなもの(MA)【小学校高学年ベース】

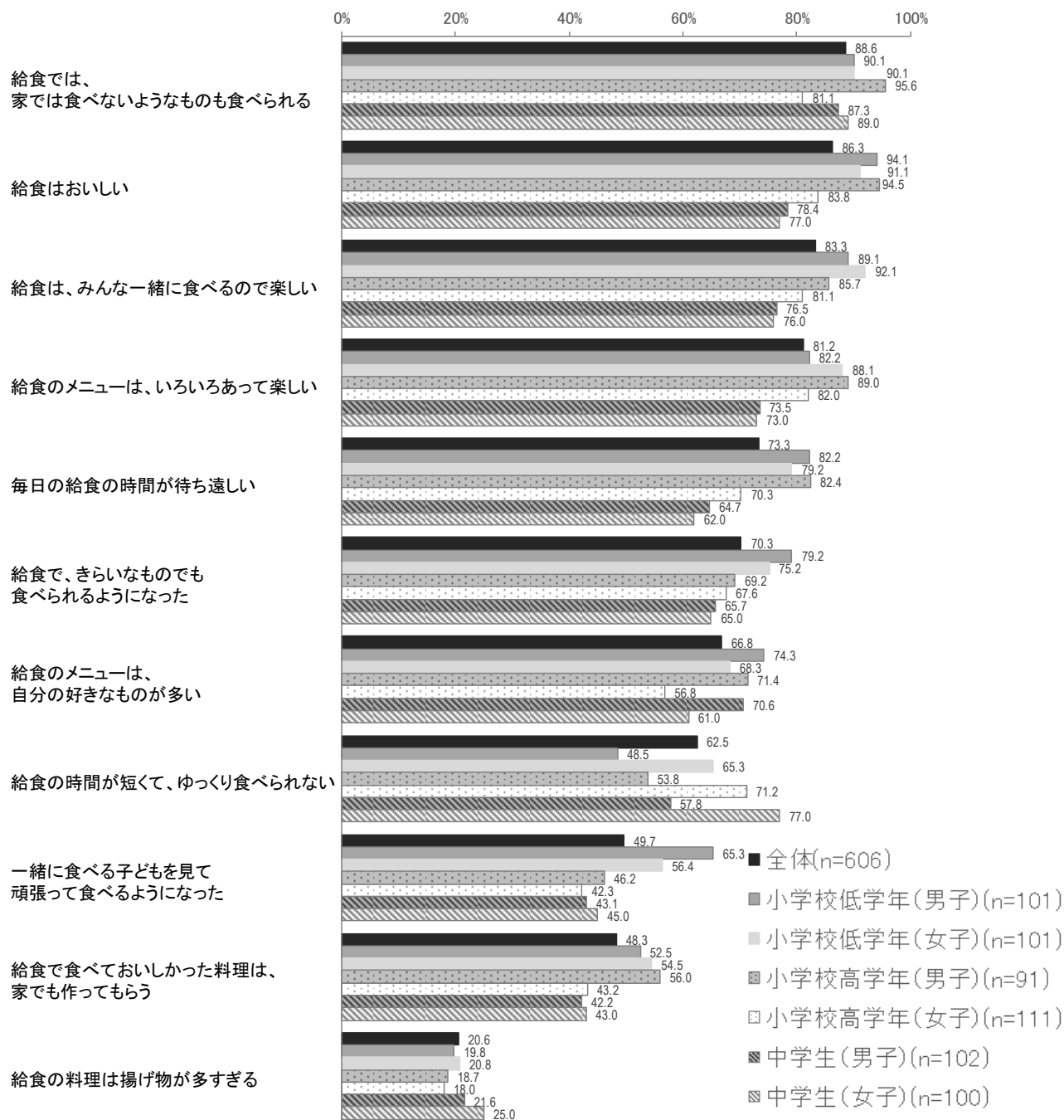
2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-7. 学校の給食について

- 「給食では、家では食べないようなものも食べられる」が88.6%で最も高く、「給食はおいしい」「給食は、みんな一緒に食べるので楽しい」「給食のメニューは、いろいろあって楽しい」と続く。低学年が給食に対してポジティブな感情を抱いている様子があり、家でも作ってもらうことも読み取れる。
- 「給食では、家では食べないようなものも食べられる」は小学校高学年(男子)、「給食のメニューは、いろいろあって楽しい」は小学校低学年(女子)、小学校高学年(男子)、それぞれ他学齢×性別を上回る。男女差として全学年で女子にとっては給食の時間が短いと感じている事が顕著に読み取れた。

Q28. 学校の給食について<思っている事>【子供が回答】

【学齢×性別】



※全体の値を基準に降順並び替え

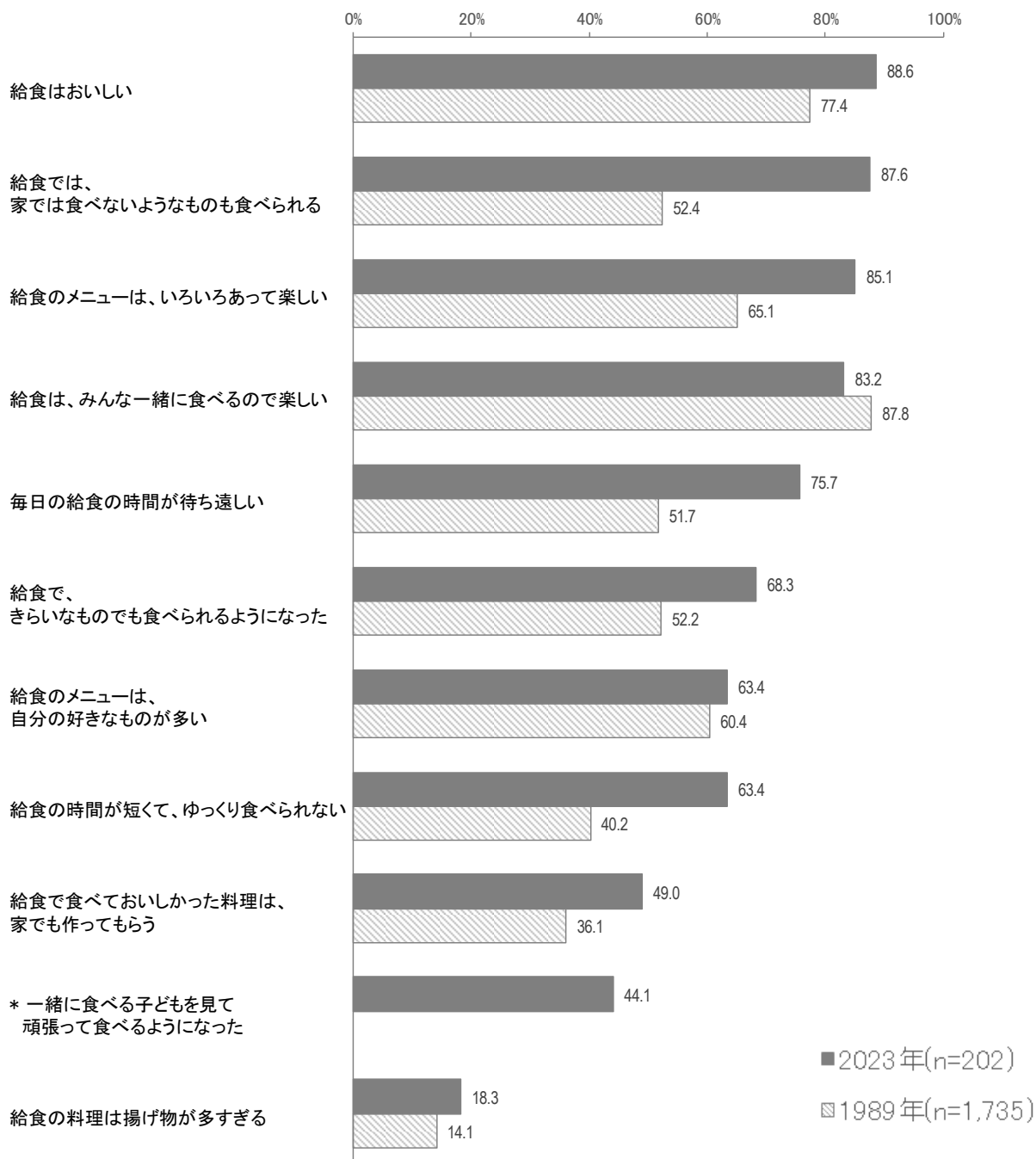
Q28 あなたのお子様は、学校給食についてどのように思っていますか。以下の選択肢の中からそれぞれあてはまるものをお選びください。/「あてはまる」スコア(各SA)【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-7. 学校の給食について(※2023年:小学校高学年ベースにて比較)

- 「給食は、みんな一緒に食べるので楽しい」以外の全ての項目において、1989年と比較して高くなっている。「家では食べないようなものも食べられる」「給食の時間が待ち遠しい」「時間が短くて、ゆっくり食べられない」は大きく上回っている。

Q28. 学校の給食について<思っている事>【子供が回答】



※2023年の値を基準に降順並び替え/「*」は1989年非聴取

Q28 あなたのお子様は、学校給食についてどのように思っていますか。以下の選択肢の中からそれぞれあてはまるものをお選びください。/「あてはまる」スコア(各SA)【小学校高学年ベース】

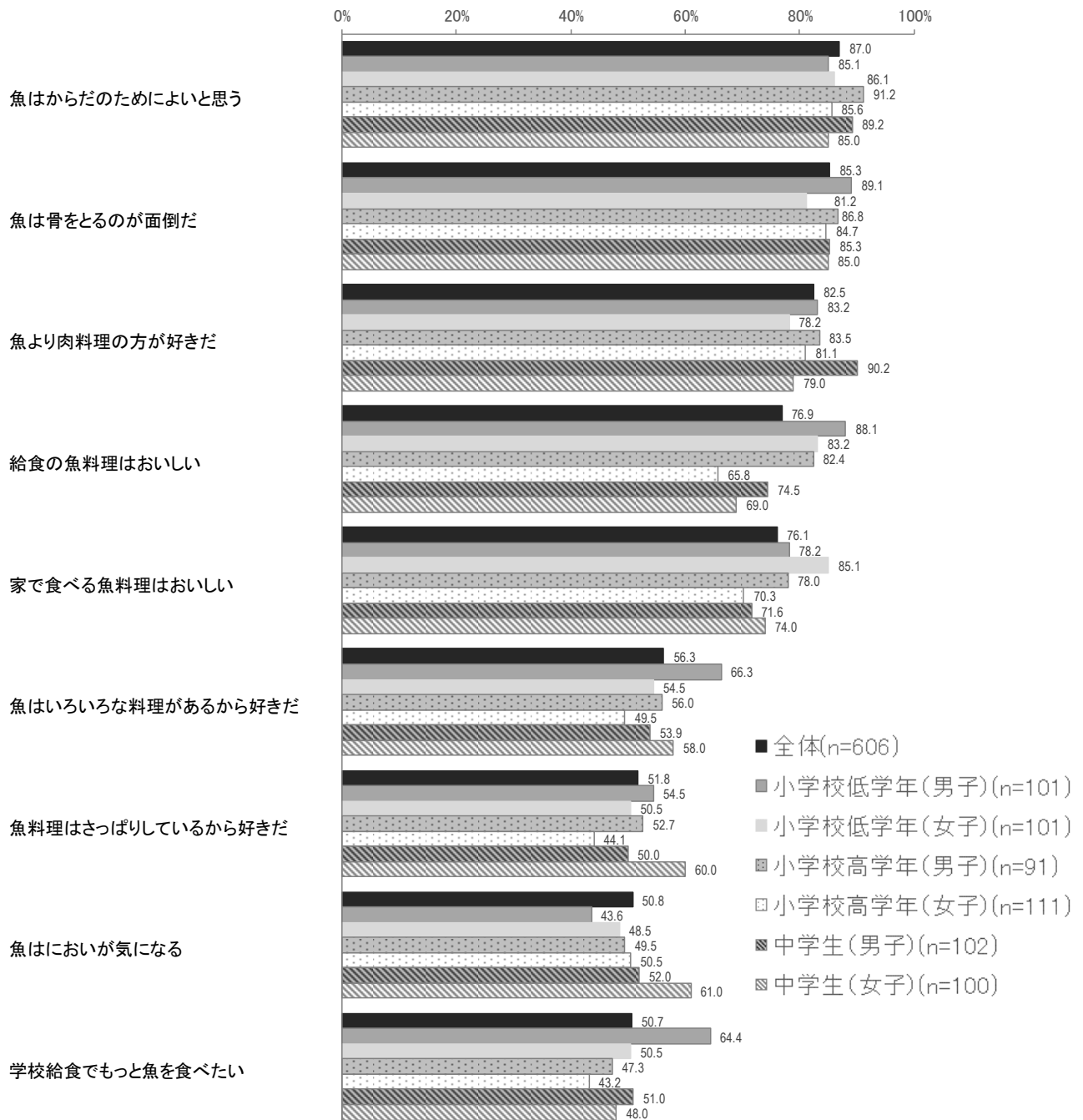
2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-8. 給食・家での魚料理について

- 「魚はからだのためによいと思う」が87.0%で最も高く、「魚は骨をとるのが面倒だ」「魚より肉料理の方が好きだ」と続く。魚はからだによい事は理解しているが、骨や料理の少なさなどで肉のほうが好まれている。
- 「魚は骨をとるのが面倒だ」「給食の魚料理はおいしい」は小学校低学年(男子)、「魚より肉料理の方が好きだ」は中学生(男子)、「家で食べる魚料理はおいしい」は小学校低学年(女子)で、他学齢×性別を上回る。

Q29. 給食・家での魚料理について<思っている事>【子供が回答】

【学齢×性別】



※全体の値を基準に降順並び替え

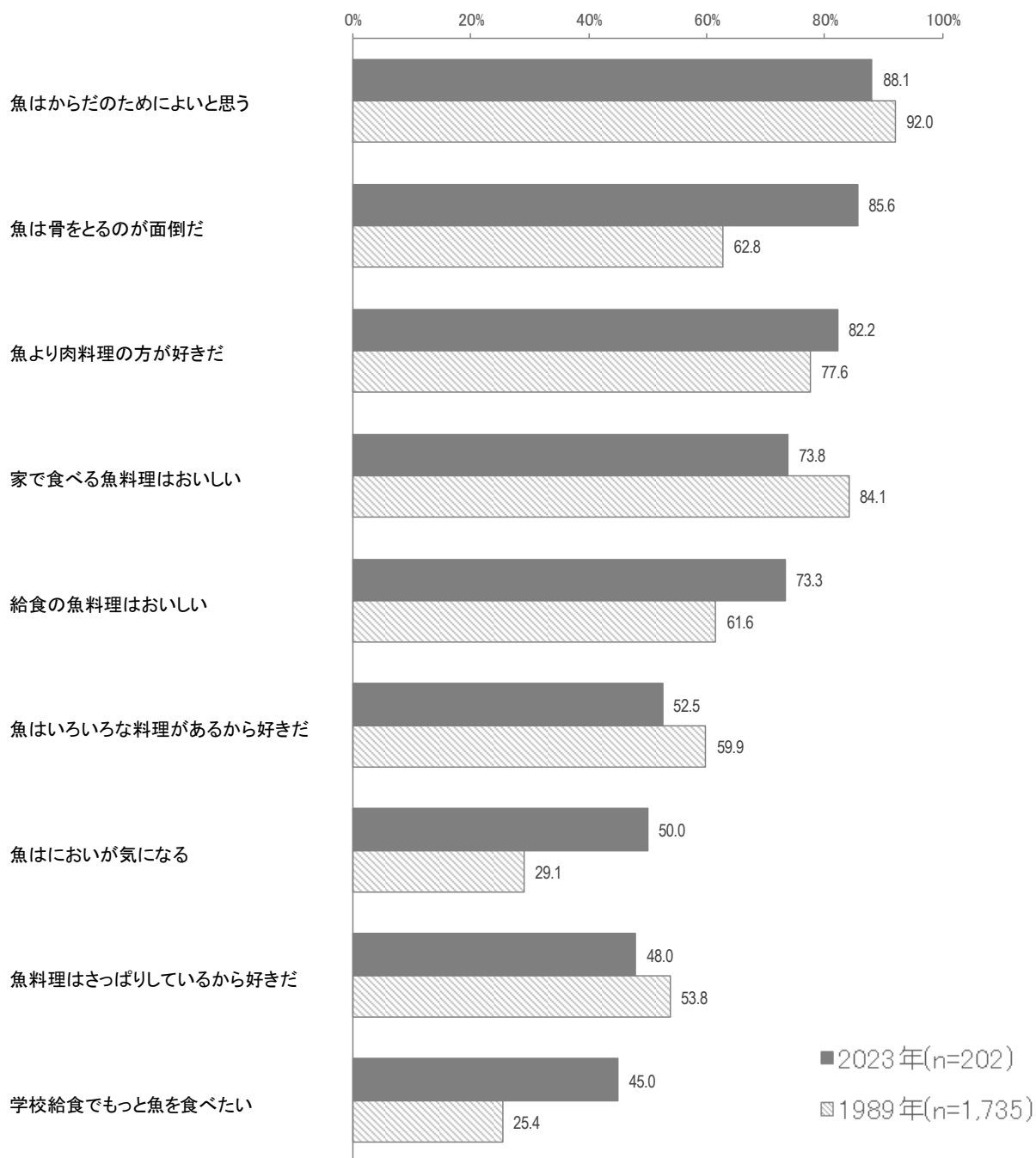
Q29 あなたのお子様は、魚料理についてどのように思っていますか。以下の選択肢の中からそれぞれあてはまるものをお選びください。/「あてはまる」スコア(各SA)【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-8. 給食・家での魚料理について(※2023年:小学校高学年ベースにて比較)

- 「魚は骨をとるのが面倒だ」「給食の魚料理はおいしい」「魚はにおいが気になる」「学校給食でもっと魚を食べたい」は、1989年と比較して大きく上回っている。一方で、「家で食べる魚料理は美味しい」は1989年を大きく下回っている。
- 給食の魚料理はおいしく、もっと食べたい反面、骨やにおいがきになる子供が多い。

Q29. 給食・家での魚料理について<あてはまるもの>【子供が回答】



※2023年の値を基準に降順並び替え

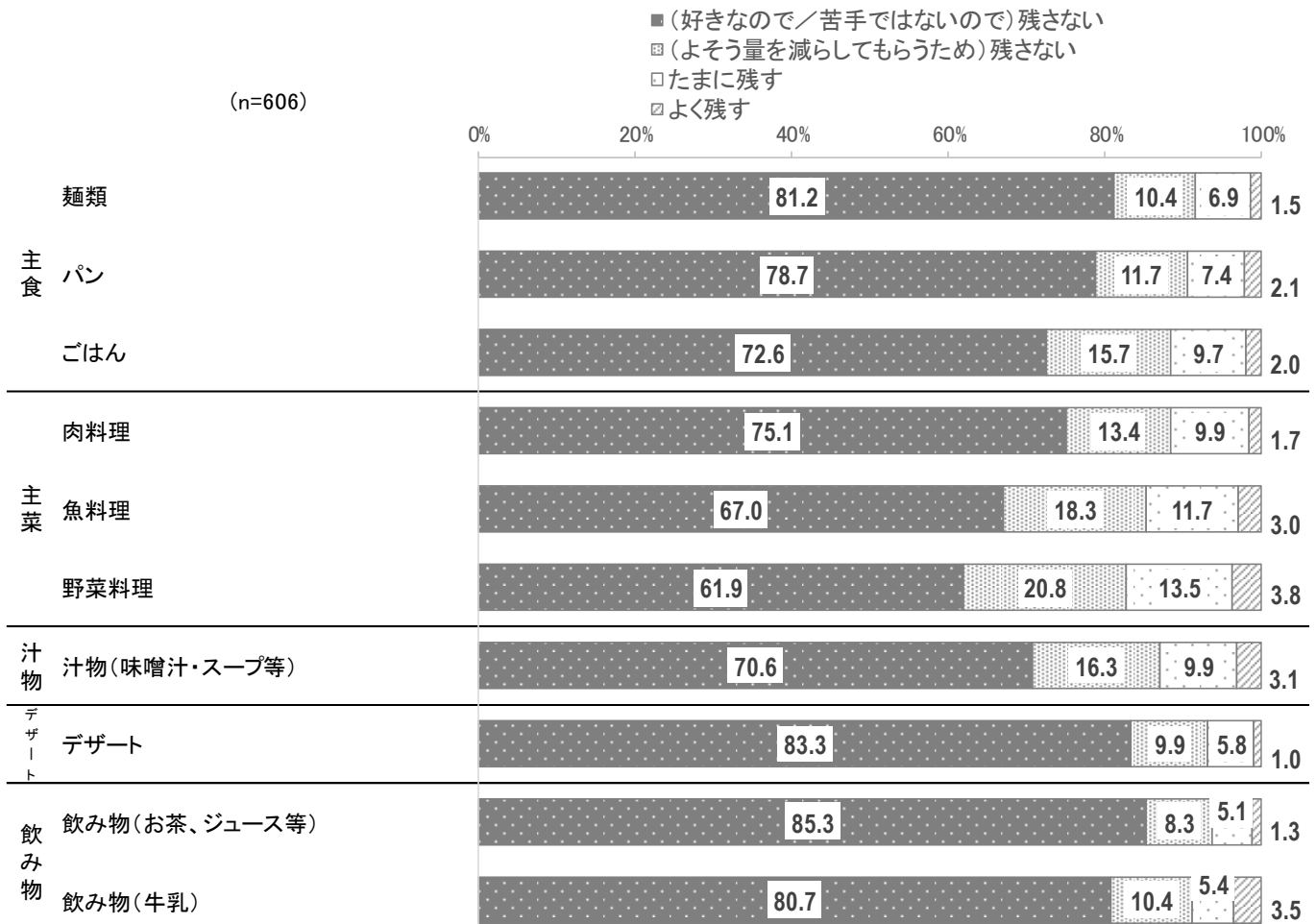
Q29 あなたのお子様は、魚料理についてどのように思っていますか。以下の選択肢の中からそれぞれあてはまるものをお選びください。/「あてはまる」スコア(各SA)【小学校高学年ベース】

2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-9. 給食の食べ残しの有無

- 「よく残す」+「たまに残す」は、「野菜料理」が17.3%で最も高く、「魚料理」「汁物(味噌汁・スープ等)」と続く。
- 「魚料理」「野菜料理」は、「(よそう量を減らしてもらうため)残さない」は他のメニューと比較して多く、残さないのはよそう量を減らしているためであり、好んで食べられてはいない事が窺える。

Q30. 給食の食べ残しの有無【子供が回答】



※「(好きなので/苦手ではないので)残さない」の値を基準にメニュー分類ごとに降順並び替え

Q30 あなたのお子様は、学校給食を食べ残していますか。以下の食材について、それぞれ最もあてはまるものをお選びください。(各SA)【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-9. 給食の食べ残しの有無

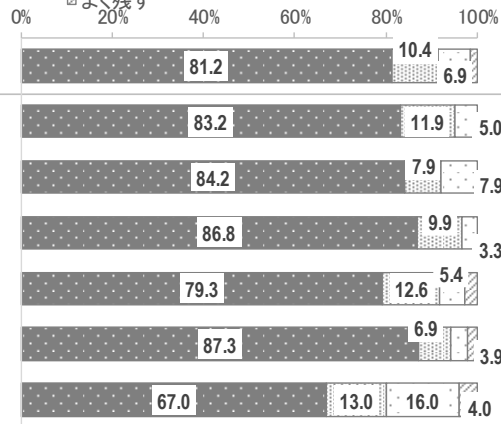
- 「麺類」「ごはん」「パン」は、男子よりも女子の方が食べ残しが多い。
- 中学生(女子)は他学齢×性別と比較して食べ残しが際立って多い。

Q30. 給食の食べ残しの有無【子供が回答】

【学齢×性別】

(1) 麺類

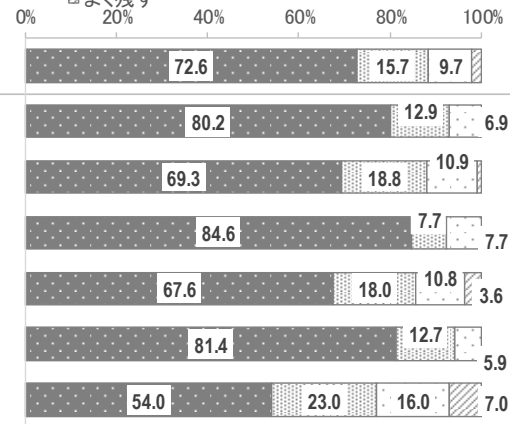
- (好きなので/苦手ではないので)残さない
- ▣ (よそう量を減らしてもらうため)残さない
- たまに残す
- ▤ よく残す



※3%未満はグラフ内ラベル非表示

(2) ごはん

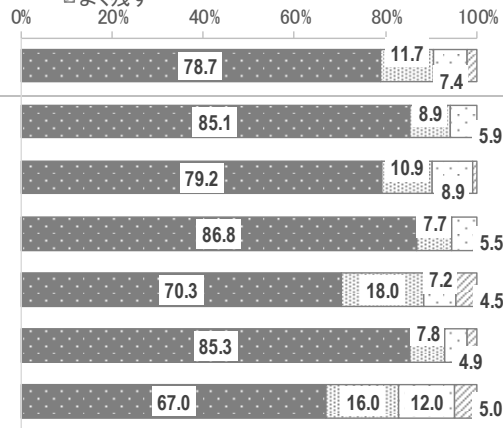
- (好きなので/苦手ではないので)残さない
- ▣ (よそう量を減らしてもらうため)残さない
- たまに残す
- ▤ よく残す



※3%未満はグラフ内ラベル非表示

(3) パン

- (好きなので/苦手ではないので)残さない
- ▣ (よそう量を減らしてもらうため)残さない
- たまに残す
- ▤ よく残す



※3%未満はグラフ内ラベル非表示

Q30 あなたのお子様は、学校給食を食べ残していますか。以下の食材について、それぞれ最もあてはまるものをお選びください。(各SA)【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-9. 給食の食べ残しの有無

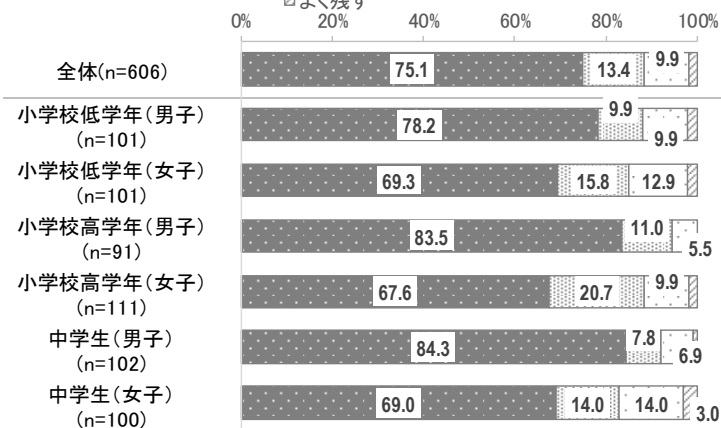
- 「肉料理」「魚料理」「野菜料理」は、男子よりも女子の方が食べ残しが多い。

Q30. 給食の食べ残しの有無【子供が回答】

【学齢×性別】

(4) 肉料理

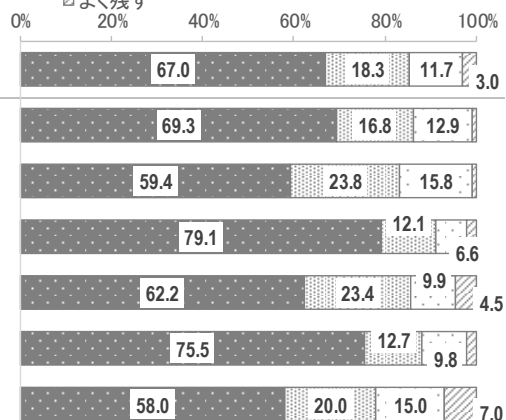
- (好きなので/苦手ではないので) 残さない
- ▣ (よそう量を減らしてもらうため) 残さない
- たまに残す
- ▨ よく残す



※3%未満はグラフ内ラベル非表示

(5) 魚料理

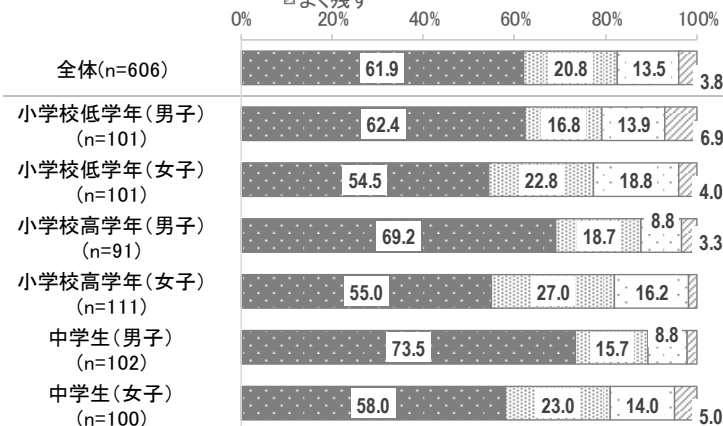
- (好きなので/苦手ではないので) 残さない
- ▣ (よそう量を減らしてもらうため) 残さない
- たまに残す
- ▨ よく残す



※3%未満はグラフ内ラベル非表示

(6) 野菜料理

- (好きなので/苦手ではないので) 残さない
- ▣ (よそう量を減らしてもらうため) 残さない
- たまに残す
- ▨ よく残す



※3%未満はグラフ内ラベル非表示

Q30 あなたのお子様は、学校給食を食べ残していますか。以下の食材について、それぞれ最もあてはまるものをお選びください。(各SA)【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-9. 給食の食べ残しの有無

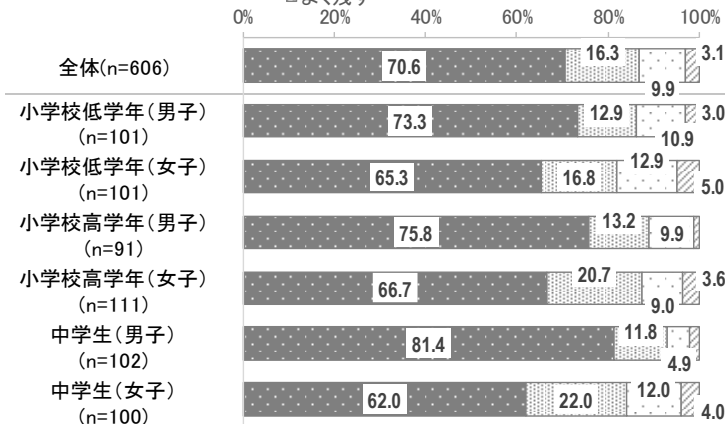
- 「デザート」「飲み物(お茶、ジュース等)」は全ての学齢×性別で「(好きなので/苦手ではないので)残さない」が7割超え。
- 「飲み物(牛乳)」は、男子よりも女子の方が飲み残しが多い。

Q30. 給食の食べ残しの有無【子供が回答】

【学齢×性別】

(7) 汁物(味噌汁・スープ等)

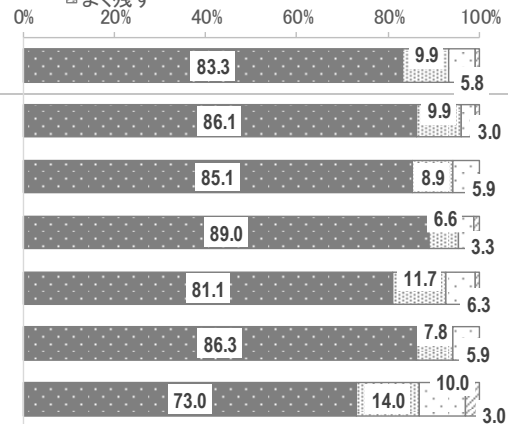
- (好きなので/苦手ではないので)残さない
- ▣ (よそ量を減らしてもらうため)残さない
- たまに残す
- ▨ よく残す



※3%未満はグラフ内ラベル非表示

(8) デザート

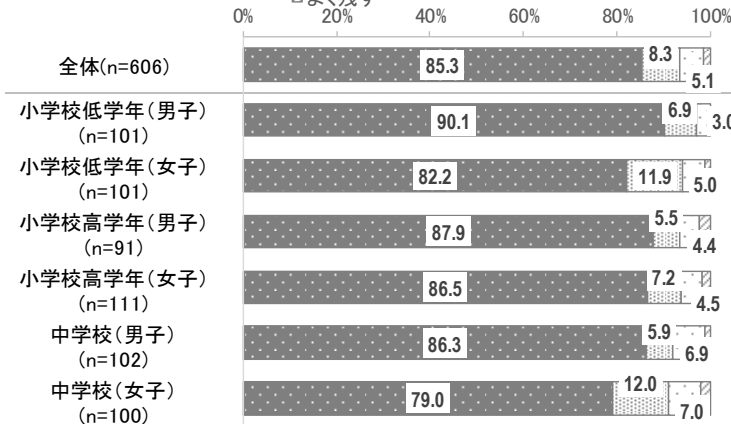
- (好きなので/苦手ではないので)残さない
- ▣ (よそ量を減らしてもらうため)残さない
- たまに残す
- ▨ よく残す



※3%未満はグラフ内ラベル非表示

(9) 飲み物(お茶、ジュース等)

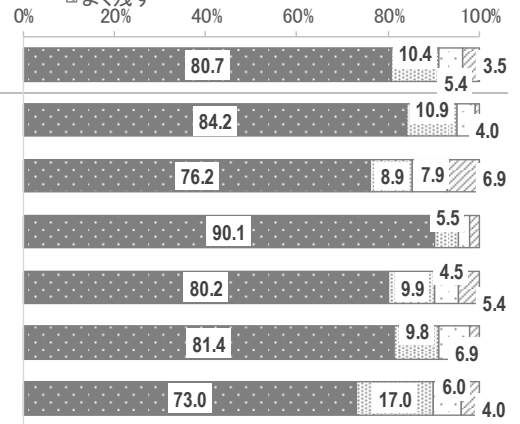
- (好きなので/苦手ではないので)残さない
- ▣ (よそ量を減らしてもらうため)残さない
- たまに残す
- ▨ よく残す



※3%未満はグラフ内ラベル非表示

(10) 飲み物(牛乳)

- (好きなので/苦手ではないので)残さない
- ▣ (よそ量を減らしてもらうため)残さない
- たまに残す
- ▨ よく残す



※3%未満はグラフ内ラベル非表示

Q30 あなたのお子様は、学校給食を食べ残していますか。以下の食材について、それぞれ最もあてはまるものをお選びください。(各SA)【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

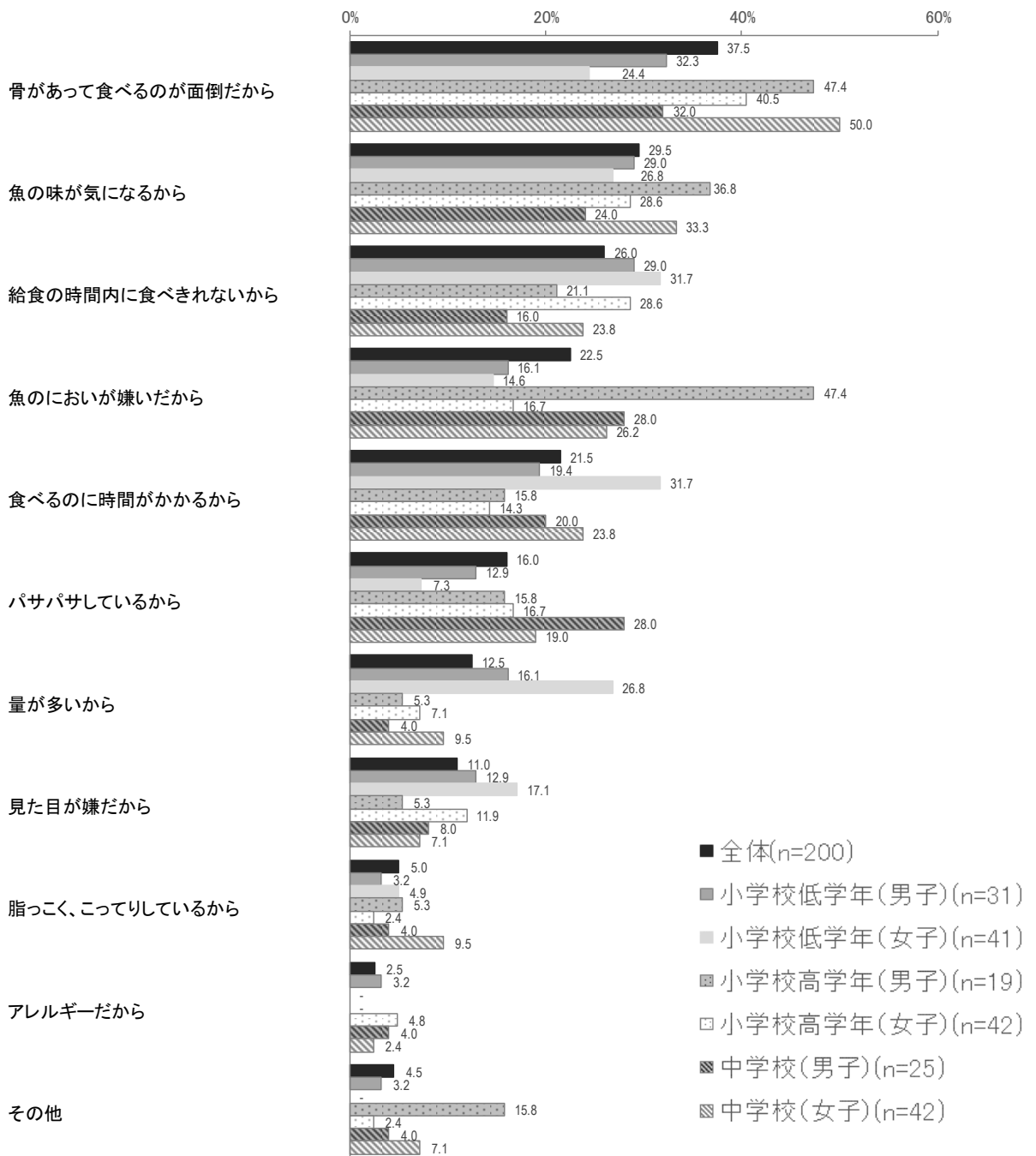
2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-10 魚料理の食べ残しの理由

- 魚料理の食べ残しの理由は、「骨があって食べるのが面倒だから」が37.5%で最も高く、「魚の味が気になるから」が続く。
骨があるため食べるのに時間がかかり時間内に食べきれない、また、味やにおいが好まれていない傾向がみられる。
- 各魚料理の食べ残しの理由には顕著に高い学齢がある。

Q31. 魚料理の食べ残しの理由【子供が回答】

【学齢×性別】



※全体の値を基準に降順並び替え/30s未満は参考値

Q31 あなたのお子様が、学校給食の魚料理で、よそう量を減らしたり、食べ残したりしてしまう理由は何ですか。以下の選択肢の中から当てはまるものを全てお選びください。(MA)

【小学校低学年、高学年、中学生/学校給食の魚料理でよそう量を減らしたり、食べ残してしまう人ベース】

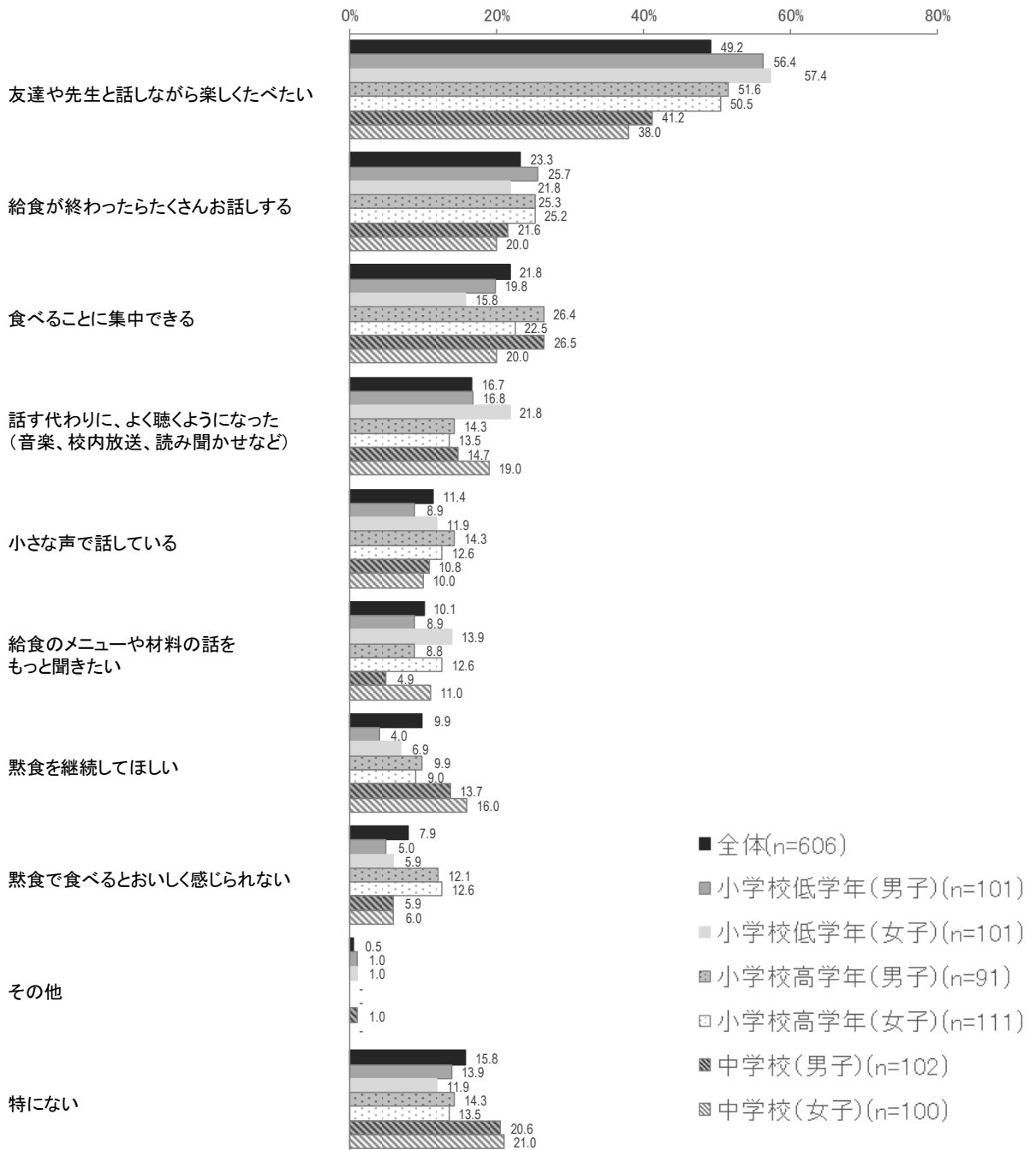
2-2. 子供に対して普段の(食)生活や、学校給食について

2-2-11. コロナ禍での黙食について

- 全体の半数弱が「友達や先生と話しながら楽しくたべたい」と回答している。次いで「給食が終わったらたくさんお話する」「食べる事に集中できる」の順に高い。
- 「友達や先生と話しながら楽しくたべたい」は小学校低学年(男子・女子)、「話す代わりに、よく聴くようになった」は小学校低学年(女子)で、それぞれ他学齢×性別を上回る。

Q32. コロナ禍での黙食について【子供が回答】

【学齢×性別】



※全体の値を基準に降順並び替え

Q32 あなたのお子様は、学校給食をどのように食べたいか教えてください。以下の選択肢の中からあてはまるものを全てお選びください。(MA)【小学校低学年、高学年、中学生ベース】

(参考)「子育て世代の水産物消費嗜好動向調査」アンケート画面
【スクリーニング調査】

アンケート画面開始

Page 1

SC1

あなたの性別をお知らせください。

- 1 男性
- 2 女性

SC2

あなたの年齢をお知らせください。

歳

SC3

あなたのお住まい(都道府県)をお知らせください。

--- ▼

Page 2

SC4

あなたのお住まい(市区町村)をお知らせください。

- 1 札幌市
- 2 仙台市
- 3 さいたま市
- 4 東京23区
- 5 横浜市
- 6 川崎市
- 7 名古屋市
- 8 京都市
- 9 大阪市
- 10 神戸市
- 11 広島市
- 12 福岡市
- 13 上記以外の市区町村

SC5

あなたが同居しているご家族をお知らせください。(いくつでも)

- 1 配偶者・パートナー
- 2 子ども(乳児)
- 3 子ども(幼稚園児、保育園児)
- 4 子ども(小学校低学年)
- 5 子ども(小学校高学年)
- 6 子ども(中学生)
- 7 子ども(高校生以上)
- 8 父親・母親(義父母含む)
- 9 祖父母
- 10 その他
- 11 同居している家族はいない

SC6

あなたを含めて、同居しているご家族の人数をお知らせください。

- 1 2人
- 2 3人
- 3 4人
- 4 5人
- 5 6人
- 6 7人以上

SC7

学校や幼稚園、保育園などで給食の提供を受けているお子様は何人いらっしゃいますか。

- 1 1人
- 2 2人
- 3 3人以上
- 4 給食の提供を受けている子どもはいない

SC8

学校や幼稚園、保育園などで給食の提供を受けているお子様の学齢と性別をお知らせください。(それぞれひとつずつ)



1	2	3
最も年 齢の低 いお 子様	二 番 目 に 年 齢 の 低 い お 子 様	三 番 目 に 年 齢 の 低 い お 子 様

【男の子】

幼稚園・保育園の男の子	1○	1○	1○
小学校低学年の男の子	2○	2○	2○
小学校高学年の男の子	3○	3○	3○
中学校の男の子	4○	4○	4○
高校以上の男の子	5○	5○	5○

【女の子】

幼稚園・保育園の女の子	6○	6○	6○
小学校低学年の女の子	7○	7○	7○
小学校高学年の女の子	8○	8○	8○
中学校の女の子	9○	9○	9○
高校以上の女の子	10○	10○	10○

最も年 齢の低 いお 子様	二 番 目 に 年 齢 の 低 い お 子 様	三 番 目 に 年 齢 の 低 い お 子 様
1	2	3

SC9

あなたの職業をお知らせください。

- 1 会社勤務(契約社員を含む)・公務員・団体職員
- 2 派遣社員
- 3 自営業(個人事業主・フリーランスを含む)
- 4 パート・アルバイト
- 5 専業主婦
- 6 その他

SC10

あなたの世帯年収をお知らせください。

- 1 ~300万円未満
- 2 300万円~400万円未満
- 3 400万円~500万円未満
- 4 500万円~600万円未満
- 5 600万円~800万円未満
- 6 800万円~1,000万円未満
- 7 1,000万円~1,200万円未満
- 8 1,200万円~1,500万円未満
- 9 1,500万円以上

SC11

このアンケートでは後ほど、末子のお子様ご本人の意見や考えをお知らせいただく質問が含まれています。

後ほどお伺いするお子様に対する質問は、お子様ご本人にご確認いただきながら、お子様に代わってあなた自身にご回答いただきます。

その際、ご自身ではなく、必ずお子様の意見や考えをお知らせください。

※末子のお子様が無就学児でまだ回答が困難な場合は、あなたからみた末子のお子様の嗜好や、あなたご自身のお考えをお答えください。

後ほど、末子のお子様と一緒に回答頂くことは可能ですか。

- 1 はい
- 2 いいえ

(参考)「子育て世代の水産物消費嗜好動向調査」アンケート画面

【本調査】

Page 2

ここからは、あなたのご家庭での食生活全般について伺います。

Page 3

Q1

以下に挙げる各項目について、あなたご自身があてはまると思えますか。
(それぞれひとつずつ)

	あてはまると思う	あてはまると思わない
1 外で食べてみておいしかった料理は、自分でも作ってみることがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 献立をいろいろ考えるのが楽しい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 量を少なくしても、おかずの種類を多く作る方である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 友人、知人などから、自慢料理をほめられることがよくある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 調理の仕方をいろいろ工夫してみる方である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 食料品で新製品が出ると、ためしに買ってみることがよくある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 どちらかといえば料理に自信のある方である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 自分でうまく作れた料理などは友人、知人に教えてあげることが多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 新聞や雑誌の料理記事の切り抜きやメモを作っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 食器や台所用品の色やデザインが気になる方である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q2

あなたのご家庭は、「魚類」や「肉類」を食べたり料理したりすることが好きですか。
以下の選択肢の中から最もあてはまるものをお選びください。(それぞれひとつずつ)



好 き	ど ち ら と も い え な い	嫌 い	ア レ ル ギ ー で あ る
--------	---	--------	--------------------------------------

1 魚類を食べること	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>	4 <input type="radio"/>
2 魚類を料理すること	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>	4 <input type="radio"/>
3 肉類を食べること	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>	4 <input type="radio"/>
4 肉類を料理すること	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>	4 <input type="radio"/>

Q3

あなたのご家庭が「魚類」を食べたり料理したりすることが嫌いな理由は何ですか。
以下の選択肢の中からあてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

食べる

- 1 骨をとるのが面倒
- 2 箸を上手に使えない
- 3 魚のおいが嫌い
- 4 魚はおいしくない
- 5 魚は気持ちが悪い

料理する

- 6 魚の調理の仕方がわからない
- 7 ゴミ処理が面倒
- 8 台所(キッチン)の掃除が面倒
- 9 ウロコが飛び散る
- 10 手の臭いが消えない

その他

- 11 子供の頃から魚は食べなかった
- 12 魚にまつわるいやな思い出がある
- 13 魚を食べるのはかわいそう
- 14 その他

Q4

あなたのご家庭のふだんの夕食について伺います。

「魚を主惣菜とした食事」と「肉を主惣菜とした食事」を比べるとどちらが多いですか。以下の選択肢の中から最もあてはまるものをお選びください。

- 1 「魚を主惣菜とした食事」の方が多い
- 2 「魚を主惣菜とした食事」の方がやや多い
- 3 「肉を主惣菜とした食事」の方がやや多い
- 4 「肉を主惣菜とした食事」の方が多い

Q5

「魚を主惣菜とした食事」の方が多い理由は何ですか。

以下の選択肢の中からあてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

- 1 自分が好きだから
- 2 家族が好きだから
- 3 料理にバリエーションが多いから
- 4 手軽にできるから
- 5 ごはん(米飯)に合うから
- 6 食べ慣れているから
- 7 安上りだから
- 8 味付けが楽だから
- 9 魚の種類が豊富だから
- 10 旬なものが食べられるから
- 11 肉に比べてあっさりしているから
- 12 健康に良いと思うから
- 13 その他

Q6

「肉を主惣菜とした食事」の方が多い理由は何ですか。

以下の選択肢の中からあてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

- 1 自分が好きだから
- 2 家族が好きだから
- 3 料理にバリエーションが多いから
- 4 手軽にできるから
- 5 ごはん(米飯)に合うから
- 6 食べ慣れているから
- 7 安上りだから
- 8 味付けが楽だから
- 9 健康に良いと思うから
- 10 魚に比べてボリュームがあるから
- 11 買い置きできるから
- 12 値段が安定しているから
- 13 魚に比べて選ぶのが楽だから
- 14 その他

Q7

あなたのご家庭でよく食べる魚介類の種類をお答えください。

以下の選択肢の中からあてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

- 1 まぐろ
- 2 あじ
- 3 いわし
- 4 さけ(サーモン)
- 5 さば
- 6 さんま
- 7 ぶり(はまち)
- 8 かれい
- 9 ひらめ
- 10 たら
- 11 いか
- 12 たこ
- 13 えび
- 14 貝類
- 15 海藻類
- 16 その他

Q8

あなたのご家庭でよく購入する魚介類の加工品の形態をお答えください。

以下の選択肢の中からあてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

- 1 缶・瓶詰
- 2 レトルト
- 3 冷凍(味付け無しか塩程度)
- 4 調理冷凍食品(カット食材、調理キット、フライ品など)
- 5 魚肉ハム・ソーセージ
- 6 練り物(ちくわ、かまぼこ、カニカマ、揚げ物)
- 7 干物(干して味を濃縮、魚の開きなど)
- 8 乾物(しっかり乾かした常温保存の魚介類。スルメ、のりなど)
- 9 調理加工品(惣菜)
- 10 その他

Q9

あなたは、以下の項目をイメージした際、「魚料理」と「肉料理」のうち、どちらに当てはまると思いますか。(それぞれひとつずつ)

	魚料理	肉料理
1 調理コストが手ごろ	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
2 調理が簡単	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
3 短時間で調理できる	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
4 メニューが豊富	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
5 美味しい	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
6 食べ飽きない	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
7 満足感がある	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
8 料理の香りがいい	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
9 栄養価が高い	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
10 健康によい	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
11 スタミナが付く	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
12 子どもにもっと食べさせたい	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
13 自分自身ももっと食べるようにしたい	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
14 旬を感じられる	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>

魚料理
肉料理

Q10

あなたのご家庭で「魚料理」を食べる回数は、週に何回くらいですか。
 家族別にお答えください。(それぞれひとつずつ)



	1	2	3
	自分 (あなた自身)	末子のお子様	夫や他の家族
1回くらい	1○	1○	1○
2回くらい	2○	2○	2○
3~4回くらい	3○	3○	3○
5回以上	4○	4○	4○
ほとんど食べない	5○	5○	5○

Q11

あなたのご家庭で食べる好きな「魚料理」を、家族別にお答えください。
(それぞれいくつでも)

	1	2	3
	自分 (あなた自身)	末子 のお子様	夫や 他の 家族
刺身	1 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>
寿司	2 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>
焼き魚	3 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>
照り焼き	4 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>
煮付け	5 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>
ホイル焼き	6 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>
ムニエルなどフライパンで焼いたもの	7 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>
揚げ物(天ぷら・フライ)	8 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>
魚介スープ、汁物(アクアパッツァなど)	9 <input type="checkbox"/>	9 <input type="checkbox"/>	9 <input type="checkbox"/>
ご飯もの(炊き込みご飯、魚茶漬け、パエリアなど)	10 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>
鍋物	11 <input type="checkbox"/>	11 <input type="checkbox"/>	11 <input type="checkbox"/>
その他	12 <input type="checkbox"/> <input type="text"/>	12 <input type="checkbox"/> <input type="text"/>	12 <input type="checkbox"/> <input type="text"/>
	自分 (あなた自身)	末子 のお子様	夫や 他の 家族
	1	2	3

Q12

あなたのご家庭で食べる魚介類を購入する際の優先順位をお答えください。
以下の選択肢の中から上位3位まで、最もあてはまるものをお選びください。
(それぞれひとつずつ)

	1	2	3
	1位	2位	3位
調理の簡便さ	1○	1○	1○
価格	2○	2○	2○
栄養価	3○	3○	3○
新鮮さ	4○	4○	4○
国産品(輸入品に対して)	5○	5○	5○
安全安心	6○	6○	6○
環境配慮	7○	7○	7○
地産地消(地元経済)	8○	8○	8○

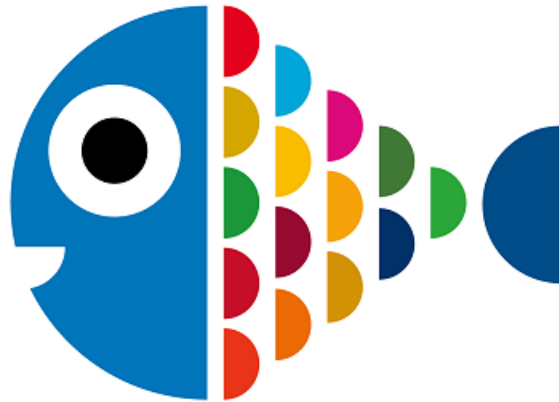
Q13

あなたのご家庭で魚介類を食べる際に感じることをお答えください。
以下の選択肢の中からあてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

- 1 どちらかといえば和食のメニューになりがち
- 2 どちらかといえば洋食のメニューになりがち
- 3 白いご飯と合うようにしている
- 4 他のメニューとの組み合わせが難しい
- 5 野菜と合うようにしている
- 6 シンプルな味付けにしている
- 7 調味料を工夫し、味のバリエーションをつけるようにしている
- 8 味付けがいつもおなじになりやすい
- 9 ねぎ、しょうがなどの薬味をつける
- 10 衣をつけたり何かと混ぜるなどボリュームを増すようにしている
- 11 肉料理も一緒に用意するようにしている
- 12 彩り(見栄え)が良くない
- 13 他の具材と混ぜると骨が取りにくくなる
- 14 その他
- 15 特に感じることはない

下記の説明文をよくお読みになってから次へお進みください

令和4年(2022年)11月に水産庁によって「さかなの日」が制定されました。我が国の水産物の消費量が長期的に減少傾向にある中、水産物の消費拡大に向けた官民の取組を推進するため、「さかな×サステナ」をコンセプトに、毎月3～7日を「さかなの日」としました。特に11月3～7日は「いいさかなの日」として、水産物の消費拡大に向けた活動の強化週間と位置付けられています。



おいしい×サステナ=いい未来

さかなの日

Q14

「さかなの日」として、関連団体や企業などがいろいろな取組みを実施しようとしています。

「さかなの日」の取組みとして、あなたが期待する取組みをすべてお選びください。

(いくつでも)

- 1 スーパーなどでの魚のセールやフェアの開催
- 2 魚に関する食育
- 3 魚料理の紹介
- 4 魚のさばき方の紹介
- 5 地魚の紹介(地産地消推奨、地元経済貢献)
- 6 知らない魚(未利用魚・低利用魚)の紹介
- 7 いろいろな水産物の紹介
- 8 魚市場祭り・市場見学などのイベントの開催
- 9 体験型イベント(魚釣り、魚タッチ、漁船見学など)の実施
- 10 子供向けの魚食食育コンテンツ情報の充実
- 11 魚の関連書籍の紹介
- 12 環境に配慮した取組みの紹介
- 13 その他

Q15

あなたが、魚に関して思っていることや、感じていること、改善してほしいこと、ご要望など、お考えになっていることを自由にお書きください。

※できる限り具体的にご記入ください。

Q16

あなたは、お子様の食事についてどのようにされていますか。

以下の選択肢の中からそれぞれ最もあてはまるものをお選びください。

(それぞれひとつずつ)



あ て は ま る	や や あ て は ま る	ど ち ら と も い え な い	あ ま り あ て は ま ら な い	あ て は ま ら な い
-----------------------	---------------------------------	---	--	---------------------------------

- | | | | | | | |
|----|----------------------------|---|---|---|---|---|
| 1 | 子どもの夕食は、いつも同じ時間に食べさせる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2 | 自分が忙しいときでも、子どもにはきちんと食べさせる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3 | 食事のときには、子どもと会話する | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4 | 子どもの好きなものばかり食べさせない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5 | 子どもの栄養バランスを考えながら献立を作る | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 子どもに食事のしつけをきちんとしている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7 | 子どもには添加物が入っていそうな食品はあまり出さない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8 | 夕食はなるべく家族全員が一緒に食べるようにしている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9 | 子どもの嫌いなものでも、料理の工夫をして食べさせる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 10 | 親が嫌いなものでも、子どもには栄養を考えて食べさせる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |



あ て は ま る	や や あ て は ま る	ど ち ら と も い え な い	あ ま り あ て は ま ら な い	あ て は ま ら な い
-----------------------	---------------------------------	---	--	---------------------------------

ここからは、あなたの末子のお子様の学校給食や幼稚園・保育園などの給食について伺います。

※これ以降の設問で「学校給食」について言葉で表現していますが、末子のお子様が小学生、中学生の場合は学校給食として、末子のお子様が幼稚園や保育園などの場合は園での給食として、お答えください。

Q17

あなたのご家庭では、お子様と学校給食について話をしていますか。

以下の選択肢の中から話をしている内容をすべてお選びください。(いくつでも)

- 1 学校給食のメニューについて
- 2 学校給食の栄養面について
- 3 学校給食のおいしさについて
- 4 学校給食の食べ方(黙食等)について
- 5 学校給食でどんなものを食べたのかについて
- 6 学校給食を上手に食べられたかどうか
- 7 学校給食の食べ残しについて
- 8 学校給食の配膳について
- 9 学校給食の献立表について
- 10 学校給食について先生の話していることについて
- 11 学校給食を食べているときの友達の様子について
- 12 その他
- 13 特に話をしていない

Q18

あなたは学校給食についてどのようにお考えですか。

以下の選択肢の中からそれぞれ最もあてはまるものをお選びください。

(それぞれひとつずつ)



あ て は ま る	や や あ て は ま る	ど ち ら と も い え な い	あ ま り あ て は ま ら な い	あ て は ま ら な い
-----------------------	---------------------------------	---	--	---------------------------------

- | | | | | | | |
|----|---------------------------------|---|---|---|---|---|
| 1 | 子どもの学校給食は、教育上とても大切だと思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2 | 子どもの昼食は、給食に任せておけるから安心だ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3 | 子どもが持ってくる給食の献立表をいつも注意して見る | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4 | 本来、子どもには弁当を持たせるべきだと思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5 | 給食に使用される食材の食品添加物が気になる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 給食の献立作りに、もっと父母の意見をとりあげてほしい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7 | もっと給食費を払っても、よいものを食べさせたい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8 | 給食に、もっと米飯を食べさせてほしい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9 | 給食に、もっと魚料理を食べさせてほしい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 10 | 給食はただ食べさせるだけでなく、子どもに対する食事指導が大事だ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 11 | 集団の中で苦手なものが減って食べれるようになるとよい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 12 | 食事のマナーや上手な食べ方(骨の取り方など)を学べるとよい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |



あ て は ま る	や や あ て は ま る	ど ち ら と も い え な い	あ ま り あ て は ま ら な い	あ て は ま ら な い
-----------------------	---------------------------------	---	--	---------------------------------

Q19

学校給食法には、以下の項目について定められております。

以下の選択肢の中から、あなたが学校給食に期待することを3つまでお選びください。

(3つまで)

※栄養必要量は、国民が健康を維持し、十分な生活活動を営むために摂取することが望ましい量のことを言います。

- 1 必要な栄養が摂取できること
- 2 栄養必要量(※)を摂取するための食事量
- 3 児童生徒が食べやすいように調理されていること
- 4 児童生徒の好みの味に調理されていること
- 5 いろいろな食材の摂取バランス
- 6 アレルギー体質への対応
- 7 児童生徒の食の安全確保について
- 8 手洗いや正しい食事のマナーについて教えること
- 9 社交性や協同の精神が養われること
- 10 食文化・地域の伝統食などを伝えてくれること
- 11 食糧生産、流通、消費の流れを伝えてくれること
- 12 自然の恵みやその生産者達、給食の食材を運んできてくれる人達や給食を作ってくれる人達などに対する感謝の気持ちを伝えてくれること
- 13 子どもとの食に関する会話が増えること
- 14 その他
- 15 特に期待していることはない

Q20

学校給食に使用される「魚介類」について、あなたはどのようなことを期待していますか。以下の選択肢中から、3つまでお選びください。(3つまで)

- 1 使用する魚介類の種類が多様であること
- 2 児童生徒に食べやすく調理されていること
- 3 児童生徒に好ましい味に調理されていること
- 4 アレルギー体質の児童生徒への対応がなされていること
- 5 骨による傷害に配慮されていること
- 6 魚介類に関する知識がつくこと
- 7 魚の骨を上手に避けて安全に食べることを学べること
- 8 肉類と魚介類がバランスよく提供されること
- 9 その他
- 10 特に期待していることはない

Q21

学校給食に使用される「魚介類」のメニューで、あなたのお子様が好きなものをすべてお選びください。(それぞれいくつでも)

分類の詳細は以下の通りになります。

魚類(さけ、さば、えび、さわら、いわし、さんま、ツナ、まぐろ等)

小魚類(ししゃも、煮干、しらす干し、干しえび等)

貝類(しじみ、あさり、ほたて、さざえ等)

軟体類(いか、たこ等)

水産練り製品(ちくわ、かまぼこ、はんぺん、さつま揚げ等)



	1	2	3	4	5
	魚類	小魚類	貝類	軟体類	水産練り製品
揚げ物(フライ、竜田揚げなど)	1 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>
焼きもの(焼き魚など特別な味をつけていないもの)	2 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>
調味焼き(照り焼きなどの味をつけて焼いたもの、ムニエルを含む)	3 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>
ハンバーグ	4 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>
炒め物	5 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>
煮魚(魚介類がメインになっているもの)	6 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>
煮物(おでんなど、魚介類がメインになっていないもの)	7 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>
和え物・サラダ	8 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>
スープ・汁物	9 <input type="checkbox"/>	9 <input type="checkbox"/>	9 <input type="checkbox"/>	9 <input type="checkbox"/>	9 <input type="checkbox"/>
ご飯類(炊き込みご飯など)	10 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>
パスタ・麺類	11 <input type="checkbox"/>	11 <input type="checkbox"/>	11 <input type="checkbox"/>	11 <input type="checkbox"/>	11 <input type="checkbox"/>
その他	12 <input type="checkbox"/> <input type="text"/>	12 <input type="checkbox"/> <input type="text"/>	12 <input type="checkbox"/> <input type="text"/>	12 <input type="checkbox"/> <input type="text"/>	12 <input type="checkbox"/> <input type="text"/>
この魚介類では好きなメニューはない	13 <input type="checkbox"/>	13 <input type="checkbox"/>	13 <input type="checkbox"/>	13 <input type="checkbox"/>	13 <input type="checkbox"/>
	魚類	小魚類	貝類	軟体類	水産練り製品
	1	2	3	4	5

ここからは、" お子様への質問ですが "、あなたの末子のお子様のご意見を確認しながら、質問にお答えください。

※末子のお子様はまだ回答が困難な場合は、あなたからみた末子のお子様の嗜好や、あなたご自身のお考えをお答えください。

「時間を改めれば回答できる」という方は、一旦ウインドウをそのまま閉じ、お子様と一緒に回答できる時間に再びアンケートにお答えください。

なお、回答再開時にアンケートが終了している場合がございますのでご了承ください。

Q22

あなたのお子様の日常生活についてお知らせください。

それぞれあてはまるものをお選びください。(それぞれひとつずつ)



あ	あ
て	て
は	は
ま	ま
る	ら
	な
	い

- | | | | | | |
|---|----------------------|---|-----------------------|---|-----------------------|
| 1 | 朝はいつも気持ちよく起きられる | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> |
| 2 | 夜は8時から9時ごろには寝るほうだ | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> |
| 3 | 健康や体力には自信がある | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> |
| 4 | 家の外で遊ぶことが多い | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> |
| 5 | スポーツなら何でも得意だ | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> |
| 6 | 虫歯はほとんどない | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> |
| 7 | 毎日学校や幼稚園、保育園に行くのが楽しい | 1 | <input type="radio"/> | 2 | <input type="radio"/> |

Q23

あなたのお子様はふだんどのような食事をしていますか。

それぞれあてはまるものをお選びください。(それぞれひとつずつ)



あてはまる
あてはまらない

1	朝食は毎朝必ず食べる	1	2
2	夕食では、ごはんをたくさん食べる	1	2
3	一日三食しっかり食べている	1	2
4	寝る前に夜食を食べる	1	2
5	ごはんの前におなかですくので、間食をする	1	2
6	お菓子やジュースを自分で買ってよく食べたり飲んだりする	1	2
7	食べ物に好き嫌いはあまりない	1	2
8	きれいな料理でも食べるようにしている	1	2
9	パンよりごはんが好き	1	2
10	家ではわがままであっても、給食では残さず食べる	1	2
11	お母さんの作る料理はとてもおいしい	1	2
12	何でも上手に箸でつかめる	1	2
13	家族と外へ食べに行くことがよくある	1	2
14	夕食は家族がみんなそろって食べる	1	2
15	食事のとき、家族とよく話しながら食べる	1	2
16	テレビを見ながら食事をする	1	2



あてはまる
あてはまらない

Q24

あなたのお子様の好きな食べ物は何ですか。

以下の選択肢の中から、あてはまる選択肢をすべてお選びください。(いくつでも)

【ごはん】

- 1 ごはん
- 2 ごもくごはん
- 3 お茶づけ
- 4 ふりかけごはん
- 5 おにぎり
- 6 カレーライス
- 7 チャーハン・ピラフ
- 8 すし

【パン】

- 9 食パン
- 10 菓子パン
- 11 サンドイッチ
- 12 ハンバーガー

【めん類】

- 13 うどん
- 14 そば
- 15 ラーメン
- 16 やきそば
- 17 そうめん
- 18 スパゲティ

Q25

あなたのお子様の好きな食べ物は何ですか。

以下の選択肢の中から、あてはまる選択肢をすべてお選びください。(いくつでも)

【魚料理】

- 1 刺身
- 2 寿司
- 3 魚の塩焼き
- 4 魚のフライ
- 5 魚の照り焼き
- 6 煮魚
- 7 魚の天ぷら
- 8 魚の干物(あじなど)
- 9 魚の蒲焼
- 10 魚のムニエル
- 11 酢の物(たこなど)

【魚缶詰】

- 12 ツナの缶詰
- 13 さけの缶詰
- 14 かにの缶詰
- 15 いわしの缶詰
- 16 さんまの缶詰
- 17 かつおフレーク缶

Q26

あなたのお子様の好きな食べ物は何ですか。

以下の選択肢の中から、あてはまる選択肢をすべてお選びください。(いくつでも)

【魚肉ねり製品】

- 1 ちくわ
- 2 かまぼこ
- 3 カニカマ
- 4 魚肉ソーセージ
- 5 はんぺん
- 6 さつまあげ
- 7 つみれ

【野菜料理】

- 8 生野菜・野菜サラダ
- 9 野菜炒め
- 10 野菜の天ぷら
- 11 野菜の煮物
- 12 おひたし

Q27

次に挙げるそれぞれの魚や貝などについて、あなたのお子様が食べたことのあるものと好きなものをお選びください。

以下の選択肢中から、それぞれあてはまるものをすべてお選びください。

(それぞれいくつでも)

	1	2
	食 べ た こ と の あ る も の	好 き な も の
		
まぐろ	1 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>
あじ	2 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>
いわし	3 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>
かつお	4 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>
さけ・ます(サーモン・トラウト)	5 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>
さば	6 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>
さんま	7 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>
ぶり(はまち)	8 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>
めかじき	9 <input type="checkbox"/>	9 <input type="checkbox"/>
ししゃも	10 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>
わかさぎ	11 <input type="checkbox"/>	11 <input type="checkbox"/>
しらす	12 <input type="checkbox"/>	12 <input type="checkbox"/>
たい	13 <input type="checkbox"/>	13 <input type="checkbox"/>
かれい	14 <input type="checkbox"/>	14 <input type="checkbox"/>
ひらめ	15 <input type="checkbox"/>	15 <input type="checkbox"/>
たら	16 <input type="checkbox"/>	16 <input type="checkbox"/>
さめ	17 <input type="checkbox"/>	17 <input type="checkbox"/>
くじら	18 <input type="checkbox"/>	18 <input type="checkbox"/>
フグ	19 <input type="checkbox"/>	19 <input type="checkbox"/>
えび	20 <input type="checkbox"/>	20 <input type="checkbox"/>
かに	21 <input type="checkbox"/>	21 <input type="checkbox"/>
いか	22 <input type="checkbox"/>	22 <input type="checkbox"/>
たこ	23 <input type="checkbox"/>	23 <input type="checkbox"/>
あさり	24 <input type="checkbox"/>	24 <input type="checkbox"/>
ほたて貝	25 <input type="checkbox"/>	25 <input type="checkbox"/>
かき	26 <input type="checkbox"/>	26 <input type="checkbox"/>
のり	27 <input type="checkbox"/>	27 <input type="checkbox"/>
わかめ	28 <input type="checkbox"/>	28 <input type="checkbox"/>
	食 べ た こ と の あ る も の	好 き な も の
	1	2

Q28

あなたのお子様は、学校給食についてどのように思っていますか。
以下の選択肢の中からそれぞれあてはまるものをお選びください。
(それぞれひとつずつ)



あてはまる
あてはまらない

1	給食はおいしい	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
2	給食は、みんな一緒に食べるので楽しい	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
3	給食のメニューは、自分の好きなものが多い	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
4	給食のメニューは、いろいろあって楽しい	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
5	毎日の給食の時間が待ち遠しい	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
6	給食では、家では食べないようなものも食べられる	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
7	給食で、きれいなものでも食べられるようになった	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
8	給食で食べておいしかった料理は、家でも作ってもら	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
9	給食の時間が短くて、ゆっくり食べられない	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
10	給食の料理は揚げ物が多すぎる	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
11	一緒に食べる子どもを見て頑張るようになった	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>



あてはまる
あてはまらない

Q29

あなたのお子様は、魚料理についてどのように思っていますか。
 以下の選択肢の中からそれぞれあてはまるものをお選びください。
 (それぞれひとつずつ)



あ
て
は
ま
る

あ
て
は
ま
ら
な
い

- | | | | |
|---|-------------------|---|---|
| 1 | 給食の魚料理はおいしい | 1 | 2 |
| 2 | 家で食べる魚料理はおいしい | 1 | 2 |
| 3 | 魚はいろいろな料理があるから好きだ | 1 | 2 |
| 4 | 魚料理はさっぱりしているから好きだ | 1 | 2 |
| 5 | 魚はからだのためによいと思う | 1 | 2 |
| 6 | 学校給食でもっと魚を食べたい | 1 | 2 |
| 7 | 魚は骨をとるのが面倒だ | 1 | 2 |
| 8 | 魚はにおいが気になる | 1 | 2 |
| 9 | 魚より肉料理の方が好きだ | 1 | 2 |



あ
て
は
ま
る

あ
て
は
ま
ら
な
い

Q30

あなたのお子様は、学校給食を食べ残していますか。

以下の食材について、それぞれ最もあてはまるものをお選びください。

(それぞれひとつずつ)



よく残す
たまに残す
（よそう量を減らしてもらったため）
残さない
（好きなので / 苦手ではないので）

1	ごはん	1	2	3	4
2	パン	1	2	3	4
3	麺類	1	2	3	4
4	魚料理	1	2	3	4
5	肉料理	1	2	3	4
6	野菜料理	1	2	3	4
7	汁物(味噌汁・スープ等)	1	2	3	4
8	デザート	1	2	3	4
9	飲み物(牛乳)	1	2	3	4
10	飲み物(お茶、ジュース等)	1	2	3	4



よく残す
たまに残す
（よそう量を減らしてもらったため）
残さない
（好きなので / 苦手ではないので）

Q31

あなたのお子様が、学校給食の魚料理で、よそう量を減らしたり、食べ残したりしてしまう理由は何ですか。

以下の選択肢の中から当てはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

- 1 魚のおいが嫌いだから
- 2 骨があって食べるのが面倒だから
- 3 魚の味が気になるから
- 4 食べるのに時間がかかるから
- 5 見た目が嫌だから
- 6 パサパサしているから
- 7 脂っこく、こってりしているから
- 8 量が多いから
- 9 アレルギーだから
- 10 給食の時間内に食べきれないから
- 11 その他

Q32

あなたのお子様は、学校給食をどのように食べたいか教えてください。

以下の選択肢の中からあてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

- 1 友達や先生と話しながら楽しく食べたい
- 2 黙食を継続してほしい
- 3 給食が終わったらたくさんお話しする
- 4 小さな声で話している
- 5 話す代わりに、よく聴くようになった(音楽、校内放送、読み聞かせなど)
- 6 食べることに集中できる
- 7 黙食で食べるとおいしく感じられない
- 8 給食のメニューや材料の話をもっと聞きたい
- 9 その他
- 10 特にない